

選択した文章の本文です。

[オンライン辞書,Dictionary](#)

このウィンドウを閉じる

No.455

作文

2017-05-30

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

10代 男性

ログイン名： **ゆー**
タイトル： 敬語を使うとき

敬語を使う場面というのは、意外と難しいと難しいと思うときがある。私にとって敬語というのは、年上の人や全く知らない人に対して使うものというようなイメージがある。だからよく、使うかどうか迷う場面がある。ここでは三つ例を挙げようとおもう。

一つは、親戚の集まりの中で私より年上で、それにあまり関わりのない「いとこ」に会ったときだ。小さいときは敬語なんて知らないのだから、何も気にすることなく話していたのだが、何年か経って久しぶりに会った時に私は以前のようにタメ口で話すべきか、それとも敬語を使うべきなのか迷っていた。結局、敬語を使ってみたがいとこの方からやめてほしいと言われたので以前と同じように接することにした。

二つ目も上のはなしと似ているのだが、小さいときから繋がりのある近所の人たちに対してだ。いとこの時のように長い期間会わないわけではないので敬語に切り替えるタイミングがわからないのだ。今でも家族のように話す人もいれば、敬語できちんと接する人もいて曖昧な形になっている。

最後は、私とは初対面だが、お互いに共通の友人がいる人だ。この場合私は敬語を使うか一番迷う。最初からタメ口で話すのは失礼だと思う。かといって敬語を使ってみても壁を作ってしまうのではないかと思うときもある。だから私は人と仲良くなるのに少し時間がかかってしまう。

今はまだこのような時に正しい判断で敬語を使えているかわからない。だが私はもう大人として扱われる年なのでもある。だから、社会に出てから大人としての見本になるような立派な対応ができるように心がけていきたい。

[【コメントを書く】](#)

No.485

[No.455](#)へのコメント

2017-05-30

出身： **アメリカ**
居住： アメリカ

10代 男性

ログイン名： **口癖は帰りたい。**
タイトル： 場面の難しさ。

僕も敬語を使う場面というのはとても難しいものではないかと思います。ゆーさんが例に挙げていた三つの例は、どれも僕も体験したことがあることで、とても共感しました。

僕は、マンションに住んでいて、小さい時から周りには同じ年の子がたくさんいて、よくみんなで集まったりして遊んだりしていました。幼稚園から小学校低学年くらいまで、マンションが同じ子達と遊んでいたと思います。ですが、それから色々な場所に住んでいる子たちとも仲良くなり、その子たちとも遊ぶようになり、次第にマンションの子たちとは遊ばなくなっていました。それから中学生、高校生になり、敬語をしっかりと使うことを覚えて、久々にその子たちと会った時に、気軽にタメ口で話していいのかなと思ったりした覚えがあります。

また、初対面だが共通の友達がいるときに敬語で話すべきかどうか僕も迷ったりしたことがあるのですが、僕は気軽に話したほうが距離が縮まるのではないのかなと思いつつ、タメ口で話しています。

[【No.455の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

出身： **JAPAN**

ログイン名： **T**

目上の人よ話すとき私は、決まって気を付けている事が二つあります。
1つは、必ず自分のことを「俺」や「僕」などと言わない事です。普段私たち学生は、言葉を意識して違う事はありません。ですから、俺など簡単に出来る事です。私は高校時代にある経験をしました。それは、部活動での出来事でした。私は大きな失敗をしてしまい、先輩に呼び出されました。その時普段の言葉がでてしまい、「俺」と言いました。今思えば何て馬鹿なことを言ってしまったんだと思います。しかし、その頃の自分は何とも思っていないでした。すると先輩はかこう言いました。「プレーより先に言葉遣いを直せ。」私はプレーのことを聞きに言ったのに、言葉遣い一つで目的を果たせないんだ。言葉遣いは大切だと初めて気がつきました。今私は先輩にとっても感謝しています。
もう1つ大切なことは、方言です。山梨という田舎から神奈川に来た私は、話し方にくせがあります。方言は時に「怒っているのでは」とか、「なめているのか」など違う捉え方をすることがあります。その時は必ず誤解を解くようにします。それだけで大丈夫です。この2つの事をしっかりと覚えておけばまず、失敗しないだろうと思います。私もまだ大学生ですから、これからの大学生活の中で、社会に出て、恥じる事の無いような言葉遣いを身につけていきたいと思っています。

[【コメントを書く】](#)

No.450 [No.420へのコメント](#) 2017-05-30 出身：長野 ログイン名：なおと
居住：神奈川 10代 男性 タイトル：言葉遣いについて

普段、私はあまり言葉遣いを考えず人と話していました。ですが、この作文を読んでこれからは言葉遣いに気を付けて過ごそうと思いました。一つの言葉遣いで必要なことも教えてもらえなかったりすると不便ですね。そう思うと作者さんと同じように社会に出ても恥ずかしくないような言葉遣いを今のうちに身につけたいと自分も思いました。方言ももしかしたら変なとらえ方をされてしまうかもしれないので気を付けないと私も思いました。

[【No.420の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.459 [No.420の筆者から](#) 2017-05-30 出身：JAPAN ログイン名：T
居住：JAPAN 10代 男性 タイトル：ありがとうございました

私の作品を読んでいただき誠にありがとうございました。
言葉遣いはとても難しいですが、しっかりとしたいです。

素晴らしい言葉遣いをみにつけ将来社会にでて役に立つ人材になっていけるように日々精進していきたいとおもいました。方言は素晴らしい文化ですが、ときにひとを怒らせるときもあるので、私もきをつけていきたいとおもいます。このたびは私の投稿を読んでいただきありがとうございました。参考になりました

[【No.420の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.417 作文 2017-05-30 出身：長野 ログイン名：ん
居住：神奈川 10代 男性 タイトル：謝罪の際の言葉遣い

家族や友人、親しくなった年上の人など、私は普段このような人たちには敬語を使わず、ため口で話すことが多い。だが、親しくなった人でも言葉遣いに悩むことがある。

自分と親しい人でも時と場合によって、敬語と場合によって、敬語とため口を使い分けなければならないと私は考えている。例えば謝罪の時はどちらを使うべきか悩むことが多々ある。自分がやってしまったことの大きさ、またそれに対して相手がどの程度怒っているのかなど判断対象はあるが使い分けの境界が難しい。あるとき、部活の先輩を怒らせたことがあった。その先輩とは普段ため口で話して、ふ

ぎけあったりできるほど親しい関係だった。なので、いつも通り軽く謝ったが、私が起こしたことに対して先輩は重く見ており、さらに怒らせてしまう結果となった。私はそのことに対し、それほど重い出来事ではないと思っていたため、こういった失敗につながってしまった。

相手と自分では、価値観や考え方が違うため、そういった相違が生まれる。いつも通りのため口を使うか、それとも敬語を使うのか悩みどころである。義国相手を怒らせてしまった際には、そんなに改まらなくていいよと言われた経験もある。

言葉を選ぶ場面やタイミングは難しい。だが、謝罪する際には、相手のことや、その出来事をよく考え、謝罪する必要があるのではないかと考える。

[【コメントを書く】](#)

No.441 [No.417へのコメント](#) 2017-05-30 出身: 神奈川県 10代 男性 ログイン名: **イッセー**
居住: 日本 タイトル: 謝罪の時の言葉遣い

謝罪をするときには自分が思った通りの謝罪ではなく相手の様子をうかがって謝らなくてはいけないと改めて実感することのできた作文でした。

自分が思っている以上に相手が怒っていることは自分にも経験があるので、相手の立場、人柄、性格、仲の良さを判断して謝罪をする際は気を付けようと思います。

[【No.417の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.406 作文 2017-05-30 出身: 神奈川県 10代 女性 ログイン名: **uchikooo**
居住: 神奈川県 タイトル: 部活動とコミュニケーション

私は高校生になり、人生で初めての運動部であるテニス部に入部した。そこで初めて上下関係がしっかりしている環境で生活をするようになった。部活動生活を続けていくにつれて、私は先輩とのコミュニケーションの取り方に疑問を持った。ここでは二つ挙げてみようと思う。

一つ目は、練習中のかけ声である。例えばボールを何球打ったかを数える時、動機や後輩には特に気にせずに「○球目ラスト」と数えられるが、先輩には数える時も「○球目ラスト」と敬語にしなければならないところだ。必ず敬語を使って数える、というルールは存在しないのだろう。練習になったら、上下関係なんて関係ないという人もいるだろう。だが、私は部活という組織を成り立たせるうえでは、練習中のかけ声にも敬語を使うべきだろうと考えながら練習に打ち込んでいた。

二つ目は、試合の時のかけ声である。特にそう感じたのは二人一組でやるダブルスの時である。例えば、ペアが先輩で、その先輩が強いボールを打ちポイントを奪えた時のかけ声である。同期や後輩には「ナイスショット！」で済むが、先輩に対しては、その時にも敬語を使うべきなのだろうか。試合の時は、喜ぶときは全力で喜ぶべきであるので、私は敬語を使ってしまうことで逆に、喜びの熱が下がってしまうのではないかと思いつつやっていた。

このように、先輩とのコミュニケーションの取り方、敬語を使うタイミングに悩みながら部活をしていた。だが、それらは自分自身と相手との関係や距離感で解決することだと、部活を通して分かった。もちろん、解決するのに時間はかかってしまうが、解決した後により良い関係が築けるということを信じて、積極的にコミュニケーションを取るべきだと思う。

[【コメントを書く】](#)

No. 561 [No.406へのコメント](#) 2017.07.01 出身: 日本 回答しない ログイン名: **こんにちは**

かけ声に敬語は合わないということがいいのかなと思いました。確かにそうですね。先輩だからといって試合中に「ナイスショットですね」などと言っていたのでは、気持ちが入らないというか、しまらないですね。私は体育系の部活に入ったことがないのでわかりませんが、そのへんは、うまく使い分けられているのか、よくわかりませんが、この筆者さんは、面白い点に気づいていると思いました。

[【No.406の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.341 作文 2017-05-24 出身：中国 ログイン名：TOMO
 居住：オーストラリア 10代 女性 タイトル：初対面の人に尊敬語？それども丁寧語でいい？

私は日本語を勉強し始めた三年間以来、ずっと初対面の人との敬語の使い分けを困っている。心の中に何度でも「尊敬語」、「謙譲語」、「丁寧語」などの区別や文法をちゃんと繰り返し覚えているのに、本番の時はどうしてもうまく言えない。

ある学校で行われていたデジタルセッションで、日本人と話す機会があった。私は十八歳で、たくさん二十代の若者たちがきてくれたりし、四十代の夫婦もついに参加してくれた。目上の人ばかり！今まで学

んだ内容によると、私はこの時「尊敬語」と「謙譲語」を使いべきだが、結局何も言わなかった。誰でも「丁寧語」のままに話してしまった。自分が一体失礼なのか、それども場によって本能の判断だか。この件に対して、私は色々考えや発想ができた。

まず、確かその時は年上の人と話したことが、実際みんなは職場の上下関係ではない、ただ日本語について話す活動だけだ。初めてあった二十代たちも、いきなりため口と私に話したのは、変なことでもない。四十代の夫婦は若い私に、ため口より丁寧語で優しく話をしてくれたことがいる。それに、私自身も「もし尊敬語と謙譲語を言うなら、距離感になる」や「この場面に丁寧過ぎると、逆に失礼」など妙な言い訳ができた。

このように、敬語の使い分けは教科書のようにかたいと思わない。もちろん職場の時はきちんと守らなければならないと思うのが、日常生活の中にはよく場面や人の性格によって変わることが多いと感じた。

[【コメントを書く】](#)

No.434 [No.341へのコメント](#) 2017-05-30 出身：JAPAN ログイン名：T
 居住：JAPAN 10代 男性 タイトル：読んでみて

丁寧語や尊敬語の使い方は、日本人でもとても難しいです。同じようなおもしろいを描いている方が日本以外にもいて、正直びっくりしました。やはり初対面のひとは、まず話しづらい。最初は丁寧語や尊敬語どちらでもいいとおもいます。会社など仕事の関係で話すのなら謙譲語を使うべきだとおもいます。TOMOさんの投稿を読んで言葉遣いにより一層きをつけようと思いました。ありがとうございました

[【No.341の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.447 [No.341へのコメント](#) 2017-05-30 出身：神奈川県 ログイン名：wan wan
 居住：神奈川県 10代 女性 タイトル：Difficult

TOMOさんの作文を読ませていただきました。まず、日本語を勉強して3年でここまでしっかりした文章をかけていること自体が本当にすごいと思います。たしかに、生まれも育ちも日本人である私ですら言葉遣いに悩むことが多いです。と、いうより私より全然TOMOさんのほうが日本語の文法について知っているなと思いました。私は職場以外では、文章にあったのと同じように話し相手や場面に合わせて言葉遣いを変えています。例えば、敬語に少しため口を混ぜて話したりすることがあります。「○○なんじゃないんですか〜？」のようにため口とは言い切れなくて、敬語とは言えないような言葉遣いをする時はかなりの頻度あります。このような言葉遣いは英語にはないなと私は思います。中国語ではどうなのでしょう

か??私も今アルバイトをしているので、目上の人や、まだあまり仲良くなれていない人とはバリバリの敬語で話しています。少し仲良くなれたりしたら上記のような砕けた言葉遣いになっています。お互いに難しい言葉遣いマスターになれるように頑張りましょう!

[【No.341の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.339

作文

2017-05-23

出身: **中国**
居住: オーストラリア

10代 男性 ログイン名: **上さん**
タイトル: 言葉遣いに悩む時

日本語の漢字は中国を中とした漢字文化圏に属しており。古来の漢字を通じて日本語の表記や、語彙に強い影響を与られています。表面でみると日本語はすごく中国語に似てます。その訳で、私は中国人として、いつも他人に:「君にとって、日本語の勉強は簡単だろう。」とおもわれています。確かに、私にとって漢字の勉強は欧米人より色々便利なところがあります。しかし、日本語の文法と語彙は中国語とも、英語ともにくらべて、全く違う系統です。その関連性はほぼ少して、孤立した言葉です。

私は日本語は結構複雑な言葉だと思っています。私にも言葉遣いに悩む時があります。「どうしゃべればいいのか?」とかんがえるときがあります。にほんごには様々な敬語や、タメ語や、男性言葉と女性言葉を含めて。使う時には時間と会話の相手を考えなければなりません。例えば、あいさつをする時、時間によって、「お早う、こんにちは、こんばんは」があります。また、相手が先輩や上の人だと「おはよう」が「おはようございます」に変わります。言葉の遣い方を間違えると、他人に変だと思われま

す。また、ほんの少しの差で意味が全然違う時もあります。私はそれを間違えて先生に凄くしかられたことがあります。例えば、「いる」と「ある」は似てるけど、「いる」は人に対して使うことばで、「ある」は部品につかうことばです。もし「人がある」というと凄く失礼な事になります。私は小学校の時、教科書を家に置き忘れてしまい、多分ロッカーにあると思い。先生に聞かれると、「確かにロッカーにいますと答えました」。だが、見つけると、ロッカーにはいませんでした。それで、先生は「確かにというのは決定的な事だ!確認できないという事は確かだ!間違えるな!」と私に言いました。

日本語の言葉遣いは日本の礼儀の文化を代表し。その文化は特別な美感を持っています。もしその文化を理解できれば、言葉遣いも簡単になると私はそう思っています。

[【コメントを書く】](#)

No.456

[No.339](#)へのコメント

2017-05-30

出身: **JAPAN**
居住: JAPAN

10代 男性 ログイン名: **T**
タイトル: 中国と日本の漢字と言葉遣い

私も中国の漢字と日本の漢字は、みため一緒だが全然違うと思っていました。同じ感じでも全く違う読み方をする事もあると、難しいなと思います。一度中国語を勉強してみようと思ったとき、とても難しく断念しました。なので、お気持ちとてもよくわかりました。日本語の「いる」と「ある」は、私たち日本人は、小さいころから使っているのでもあまり困ることはありませんが、やはり慣れていないと使いこなすのが難しい言葉のひとつだとも思います。しゃべりかけるときは、やはりあいさつからはいるのが、一番だとも思います。あいさつは、人と人とのコミュニケーションで必ず必要だからです。おはようやこんにちは、こんばんわ。どれかを時間によってつかいわけて使えばいいとも思います。しかし、目上のひとにあいさつをするときは、とくにきをつけてほしいです。笑顔で話すことができれば、良いコミュニケーションがとれるとも思います。上さんの作品を読んで

中国語に再チャレンジしてみたいと強くおもいました。ありがとうございました。

[【No.339の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.548

[No.339](#)へのコメント

2017-06-07

出身: **中国**
居住: オーストラリア

10代 男性 ログイン名: **リキ (元「上さん」)**
タイトル: こめんとありがとうございます

Tさんのコメントありがとうございます

私は言葉というものはやっぱり慣れるということです。一つの言葉になれば、喋る時は考えなくても簡単に喋れると思います。小さい頃ではあるくことは難しく、よく転ぶことがあります、でも、大きくなったら、歩くことはとても自然と簡単なことになります。私は言葉遣いもその通りだと思います、もっと喋り、もっと使い、頑張って勉強すれば、言葉遣いはますます簡単に慣れると思います。喋る時は本能的に言葉ができると思います。

また、私は相手への第一印象はとても大事だと思います、Tさんのおっしゃる通り、あいさつや敬語だけでなく、相手と話す時に笑顔を出して話すと、親切だと思われ、良いコミュニケーションになると私もそう思います。

また、現在グローバル化の今、外国人が日本語で意味が伝えられない場合は英語で言ってもいい方法だと思います。英語には敬語がほとんどないので、年下や年上の人と話す時は言葉遣いの違いはほとんどありません。喋る時は言葉遣いについて心配しなくても大丈夫です。

中国語に再チャレンジ頑張ってくださいね。

(すみません、「上さん」という名前はちょっと失礼だと思いましたので、リキに変わりました。)

[【No.339の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.550 [No.339の筆者から](#) 2017-06-08 出身：中国 ログイン名：リキ(元「上さん」)
居住：オーストラリア 10代 男性 タイトル：コメントありがとうございます

Tさんのコメントありがとうございます

私は言葉というものはやっぱり慣れるということです。一つの言葉になれば、喋る時は考えなくても簡単に喋れると思います。小さい頃ではあるくことは難しく、よく転ぶことがあります、でも、大きくなったら、歩くことはとても自然と簡単なことになります。私は言葉遣いもその通りだと思います、もっと喋り、もっと使い、頑張って勉強すれば、言葉遣いはますます簡単に慣れると思います。喋る時は本能的に言葉ができると思います。

また、私は相手への第一印象はとても大事だと思います、Tさんのおっしゃる通り、あいさつや敬語だけでなく、相手と話す時に笑顔を出して話すと、親切だと思われ、良いコミュニケーションになると私もそう思います。

中国語に再チャレンジ頑張ってくださいね。

[【No.339の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.258 作文 2017-05-15 出身：韓国 ログイン名：スター1号
居住：福岡 20代 男性 タイトル：悩むとき

みなさんは言葉づかいで悩んだときはありますか？自分は留学生のせい結構ありました。今日本の大学に通う外国の留学生たちはたぶん日本語を学ぶときに会話を集中的に学ぶ人は少なく、ほとんどは読解や聴解を基本的に学んでいると思います。読解や聴解に優れている方は大勢いらっしゃると思いますが、彼らもいざ日本で生活を始めると困ると思っています。自分も会話の練習を全くしなかったせいで、発音や文法的に柔軟に話せるのが難しかったです。

自分の日本の大学生活が始まったときに今も迷っていますが、敬語とため語を自然に使うのが難しく

日本の友達はみんな敬語使わなくてもいいよって言っても、基本的に敬語日本語を学んだ自分は、むしろ敬語を使わない方が難しかったです。

自分が日本に来て一番言葉づかいで苦労したのが自然に話せることでしたので、解決するいい方法を教えてください。では、よろしくお願ひします。

[【コメントを書く】](#)

No.300 [No.258へのコメント](#) 2017-05-16 出身：東京 ログイン名：ブラックジェントルマン
居住：神奈川県 10代 男性 タイトル：言葉の難しさ

私も海外旅行へ行った時に似たような経験があります。高校生の時にある程度の英語の読解はできました。しかし、いざ使ってみようとしてもなかなか言葉が出てこなく苦勞したのを今でも鮮明に覚えてます。学校の先生に相談しました。私は音読をしてきてなく、頭が理解していても体が英語を覚えていないということに気づきました。言葉は理解しているのを前提として、体に覚えさせることが重要なことだなと感じました。その一番の近道が音読だと思います。日本語は英語と違い、かなり複雑だと思います。敬語、タメ語それに地方へいくと方言といった日本人でも理解できない言葉や方言によって意味の異なるものもあります。私は言葉は慣れだと思うのでどんどんめげずに話してみてください。そうすると自然にタメ語や敬語の使い分けができてくると思います。敬語は年上の人や仕事先で最もよく使う言葉だと思うので敬語だけでも使えていれば素晴らしい事だと思います。敬語を使えない日本人もいるので自信を持っていいと思いました。言葉は一生勉強だと思うのでこれからも頑張ってください。

[【No.258の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.556 [No.258へのコメント](#) 2017-06-10 出身：中国 ログイン名：小籠包
居住：オーストラリア 10代 女性 タイトル：心配しないでください

こんにちは、私も留学生で今オーストラリアで留学しています。迷わないでください。外国人は他の国に行って、留学するのは勇気があることです。私はオーストラリアにあと、最初の時、言葉にずっと迷っていました。それは私は自然に英語を使うことができないためでした。あの時、私はずっと寂しい感じがしていました。自分は一体何かできますかという疑問をよく心に出しました。でも、後学校の先生は私に「ウィニーさん、心配しないでください。自然に英語を使うことができなくても大丈夫です。時間はそれを全て解決してあげますよ。」という話をしました。先生の話聞いた後、私は快活になりました。確かに、私たちは外国人なので、非母語を自然に使うことが本当に難しいと思いますが、時間の流れの中で、たくさん練習して、その言葉を使うのを慣れるになります。だから、平常心で日本人とたくさん交流して日本人の話し方を習います。それはいい練習ですよ。

他には、敬語は本当に日本人でも上手に使われないから、心配しないでください。頑張ってください。

[【No.258の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.257 作文 2017-05-15 出身：中国 ログイン名：りょうこ
居住：北九州 20代 女性 タイトル：謙譲語と尊敬語を使い分けるため

私は中国から来ました交換留学生です。最近アルバイトを探したいのですが、アルバイトをする時に使う敬語の話し方がよくわからないので、困っています。

最初にこの状況に気付いたのは人に尋ねるときでした。敬語を使うべきではないかと思いましたが、「ちょっとお聞きしたいのですが」という尊敬語を使ってしまいました。本当は「伺う」という謙譲語を使うべきでした。相手に対する尊敬を表したかったのに、結局真逆な意味にしまいました。顔が真っ赤になるほどのとんでもない失敗でした。幸いに相手が気にせず、やさしく返事してくれました。今思い出しても恥ずかしさと相手への感謝が一杯です。

二週間前にチューターの人と一緒に敬語を学び始めました。向こうがやさしい人ですので私からの質問を丁寧に答えてくれて、本当にありがたいです。その後私もだんだん敬語の面白さを知り、さらに楽しく勉強できるようになりました。

まだまだ敬語づかいの初心者ですが、これからもチューターさんと一緒に頑張ってください敬語が上手になるのを目指しています。

No.336 [No.257](#)へのコメント 2017-05-23 出身：オーストラリア ログイン名：アルコー
居住：オーストラリア 20代 男性 タイトル：敬語の悩み、よく分かります

りょうこさんの大変な失敗が本当に分かります。私もそのような経験が絶対にあります。敬語、尊敬語、謙譲語の使い方は時々難しくてたまらないと感じます。

私も、日本人と話す時に、どの敬語を使った方がいいかと空転する考えをします。本当に丁寧に謙遜に話したいが、難しいので、時々失敗が不可避のように感じます。尊敬語と謙譲語は、どの時に使うのは正しいかまだ失敗しますが、練習しているので、徐々に改善していると思います。

それに、日本人は外国人が日本語で言うことが好きだそうです。だから、りょうこさんができるだけ練習し、会話をしてみたら、まわりの日本人はうれしくなるかもしれません。つまり、りょうこさんのチューターの人と一緒に敬語を練習することはすばらしいです。私は、日本人がりょうこさんのやる気が解されると思います。

私たち、敬語の練習で頑張りましょう。

[【No.257の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.256 作文 2017-05-15 出身：韓国 ログイン名：オオシカ
居住：福岡 20代 男性 タイトル：外国人と話をうまく続けるためには

私達は今世界化された世の中で生きている。それによって私達は一国の中でいる人だけではなく、様々な外国の人達と話をする必要がどんどん大きくなっている。しかし、自分の国の人と話をうまく続けることも簡単ではないはずなのに、外国人を相手に話をすることはとても難しい。特にその外国語を知っていると、話が進むためにはその国の文化や価値観そして生活様式を把握しなければ誤解が現れるだろう。私は相手と話をうまく続けるためには、配慮と尊重が必要だと思う。当然な話だろうが私たちは常にそのことを理解したうえで生きていかなければならない。相手の文化や価値観を理解して、これを尊重し、配慮するとその人も聞き手の立場で考えることになって、相互について、知ることができて話はうまく進むはずだ。未来を予測することができない世の中、国家間境界がやぶれるか、維持するか分からないが、私達は尊重と配慮の考えを持っているべきではないだろうか。

[【コメントを書く】](#)

No.268 [No.256](#)へのコメント 2017-05-15 出身：静岡 ログイン名：リングジュース
居住：神奈川県 10代 女性 タイトル：外国の方との交流

私は海外に旅行に行ったときに、たくさんの現地の人と交流をしましたが中々相手の人と話を続けることができませんでした。本当はもっと深く交流をしたかったのですが、相手の国のことを何も知らなかったがためにうまく会話が広がりませんでした。

確かに、今世界では様々な外国の人と話す機会があり外国の人と話す必要性が大きくなっていると思います。

私もオオシカさんがおっしゃっているように外国語を知っていても、話が続くためにはその国の文化や価値観、生活様式を把握していないと誤解を招いてしまうと思います。相手のことをよく知るということは外国の方との会話のときだけでなく、同じ国の人との会話でも必要になってきます。相手をよく知るということは、とても大切なことです。相手のことを理解し、そこを尊重し配慮することで相手と深く交流することができ交流の輪が広がると思います。

私たちはもっと相手に対し尊重と配慮の心を持って生活し交流していくべきだと私も思います。

[【No.256の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.252 作文 2017-05-14 出身：神奈川県 10代 男性 ログイン名：ヘッジボックス
居住：神奈川県 タイトル：LINE

私はLINEに付いて考えてみた。

一つ目は上手くコミュニケーションがとることが出来ない。

周りの子は、LINEを楽しく話しているのに自分だけ変に気を使ってしまうことが何度もありました。例えば急に「今何してるの？」って聞いて「忙しいんだよ」とか思われたりするのが怖くなったり、「今日の宿題あったけ？」といった学校の課題などといった連絡を何度も繰り返すだけで、単純に何を書けばいいのか分からなくなったりして、上手くLINEでのコミュニケーションが出来なくなる。だけど自分から連絡しないと仲良くなれないので話題を見つけ出して友達とコミュニケーションを取るのもいいかもしれません。

そして2つ目がよく若者が使う略語

友達同士でやり取りする時によく使われるもので、例えば「そうだよね」「確かに」を「それな」と言い「半端ないな」のことを「パネー」と言った言葉を使ってコミュニケーションをとっている。ですが友達同士でのやり取りはいいかもしれないが40代以上の年代の人達には全く理解出来ずどのような言葉を使ったらいいのか分からなくなる。特に自分達の親に送っても親は「何を言ってるんだ」と思われて理解出来ずに上手くコミュニケーションをとることが出来ない。

若者には当たり前のことかもしれないがそういった年代の人達には、略語を使わず読める言葉を使ってコミュニケーションをとってあげたらいいのかもしれない。

これらのことから言葉遣いによっては相手とのやり取りが変わっていくものだと実感した。

[【コメントを書く】](#)

No.293 [No.252へのコメント](#) 2017-05-16 出身：神奈川県 10代 無答 ログイン名：simo
居住：神奈川県 タイトル：SNSの使い方

私もヘッジボックスさんの文を読んでSNSを利用するときは注意がとても大切だと思いました。

SNSの会話では、文字だけで会話するので自分も相手の感情が読み取りにくいし、私も、SNSで会話をしている相手は冗談のつもりで言っているのかもしれないとわかっている不安になったら不快に思ったことが何度かあります。

SNSで会話するときは普段相手と面と向かって会話するとき以上に言葉づかいに注意し、また、相手に送る文面も文字だけにするのではなく顔文字やスタンプなどできる限り自分の感情を相手に伝えられるように少しでも工夫すれば、すれ違いを少しは減らせるのではないかと思います。

[【No.252の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.294 [No.252へのコメント](#) 2017-05-16 出身：日本 10代 男性 ログイン名：ジョージ
居住：神奈川県 タイトル：LINE 感想

私はヘッジボックスさんの文を読んでSNS(LINE)のやり取りをする時の大変さなど共感でき感想を書きます。

LINEの会話では、文字やスタンプがあり会話するので自分も相手の感情が読み取りにくいし、相手も同じ

事を思っていると思う。私も、LINEで会話をしている年上の人にはなるべくスタンプなどは使うようにし、失礼のないよう配慮しながらスタンプを使い感情など伝え略語などは使わないようにしてます。

LINEで会話するときは、普段相手と面と向かって会話するとき以上に言葉づかいに注意する必要があると思いました。できる限り自分の感情を相手に伝えられるようにするとお互いの勘違いも、なくすことはできなくても少なくすることはできるのではないかと思いました。

これからもLINEを使っていくうえで細心の注意をはらいながら使っていきたいです

[【No.252の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.363 [No.252へのコメント](#) 2017-05-26 出身：台湾 10代 男性 ログイン名：ジロ
居住：オーストラリア タイトル：友達とのコミュニケーション

私はヘッジホッグスさんと共感できます。

私も昔LINEやFacebookで会話をして、すごく気を使って会話を少しずつ進めていました。友達はいつものんきで「今日の晩ご飯何食べた？」などを聞いていて、私はそう聞かれたら自分はただ答えをしてその話題を変えずに返事をしていました。ある日友達は「なんでチャットで話をしないの」と聞かれて、「何を書けばいいのか」と「どんな話がいいのか分からない」と友達に言ったら、友達は「別に何でもいいよ、チャットなのでそんなに気にしなくてもいいよ？」と答えました。

もちろん、言葉と内容は相手によって違うけど、友達と話したいだけなら、そんなに気をつかなくてもいいと思います。話題などを気にせず、ただ自分が言いたいことを書いて会話を進んだほうがいいと思います。また自分が相手に伝えたいことを素顔に話した方もいいと思います。

[【No.252の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.422 [No.252の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川県 10代 男性 ログイン名：ヘッジホッグス
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます

Simoさんコメント書いてくれてありがとうございました。

Simoさんは「相手は、冗談のつもりで言っているかもしれないとわかっていても不安になったら不愉快に思ったことが何度かあります」と書いていますが自分と少し似た感じがして共感した。仲の良い友達とかだとふざけて話していますが、知り合ってあまり話したことがない人だとふざけて話すことが出来ないのでもとても重い感じの流れになる。自分は頑張って知らない人と積極的に話、相手の好きなジャンル話などをしていきたいです。

Simoさんも自分の好きなものを言ってみたら不安な気持ちが無くなると思われる。

Simoさん参考に書いてくださった絵文字やスタンプなどを使って相手の距離も縮めることができトークが盛り上がるので今後使わせていただきます。一石二鳥でとてもいいことだと感じた。少しでも工夫をしていくのがこんなに大事なことだと改めて思われた。

今後ともヘッジホッグスの作文を読んでください。よろしくお目買いします。

[【No.252の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.446 [No.252の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川県 10代 男性 ログイン名：ヘッジホッグス
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます

ジョージさんコメントを書いてくださりまことにありがとうございます。

ジョージさんは絵文字やスタンプなど使って工夫をしていてとても良いと感じた。自分はあまり絵文字やスタンプ使うことがなく親しい友達と普通に連絡を取り合っているだけなのでジョージさんみたいに年上の人にはなるべく絵文字やスタンプなどは使わないようにして、親しい友達に絵文字やスタンプを使っていきたい。そしてトークを弾ませて一段と盛り上げて仲良くやっていきたい。

一生懸命思いを伝えれば思いが伝わるのが分かった。普段相手と話すときあまり言葉を気にせずしゃべっているの、出来るだけ自分の言葉を気にしつつ相手に伝えられるに話していきたい。

ジョージさんからいろいろなこと学ぶ事が出来てともよかったと思いました。自分もいろいろなことを工夫して、先輩・後輩・友達とかにより盛り上がるようなトークをしいきより仲良くしていきたい。

今後ともよろしくおねがいします。

[【No.252の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.458

[No.252](#)へのコメント

2017-05-30

出身：日本
居住：神奈川県

10代 女性 ログイン名：スザルル
タイトル：最近のコミュニケーションで思うこと。

私は正直言ってLINEが嫌いである。なので、メールもSNSもきらいである。

確かにこれらのアプリやサービスはとても便利であるので矛盾するが頻りに利用している。しかし、相手の考えや表情がこちらには全くわからないのだ。私はこれらを利用しているときに、コミュニケーションが成立しているように思えないのだ。

私は若者たちがよく使う言葉に対しても疑問に思うことが多々ある。まさしく、そのような言葉だ。これも確かによく使うが、私は嫌いだ。親世代だけではなく、私も何を言っているかよく分からない。

この文を読んでみた自分もよくわからないような言葉は使うべきでないと改めてよく考えさせる文章だと私は思った。、

[【No.252の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.517

[No.252](#)の筆者から

2017-06-03

出身：神奈川県
居住：神奈川県

10代 男性 ログイン名：ヘッジホッグス
タイトル：ありがとうございます

ジロさん、コメントを書きいただきありがとうございます。

ジロさんは、ちゃんと友達のチャットを話題を変えずに返事を返しているのは、とても良いと思いました。友達に「何でチャットで話しをしないの」と言われてましたが、ジロさんの今はやっていることとか趣味など好きなことをチャットで言ってみたらより仲良くなると思われる。そうすれば、友達と話が盛り上がるしより仲が深まると思う。

言葉と内容によって、友達と話だけならあまり気にせずやり取りをして、自分より年上の人には言葉に気をつけて仲良くやっていきたい。SNSとかで話さず何処かで会って、素顔で話すのもいいと思いました。

そんなに気をつかなくてもいいと言ってくれてとても落ち着いて話したら上手くいくことができたので、ジロさんのおかげで気にせず話していくことに決めました。

ジロさんが言ったことをいかして、友達や先輩に気を使わせないようにしていきたい。

[【No.252の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.244 作文 2017-05-11 出身：中国 ログイン名：しょうこ
居住：北九州 20代 男性 タイトル：ことばづかいに悩むとき

私は日本語を勉強し始めるのは、日本のドラマを好きになってからです。だから、真剣に日本語を勉強する前に、もうすでにドラマやアニメの中のことばづかいに影響されました。日本語の勉強は標準語から始まります。です、ますから始まって、3つ注意が必要なんだって先生に何度も忠告されているんですけど、私は全然タメ口と敬語を区別しようとしてませんでした。そのせいか、今友達と話す時タメ口からいきなり敬語になって、あるいは先生と話すと失礼なことを言ってしまったりとか、そのようなことがいっぱい、自分も自分のことに腹が立つぐらい後悔しています。これからは、敬語とタメ口をきちんと意識してから口にだすよう、自分をお願いします。

[【コメントを書く】](#)

No.297 [No.244](#)へのコメント 2017-05-16 出身：神奈川県 ログイン名：まうす
居住：神奈川県 10代 男性 タイトル：言葉遣い

私は海外の映画やドラマを見るのが好きです。いつもではないですが字幕を見ながら見ることもあります。テレビを見ているときに外国の方がテレビを見たり、アニメを見たりして言葉を学んだということを知ったりします。しかし、そこで見たテレビやアニメでは社会で通用する言葉使いをしているとは限りません。その言葉遣いに慣れてしまうと本当はおかしな言葉遣いだということに気付かずに敬語や丁寧語を使う必要があるときに困ります。

私には小学生の時に全く日本語が話せない人がいました。初めのころはコミュニケーションが取れず大変なこともありました。が、学校生活を送っていくうちにしっかりと日本語を話せるようになっていきました。慣れも必要なことなのだなと思いました。

私も気付かずにおかしな言葉遣いをしているときがあると思います。なのでそのようなことが起こらないように気を付けたいと思います。

[【No.244の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.243 作文 2017-05-11 出身：中国 ログイン名：ドラゴン
居住：北九州 20代 男性 タイトル：「今度はいつ」

アジアの国の人々は曖昧な表現をすることが多い。特に日本人がよく使っている。日本語を勉強し始めた時、どうしても日本人とのコミュニケーション上手く出来ない。

「今度xxね～」と言われる時、日本の習慣をよくわからない外国人にとって、理解できない。「今度」は今すぐの意味だと思った外国人は少ない。実際にはそれがただ「こんにちは」、「またね」ぐらいの挨拶だ。

アルバイトをする時、仕事に店長さんや先輩に仕事のやり方について注意されたことがある。でも良い悪いをはっきり言わないと、分からないままやり方を直せずする人が多いと思う。体の疲れにより、心の方が疲れやすい。

コミュニケーションがうまくいく方法は何か。日本の文化と習慣をよく理解するのは前提だと思う。相手の心を傷つけないように、相手の立場から考え行動するのは日本人だ。それを分からないと、嫌悪が生じて交流も失敗するはずだ。

日本に来てからもう二年たった。日本人とのコミュニケーションは苦しいから楽しいになった。まだ十分

に理解することが出来なくても頑張っている。

[【コメントを書く】](#)

No.301 [No.243へのコメント](#) 2017-05-16 出身：東京都 ログイン名： **ブラックジェントルマン**
居住： 神奈川 10代 男性 タイトル：気付かされました。

日本人には島国独特の物をはっきり言わないような一面があるんだなと気付かされました。そこが日本人の良いところでもあり、悪いところだと思います。良い部分もあれば悪い部分があるのが文化だと思います。敬語が表していると思います。友達に敬語を使っていると親しい感じはしません。しかし、初めて会う人や年上の人に使えば、しっかりしていると好印象を与えたいと思います。

また、日本語は日本人でも曖昧すぎて理解できないことが多々あります。例えば、「私は大丈夫」といった、良いのか悪いのか理解できません。相手を気遣う心は大事だと思いますがしっかり自分の意見は言わないといけないと思います。東京オリンピックに向けても日本人自体が他の国の文化を理解し、良い部分を取り入れ、日本人のあまりよくないところを直していかなければと感じました。また、日本人だけと話していても日本の悪いところや良いところに気づけないと思います。私もより英語などの他国語に力をいれ、色々な考えを吸収していきたいと思います。言葉は一生勉強だと思うので一緒にこれからも頑張っていきたいと思います。

[【No.243の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.242 作文 2017-05-11 出身：中国 ログイン名： **アンニ**
居住： 北九州 20代 女性 タイトル：ことばづかいに悩むとき

日本に来てもう一年半ですが、自分の日本語力に自信がないところはまだ山ほどあると思います。実は、この一年半日本生活と言うか、まだ留学していない気がします。日本の日本語学校でことばを学んだり、日本生活を過ごしたりと言っても、実際同じ日本語を学んでいる留学生としか付き合わない人です。どうやって日本語を学んでも、自分の能力はまだまだ足りません。バイトの時、日本人のお客さんにサービスするのがとても不安です。自分の発音や言葉づかいなど、相手には理解できないかもしれません。

外国人として、全く知らない国で他の言葉を学ぶ時、不安感がありますが、そういう時、周りの人などは理解してほしいです。それでも、自分も日本の生活に慣れるように努力しなければなりません。勇気をもって、日本人とおしゃべりしたり、楽しみをしたりすることが良いと思います。言語の勉強はミスがあっても、怖くない大丈夫だよと考えることが一番大事だと思います。

[【コメントを書く】](#)

No.331 [No.242へのコメント](#) 2017-05-21 出身：オーストラリア ログイン名： **パン**
居住： オーストラリア 20代 女性 タイトル：ことばづかいに悩むとき

アンニさんの作文を読んで、アンニさんが十分勇気を持っていると思いました。一人で海外に行ったこともない私にとって、日本で留学して、しかもアルバイトをするのが相当に難しいと思います。しかし、オーストラリアでも日本人と話す時、日本語で会話する自信がないことや不安を感じた時があります。アンニさんが言った通り、ずっと怖くて何もできないと考えるのは良くないと同感します。

もしれないというような心配があります。日本人と多く交流できうためには、まず、相手の話を聞いて、返事するほうがいいと思います。相手の話の丁寧さにすれて返事すればできると思います。また、我が国より日本の敬語のほうがすごく多いと思います。年上や年下や同じ高さの人など何種類もあります。人によって声をかけるときと返事するときの話し方が違います。バイト先の人や学校の先生などと会話するとき、よく悩んでいたことがあります。話の丁寧さを上手に入れるために、自分は日本人と会話するとき、それらの話をよく注意して、学びながら、直したいと思います。

[【コメントを書く】](#)

No.327 [No.239へのコメント](#) 21/5/2017 出身：オーストラリア ログイン名：brax
居住：オーストラリア 20代 男性 タイトル：私もそう思います

日本語を勉強している学生として、ヨーさんの気持ちがよく分かります。私はもう6年ぐらい日本語を勉強しましたが、敬語の使い方や、どんな言葉使いを使った方がいいなど、まったく自身がありません。実は、日本に行く前に、言葉遣いの大切さに気づきませんでした。オーストラリアでは、知らない人と話しても、砕けた話し方を使うのは普通だから、初めて日本に行った時、タメ口をいつも使ってしまいました。オーストラリアに帰ってから、言葉遣いをちゃんと勉強して、変な日本語で話したことに気づいて、自身はなくなりました。

私だけでなく、他の生徒達も敬語や言葉遣いに悩んでいて、日本語の勉強の一部として、一番難しいのことだと思われています。なぜ皆さんはこの意見があるか、いつも考えています。一つの理由は日本語のクラスで、文法や単語の勉強に中心に勉強しすぎて、言葉遣いを勉強する時間がなくなるかもしれません。

結局、自然な日本語を使う能力を手に入れるために、言葉遣いをよく勉強する必要があります。

[【No.239の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.237 作文 2017-05-11 出身：中国 ログイン名：QiQi
居住：北九州 20代 女性 タイトル：「本当の意味」は何？

今毎日日本語を使っていますが、意味不明な時もたくさんありました。友達や先生たちと話す時も、へええ？何？もう一度話してくださいとかもう一度お願いしますとかの言葉をよく聞かれたり、こちらから質問があるときも聞いたりする。悩んでいる。

たとえば、ふつうの日常会話で、書き方が同じだけど音調が違う言葉もたくさんある。雨と食べるあめ、柿と海中のかき、橋とごはんを食べるときに使うはし、空で浮かんでいる雲と生き物のクモ...ことばの発音が下手だと相手は私が何をいったものか分からなくなってしまった。こういう時、自分が伝えたいことを伝えなくなるので、私は困ってしまう。また失礼かもしれないが、日本人は他人の気持ちを優先するので、相手は悪くても直接批評の言葉を言わないことが多い。もちろんこの時は自分の経験が足りなくて、もっと練習して多くの人と話すようにするのが意味不明の解決方法だと思います。

[【コメントを書く】](#)

No.338 [No.237へのコメント](#) 2017-05-23 出身：中国 ログイン名：ナイト
居住：オーストラリア 20代 男性 タイトル：コメント

日本語を勉強しているの人にとって、きっと誰もこういう経験があるはず。私も例外じゃない。あの時、私も一倍悩んでいた。”どうしたら日本語を上手く喋れるようになる”についてもたくさん考えた。あの時の私を救ったのは、日本語のドラマだった。

ドラマはどれも面白かった、その中の会話を毎日聞いても厭きれることはなかった。ドラマを見ている途中、自分が見た事がない単語、聞いた事もない発音をメモし、その後自分がその単語をよく覚えるまで何

度も唱えた。たくさん時間がかかるけど、それから私の日本語が益々上手になった。前には知らなかったの単語を聞いた時は、”あ、これあのドラマで聞いたことがある”と考える時もたくさんあった。これが私の解決方法だった。もしあなたを助けることができたなら嬉しい。

あなたは聞いている人の気持ちは優先と考えた、人の話も頑張って聞いていた。そんなあなたは優しいだと思ふ。今は間違いがあってもいい、あなたは素晴らし人だから、きっと日本語を上手く喋れるようになるはず。

[【No.237の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.353 [No.237へのコメント](#) 2017-05-26 出身: オーストラリア ログイン名: **bakingpaper**
居住: オーストラリア 20代 女性 タイトル: みんなもこんなことを悩んでいるよ

私もこんなことを悩んでいます。日本語を勉強している人は全員をこんな問題があったことがいると思いますよ。

QiQiさんは「日本人は気持ちを優先して、相手は悪くても批評しない」ということと思っています。それならば、私も賛成ですが、いい友達をできた時と毎日と話ししている人に「私の日本語を間違ったら直してください」と言ったら、手伝ってくれると思って、自分の日本語も改められると思います。

QiQiさんはいっぱい練習することは「解決方法だと思います」と言っているが、私は反対です。いろいろなところから聞いて、だんだん発音の違いが分かりやすくなると思います。例えば、字幕がついているドラマとかをいっぱい見たり、聞いたり、発音と意味がつながれる用になりますと思います。もう一つの習い方は教科書課ネットで調べる。そこで言い方があります。例えば、甘いあめはまず低い音から高い音になり、降っている雨は高いから低い音になる。

どうせ、間違いをいっぱいして、続いていて、経験から学んで直してください。そんなに気にしないでください。

[【No.237の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.536 [No.237へのコメント](#) 2017-06-06 出身: インドネシア ログイン名: **katsudon**
居住: オーストラリア 20代 男性 タイトル: 基本すぎるかな

QiQiさんの作文を読みました。「同音異義語」について自分の意見をお返ししたいと思います。私はまだ日本語の初心者ですが、私の経験に、同じ発音を持っている言葉は確かによく間違っているんです。どんな言語を学んだときでも、最初にそうだろうかという感想があります。「同音異義語」を上手く使えるため、色んな状況で語彙をためてみないと経験値が上がらないです。でも、間違った時には他人からの注意か教えをもらえないなら、自分が間違っていたことを気づいていないこともある。そのため、同級生か友達か先生にたくさんの質問して、ネット上のリソースを参照したり、書物を読んだりするのは一番速いだと思います。特に大事なものはネバーギブアップ。偉大なことは、時間がかかる。あまり基本なアドバイスですが、QiQiさんの「意味不明の解決」の道に役に立てるなら嬉しいです。

[【No.237の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.236 作文 2017-05-11 出身: 韓国 ログイン名: **Polo bear**
居住: 北九州 20代 男性 タイトル: 性格の変化

私は沢山人の前で上手く話すことや知らない人に声をかけることはできなかった。もちろんこれは普通に考えてみれば可笑しいことではない。私が“このことを治そう”と思うきっかけは高校の時先生の推薦のお蔭で全国スピーチ大会に参加した時だった。そこには全国から学生が集まっていて、沢山のお客様が学生の話の聞くことを求めて参加をしていた。内省的の私にとって全国スピーチ大会はとんでもないところだった。もちろん結果は大惨敗だった、しかし大会が終わった後私には少し変化があった。それは、そこで友達を作ることが出来たのだ。そこに参加した学生さんはみんな愛想がよくて私にもたくさん声をかけ

てくれた。その時、人と話をするのがこんなにも幸せなことだろうと初めて思った。大会後私は物足りない気分を感じた、それは人と話をする時間がすくなくなったからだった。それで私は自信を持ち横にいる人に話かけてみた。最初、仲良くもない私が声をかけたので戸惑った反応を友達は見せた。それは当然だと思っていたので、私は止まらずに頑張りながら怖がらず話をもっと続き始めた。私が話をすればするほど、友達は一人、二人集まった。そうやって私の内省的だった性格が、人との話を求めて、新たに友達を求める性格に変わって行った。

[【コメントを書く】](#)

No.350 [No.236](#)へのコメント

2017-05-26

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

10代 女性 ログイン名： **mayitbemay**
タイトル： Polo Bearさんの経験がよくわかる

人生経験がわかる文章で、とても面白かったので愛読していた。Polo Bearさんのように私も内省的な性格だった。私は誰かから嫌われるのを怖がっていたので、私の口は全然動けなくて意見と気持ちをちゃんと伝えなかった。人は自分に忠実であるべきだとわかっていたが、内省的な性格の人にとってその恐怖に打ち勝つことが大変難しい。私はインターネットとかで友達を作ったり、クラブに入ったり、もっと会話するように頑張ったりすることで外交的な性格になった。その理由で、Polo Bearさんの経験がよくわかる。先生とは子供の心と性格を形成するのを助けるという事実がこの文章で見られる。みんなはそんな優しい先生がいてくれたらいいなと思った。その上、自分の性格が変われないとか、恐怖に打ち勝てるかどうかを気にしていない人が沢山いるので、いい結果になって嬉しかった。読みながら、他にも自信を増せさせる方法があるのかなと思った。

[【No.236の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.427 [No.236](#)へのコメント

2017-05-30

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

10代 女性 ログイン名： **wan wan**
タイトル： チャレンジ

Polo bearさんの作文を読ませていただきました。まず、高校生の時に訪れた自分を大きく変えられるチャンスにチャレンジしたこと自体が素晴らしいと思いました。推薦を得られることも凄いことですし、さらにチャレンジしてしまう決断力、行動力を持っている人はそう多くないと思います。「自分の課題点を明確にして、チャレンジしてみて、そこでどこがまだ足りなかったかまで見つけて、次の行動に移す」このような行動は社会人になっても大事な力の一つです。と、以前受講したキャリアデザインの授業で習いました。そして言い方は違いますが高校時代の恩師にも同じようなアドバイスをいただいたことがあります。「やってみなきゃ分からない、やりっぱなしにはしない」私はいつもこの言葉を胸に何事もチャレンジだと思い日々暮らしています。今は人生初めてのアルバイトや、新しい環境での勉強に励んでいます。なかなか思った通りにはいきませんが、それもそれで自分の貴重な経験だと思って乗り越えていってまします。Polo bearさんもその時に得た経験を活かして、お互い良い1日1日を過ごしていきましょう！

[【No.236の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.231 作文

2017-05-11

出身： **日本**
居住： 日本（北九州）

20代 女性 ログイン名： **はちみつ**
タイトル： 敬語を使うとき

私は居酒屋でアルバイトをしています。そこのお客さんはサラリーマンの方が多いです。接客は基本的に敬語で行うので、バイトを始めたときは、苦労しました。大学の生活では敬語は使っても先輩に対してが多いのであまり年上の方と話したことがありませんでした。お客さんと初めて話すときは緊張しました。すぐにまだ始めたばかりだということがばれました。最初の頃は言葉が出てこなくて変な敬語になってしまったり笑われたことも何回かありました。すごく恥ずかしかったけれど、優しい感じで笑ってくれました。今ではそういうことも少なくなっていて、最初の頃よりうまく話せていると思います。それに、たまに雑

談をする時間が楽しいと思えるようになりました。友達ととため口で話すときは、くだらないことを言い合ったりしてそれはそれで気が楽ですごく楽しいけれど、会社に勤めている方など人生の先輩と話すのは勉強になることも多く、また違った楽しさを感じています。まだまだ完璧に敬語を使って話すことはできないけれど、いろんな人と話したいと思っています。

[【コメントを書く】](#)

No.264 [No.231](#)へのコメント

2017-05-15

出身： **沖ノ島**
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名： **パチョフ**
タイトル： 人との会話

私もアルバイトを始めたばかりのころは、会話の最中で敬語がわからなくなってしまうことが多かったです。そして言葉が詰まってしまったり、変に嘸んでしまったり、変な日本語になってしまいました。優しく笑ってくれるお客さんだと平気なのですが、「は？」と怒り気味のお客さんだと心臓がバクバクしてしまいますね。

優しいお客さんに敬語で対応したときに優しくしてもらった時や、アルバイト先の先輩と話しているときは敬語だけど年下の楽しさが心地いい気がします。友達とため口で話すときは違った楽しさがあるという部分にとっても共感できました。アルバイトの仕事だけだときつくてやめたくなくなってしまいますが、先輩と話す事などが楽しいから続けることができます。

私も人見知りでなかなか自分から話に行けないけど、人と話すのは楽しくて好きなほうだからもっと話していききたい。そして先輩や目上の方たちとも話していき、敬語の使い方もマスターしていききたい。

[【No.231の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.531 [No.231](#)へのコメント

2017-06-05

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

20代 女性 ログイン名： **桜花**
タイトル： 敬語は難しい

私も敬語を使うことは緊張に感じます。大学で日本語を勉強する時敬語を学び始めました。英語で話す時敬語の言葉がないから、難しくなって、慣れることも苦労しました。日本人の友達と喋る時いつもタメ口を使います。日本語を勉強する学生として、日本語の授業では先生に丁寧語を使います。だから、いつもタメ口と丁寧語を使いましたから敬語を使うことは慣れにくいです。

日本に旅行する間にレストランやコンビニで従業員が敬語を使うことを聞く時、敬語をうまく話したと思います。外国人に対する自然に聞こえると思います。日本のサービス業では敬語を使うことは丁寧で良いイメージがあります。

はちみつさん、アルバイトで敬語がだんだん上達することは良いね！将来に会社に務めることは敬語の知識が役に立つ。日本人の敬語について意見を読んで、違い意見に考えられます。私もタメ口の言葉の方が優しくて楽しいと思います。敬語を上達すると良いですね。o！

[【No.231の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.230 作文

2017-05-11

出身： **中国**
居住： 日本（北九州）

20代 男性 ログイン名： **桑折**
タイトル： 留学生は同じ年齢である先輩、または年下である同級生との会話

私は今年の四月に、大学に入学しました。母国で高校を卒業しました後、日本に来て日本語学校で二年間で学習しましたので、だいたい同級生より二歳年上、三年生の先輩と同じ年齢です。

日本では、先輩、または年上の方に敬語を使うルールがあります。では、私は先輩と同じ年齢、にまで

先輩より年上、また同級生はほぼ年下の場合は、どうすればいいですか、悩んでいました。

入学式で出会った同級生は、私は年上ということを知りました後、いきなり敬語になりました。そうしたら、かなりの距離感を感じました。仲良くなりました後、タメ口でもいいですと言いました。そこで同級生の問題を解決しました。

また、サークルに入ったら、先輩との交流が頻繁になりました。私はすでに成人したから、飲み会を参加できます。先輩たちとの関係はどんどん良くなって、最後に、みんな同じ年ですから、タメ口で話していいですといわれました。

そこから考える、やはりどういう言葉遣いか、相手との関係で決めるものだと思います。最初の時に、みんなは敬語を使ったけれども、関係が進んでいると、言葉遣いも変化していきます。

[【コメントを書く】](#)

No.323

[No.230](#)へのコメント

2017-05-19

出身：マレーシア
居住：オーストラリア

20代 女性
ログイン名：もち
タイトル：感想

桑折さんの作文を読んでとても勉強になりました。改めて、日本人は上下関係に対する意識は非常に強いのではないかと思いました。確かに、自分より年上、社会地位が高い人に対して、敬語を使うことは尊敬な表現ですが、桑折さんが言った通り敬語を使うと距離感を感じる可能性もあります。

一つ聞きたいことがあります。桑折さんは自分のことを同級生より年上だとおっしゃっていましたが、実は2歳しか違わないということですよ。それはあまり大きくない年齢差なのではないですか。どちらかというと、まだ同年代の人だと思います。そうしたら、桑折さんの同級生は自分より二歳だけ年上の人に対して敬語を使う必要がありますか。

詳しく考えると、これは文化の差かもしれません。オーストラリアには上下関係などあまり気にしていないので、年齢も関係も気にせず誰にでもくだけている話したで話してもおかしくないです。例えば、皆は当たり前のように大学の先生を下の名前で呼んでいます。そして、私も桑折さんと同じように自分の母国を離れて異国に留学しましたので、18歳の同級生たちより年上です。日本と少し違って一年生でも二年生と三年生と同じクラスにいることはよくあります。それでも、皆はほぼ同じ年なわけで、先輩後輩というような関係はあまりないときがします。それはオーストラリアには上下関係はあまり意識されていないかもしれん。

桑折さんの作文はすごく考えさせられました。国と文化によって年というものに対する考えも違うんだを気づかされました。

[【No.230の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.360

[No.230](#)へのコメント

2017-05-26

出身：オーストラリア
居住：

10代 男性
ログイン名：ジャレッド
タイトル：日本とオーストラリアの違い : 年齢と社会的地位に関して

私の年齢の頃オーストラリアにいる私と同じぐらいの年齢の日本人の学生と話すときに、私にあまりフォーマルに話さないように頼まれます。例えば、最近、メルボルン大学で日本人と一ビジターセッションを行いました

。私の年齢に近い日本人は、距離を作るので丁寧語を使わない方がいいといわれました。私と同じ年齢の人に敬語を使うべきかを知る時は難しいと思います。それがはるかに高齢の人であるか、またはかなり高い社会的地位を持っているときだけ明らかです。

オーストラリアでは、上司と話すときに、オーストラリア人は時々自分のトーンと話すスタイルを少し変

えると思います。たとえば、目上人に質問を丁寧に尋ねるときに、たまに過去形または仮言語（例：でしょう）を使用するときもあります。しかし、私の経験では、高齢者は、私たちがそれらのように話すことを期待していません。そして、このようにも話しなくても大丈夫です。

日本語のような正式な状況には、英語とはまったく違う言葉がないようです。私はオーストラリアの文化は非常にのんびりだと思います。私は圭吾を持っていないのでうれしいです。

[【No.230の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.362

[No.230](#)の筆者から

2017-05-26

出身：オーストラリア
居住：

ログイン名：ジャレット

10代 男性 タイトル：日本とオーストラリアの違い : 年齢と社会的地位に関して

私の年齢の頃オーストラリアにいる私と同じぐらいの年齢の日本人の学生と話すときに、私にあまりフォーマルに話さないように頼まれます。例えば、最近、メルボルン大学で日本人と一ビジターセッションを行いました。私の年齢に近い日本人は、距離を作るので丁寧語を使わない方がいいと言われました。私と同じ年齢の人に敬語を使うべきかを知るときは難しいと思います。それがはるかに高齢の人であるか、またはかなり高い社会的地位を持っているときだけ明らかです。

オーストラリアでは、上司と話すときに、オーストラリア人は時々自分のトーンと話すスタイルを少し変えると思います。たとえば、目上人に質問を丁寧に尋ねるときに、たまに過去形または仮言語（例：でしょう）を使用するときもあります。しかし、私の経験では、高齢者は、私たちがそれらのように話すことを期待していません。そして、このように話さなくても大丈夫です。

日本語のような正式な状況には、英語とはまったく違う言葉がないようです。私はオーストラリアの文化は非常にのんびりだと思います。私は敬語を持っていないのでうれしいです。

[【No.230の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.214

作文

2017-05-09

出身：にほん
居住：にほん

ログイン名：藤原さくら

10代 男性 タイトル：バイトなど初対面の人との会話

バイトなど初対面の人との会話

北川拓実

私が言葉遣いで困ったときはアルバイトの先輩との話し方、呼び方についてです。

私は高校時代サッカー部に所属していました。そこでの先輩の呼び方は〇〇くん！と、その人の名前やあだ名にくんをつけて、呼んでいました。また、自分が上級生になって、後輩から拓実くん！と呼ばれるようになりましたが、なにも気に留めはしませんでした。日常生活で話すときもあまり敬語は使わず、上下関係などもなく、分け隔てなく接していました。しかし、いざバイトを始め、くん呼びをすると、あまりいい印象は持たれません。なので、さん呼びにすることにしました。最初は違和感がありましたが、社会のマナーとして、さん呼びが一般的なので、直していこうと思いました。

バイトでは年上の人が多く、ほとんどが敬語でした。そのせいか、初対面の人で同じ年齢の人でも敬語を使ってしまう。そのことによって、少し距離を置いていると錯覚されてしまいます。だからといっていきなり知らない人のため口を使うのも、あまり好ましくないと私は考えます。

このことなどから私は解決策を考えました。それは、相手の口調に合わせるということです。私は、あまり自分自身から話しかけることがないので、話しかけられたときに実践してみようと思います。また、これからは待つだけでなく自分から話しかけに行き、初対面の人との会話を得意にしたいと思いました。 s

S S S S S S S S S S S S S S S S S

[【コメントを書く】](#)

No.324

[No.214](#)へのコメント

2017-05-20

出身：中国
居住：オーストラリア10代 男性 ログイン名：エド
タイトル：きっと大丈夫です

藤原さくらさんの作文を見ると、自分もそういうような時期があったことに気がきました。だから、藤原さくらさんの気持ちに同感します。

前日本語の先生に自分の悩みを話してみました“言葉がちゃんと頭の中にあるにも関わらず、どうしていつ、何を話せば分からないでしょうか”と先生に尋ねました。そして、先生がそう言いました“十八歳の人がどう勉強しても訳者にはならないってなんでだと思う、それは経験があんまりにも少なくてなれないです。”その話を聞いて、自分は今、誰しも乗り越えなければならない時期にいるじゃないかと、私はそう思いました。

藤原さくらさんもきっとそういう時期にいるはずです。なので、焦らないでもっと人や物に出会って、話をしてたら、正しい言葉使いをしっかりと身につける日は必ずきます。相手の口調に合わせることも段々簡単になるでしょう。

これからも自分から人にどんどん声をかけて、頑張ってください！きっと大丈夫ですから。

[【No.214の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.488

[No.214](#)の筆者から

2017-05-30

出身：日本
居住：神奈川10代 男性 ログイン名：藤原さくら
タイトル：コメントありがとうございます

この時期はいつか過ぎるんですね。

やはり言語の違いというのは根本的に難しいものですよね。僕の悩みとはほんの少し異なっていますが、“言いたいことが言えない”ということは、共通の悩みだと思います。

経験がないと、どのように接すればよいかわかりませんよね。できるだけ数をこなして、早く会話に慣れるよう、頑張ろうと思います。エドさんも頑張って思いを伝えられるよう、頑張ってください。

相手を待つだけでなく、自分から話しかけて、相手の立場によって話し言葉を変えていこうと思いました。あえて話さずに、沈黙の中の雰囲気を経験することも大事だと思います。

コメント本当にありがとうございました。また機会があればよろしくお願ひします。

[【No.214の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.211

作文

2017-05-09

出身：
居住：10代 男性 ログイン名：あいうえおかきくけこ
タイトル：初対面の人との会話

初対面の人との会話

川口広夢

私が言葉遣いで悩むときは、初対面の人と会話をする時だ。

中学校までは大体同じ小学校から上がってくる人がほとんどだが、高校生になると皆ばらばらになってしまいほとんどの人が全く知らない人達に変わる。

私が高校一年生の時になったばかりの時、隣の席の女の子にシャーペンを貸してほしいと言われた。私は初対面の人と話す時には必ず敬語で話してしまう癖があり、その時も敬語を使ったが隣の女の子が笑いながら、「同い年なのに敬語はおかしいよ」と軽く馬鹿にされた。私はそういうことを言われたのが初めて

で少し動揺してしまったがなぜかホッとした。

この女の子に指摘されてから初対面の同い年の人にはタメ口で会話をするようにしている。

人それぞれコミュニケーションの取り方には個性があると思う。

私は自分なりの会話の仕方ではこれからの大学生活で大勢の人と会話して相手のことを知りたいと思っている。

なかなか自分と会話が合わず仲良くなるのが難しい人たちもおおくとおもうけれど、そういう人とも仲良くなれるコミュニケーションの取り方を少しずつ理解していき、さらに、相手の良いところとかも会話の中で見つけていけるような言葉遣いを身につけていきたいと思う。大学で身に着けることができれば社会に出た時や、上司と会話をするときにしっかりとした言葉遣いで対応できると思うので、言葉遣いに悩むことなく会話がスムーズできるようになりたいと思う。 s

[【コメントを書く】](#)

No.227

[No.211](#)へのコメント

2017-05-10

出身：日本 神奈川県

居住：日本 神奈川県

10代 男性

ログイン名：先輩ビースト

タイトル：コメント

初対面の同い年の人にタメ口で話せるというのはすごいことだと思います。

初対面の相手ではなくても同い年の相手にタメ口で話すのは自分には難しいです。

いきなり、タメ口だと不躰な人だと思われてしまうかもしれないという不安がありますし、最初に敬語で話してしまってるのでなかなか敬語からタメ口で話すようにするのが難しいです。

しかし、知り合って間もないがタメ口で話す友達が何人かいます。

なんでだろうと考えてみるとあいうえおかきくけこさんのように最初からタメ口で話しかけてくれた人だったことに気が付きました。

相手がタメ口だと初対面の緊張がほぐれるのかもしれませんが。

あいうえおかきくけこさんなら大勢の人と会話をして知り合うことができると思います。

頑張ってください。

[【No.211の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.481

[No.211](#)の筆者から

2017-05-30

出身：日本

居住：日本

10代 男性

ログイン名：あいうえおかきくけこ

タイトル：コメントありがとうございます

私は誰とでも等しく会話をすることを目指しています。

先輩ビーストさんのような、同い年でもため口でなかなか会話ができない人は大勢いらっしゃると思います。その人たちともうまく会話ができるようになるためには色々な会話の技術を身につけなければいけないと思います。その第一歩として同年代の方たちにあった話し方だったり、年上の人やご老人の方には敬語から入り、そのあとで自分なりに変えていくことによって対応の仕方や言葉遣いがわかってくると思います。

しかし、そういう話し方をしても気に障ってしまう人も中にはいるかもしれません。

そういうときのためにも、たくさんの人と会話して経験を積んだほうが良いと感じました。

なので、先輩ビーストさんもたくさんの人と積極的に会話をしていけば同年代の方たちとため口で楽しい会話ができると思いました。

[【No.211の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

私たち人類は日ごろから言葉と文字を使っている。我々日本人も、ひらがな、カタカナ、漢字の日本語を使っている。その中でも、なぜ感じに焦点を当てたのかというと、私自身が中国語を履修して、日本と中国の漢字の違いについてより興味を持ったからである。同じ意味合いの漢字であっても、形が違うのもあり、読み方、特に中国語は発音が命だそう。

最初に字の形について、中国では主に簡体字が使われている。例えば、日本語で「馬」を中国語で書くときは「马」と画数がとても少ないです。日本では幼少期にひらがな、カタカナをはじめに学ぶが、中国では幼い頃から漢字を学び、さらに覚える量もたくさんある。また、日本人にはなじみの少ないものや、なじみが無い漢字もある。これも漢字しか使わない国ならでわだ。

次に発音だが、世界の中で日本人は発音をほとんど気にしない国だそう。なので、日本人が他の外国語、主に発音面で苦勞するようだ。そして、中国語は同じ音でも発音が違うだけ意味が全く変わってしまう。例えば「ma」だけでもいくつかあり、ちょっとでも発音が違うと通じなかつたりするそう。

私は中国語がこれほどまでに思ってもいなかった。特に発音は今までに意識もしたことがなかったので、発音面を特に意識しながら学習していこうと思う。

[【コメントを書く】](#)

勝手にコメントしてすみませんが、私は中国人なので、Lisaっ子さんの、中国語を勉強していることを知って、アドバイスをさせていただければと思います。ちょっとだけこのコメントを読んでいただければ嬉しいです。

まず昔の中国の感じは複雑です。近代になったころから、子供にとって勉強しやすい感じを改めたい専門家たちが漢字を簡単にしました。興味があったらぜひ辞書を買って読んでください。また、日本の感じが良い意味、悪い意味に問わず、中国だったら違う意味になるので気を付けてください。発音を勉強するとき、ピンインの練習をたくさんしたほうがいいかなと思います。

それでは、以上がLisaっ子さんに対するコメントです。中国語の勉強を頑張ってください。私も日本語の勉強を頑張ろうと思います。お互いに頑張りましょう！

[【No.204の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

QiQiさん、コメントありがとうございます。中国語の漢字は子供が勉強しやすいように簡体字に直されたのですね。確かに中国語の漢字は複雑なものが多い上に、覚える量が尋常ではないですもんね。また、これから中国語を学ぶ方たちにも優しいと思いました。

私が中国語を学ぶ上で苦勞しているのが、発音です。中国語を日本語に訳すことはできても、中国語を読むときに少し苦勞します。確かに、QiQiさんがおっしゃるように、ピンインの練習をたくさんしようと思いません。授業でも先生は黒板を説明でメモ程度に使う程度で、教科書の音読や、例題を解かせるのをメインでやっています。

あと、中国語と日本語で同じ漢字でも意味が違う点では、「去」が今のところ印象が大きいです。日本語では「去っていく」で使われるのに対して、中国語では「行く」と180度意味が違うことに驚きました。

自分も初対面で話すときに敬語で話すかタメ語で話すかととても悩みます。年上には敬語で話し、年下にはタメ語で話すのは分かりますが初対面の同い年に話すのはどのように話したら良いのか悩みます。

初対面でも一緒に学校生活を送っていく人に対して敬語とタメ語が混ざってしまうということは自分も同じでした。自分はタメ語の方が早く仲が良くなれるのかなと思えるだけタメ語で話すようにしています。

年齢の問題ですが自分もアルバイトをしていてとても共感でした。自分がアルバイトを始めたときも年下で立場の上の人に対しての言葉づかいは悩みました。年上に仕事を教えるときも悩みました。自分は仕事の場では、年下にも年上にも敬語を使っています。

初対面の人に対して話すときの言葉づかいはみんな悩むと思いました。年齢の問題はアルバイトをしている人なら必ず共感出来ると思いました。自分も立場や場合によって敬語とタメ語を使い分け出来るようになりたいと思いました。

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.291 [No.201へのコメント](#) 2017-05-15 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：めしあ
居住：神奈川 タイトル：敬語の使い分け

いくらクラスメイトといえど初対面のときにいきなりタメ口で話すのは抵抗あると思います。私もそう思います。

バイト先であろうと部活であろうと、年下年上関係なく初対面の人には敬語を使うべきだと考えています。

それは、私が初対面の人にタメ口を使われたとき相手がどんな人でも不愉快になると思うからです。

あいてが先輩であれば多少不愉快でも仕方のないことだとは思いますが、それでも初対面であれば敬語を使うべきと考えます。

ですが、相手と会話を重ねることで徐々に言葉遣いを変えていくのは相手にとっても気まずくなく、親しい仲になれるものだと思います。

ですので、あいてがどんな人であってもとりあえずはけいごをつかって行き状況に応じて言葉遣いを変えていくという考えに賛同します。

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.305 [No.201へのコメント](#) 2017-05-16 出身：日本 10代 男性 ログイン名：WATAGEI
居住：神奈川 タイトル：WATAGEIです。

初対面の人に対しての言葉遣いについて綾鷹さんの投稿のことは共感しました。

初対面の人に対して敬語かタメ口のどちらで話したら良いのかわからないというのはよくあります。中学や高校生になりいきなり同じクラスの人に対して自己紹介でいきなりタメ口だと生意気に見られたり、性格悪いんじゃないかと思われたりすると思います。なので、最初はタメ口ではなく敬語で慎重に行くのが一番良いと思いました。

いきなり性格悪いとか思われたら良い友達関係が築けなくなってしまいます。

そうすると学校に行くのがきまづくなったりしていじめが起きたり良い学校生活が送れなかったりするかもしれないので、そうした方が良いと思いました。

最初は敬語である程度仲良くなったらそこから徐々にタメ口とかにすれば良いんじゃないかなと思いました。実際に自分もそうして良い友達関係が築けたのが多いです。

人によって最初どのような雰囲気や言葉遣いで接して行くかは人それぞれだと思いますが、自分はそうした方が良くと思いました。

年齢がわからないで自分と同じぐらいで年上か年下かわからない時は敬語かタメ口か悩んでしまうということについて自分も同じです。綾鷹さんと結構共感している事が多くあります。

実際に自分が初対面の人にいきなり敬語ではなくタメ口で話されたらあまり良い印象がつかないし、この人性格悪いんじゃないかなとか思うので、いきなり怖い印象や、変な印象を与えるよりは明るくて良いとか良い印象をつけたら友達も早くできるだろうし、学校に早く打ち解けられるのではないかなと思いました。LINEやメールでもあまり話した事がない人とかには、基本敬語で話すのが一般的なのではないかなと思いました。

自分も言葉遣いについて色々悩みますが困った時は敬語で慎重にいけば良いかなと思っこれからそうして行きたいと思いました。

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.405

[No.201](#)へのコメント

2017-05-30

出身：北海道
居住：神奈川県

10代 女性

ログイン名：ゆずポン
タイトル：わかります！！

初対面の人と話すときはやっぱり敬語を使うことを重要なんだと思います。

不快な思いがしないようなはなしあいがしたいですね

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.471

[No.201](#)の筆者から

2017-05-30

出身：日本
居住：東京

10代 男性

ログイン名：綾鷹
タイトル：コメント

ヘッジホッグスさんコメントありがとうございました。

自分の作品に共感してくれる方がいてうれしいです。自分も最近の授業でグループワークがあり、最初はなれずに敬語とタメ口が混ざり混ざりになってしまいました。だんだん話していくうちに慣れていき敬語が抜けていきタメ口で話すようになりました。

初対面の人でも話しているうちに徐々に打ち解けていき自然に仲良くなれると実感しました。話していきまず最初に思ったのは共通の話題を見つけることが大事だなと思いました。共通の話題を見つけると話しやすく打ち解けるのが早いと思います。

LINEやメールでは、自分の思っ3いることを文に表すことがとても苦手なので長文になりがちになってしまいます。うまくまとまらないときは、電話で話してみようと思います。

これからは、敬語とタメ口をうまく使い分けられるように頑張っていこうと思います。

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.491

[No.201](#)の筆者から

2017-05-30

出身：日本
居住：東京

10代 男性

ログイン名：綾鷹
タイトル：ありがとうございました

もやしさんコメントありがとうございました。

自分も最近また、アルバイト先に新しい人が入ってきました。最初は年上だったと思っていたので敬語で話していました。話していくうちに同い年だということがわかりタメ口に切り替えてhなしました。その時に、初対面のひとには、最初に年齢をきいたほうが話しやすくなるなと思いました。

学校での問題も大学に入ると年齢がわからないのでさらに悩むようになりました。大学に入ってからはずっと敬語ではなすようにしました。大学でも話していくうちに、仲良くなっていきタメ口ではなすようになりました。

これからは、仕事関係の人には、まずは敬語で話していこうと思います。

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.500 [No.201の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：綾鷹
居住：東京 タイトル：ありがとうございます

めしあさんコメントありがとうございます。

共感していただきありがとうございます。

バイト先では、年上年下関係なく初対面の人には、敬語で話していこうとおもいます。部活の場合だとよく先輩に試合中は呼び捨てでいいよと言われたことがありますが、私は、常に「～さん」や「～くん」などと呼び捨てにできることができませんでした。

わたしも初対面の人にいきなりタメ口で話されるといやな気分になるのでわたしも敬語で話していこうと思いました。会話を重ねていくにつれえ、敬語からタメ口に変えていこうと思います。

わたしも今後は初対面の人には、敬語ではなしていこうと思います。

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.504 [No.201の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：綾鷹
居住：東京 タイトル：doumo

WATAGEIさんにコメントいただき大変光栄に思います。

しかも、こんなに長文ありがとうございます。

初対面のひとには、最初は敬語で話していき会話を重ねてお互いに慣れてきたとこでタメ口に切り替えていこうと思います。

最初の印象が大事だとは思っているのですが、最初は、敬語で話して良い印象をつけていこうと思います。

言葉使いに悩んだり困ったときは、とりあえず敬語で話していき仲良くなってからタメ口に切り替えていこうと思います。

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.506 [No.201の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：綾鷹
居住：東京 タイトル：arigatougozaimasu

ゆずポンさんコメントありがとうございます。

やはり、初対面の人には、第一印象が大事だと思っています。いきなりタメ口で話されると相手も嫌な気持ちになると思います。最初からいやな気持ちにさせてしまうとあまりいい印象がのこらないとおもうのでそのあたりには、注意していきたいと思います。

[【No.201の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.199 作文 2017-05-09 出身：新潟県 10代 男性 ログイン名：ストレッチマン
居住：神奈川県 タイトル：言葉が違ってこまっちゃうこと

みなさんは違う国の言語の人と会話をするとき困ったことはありませんか。私も実際あったのですが、言葉が伝わらないということです。私は日本人なのですが、英語を話す人だったり韓国語を話す人だったり、いろんな人に会いますが何を言っているのか分かりません。このような人たちとコミュニケーションをとるときは以下の2つのことがあると思います。

まず1つは道、駅で話しかけられたときです。ここはどこですか、ここはどうやっていけばいいですかとみなさんは尋ねられたことがあると思います。今の時代、駅や電車の中などには英語でかかっているもの、韓国語で書かれているものはあちらこちら目にはいつてきます。それを見れば何駅かはすぐにわかるでしょう。だが電車の乗り換えは外国人にとって難しいと思います。私は田舎育ちで4月から関東に引っ越してきたのですが、乗り換えがたくさんあり驚きました。通りかかっている人に聞いたりスマートフォンのアプリで探したりして理解したくらいです。外国人はどうでしょう。私でこんなに迷ったので外国人はもっと迷うでしょう。近年、外国人向けにいろんな工夫をされていると思いますが、まだ外国人にとっては大変だと思っています。

もう1つは、会社などの仕事の現場です。今はもうグローバル化がどんどん進んでおり、日本の企業が海外へ進出したり、その逆もあって海外の企業が日本に進出してきたりと国際交流が増加しています。その企業どうして困るのがやはり言語だと思います。通訳の人が会議をしているところもあると思いますが、私が思うに通訳を通して話すのではなく、人と人とで話し合っていくべきだと思います。確かに世界共通語がなく、そのようなことは出来ないかもしれない。でもこれからの時代難しいかもしれないが、1つの言語で様々な国の人と交流できると信じています。

[【コメントを書く】](#)

No.304 [No.199へのコメント](#) 2017-05-16 出身：新潟 10代 男性 ログイン名：LiSAっ子
居住：神奈川県 タイトル：コメント

言葉の通じない時のつらさは私にもあります。私は、某家電量販店でバイトをしていた時、外国人に「この商品はいつ入荷されるの？」と聞かれたとき日本語で返答したら、日本語があまりわからないといわれた。この時は隣にいた方が少し翻訳できる方だったからよかったものの、毎回こうであるとは限らない。このとき、しっかり英語を学んでおけばよかったと後悔するとともに、これからしっかり学習しなくてはと思った。次またこういう機会に遭遇した時は、自分で案内できるようになりたいと思う。

[【No.199の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.364 [No.199へのコメント](#) 2017-05-25 出身：オーストラリア 10代 女性 ログイン名：spatula
居住：オーストラリア タイトル：コメント

私もストレッチマンさんと電車乗り換えについてが賛成です。やはり、スマートフォンがないと、日本語がわからない観光客にとって電車に乗り換えするのは難しいと思います。私も去年家族と旅行した時に、交通機関を使った時に事前に乗り換えの下調べをしたにもかかわらず、目的の場所に行くのがすごく難しかったという経験があります。

一方で、ストレッチマンさんが書いた2つ目の例について、通訳の人ではなく直接、会議をするのには賛成ですが、現在私はグローバル化の影響を感じます。例えば、今の世界中全部の会社の経営者の中で、3分の2が二か国語以上を話せるという結果があります。

しかし、皆さんが1つの言語で話すことについては反対です。もちろん、いろんな場合では同じ言葉で話すのは便利になると思いますが、その代わりにいろいろな国の文化が失われるし、イノベーションであったり発想の多様性が少なくなります。みんなが共通言語で話すことになると、言語だけではなく考え方も変わると思います。その上、言葉は変化するものなので、すべてを共通の言葉にするのはたくさんの機会を損失することになります。

お互いが話す言葉は違っても相手の文化であったり考え方を尊重し、みんなが相手を受け入れることが大事だと私は思います。

[【No.199の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.470 [No.199へのコメント](#) 2017-05-30 出身：新潟 10代 男性 ログイン名：ストレッチマン
居住：神奈川県 タイトル：勉強しなくては、、、

コメントありがとうございます。日本に外国人が住んでいたり、旅行で来たり、外国人と接する機会が増えてきていると感じます。LiSAっ子さんのようにお店で会うことがこれからますます多くなっていくことでしょう。私も現在スーパーで働いているので外国人のお客さんをよく見かけます。とても戸惑いました。その場で慌てない程度の語学力は身につけておきたいものです。だから私は実際英語を頑張っています。単語から文法など一から勉強しています。語学を勉強することはとても大変です。だが、身につければ外国人のお客さんと接することができると同時に自分の武器になると思っています。

グローバル化が進むということは外国人とたくさん触れ合えるということです。同じこと2回も言いましたが本当に大切だと感じているからです。日本人1人1人の努力でたくさんの外国人をおもてなしていきましょう。そして自分もこれから頑張っていきます。コメント本当にありがとうございました。

[【No.199の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.474 [No.199の筆者から](#) 2017-05-30 出身：新潟 10代 男性 ログイン名：ストレッチマン
居住：神奈川県 タイトル：間違えました。

コメントありがとうございます。日本に外国人が住んでいたり、旅行で来たり、外国人と接する機会が増えてきていると感じます。LiSAっ子さんのようにお店で会うことがこれからますます多くなっていくことでしょう。私も現在スーパーで働いているので外国人のお客さんをよく見かけます。とても戸惑いました。その場で慌てない程度の語学力は身につけておきたいものです。だから私は実際英語を頑張っています。単語から文法など一から勉強しています。語学を勉強することはとても大変です。だが、身につければ外国人のお客さんと接することができると同時に自分の武器になると思っています。

グローバル化が進むということは外国人とたくさん触れ合えるということです。同じこと2回も言いましたが本当に大切だと感じているからです。日本人1人1人の努力でたくさんの外国人をおもてなしていきましょう。そして自分もこれから頑張っていきます。コメント本当にありがとうございました。

[【No.199の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.496 [No.199の筆者から](#) 2017-05-30 出身：新潟 10代 男性 ログイン名：ストレッチマン
居住：神奈川県 タイトル：考えさせられました。

コメントありがとうございます。Supatuさんのおっしゃっていることが正しいとコメントを読んでいて感じました。それぞれの文化、言語が失われるというご意見響きました。国それぞれにはその国ならではの

の価値観といったらなんですがそういうものがあると思います。そして相手を受け入れていくというご意見も響きました。本当に素晴らしいコメントで私は考えさせられました。

そして乗り換えについてでは賛成していただき嬉しく思います。都会出身の人でさえ最初は悩んだであろう。慣れてくれば覚える。だが、これはどうだろう。旅行で新幹線、電車を使うとき必ず悩むことでしょう。何か分かりやすい方法はないだろうか。それを考えていくことが今の我々の役目だと思う。便利になりすぎても困るがみんなが頭を悩まずに利用したり、使用していけたりすることがこれからの時代にとって良いことだと思っております。

Supatulaさん厳しいコメント、内容の深いコメントありがとうございました。

[【No.199の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.198

作文

2017-05-09

出身：群馬
居住：東京

10代 男性 ログイン名：sejuani
タイトル：年上との会話

私は年上の人と話すことがあります。年上といってもひとつやふたつではなく、倍くらい年が離れている人です。そんな人たちと話すときに言葉遣いをどうしてよいか悩む時がありました。

その人たちとは自分の今いる位置情報を使って遊ぶゲームで知り合いました。そのゲームは味方チームと敵チームでわかれており、味方同士でコミュニケーションをとって作戦を計画、実行するので年上のその人たちと会話をする必要がありました。

そんなある日、そのゲームのイベントが京都で行われることになり、私たちのチームは参加することになりました。

普段はインターネット上でチャットをして会話をしていましたが、実際に会ってミーティングという形になりました。実はその時まで年上だということは知っていたが倍くらい年が離れていることはその時に知ったので少し戸惑いました。最初はどう接してよいかわからなかったのですがゲームの人達は気さくな人達が多かったので、会話をしていくうちにだんだんその場に馴染めていけました。

ですがやはり年が倍くらい離れている人とは世代もちがったりするので、そんな人達と会話することは得意ではないなと感じました。

ゲーム上では同じチームだけど現実では年が倍くらい離れている。こういう時にどう会話してよいか今でもよくわかってないが、相手が不快にならないような言葉遣いは必要だと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.299

[No.198](#)へのコメント

2017-05-16

出身：神奈川県
居住：神奈川県

20代 男性 ログイン名：Nick
タイトル：予想外の年の差

私はインターネットで他人と繋がるゲームをやったことがないので、あなたの悩みは私には興味深いと思いました。チャット上では相手が年上だと知っても、実際にその人物と顔を合わせたら、あなたが想像していたよりも年上だったということでしょうか。この驚きは、インターネットを使っているからこそ起きたことですね。このようなこともあるのかと、私も驚きました。

実際に会った際、会話をしていくうちにその場に馴染めたのはよかったですね。チャットでの会話と実際に顔を合わせて話をするのでは、相手の表情を見ることができる分、会話の空気も違うのではないのでしょうか。

あなたのおっしゃる通り、言葉遣いには気をつけながら、会話は今まで通りで良いと思います。私にとってはあなたの悩みは新鮮でした。これからもチームで仲良くゲームができるといいですね。

[【No.198の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.197

作文

2017-05-09

出身：アメリカ
居住：神奈川県

10代 男性

ログイン名：口癖は帰りたい。
タイトル：年上だけタメ語を使って話す人

今回言葉で悩むときというテーマで、敬語を使って話す人だったりタメ語を使って話す人などいると思うが、多くの人が敬語を使って話すのは年上の人や初対面の人でタメ語を使って話す人は同じ年人だったり年下の人だったりすると思う。そんな中で年上の人でもタメ語を使って話す人がいるなと思い年上だけタメ語で話す人はどんな人か考えてみた。

まず、年上だけタメ語を使って話す人どんな人がいるのか。僕の中では、家族、おじいちゃん、おばちゃん、仲のいい年上の友達などがいる。大体の人が家族やおじいちゃん、おばあちゃんにはタメ語で話すのではないかと思うが身内以外でタメ語を使って話す人の例にあげた仲のいい年上の友達は最初からタメ語で話していたわけではなくていつからかタメ語で話すようになった。

じゃあ、なんでタメ語を使って話すようになったのか、キッカケがあったのかを考えてみた。最初は見ず知らずの他人で相手のことをほとんどわからないような状態で出会ったけれども何回も会ったり、遊んだり、色んな話をしたりして相手の事が色々と分かり自分との距離がプライベートでとても近くなったなと感じるようになった時にはタメ語を使って話すようになって一と思う。

縦社会と言われる中、年上の人に敬語を使って話すことはあたりまえなのだが自分の中で心を許せるなと思った年上の人にタメ語を使っているなと今回考えて思った。

[【コメントを書く】](#)

No.292

[No.197](#)へのコメント

2017-05-16

出身：神奈川県
居住：神奈川県

10代 無答

ログイン名：simo
タイトル：敬語

私は高校の時にサッカー部に所属していたのですが、敬語の使い分けがとても難しかったです。

試合や練習中などには年齢関係なくお互いアドバイスしあって、ドンマイなどと声掛けをしたりなどですが、プライベートでは先輩に対しては敬語を使わないと怒られたりといろいろ使い分けが難しかったです。ですが、しっかり使い分けずに私生活で先輩にタメ口つかったりすると怒られたりしたものです。

この文章を読んで、立場の違う目上の人への言葉の使い分けというのは難しく、大変なことであると私も思いました。なのでこの文章にはとても共感でき、これからも気をつけたいと思います。

[【No.197の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

私は口癖は帰りたい。さんと同じように家族以外で年上の人とタメ口で話すことがあります。口癖は帰りたい。さんと少し意見が違います。口癖が帰りたい。さんは、年上の人であっても仲が良かったらタメ口になると仰っていました。しかし私の意見では、敬語を話すかどうかの判断基準は仲の良さではなく相手が尊敬すべき相手であるかどうかだと考えています。

以前ビジターセッションで日本で生まれ育った20代の女性と話す機会があり、彼女も私と同じ意見を持っていました。その人は中学から8年目の付き合いになる一番仲のいい先輩に未だに敬語を使っているそうです。そこで、なぜ仲がいいのにタメ口を使わないかを聞いたところ、その先輩を尊敬しているからだと言っていました。日本には年上の人を尊敬すべきだという習慣があります。それにもかかわらず敬語を話さないということは、その人を尊敬しないという選択をしたという意味に捉えてしまうからだそうです。つまり、年下側の人間が敬語を使わないという判断をしてしまうと、失礼にあたる可能性があるということです。

敬語をいつ話すべきかという明確な基準というものはないと思います。口癖が帰りたい。さんのように、年上の人とタメ口で話すということが間違いだと言いたいわけではありません。しかし、敬語が本来持つ尊敬の意を忘れてしまうと誤解が生まれるのではないかと私は考えます。

[【No.197の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

コメントをしていただきありがとうございます。全部しっかりと読ませていただきました。emily213が書いてくださった意見を読んでとても共感する部分や気づかされる部分がありました。

まず、僕が今回作文に書いた年上の人でも仲が良かったらタメ口で話すのではないかという考えに対して、日本には年上の人を尊敬すべきという習慣があり、僕の考えからするとその人との関係性からするとタメ口を使ってしまうところだが、その方がおっしゃっていたように、相手の年上の方に敬意を払うという部分で考えるとやはり大事なことだと改めて考えさせられました。僕の中で敬語を使う場面とは、どこか堅苦しい場面が多いようなイメージがついていて、中学生の時や高校生の時には部活動の時に先輩たちにしっかり敬語を使って話さないと思っていたり、バイト先の先輩や社員さんなどにもきちんと敬語で話さないといけないという当たり前のことだけれど、どこかそれが相手に敬意の意思を持って敬語を使って話してるわけではなくなくなってしまっていたかもしれないと今回書いてくださったコメントを読んでみて思うことができました。ありがとうございました。

[【No.197の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

今の時代は、SNSを使った会話が多いだろう。その会話の中で、私が最も気を付けなければいけないと思うことは、言葉遣いだと思われる。なぜなら、言葉遣い一つで相手の方を不快な気分させてしまうし、人によって受け取り方が全然違うからだ。それに、一度送信したトークは消すことができないからだ。

以前私も、友達同士で会話をしている際に、いつも会っているような感じでトークを送信していた。しか

し、そのような感覚で打ってはいけなかった。少し汚い言葉を使っただけで、私としては冗談で送ったつもりが相手には、本気で受け止めてしまい関係性が崩れていってしまったことがある。さらに、約束するときにも問題があった。私が思っていることだけを伝えてしまい、相手の受け方と私の伝えたいことが反対になってしまい大変だったことがある。

そこで、私が思うことは、どんなに関係性が深くても深くなくても、SNS上のトーク送信は気を付けたほうが良いと思う。一つの言葉が、相手を自殺まで追い込むかもしれないし私みたいに意見のくい違いで大変なことが起きるかもしれない。だから、私はなるべく直接会い話すなど電話をするなど言葉で伝える習慣を身に付けていくことが大切だと思われる。もし、SNSでトークを送信するときは、送る前にもう一度確認することが良いだろう。

[【コメントを書く】](#)

No.249 [No.196へのコメント](#) 2017-05-14 出身：日本 10代 男性 ログイン名：あー
居住：神奈川県 タイトル：SNSは怖い

普段使い慣れているSNSだからこそ気を遣わない人は少ないと思います。
直接会っているわけでもないで相手の気持ちをしっかりと理解するのは難しいと思うし
これから私たちが意識しなければいけないことだと思いました。
自分が送った言葉が実は相手を傷つけているかもしれないと思うと言葉使い、不快になることは言わない
ほうが良いと改めて感じた。

言葉の使い方を少し考えるだけでもより良くSNSをつうじて楽しめると思いました。

連絡を取る相手との関係性もやはり重要だと思う。
親しき中にも礼儀ありという言葉があるようにどれだけ仲良しでも言葉は選んで使わなければ
大げさな話関係が崩れることだってあると思うし、それくらい言葉の使い方って大事なのだと思った。

[【No.196の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.275 [No.196へのコメント](#) 2017-05-15 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：シル
居住：日本 タイトル：SNSでの言葉づかい

私もサッカーボーイさんの文を読んでSNSを利用するときは注意が人用だと思いました。

SNSの会話では、文字だけで会話するので自分も相手の感情が読み取りにくいし、相手も同じだと思います。私も、SNSで会話をしていて相手は冗談のつもりで言っているのかもしれないとわかっているけどイラッとしたことが何度もあります。

SNSで会話するときは普段相手と面と向かって会話するとき以上に言葉づかいに注意する必要があると思いました。また、相手に送る文面も文字だけにするのではなく顔文字やスタンプなどできる限り自分の感情を相手に伝えられるようにするとお互いの勘違いも、なくすることはできなくても少なくすることはできるのではないかと思います。

[【No.196の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.475 [No.196の筆者から](#) 2017-05-30 出身：択捉島 10代 男性 ログイン名：サッカーボーイ
居住：択捉島 タイトル：ありがとう

同じ意見の方がいて安心しました。使い慣れていると言ってむやみに使ってはいけませんよね。たとえ、

どんなに親しい人でも送る言葉は気を付けるべきです

実際、私自身も一度友達同士でちょっとしたトラブルが起きたことがあります。それは、荷物の確認です。私は、高校時代サッカー部に所属していましたが、その際LINEのみだけで会話をしたため相手と私の意見が食い違ってしまうというトラブルが起きてしまいました。「うん」とか「そう」など一つ言葉で二つの意味が出てきてしまいそこで意見が食い違ってしまいました。このようなことをなくすには、やはり一番は、直接会い話すということが大切です。

あーさんが言ったように、親しき中にも礼儀ありという言葉はとても重要な言葉だということを改めて感じることができました。これから、人と話すときは誤解を招かないようにしていきたいと思います。

[【No.196の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.498

[No.196](#)の筆者から

2017-05-30

出身： 択捉島
居住： 択捉島

10代 男性

ログイン名： サッカーボーイ
タイトル： ありがとうございます

やはりそうですね。一つの言葉で、二つの意味合いが出てきてしまうのでとても、注意が必要です。こいつとは仲が良いから適当に言えばいいという考えは、だめです。シルさんのように、相手が冗談で言ってるのはわかっているが、私も、何度かイラッとしたことがあります。

私自身がイラッとするということは、同じことをしたら、相手もイラッとするはずですが、そのようなことをなくすには、書き終わったら見直すということが大切かもしれませんね。私も一度嫌な思い出があり、それは、先輩との会話でちょうど友達と同時に会話をしていました。その際、友達に送ったつもりでタメ語が先輩に送信してしまいました。直ぐに誤り何とか許してもらえたんですけど、私の心の中には今もモヤモヤする気持ちがあります。なんで、あの時一度確認しなかつたんだろうともものすごく公開しました。

似たような体験をおそらくほかの人も体験していると思います。今は、学生だから何とかなるが卒業をして社会人になったときは許されないと思うので、今からSNSを使うときは慎重扱っていきたくと思います。

[【No.196の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.194

作文

2017-05-09

出身： 日本
居住： 神奈川

10代 男性

ログイン名： WATAGEI
タイトル： 昔からの知人に対する困ったこと

昔からの知人に対する困ったことは、言葉使いです。

小さい頃からずっと自分の事を見てきた近所の人や、小さい頃以来知り合いの人と久々に会った時にどのような口調や、言葉使いをしたらいいのか悩むことがあります。

昔から自分の事を知っている近所の人に関しては、幼稚園から小学校、中学校とずっと敬語を使わずにタメ口で話していたので、高校生や、大学生になって、社会の事やビジネスの上下関係など、日常生活のマナーや常識を知り敬語を使わなければいけないのかと思う時があるのかと思います。しかし、これまでずっと敬語ではなくタメ口ではしていた人だから違和感もあるし、少し恥ずかしい気持ちもあると思います。

久々に再会した年上の知り合いの人にも昔はタメ口で話していて友達かのように関わっていたけど、何年ぶりに会うとお互い成長しているし、言葉遣いの常識を知っているからこそ悩むことだと思います。

未だに言葉遣いの事は、考えると色々な考えが思い浮かぶと思いますが、昔からずっと自分の事を知っ

ている近所の人には、自分が慣れているような話し方でタメ口でもいいと思いました。
久々に再会した人とは、言葉遣いを気にすると思いますが、それ以上に気にしすぎないようにするのが一番だと思いました。

[【コメントを書く】](#)

No.270 [No.194](#)へのコメント

2017-05-15

出身：神奈川
居住：神奈川

10代 男性

ログイン名：ないと
タイトル：コメント

自分もそういった経験はあり、共感できたのでコメントを書かせていただきます。小さなころからの年上の知人や久しぶりに会う友人への言葉遣いというのは意外と悩むものですね。前者の場合は、昔のようににしてもいいものなのかそれともきちんとした敬語を使うべきなのか。また後者の場合は、どのくらいの距離感で話すべきなのか。この二つはとてもよく似ていると思います。親しき中にも礼儀ありとは言いますが、あまり他人行儀に話すのもそれはそれで失礼な気がします。どちらにすればいいのか悩むところではありますが、やはり前者は敬語を使うべきなのでしょう。後者は敬語はいらないと思いますが、どの程度砕けてよいのかというところで悩みます。最初は少し遠慮しながら話し、頃合いを見て元の話方に徐々に戻していくというのが理想的でしょうか。いずれにしても、あまり敬語を使うのはふさわしくないのではないかと思います。やはり、以前と変わらない話し方がいいのではないのでしょうか。

[【No.194の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.271 [No.194](#)へのコメント

2017-05-15

出身：神奈川
居住：神奈川

10代 男性

ログイン名：コキマロ
タイトル：コメント

とても共感しました

自分も経験したことがあります。昔から私のことを知っている人との会話の時は慣れ親しんでいるので年上だということを気にせずのため口で喋ってしまうことが多々あります。小学生のうちには小学生だからしょうがないと思われても中学、高校と段々と大人に近づくにつれこのままため口のままでいいのかと考えることがあります。

私が経験したほかの例は、仲良くなった先生との会話です。段々とため口になってしまいがちだと思います。私は状況によって使い分けるようにしています。ため口を使っていい場面と使ってはいけない場面周りを見て臨機応変に対応していくのがいいと私は思います。

知人に対する言葉遣いを改めて考え直すことができるととてもよかったです。これから一段と気を付けていきたいと思いました。

[【No.194の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.273 [No.194](#)へのコメント

2017-05-15

出身：日本
居住：東京

10代 男性

ログイン名：綾鷹
タイトル：言葉遣い

すごく共感します。

私も先日、幼稚園以来の友達と再会しましたが、親同士が今でも仲が良いだけで私たちはお互いにまったくといっていいほど覚えていませんでした。食事に行くために、駅で集合しましたが、実際に会ってみても思い出せませんでした。お互いに思い出せないまま食事に行ったので、よそよそしくなっていました。お互いに最初は敬語で話していましたが、だんだんと慣れていき敬語が抜けてタメ口で話していくようになりました。

小さい頃はお互いになにも考えずに話していましたが何年ぶりに会うとお互い成長し言葉遣いの常識を知ってからこそ悩むんだと思いました。

[【No.194の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.473 [No.194へのコメント](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：WATAGEI
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます。

ないとさんと考えていることが結構同じということでなかなか驚いています。

共感してくれる人がいてとてもうれしいです。

小さい頃から知っている年上の人や久しぶりに会う友人に対しての言葉使いはやっぱり悩むにきまっていますよね。だからといってぎこちなく敬語を使ってその場の雰囲気が悪くしてしまうのであれば、昔と同じように多少なれなれしくけいごではなく、タメ口で接してもいいのではないかと思います。

親しき中にも礼儀ありとは言いますが、あまり他人行儀に話すのもそれはそれで失礼な気がします。どちらにすればいいのか悩むところではありますが、やはり前者は敬語を使うべきなのでしょうか。後者は敬語はいらないと思いますが、どの程度砕けてよいのかというところで悩みます。

このないとさんのコメントについては自分の中でもすごく考えさせられました。もし初対面だとしても、その場の雰囲気やその人との関係を考えて敬語かため口かを考えればいいのかと改めて思いました。

[【No.194の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.477 [No.194の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：WATAGEI
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます。

ないとさんと考えていることが結構同じということでなかなか驚いています。

共感してくれる人がいてとてもうれしいです。

小さい頃から知っている年上の人や久しぶりに会う友人に対しての言葉使いはやっぱり悩むにきまっていますよね。だからといってぎこちなく敬語を使ってその場の雰囲気が悪くしてしまうのであれば、昔と同じように多少なれなれしくけいごではなく、タメ口で接してもいいのではないかと思います。

親しき中にも礼儀ありとは言いますが、あまり他人行儀に話すのもそれはそれで失礼な気がします。どちらにすればいいのか悩むところではありますが、やはり前者は敬語を使うべきなのでしょうか。後者は敬語はいらないと思いますが、どの程度砕けてよいのかというところで悩みます。

このないとさんのコメントについては自分の中でもすごく考えさせられました。もし初対面だとしても、その場の雰囲気やその人との関係を考えて敬語かため口かを考えればいいのかと改めて思いました。

[【No.194の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.493 [No.194の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：WATAGEI
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございました。

コキマロさんコメントありがとうございます。

自分が書いた投稿に対してとても共感してもらえたそうで自分からしたらとても嬉しいです。

自分も経験したことがあります。昔から私のことを知っている人との会話の時は慣れ親しんでいるので

年上だということを気にせずのため口で喋ってしまうことが多々あります。小学生のうち小学生だからしょうがないと思われても中学、高校と段々と大人に近づくにつれこのままため口のままでいいのかと考えることがあります。

このことについて自分もなかなか共感しました。

小学校の時は自分はあまり言語など気にしないで先輩にため口で話していたことを今考えてみるとあの時は礼儀とか先輩に対する態度やマナーなど全くと言っていいほど気にしてなかったなと思いました。

今回コキマロさんにコメントをもらってその場の雰囲気などを考えて接していきたいと思いました。

[【No.194の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.503

[No.194](#)の筆者から

2017-05-30

出身：日本
居住：神奈川県

10代 男性

ログイン名：WATAGEI

タイトル：コメントありがとうございます。

今回綾鷹さんのような人にコメントをいただき、そして自分の書いた投稿に対してすごく共感していただき本当に嬉しく思います。

私も先日、幼稚園以来の友達と再会しましたが、親同士が今でも仲が良いだけで私たちはお互いにまったくといっていいほど覚えていませんでした。食事に行くために、駅で集合しましたが、実際に会っても思い出せませんでした。お互いに思い出せないまま食事に行ったので、よそよそしくなっていました。お互いに最初は敬語で話していましたが、だんだんと慣れていき敬語が抜けてため口で話していくようになりました。

このことに対して自分は共感しました。

だんだん仲良くなってきてwからため口を使うということに自分はそのとおりでなと思いました。これからも場面を考えて使っていきたいと思いました。

[【No.194の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.193

作文

2017-05-09

出身：神奈川県出身
居住：神奈川県在住

10代 男性

ログイン名：s18

タイトル：バイト先でのことばづかい

私は、焼肉屋でアルバイトをしている。ホールをやっていることから、接客をするポジションだ。なので、もちろんことばづかいが大事なる。ただ、すべてのお客さんに丁寧な言葉づかいをしているわけではない。そこで私は二つの例を挙げてみる。

一つ目は年齢で変えることだ。これは、アルバイトに限ったことではないことではないと思う。例えば、「トイレはどこですか」と聞かれることを比較してみる。一般的な人だったら、「こちらになります」と普通の敬語を使うが、幼児に聞かれたら、「こっちでーす」と少し砕けた敬語を私は使う。テーブルに商品を提供するときも一般的な人とは変わり、お年寄りには聞こえやすく大きい声でゆっくり料理名を言ったりする。

2つ目は、常連さんに対してのことばづかいだ。バイト先は、個人経営で、駅から離れていることもあり、常連さんがとても多くいる。新規や、そこまで来たことがないお客さんには絶対にできないが、酔っぱらった常連さんとは、たまに敬語すら使わない時もある。それに、普通のお客さんだったら、「お兄さん」や、「すみませーん」と呼ばれるが、常連さんの場合、ほとんどが「○○くーん」や「○○ー」と名前前で呼ばれることがほとんどで、自分の言葉づかいも違うが、人によっては、お客さんからのことばづかいも変わってくる。

以上のことから、年齢、知り合い、酔っている人など、アルバイトをしている最中でも、お客さんによっては、ことばづかいがかわることがわかる。

[【コメントを書く】](#)

No.265 [No.193へのコメント](#) 2017-05-15 出身： **択捉島** ログイン名： **サッカーボーイ**
居住： 択捉島 10代 男性 タイトル： めっちゃ共感

私は、スーパーでアルバイトをしていますがよくお客さんに、商品の位置や商品の説明をすることがありますが、s18さんのように、人によって言葉遣いを変えています。しかし、それは、とても面倒くさいですね。

仕事をやっていて一番多く聞かれるのが、商品の位置です。小さい子供を相手にするときは必ずしゃがむようにして、かしくまった感じではなくタメ語に近い感じで話しています。

また、s18さんのように、お年寄り、大きな声で話すように心かけているのでとても大変です。商品の説明をする際は、同様にお年寄り、子供で使い分けていますが説明する時が一番面倒くさい。なぜなら、小さい子に説明するときできるだけ分かりやすく説明しないと理解してもらえないからこれもまた、たいへんですよ。

作文を見させてもらったときに共感もあったし、みんなそれぞれバイトなどで言葉遣いを苦労してるんだと思い少し安心させてもらいました。

[【No.193の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.285 [No.193へのコメント](#) 2017-05-15 出身： **神奈川県** ログイン名： **もやし**
居住： 神奈川県 10代 男性 タイトル： 参考にします。

自分もアルバイトをしていて接客をするポジションです。

一般的な人に対する言葉づかいはもちろん敬語を使っています。幼児には少し砕けた言い方でお年寄りには聞こえやすく話すというのも同じでした。これほどこのアルバイトも同じだなと思いました。

二つ目の常連さんに対しての言葉づかいは常連さんだからこそ話せる言葉づかいだと思いました。自分が働いているところは個人経営ではないので、常連さんは少ないですがいつも敬語を使っていたので少し言葉づかいを変えて話してみようと思いました。

アルバイトをしているといろいろなお客さんが来ると思います。そのお客さんに対して言葉づかいを変えて話すことはとても重要なことだと思いました。相手に話すときにどのように話したら伝わるかを考えて話すべきだと思いました。相手の言葉づかいに合わせて自分の言葉づかいを変えるということは良いことだと思いました。自分も場面に応じて言葉づかいを変えていけたら良いと思いました。

[【No.193の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.192 作文 2017-05-09 出身： **神奈川県** ログイン名： **masaball**
居住： 神奈川県 10代 男性 タイトル： 同じ学年の浪人生との言葉の使い方

自分は、四月から大学に入学してとても悩んでいることがあります。それは、自分が大学に入学して少し時間がたち友達ができました。最初は、同じ年なんだだろうなとおもい、友達と話すような感覚で話していたのですが、仲良くなるにつれてその友達が浪人生だという事がわかり、自分は今までどうり敬語を使わずに話をしてもいいのか、それとも本当の学年でいうと一つ先輩にあたる人だったので、敬語を使うべきなのかをとても悩んでしまいました。

なぜなら、自分は高校の時に運動部に所属していたのですが、その部活は運動部の中でも上下関係が厳しい部活で、先輩には絶対に敬語を使わないといけないと教えられていたからです。

しかし、浪人生であっても学年が同じなので敬語で話さなくても良いと思う部分もあります。それは、敬語で話すと相手に気を使ってしまうたり思うのですが、敬語を使わずに、対等な関係として話すことにより、仲がこれまで以上に深まりいい関係を築いていけると思ったからです。

最後に、自分はその友達とは普通の友達として敬語を使わずに仲良くしています。前の段落で話したことも自分が敬語を使わずに話すようになったきっかけなのですが、会社に将来自分が就職した時に、年齢が上司よりも部下のほうが年上なのに、敬語を使わなければいけないという事もこれからあると思うので、その友達とは普通に接するようになりました。

[【コメントを書く】](#)

No.274 [No.192](#)へのコメント 2017-05-15 出身： 神奈川県 ログイン名： シル
居住： 日本 10代 男性 タイトル： 共感できます

私の友人にも同学年で自分より一つ年上の方がいます。私も、初めは同い年だと思っていましたが話しているうちにその友人が浪人していて年上だということがわかり、その後しばらくどうやって話したらいいのかかわからず気まずくなってあまり話すことができていませんでした。ですが、今では普通にその友人と話すことができています

たしかに、社会に出れば自分よりも年下の方が上司になるということもあると思うので相手によって言葉を使い分けることが大切だと思います。また、この先社会に出て自分が年上の方の上司になるというようなこともあると思うのでその場合も相手のことを考えた言葉づかいを選んでいくべきだと思います。

大学でも学年が上がれば自分と同い年や年上の後輩ができることもあるかもしれません。そんな人たちとも気まずくならず普通に話すことができればいいと思いました。

[【No.192の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.314 [No.192](#)へのコメント 2017-05-17 出身： オーストラリア ログイン名： ニンジン様
居住： オーストラリア 20代 女性 タイトル： 同級生と就職

masaballさんと同じように同級生と最初に話しかけると敬語を使うかどうか悩んでいます。なぜなら、確かに無礼にならないため敬語を使うことは大切だからです。そして社会人になったり、運動部に入ったりしたら、部下・上司関係がある場所だから不快な思いをさせないため敬語を使った方がいいです。日本人の友達と聞いてみたとき、敬語に影響を与えることはだいたい年齢だと思われていました。しかし、浪人生ともう友達になったから、そのまま敬語を使わずに話せばいいだと私は思います。

最初に同級生と話するとき、敬語を使わなかったら、友達になることはもっと簡単でしょう。敬語を使うことは尊敬を表していますが、少し冷たい感じがします。ですから、相手と自分の間に隔たりが知覚されます。そうと云っても、敬語を理解することと使うことは就職活動のため必要です。将来の会社で年齢も地位に気を付けて、敬語の使い方がお上手になるはずですよ。

[【No.192の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.482 [No.192](#)の筆者から 2017-05-30 出身： 神奈川県 ログイン名： masaball
居住： 神奈川県 10代 男性 タイトル： コメントありがとうございます

シルさんコメントありがとうございます。

シルさんにも私と同じように同学年で自分よりも一つ年上の方がいたんですね。やっぱり入学して初め

て話すときは同い年だと思えますよね。ほんとに自分も浪人であるときほどどう接していいのか全くと言っていいほど、わからなくなっていました。ですが、私も今では普通の友達として話せるようになりました。

そうですね、社会に出たときに自分よりも年下の人が上司になるなんてことは当たり前のようにあることですよね。私もあなたの言うように時と場合によって相手のことを考えた言葉づかい選んで日々を過ごしていくべきだと思います。

これからの大学生活の中で様々な出会いがあると思うので、そのような人達とも普通に話せるようにしていきましょう。

[【No.192の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.501 [No.192の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川県 10代 男性 ログイン名：masaball
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます
ニンジン様コメントありがとうございます。

そうですね、同級生に最初に話かけるときに敬語を使うかは悩みますよね。でも、私は意外とフレンドリーなほうなので敬語を使わずに話しかけてしまうこともあります。でも、あなたが言うように敬語を使うというのは決して無礼なことではないですし、社会に出た時などには役立つことなので仲良くなるまでは敬語で、友達になったら普通に話すでいいと思います。

最初に敬語で話しかけると親近感がわかず、壁みたいなのを感じて友達になるまでは少し時間がかかるかもしれないですね。確かに、少し冷たい感じがして隔たりを感じることはありますね。

今のうちから敬語を使えるようになっておくといいですよ。

[【No.192の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.191 作文 2017-05-09 出身：日本 10代 女性 ログイン名：リンゴジュース
居住：神奈川県 タイトル：初対面の人との交流

四月というのは、新しい出会いがあり新しい生活が始まる。新しい生活があるということは初対面の人とコミュニケーションをとらなくてはならないのだ。だが、初対面の人との交流が得意な人もいるが苦手な人もいるのが現実だ。ここで、実際に私が初対面の人との交流で感じたことを述べてみよう。

まず第一に、第一声をどういう風に声をかけるのが良いかだ。もちろん、目で見ても年上の人だとわかる時は敬語で話す。だが、どうみても自分より年下である場合、敬語を使うべきか、タメ口で会話をするか難しい。例えば、幼児と会話する際、初めから敬語を使うと堅苦しいイメージがある。だが、普段仲の良い友達とタメ口で話している感覚で話すのも軽々しく思われるだろう。敬語とタメ口の使い分けと言いつつというのは絶妙なバランスが必要だと考えられる。

第二に、外国人との交流の際、その国の言葉や英語を使うべきか日本語で話しかけるべきか悩む。実際に、高校二年生の時に修学旅行で台湾に行った際大変苦労した。私は、中国語がわからなかった為英語で話しかけたかったが、中々自分の思っていることが伝わらなかったのだ。そのため、相手も日本語と英語と中国語の三ヶ国の言葉を使い交流をはかろうとしたが結局のところ、半分はお互いに通じあえたが半分はよくわからずに交流が終わってしまった。

この二つのことを通じて、言葉の選び方と他国の人との交流のためにも英語力というものが必要だろう。

時と場合に合わせて言葉遣いを変えることや、英語力というものは将来、これから社会に出ていく私達にとってすぐにでも身につける能力なのではないかと考えられる。

[【コメントを書く】](#)

No.246 [No.191へのコメント](#) 2017-05-11 出身：新潟 10代 男性 ログイン名：LiSAっ子
居住：神奈川県 タイトル：コメント

私も初対面の人と交流をするときに第一声をどういう風に声をかけるかに悩むときがある。私は初めて知り合った人は必ずと言っていいほど敬語が出てしまう。しかし、つい先日授業終わりに友達が待っていてくれたのだが、友達の隣に知らない人がいて部活の先輩と思い敬語で話しかけたら、「いや、同級生だから」と笑いながら言われて、その時必ずしも敬語ではなくてもいいかなと思った。でも、私は初対面の方は年上年下関係なく敬語を使ってしまう気がする。

[【No.191の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.356 [No.191へのコメント](#) 2017-05-26 出身：オーストラリア 20代 男性 ログイン名：フラットホワイト
居住：オーストラリア タイトル：感想

作文を読ませて頂きます。私も初対面の人と話すときに悩んでいます。リンゴジュースさんに賛成です。これが自分の意見なのですが、英語で初対面の人と話すときは日本語より簡単だと思います。なぜかと言いますと、日本語のような敬語（尊敬語・謙譲語）が英語にはありません。確かに、自分より年下である場合、初対面だったらタメ口を使うか、それとも他人なら必ず敬語を使わないといけないのですか。とても複雑な状況です。最初に敬語を使って、後で相手の年齢を把握したら、敬語やタメ口を決めるのは良いのではないかと思います。幸い、私達は完璧な存在ではないのですから、自分の言葉遣いが間違ってもすぐ謝ったら相手が分かると思います。

外国人との交流の際、それは言うまでもなく、どんな外国人でも英語が話せる訳ではないのです。しかも、日本語を勉強している留学生もいます。外国人と話したら、最初に英語で声をかけてもいいと思いますが、その人が日本語で話したいのなら、日本語で続くべきだと思います。しかし、観光客は大体彼らの母国語しか分からないのですので、台湾に行ったリンゴジュースさんは中国語が話せなくても問題ないと思います。

これから、海外と人とコミュニケーションを取りたいのなら、リンゴジュースさんが言ったように、英語力というスキルが必要だと思いますが、英語圏以外のところの方が気になったら、英語の代わりにその国の言葉を勉強したら利益があります。自分の興味に合わせて、適当な外国語を勉強したらメリットがると思います。

[【No.191の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.358

[No.191](#)へのコメント

2017-05-26

出身：中国
居住：オーストラリア10代 男性 ログイン名：リキ ()
タイトル：リンゴジュースさんへ

私も人と初対面の時、言葉の使い方にすごく悩みます。話相手の年齢、性別または私との関係（例えば同級生、クラスメイト）を気づかなければなりません。性別は簡単に見えて、関係は場所によって分析できます。しかし、年齢が私と近いとそんなに簡単には見えません、その時が少し困ります。また、相手からの初印象は初対面で決まります、それはとても大事なことだと思います。

また、外国人と話すときも、私は一般的に英語が一番いいと思います、その国の言葉を使うと、もしそんなに上手でなければ、間違った意味の言葉を使うと失礼になります、また日本語を使うと、相手が理解できない可能性も高い。私は英語を使うのが一番いいと思います、まず英語はグローバルの言葉で、また英語が喋れる人はますます増えています。

[【No.191の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.361

[No.191](#)へのコメント

2017-05-26

出身：オーストラリア
居住：オーストラリア20代 男性 ログイン名：フラットホワイト
タイトル：感想（添削）

作文を読ませて頂きました。私も初対面の人と話すときに悩んでいます。リンゴジュースさんに賛成です。これが自分の意見なのですが、英語で初対面の人と話すときは日本語より簡単だと思います。なぜかと言いますと、日本語のような敬語（尊敬語・謙譲語）が英語にはありません。確かに、自分より年下である場合、初対面だったらタメ口を使うか、それとも他人なら必ず敬語を使わないといけないのですか。とても複雑な状況です。最初に敬語を使って、後で相手の年齢を把握したら、敬語やタメ口を決めるのは良いのではないかと思います。幸い、私達は完璧な存在ではないのですから、自分の言葉遣いが間違ってもすぐ謝ったら相手分かると思います。

外国人との交流の際、それは言うまでもなく、どんな外国人でも英語が話せる訳ではないのです。しかも、日本語を勉強している留学生もいます。外国人と話したら、最初に英語で声をかけてもいいと思いますが、その人が日本語で話したいのなら、日本語で続くべきだと思います。しかし、観光客は大体彼らの母国語しか分からないのですので、台湾に行ったリンゴジュースさんは中国語が話せなくても問題ないと思います。

これから、海外と人とコミュニケーションを取りたいのなら、リンゴジュースさんが言ったように、英語力というスキルが必要だと思いますが、英語圏以外のところの方が気になったら、英語の代わりにその国の言葉を勉強したら利益があります。自分の興味に合わせて、適当な外国語を勉強したらメリットがあると思います。

[【No.191の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.464

[No.191](#)の筆者から

2017-05-30

出身：静岡
居住：神奈川10代 女性 ログイン名：リンゴジュース
タイトル：コメントありがとうございます！

私もLiSAっ子さんのように、初めて知り合った人にはほぼほぼ敬語を使ってしまいます。

確かに友達の隣に知らない人がいたら、先輩なのか同級生なのか後輩なのかわからないので敬語を使ってしまいます。でも、敬語で話しておく、失礼がないと思うのでこれからも初対面の人には、敬語を使うと思います。

そして、仲良くなっていくごとに言葉遣いを変えて交流することができたら、相手との距離も縮まってより深くなっていくと思います。

コメントありがとうございました。

[【No.191の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.489 [No.191](#)の筆者から 2017-05-30 出身：静岡 10代 女性 ログイン名：リンゴジュース
居住：神奈川 タイトル：コメントありがとうございます

フラットホワイトさんコメントありがとうございました。

フラットホワイトさんのおっしゃった通り、英語には敬語というものが無いので日本語のように敬語やタメ口を使い分けなくて良いので簡単なのかもしれません。初対面の人と会話をする際、日本語のように言葉を使い分けなければならない際、見た目では年上なのか年下なのか、はたまた同級生なのか分からない時があるので最初から敬語を使っておけば相手に失礼がないと思います。そして、自分の言葉遣いが間違ってしまった際、すぐに謝ったら相手も分かってくれると思います。

やはり、外国人の方との交流は少し難しいと思いました。確かにすべての外国人の方が英語を話せるとは限らないので、他の言語が必要になってくると思います。それに、旅行先の言葉で会話したい場合もあるので時と場合の判断が大切だと思いました。

フラットホワイトさんのアドバイスのように英語のスキルを磨き、英語圏以外のところが気になったらその国の外国語を勉強したいと思いました。自分の興味に合わせてその国に適した外国語を勉強していきたいです。

アドバイスありがとうございます。

[【No.191の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.497 [No.191](#)の筆者から 2017-05-30 出身：静岡 10代 女性 ログイン名：リンゴジュース
居住：神奈川 タイトル：コメントありがとうございます

リキ()さんコメントありがとうございます。

私もリキ()さんのように初対面の時の言葉の使い方にすごく悩みます。確かに話し相手の性別、関係性は時と場合によって判断が簡単に見えるかもしれませんが、やはり、リキ()さんのおっしゃった通り年齢の項目についてはとても難しいです。そのため、一番良いのは、日本語のように言葉遣いが複雑な国の場合、敬語(一番丁寧な言い方)で会話をすれば相手に失礼がないと思うので、敬語を使うのが良いと思います。

やはり、外国の方との会話には英語で話しかけるのが良いと私も思います。確かに頑張って相手の国の母国語を使って間違った意味の言葉を使うと失礼にあたります。今の世界では、グローバル化が進んでいるので英語のスキルを磨いていきたいと思います。

[【No.191の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.544 [No.191](#)へのコメント 2017-06-07 出身：中国 10代 男性 ログイン名：リキ(元「上さん」)
居住：オーストラリア タイトル：コメントありがとうございます

リンゴジュースさんのコメントありがとうございます。

英語には敬語はほとんどありません、年上と年下の人に話す時は言葉の使い方はほとんど区別ありません。その訳で英語で話す時は相手の年齢や関係性について考えなくても、遠慮なく話せます。でも、私は最初の時それについてちょっと悩みました、例えば年上の人や先生に話す時に私は丁寧に喋りたいけど、丁寧な喋り方が見つかりませんでした。

また、この前日本から来たビジターの方々に「もし外国人が日本語であなたと話す時、敬語を使い忘れた

ら、その人は失礼だな?と聞きますか」と聞いたら。ビジターの方々は「いいえ、外国人として、日本語で話してくれるだけでもうとても嬉しいだと思います」と答えました。それを聞いた後、日本語が母語でない私が少し安心しました。もし、日本人と話すとき、たまに敬語を使い忘れても、許されると思います。また日本語のスキルを頑張って勉強します。

[【No.191の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.190 作文 2017-05-09 出身：神奈川県 20代 男性 ログイン名：Nick
居住：神奈川県 タイトル：ネイティブの英語教師と話す時

私は、大学でネイティブの先生が担当をしている英会話の授業を受けている。基本的に英語で進行するこの授業では、英語力だけでなく、会話力も必要とされている。そこで、私が先生と話す時に困った場面が大きく分けて二つあった。

一つ目は、授業中に私が先生に発言をする時に、英語をどのように表現するべきか困ったことである。上手く表現しようとする中で私の中で焦りが出てしまい、言いたいことを英語で組み立てられないまま不自然な表現になってしまうと感じる。また、日本語では先生と話す時に尊敬語を使うが、英語では日本語よりカジュアルに話す場面もある。そのため、私は先生に対しどのような場面で尊敬語を使うべきか迷うことがある。これらは、私が今まで英会話を行わなかったことによる経験不足や、会話する時に上手く話そうとすることで緊張してしまうためであると考えられる。

二つ目は、休み時間に私が先生と話す時、英語と日本語のどちらを使うべきか迷った場面である。休み時間では、先生とは英語だけでなく日本語でも話すことができるため、私は日本語を使う方が話やすい。だが、英語を使わなければ経験を得られないため、どちらにすべきか迷うことがある。しかし、私は英会話力の向上を目指しているため、間違いを恐れず積極的に英語を使うべきだと考える。よって、休み時間でも先生と話す時、自らすすんで英語を使うことが良いと考える。

以上が、私がネイティブの英語教師と話す時に困った場面である。私は、英語が自由に話せるようになることを目標としているため、積極的に英語を使うことが必要と考える。また、私の英会話力が向上すると、授業で多くの発言をすることができるようになり、より多くの経験と達成感を得ることができると考える。

[【コメントを書く】](#)

No.287 [No.190へのコメント](#) 2017-05-15 出身：日本 10代 女性 ログイン名：1714
居住：神奈川県 タイトル：ネイティブの先生と話す時

私も英語の授業で、ネイティブの先生に教わっていてその時の言葉づかいで悩んでいて共感できるところがたくさんありました。

英語の授業で、たまにスピーチや発表など急に行われたりするので、その時は丁寧に話した方がいいか、ラフな感じで話していいか迷ってしまい、よくわからない表現になってしまうことが私もよくあるので、難しいなあと思いました。

授業以外でそのネイティブの先生に会った時は、急に英語で話すことが私にはまだできないので、その場合は先生にわかりやすいように簡単な日本語やジェスチャーなど工夫してわかりやすくしています。その場合に敬語で話すべきか迷います。できれば英語で話せた方が先生にとってはいいのかなとは思っています。実際、英語は丁寧な表現はあると聞いたことはありますが、日本語みたいに敬語がないのでどのように話していいか迷います。

これから国際化が進んで英語が大事になってくると思うので、この作文を読んで確かに外国人の場合はどうすればいいのだろうと改めて思いました。

No.311 [No.190へのコメント](#)

2017-05-16

出身： **日本**
居住： 東京都

10代 男性 ログイン名： **KENTA**
タイトル：ネイティブの人との話し方

私もフレッシュャーズ・イングリッシュの授業でネイティブの先生に習っているが、話そうとすると通った通りに話すことができないのでとても共感できた。英語で話す時は焦ってしまいうまく言いたいことを表現できないことがよくある。中学生の時に短期でカナダに留学行ったことがあるが、その時も結局日本語に頼ってしまった。そのため、英語の勉強は問題を解くだけでなく、実際に外国の方と話すことが大切だと思った。

No.329 [No.190へのコメント](#)

2017-05-21

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

20代 女性 ログイン名： **andrewss**
タイトル：ネイティブの先生から習うのが大事

Nickさんと言ったことは、英会話のネイティブの先生に授業中質問をしたり、クラスの後で先生に話したりすることを日本語か英語、どちらの方がいいという問題であった。Nickさんに同情せずにはいられなかった。私も何度も同じ状態を経験して、同じように焦ってしまった。その焦りは多くの第二言語学者が感じるのだと思うが、ネイティブの先生から習うことがやはり大事だと思う。

また、Nickさんと同じように第二言語を学んでいる立場として助言をしたい。

最初の場面で、隣に座っている学生にどうやってそのコメントを英語にいうかと聞く。他に、言いたいコメントを日本語で書いて、クラスの後で先生と一緒に翻訳をするのもいいやり方だと思う。一般的に、完璧に話せなくても、辞書を使って分からない単語を見つけて、そして一生懸命コメントを訳して発表するのはいいことだと思う。間違いを恐れるような人は英語力が上達しないと思う。私の経験で、少し恥ずかしかったが、間違えれば将来同じ間違いをする可能性が低くなるし、大抵学生からの質問やコメントは先生にとって嬉しいものである。

この二つのポイントから、Nickさんの結論に賛成である。休み時間に関わらず、会話を上達するため、あらゆる練習の機会を利用したほうが良いと思う。しかし、複雑な質問があれば、英語で表せないからといってそのままにする代わりに、母国語で先生に聞くの方が良いと思う。なぜなら、具体的に困ることを説明でき、自分の理解をあげるからである。

No.340 [No.190へのコメント](#)

2017-05-23

出身： **台湾**
居住： オーストラリア

10代 女性 ログイン名： **ラーメン**
タイトル：コメント

私も似たような経験がある。ネイティブの日本語の先生と会話する時、たまに緊張しすぎて、自分の伝えたいことを上手く表現できないことがある。

私の母語は英語ではなく、中国語である。幼稚園から、英語の授業を受け始めて、ネイティブの先生に英語を教えられた。そのため、英会話を話すことは恐れない。しかし、日本語の勉強はまだ始めてから三年だけで、たくさんわからないことがある。さらに、いつも友達とタメ口で話しているため、先生と話すと時、敬語を使うのを忘れてしまうことを心配している。

とはいえ、私は間違えることを恐れずに、ネイティブの先生と会話することが上達への一番の近道だと思う。英語では、友達と先生との会話にそんなに違いがないため、カジュアルに話しても大丈夫だと思う。

緊張することは当然だが、練習すればするほど、英語を自由に話せるようになる。

私たちの目標は言語力を上げることだ。そういうわけで、自分を信じて、英語を使って、先生と話した方がいいと思う。学生のみんなも多分あなたと同じように緊張しているはずだ。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.351 [No.190へのコメント](#)

2017-05-26

出身：香港
居住：オーストラリア

20代 女性 ログイン名：からあげクン
タイトル：習うより慣れる

私も日本語の授業で同じことを経験した。授業が終わったら日本語の先生に質問したい時はいつも英語か日本語が使う事を迷っていた。日本語を使う方がいいと思ったが、よく言いたいことがうまく表現できない。しかし、会話を練習しないなら、いつでも上達になれない。だから、今はなるべく先生に日本語で話す。

英語は日本語と違って、先生と話すときは尊敬語を使わなくてもいい、カジュアルに話す方が親切である。それに、普段はネイティブと話す機会があまりないから、授業で練習するのはもっともいい途方である。ネイティブの先生ともっと話すなら、英語に話すことは怖がらないなる。

ネイティブの先生と話す時はなるべく日本語を使わないで、英語だけを使う方がいいと思う。私は香港出身なので、英語を第二言語として勉強する。オーストラリアに留学したから、英語だけ話すしかない。最初も英語で話す時は焦って、間違いを怯えたが、毎日オーストラリア人と英語で話すと、だんだん流暢に英語を話せる。習うより慣れる、間違いを恐れずに、ネイティブの先生と会話して、たくさん練習して、経験を積む。だから、一番良いの言語勉強法はネイティブと話すことです。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.452 [No.190へのコメント](#)

2017-05-30

出身：日本
居住：神奈川県

10代 男性 ログイン名：rugby
タイトル：ネイティブの先生と話すとき

私も英語の授業で、ネイティブの先生に教わっていてその時の言葉づかいで悩んでいて共感できるところがたくさんありました。

英語の授業で、たまにスピーチや発表など急に行われたりするので、その時は丁寧に話した方がいいか、ラフな感じで話していいか迷ってしまい、よくわからない表現になってしまうことが私もよくあるので、難しいなあと思いました。

授業以外でそのネイティブの先生に会った時は、急に英語で話すことが私にはまだできないので、その場合は先生にわかりやすいように簡単な日本語やジェスチャーなど工夫してわかりやすくしています。その場合に敬語で話すべきか迷います。できれば英語で話せた方が先生にとってはいいのかなとは思っています。実際、英語は丁寧な表現はあると聞いたことはありますが、日本語みたいに敬語がないのでどのように話していいか迷います。

これから国際化が進んで英語が大事になってくると思うので、この作文を読んで確かに外国人の場合はどうすればいいのだろうと改めて思いました。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.507 [No.190の筆者から](#)

2017-05-30

出身：神奈川県
居住：神奈川県

20代 男性 ログイン名：Nick
タイトル：コメントありがとうございます

1714さん、コメントを書きくださりありがとうございます。

英会話に慣れないうちは、丁寧な話し方とラフな話し方のどちらを使えばいいか迷います。また、上手く話せない場合は、1714さんのおっしゃるように、ジェスチャーを使って工夫することも、一つの手だと思います。そのとき、上手く話せなくても、英語を使いながらのジェスチャーの方がよいと考えます。なぜなら、英語を話せば話すほど、英会話力は向上するからです。

英語では丁寧な表現をするより、相手との距離感が大切だそうです。例えば、生徒と教師が会話する際も、生徒はあまり敬語を使わず、教師との距離を縮めるようなカジュアルな会話をするそうです。これは日本にはあまりなじみのない文化かもしれませんが、英語で話す際は頭の隅に置いておくのもよいかもしれません。

最後に、私は自分の英会話力を向上させるためにも、積極的に英語で話すことが必要だと改めて感じました。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.520 [No.190の筆者から](#) 2017-06-05 出身：神奈川県 20代 男性 ログイン名：Nick
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます

KENTAさん、コメントを書きくださりありがとうございます。

英会話に慣れないうちは、どうしても自分の言いたいこと表現できないですね。私の場合、そもそもの英語力にも問題があるのですが…。それでもやっぱりどんどん英語に触れて慣れていくしかないですね。少しずつでも英語が話せるようになると自信もつくと思います。

中学生の頃にカナダへ留学したそうですが、すごいですね。私が中学生の頃は英語力など全然なかったので留学など考えもしませんでした。しかし、大学生になったので、私は何かの機会に留学したいと考えています。英語が話せるようになるためには、KENTAさんのおっしゃるように、実際にネイティブの人と話すことが必要不可欠です。

ネイティブの先生に英語を習っている者同士、英会話が向上するようにお互い頑張りましょう。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.521 [No.190の筆者から](#) 2017-06-05 出身：神奈川県 20代 男性 ログイン名：Nick
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます

andrewssさん、コメントだけでなく、具体的なアドバイスまでしてく下さりありがとうございます。

andrewssさんは私と同じような経験をすでにされたのですね。やはり、第二外国語を習っている多くの人が皆同じような焦りを経験するのでしょうか。この焦りは、第二外国語を話すときの、最初の山場のようなものでしょうか。

andrewssさんに共感していただき、嬉しいです。私も、あなたにアドバイスしていただいたように、ネイティブの先生と話す時は、なるべく英語で話すことを心がけています。もちろん、完璧に話せる訳ではないので、片言になってしまうことも多々あります。しかし、私は英語が話せるようになりたいので、積極的に英語を使いたいと考えています。なので、andrewssさんのアドバイスをぜひ活用させていただきます。

これからも、第二外国語を勉強している者同士、どんどん話せるようにお互い頑張りましょう。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.523 [No.190](#)の筆者から 2017-06-05 出身：神奈川県 20代 男性 ログイン名：Nick
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます

ラーメンさん、コメントを書いてくださりありがとうございます。

ラーメンさんも私と同じような経験をすでにされたのですね。やはり、外国語を習っている多くの人が皆同じような緊張を経験するのでしょうか。この緊張は、外国語を話すときの、最初の山場のようなものではないでしょうか。特にあなたの場合、日本語の敬語の使い分けは難しいと感じるのでしょうか。目上の人を敬うために敬語で話すのは日本語独特の文化のようなものですね。対して、英語には日本語ほどの敬語はあまりないのでしょうか。もしそうならば、英語ではカジュアルに話すことにより、お互いの距離を縮めることを重視しているのかもしれない。

ラーメンさんのおっしゃるように、私たちの目標は言語力を上げることです。なので、私は積極的に英語を話して、向上させたいと思います。お互い、それぞれ勉強している言語が自由に話せるように頑張りましょう。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.524 [No.190](#)の筆者から 2017-06-05 出身：神奈川県 20代 男性 ログイン名：Nick
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます

からあげくんさん、コメントを書いてくださりありがとうございます。

あなたが書いてくださったコメントのタイトルがすごく面白いです。「習う」と「慣れる」がとても上手に使われていると思います。「習う」は教えられて自分の身につける「まなぶ」という意味を持ち、「慣れる」は度々経験して「馴れる」という意味を持ちます。「習うより慣れる」というタイトルを見て、私はあなたのおっしゃりたいことがすぐにわかりました。確かに、いくら英語を習ったからといって、必ずしもそれを話せるようになるわけではないです。話せるようになるには、やはり英語でどんどん話して、慣れていくことが重要だと思います。

したがって、あなたのおっしゃる通り、私は英語を「習う」のではなく、英語に「慣れる」ことを意識して、これからの英会話の授業を受けたいと強く感じました。それぞれ勉強している言語が自由に話せるように、お互い頑張りましょう。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.525 [No.190](#)の筆者から 2017-06-05 出身：神奈川県 20代 男性 ログイン名：Nick
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます

rugbyさん、コメントを書いてくださりありがとうございます。

英会話に慣れないうちは、丁寧な話し方とラフな話し方のどちらを使えばいいか迷います。また、上手く話せない場合は、rugbyさんのおっしゃるように、ジェスチャーを使って工夫することも、一つの手だと思います。そのとき、上手く話せなくても、英語を使いながらのジェスチャーの方がよいと考えます。なぜなら、英語を話せば話すほど、英会話力は向上するからです。

英語では丁寧な表現をするより、相手との距離感が大切だそうです。例えば、生徒と教師が会話する際も、生徒はあまり敬語を使わず、教師との距離を縮めるようなカジュアルな会話をするそうです。これは日本にはあまりなじみのない文化かもしれませんが、英語で話す際は頭の隅に置いておくのもよいかもしれません。

最後に、私は自分の英会話力を向上させるためにも、積極的に英語で話すことが必要だと改めて感じました。

[【No.190の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.189 作文 2017-05-09 出身：神奈川県 10代 男性 ログイン名：もやし
居住：神奈川県 タイトル：バイト先での言葉づかいで困った話

私がバイト先での言葉づかいで困ったことは、先輩、後輩に対しての言葉づかいです。

私がバイトを始めたときは、バイトの先輩が全員年上で働いている期間も長かったので敬語で話していました。しかし、働いている期間が長くなるごとに後輩がいるようになりました。後輩は、年上も年下もいます。ここで言葉づかいに悩みました。年下で働いている期間が自分よりも短い人にはタメ口でも良いのかもしれませんが。ですが、年上で自分よりも働いている期間が短い人に物を教えるときなどに悩みました。働いている期間が長いだけでタメ口を使っていいのか分かりませんでした。

そこで私は、自分が先輩から教えてもらったときのことを思い出しました。先輩は年下で働いている期間が短い私に対して敬語で話していました。タメ口を使っても良い場面でなぜ敬語を使ったのか考えてみると、年齢関係なく初対面であり社会人であるからだなと思いました。仕事の場では仲良くても社会の中であるので敬語を使うのがよいと思いました。

私が思ったことは、社会に出れば年下の先輩がたくさんいます。敬語は誰に対しても使えるものなのでしっかりと身に付けることが大事だと思いました。また、今は年下でも年上でもタメ口で話しています。仕事の場では敬語、休みなどのときはタメ口を使っています。私はこの切り替えが大事だと思います。これは社会に出て大事なことだと思います。これが私のバイト先での言葉づかいで困った話です。

[【コメントを書く】](#)

No.310 [No.189へのコメント](#) 2017-05-16 出身：新潟 10代 男性 ログイン名：ストレッチマン
居住：神奈川 タイトル：実に難しい。

私はバイト経験がない。だが、もやしさんの作文を拝見してみたくなるほど感じた。確かにバイトの先輩もいれば後輩もいる。先輩の中にも年上もいれば年下もいる。実に複雑で悩みどころ満載だ。社会とは本当に難しい。だが、これから就職するうえで貴重な経験になる。社会の場面での言葉遣いというものはとても難しい。

話は変わるが、部活での先輩後輩関係とはまた違う。中学校、高校は年がほとんど学年によって決まっている。一年生なら常に敬語。二年生なら中間役。三年生は後輩しかいないのでタメ口で大丈夫。社会と違い、単純だ。

自分もこれからバイトを始めようとしている。もやしさんのような言葉遣いで困るときが必ず来るだろう。ん、年下だけど先輩なのか、ん、年上なのに後輩だなど複雑なことが多々あるだろう。場面場面で考えて対応していきたいと思う。

これからバイトするうえで参考になりました。ありがとうございました。

[【No.189の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

ストレッチマンさんコメントありがとうございます。参考になれたなら良かったです。

自分も作文を書いている社会について改めて考えさせられました。言葉づかいは社会人になって行く上でとても大事なことだと思います。仕事は出来ていても、上司や相手先の人との話でうまい言葉づかいをできなければ付き合っていけないと思います。

話にあげてくれた部活のことは学年が決まっていた単純だなと自分も思いました。自分も中学の時の部活では、学年が上がるごとに敬語からタメ口になっていました。今はバイト先ではタメ口と敬語を使い分けていますが、社会に出たら基本敬語を使うので今のうちにバイト先でも敬語だけを使っていこうかなと思いました。

社会人になっていきなり言葉づかいに困ってしまう前にバイトをするのはおすすめです。一回体験してしまえばこれからどのようにしていけば良いのかわかるので、バイト頑張ってみてください。ありがとうございました。

[【No.189の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.188

作文

2017-05-09

出身：茨城県
居住：神奈川県

10代 男性

ログイン名：のぎすけ

タイトル：大人との付き合い方

自分は言葉の使い方で分からなくなることがある。それは、親などの血縁関係にある人と担任の先生など学校の先生に対する敬語・タメ口の使い分けだ。

実際に自分が中学校や高校の時に体験したことは、よく話す担任の先生や人気のある先生と話しているとき、話が盛り上がり、つい先生にタメ口で話してしまうことがあった。話の盛り上がりや流れから「まあ、いっか。」と思い、そのまま続けた。しかし、部活の監督と話するときは少なからず緊張感があり、最後まで敬語で話す。この違いは何なのだろうといつも思うのだ。

一方で家族と話するときは基本タメ口で話すが、お盆やお正月など親戚も集まることがあり、よく話すひとは気楽にタメ口で話せるが、たまにしか見ない人はなかなか声がかげづらく、つい敬語になってしまう。こんなこともあった。親とは常にタメ口で話すが、急に敬語でお願いごとをされると、つられて自分まで敬語で返事をしてしまう。そこが個人的には嫌なところだ。なぜ親子の関係なのに敬語で話すのか、と。

自分は敬語が嫌いだ。なぜなら見えない壁があるみたいで気まずく、息苦しいからだ。しかし、いきなりタメ口で話すのも礼儀がなくなってしまうような感じであるから、このような考えにたどり着いた。相手と自分との関係性もあるが、話している内容や展開、流れなど様々な要素が加わって、タメ口や敬語を使い分けるのだと自分は考えた。

[【コメントを書く】](#)

No.272

[No.188](#)へのコメント

2017-05-15

出身：神奈川
居住：神奈川

10代 男性

ログイン名：コキマロ

タイトル：コメント

とても共感できます。

中学、高校で同じ体験をしたことがあります。自分も野球部に所属していたのでそのような経験をしたことが多くあります。部活の監督と話するときは緊張感があるのに対して担任の先生や慣れ親しんだ先生と話

すときの違いは疑問に思うことがありました。

確かに敬語には壁があるかも知れないが生きていく上での常識だと思う。敬語を話さなかったら怒られているのに反省の色がわからないと思う。私もあなたと同じように「相手と自分の関係性」が敬語とため口を使い分けるためのボーダーラインだと思う。それは人によってさまざまだと思う。自分に合ったものを見つけて人との会話をするのを心がけていくのが大切だと思う。

ほかの人のを見て学ぶことを改めて実感しました。これからも話し方には特に気を付けたいと思った。

[【No.188の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.276

[No.188](#)へのコメント

2017-05-15

出身：日本
居住：東京

10代 男性

ログイン名：綾鷹
タイトル：コメ

私もよく同じような体験を何度かしたことがあります。

学校で先生と話したりしていると、会話が弾んだりしてたまにタメ口になってしまうことがありました。そのときは、「あっ」と思うのですがそれを感じとった先生が別にいいよと言うように笑ってくれました。しかし、部活の顧問の先生と話す時には、会話をしている時にすごく気をつけながら話しています。顧問以外の先生と話す時とは違って、変な緊張感があります。

正月などに親戚と集まった時には、親の兄弟は会うことも多いのでタメ口で喋りますが、たまにしか会わない親戚の人には敬語で喋ります。ですが、複数人で話しているときその場に敬語で話している人とタメ口で話している人ごいるときはどうすればいいか悩んでしまいます。

敬語が好きではないこともよくわかる。相手との間に壁を作ってしまうようで私もあまり好きではない。私も最近は敬語とタメ口を状況や場合によって使いわけるようにしている。

[【No.188の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.359

[No.188](#)へのコメント

2017-05-26

出身：日本
居住：オーストラリア

20代 男性

ログイン名：ろっどまん
タイトル：コメント

作文を読ませていただきました。すごくわかります。私は敬語を使うタイミングがわからなくなることがあります。

私は小学校の4年間だけを日本の福岡県で過ごして、それからオーストラリアに来ました。日本に住んでいたとき、友達とは主に博多弁を使って話していたので、標準語を滅多に使わなかったし、小学生だったから敬語も習わなかったのも、日本語を中途半端にしか学べていません。それに、上下関係に厳しくないオーストラリアに長く住んでいるから、いつ敬語を使えばいいのかわからなくなります。

オーストラリアでは先生と生徒の距離が非常に近いため、友達のように話します。しかし、オーストラリアで日本語を教えている日本人の先生と話すときに先生は日本人だから敬語を使わないといけないのかそれともオーストラリアだから使わなくてもいいのかと迷います。

他にも相手が敬語を使わずに話してきたら、私も敬語を使わずに話してしまったり、逆に敬語で話してきたら、それが年下の人であっても敬語で話してしまうことがたまにあります。

私も敬語で混乱することがあるし使い方が難しいので、できれば無い方がいいですけど、日本人として社会に出ていくためには、なければいけないと思うので、もっと勉強して状況によって使い分けれるようになりたいです。

No.480 [No.188の筆者から](#) 2017-05-30 出身：茨城県 10代 男性 ログイン名：のぎすけ
居住：神奈川県 タイトル：ありがとうございます

共感してくれてありがとうございます。自分も野球部にはいっていました。

野球部に限らず部活をしている人、もしくは部活をしていた人は体験したことがあると思います。そうなると思えば担任の先生など話しやすい先生との違いに疑問を感じるのはあたりまえですね。わかります。

敬語は「生きていくうえでの常識」のところは自分もそう思います。確かに敬語は嫌いであんまり使いたくはないのですが、敬語を使わなければ気まづくなったりして人間関係が上手くいかなくなり辛い状況になりますよね。そこはちゃんと意識しているので気まづくなったりしたことはありません。

「敬語とため口のボーダーラインは人それぞれ」のところは確かにそうだなと感心しました。個人差というのはどんなものにもあると思うので、自分のペースでやれば良いと思います。

意見が聞くことができ良かったです。ありがとうございました。

[【No.188の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.502 [No.188の筆者から](#) 2017-05-30 出身：茨城県 10代 男性 ログイン名：のぎすけ
居住：神奈川県 タイトル：ありがとうございます

まずは、読んでくれてありがとうございます。

やはり、先生との会話が盛り上がったときはついたため口になってしまいますよね。部活の顧問の先生には変な緊張感を感じることもわかります。

正月のときなどによく会う親戚ならいいんですけどたまにしか会わない親戚にいきなりため口で話すことは難しいですね。気まづい雰囲気になってしまうこともあると思います。ため口で話す人と敬語で話す人が一緒のときに話し方に悩むのはわかります。自分の場合はとりあえず話を聞いていて話の流れでため口ではいるか敬語からはいるかを決めています。話していると盛り上がってくるので、そこで距離は縮まってくるとかかなと思います。参考になったら嬉しいです。

敬語は確かに相手との間に壁を作っている感じがして嫌いなのですが、そんなことは言っていられないので、自分も状況や場合、話している相手を見ながら、ため口と敬語を使い分けています。

共感してくれてありがとうございます。

[【No.188の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.512 [No.188の筆者から](#) 2017-06-01 出身：茨城県 10代 男性 ログイン名：のぎすけ
居住：神奈川県 タイトル：ありがとうございます

まずは、読んでいただきありがとうございます。

小学校の4年間しか日本に住んでなくて、日本でも方言で話していて、それからオーストラリアで暮らしているから、日本語の敬語の使い方には悩みますよね。日本とオーストラリアでは全然人間関係が違っていると思います。自分はオーストラリアのフレンドリーな雰囲気は人との距離が近いような感じがして好きですよ。しかし、日本でいきなりフレンドリーな感じでいくと驚くひとがいるかもしれません。それによって人間関係が気まづくなってしまうかもしれませんね。やはり、それは文化の違いだと思います。基本的に相手が年上の人や目上の人には敬語ですが、年下であるなら敬語でなくてもいいと思います。

日本に住んでいる自分でさえ敬語の使い方に悩むので、ろっどまんさんはもっと大変だと思います。確かに社会では基本的に敬語でやり取りするので必要ですね。勉強していけば使い方がわかってくると思うので、頑張ってください。

[【No.188の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.187

作文

2017-05-09

出身： 沖ノ島島
居住： 神奈川県10代 男性 ログイン名： パチョフ
タイトル： 初対面の人との話し方

私は初めて会った人が年上ならば敬語、年下だったならばタメ語で話している。ここまではみんな同じだと思うが、私が困っているのはこれである。初めて会った同じくらいの年の人と話す時だ。なぜなら、敬語で話してほしい人もいれば、タメ語で話してほしいという人がそれぞれいるからだ。

まず、敬語で話してほしい人の理由を考えてみる。初対面でいきなりタメ語だと失礼に感じ、なれなれしく感じてしまう人もいると思う。これについて私はあまり共感できない。年上にタメ語だと常識的に考えて少しおかしいような気がする。しかし、私はタメ語で話してほしい人だから、ほとんど気にならない。だが、敬語で話してもらったら、丁寧でしっかりした人だという印象を受けるだろう。

次に、タメ語で話してほしい人の理由。私がタメ語で話してもらいたい理由を挙げてみる。先程のように初対面の人敬語で話しかけてもらおうと、まじめな印象を受ける。しかし、堅苦しいや距離を感じてしまう気がする。年下の人には敬語で話しかけられる時が多いが、為後で話してもいいと言ってはいる。同年代の人に敬語で話しかけられると、思わず敬語で返してしまい、タメ語に変えるタイミングが分からなくなってしまう。

だから、私は同年代だったら初対面でもタメ語で話せるようになりたい。そもそも英語のように為後や敬語などがなければよかったと思う時がある。しかし、諦めて日本語で頑張っていきたい。

[【コメントを書く】](#)

No.296

[No.187](#)へのコメント

2017-05-16

出身： 日本
居住： 神奈川県10代 男性 ログイン名： ジョージ
タイトル： 考えさせられました

私は初対面の人と話す時、必ず敬語を使います。相手が年下だろうが同年代だとしても敬語を使います。

同年代時でも仲良くなるまでは硬い感じになり、私は敬語を使うのでばちょふさんの考え方が新鮮であり確かにタメ語で硬い感じ無しの人たちもいるのかなって考えさせられました。

たしかに距離を感じてしまうかも知れませんが、仲良くなれば同年代でも年上でも友達になればタメ語で喋るので、最初は礼儀正しく敬語を私は使っていきます。

日本語って改めて難しいって思いますよね。英語なら普通の会話で成り立ちますもんね。

[【No.187の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.328

[No.187](#)へのコメント

2017-05-21

出身： オーストラリア
居住： オーストラリア20代 女性 ログイン名： NGOE
タイトル： 感想

オーストラリアで、タメ語で話すのは日本と比べて、悪い印象を与える可能性が低い。なぜなら、初対面の時に、敬語のような英語を使うと、自分は相手より高い立場にいるという高慢な印象を与える。それはオーストラリアの基本的な考え方だけだ。困ったことに日本で誰でも、敬語を使うべきなのは周知の事実だ。

そうは言っても、どこでも年齢ではなくて、初対面の目的を考える必要がある。同年代の人と友達になる目的があれば、敬語より、タメ語の方がいいと思う。その状態に敬語を使う成果は多く相手は違和感が気

になる。一方で、友達になりたい。しかし、敬語を使うことのより、相手と距離を置く。目的は言い方とあまり似合わないだろう。別の例は人に頼み事をする状態で、敬語を使うのは自然な行動だ。目的に基づいた、常識的な決定だ。

初対面の人と話し方について「必ず敬語を使う」という規則は間違った。その代わりに、「どうしてその人と話すか」という質問を考えれば、年齢にかかわらず、正しく目的と似合う言い方を選ぶことができる。

[【No.187の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.462 [No.187の筆者から](#) 2017-05-30 出身：沖ノ鳥島 10代 男性 ログイン名：パチョフ
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます。

僕もアルバイトの時は仕事だから年下か年上か関係なく、敬語で話しています。アルバイトは仕事になるので、まじめなほうがいいかと思ってそうしています。僕のアルバイト先の先輩がとてもフレンドリーでそんな人になりたいから、年下にはタメ語で話すようにしているのかもしれませんが。

私もジョージさんのように敬語で話す人には敬語で話し、相手に合わせるようにしています。自分はタメ語がいいからと相手にまで強要しないように気を付けています。礼儀正しいのも魅力ですよね。私は年上の人と話すときは仲良くなってもあまりタメ語は使えず、ほとんどが敬語になってしまいます。そして、たまにタメ語で話しかけています。

日本語で良かったと思う時もあるのですが、このように敬語などの話になったときには面倒くさく感じてしまいます。英語も英語で面倒なところもあると英語の授業中に感じる時もありますが、英語のほうがカッコよく感じてしまうのもあってか、英語が良かったと思う時があります。

[【No.187の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.479 [No.187の筆者から](#) 2017-05-30 出身：沖ノ鳥島 10代 男性 ログイン名：パチョフ
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます。

オーストラリアと日本ではこんなに違いがあるのですね。敬語を使うと自分が高い位置になってしまうなんて、日本と正反対でとても驚きました。NGOEさんのオーストラリアでは使わないほうがいいのに、日本では使ったほうがいいからとても大変ですよね。

確かにその通りですね。目的によって敬語とタメ語を使い分ける必要もある事を考えられていませんでした。何か頼みごとをするのに、初対面でタメ語だと失礼というか態度が大きくて相手に不快感を与えてしまうのかもしれないね。だから言って、上司の人と仲良くなりたいからと言ってタメ語で話すのも何か違うと思います。そこのバランスが難しいですね。

初対面の人と友達になりたいのに、「必ず敬語をつかわなくては」と言って敬語を使っていたらなかなか仲良くなれない場合も出てきてしまいますね。今後は僕も初対面の人と話すときに、年上か年下なのかを考えずにどんな目的があってその人に話すのかを考えてから話すようにしたいです。

[【No.187の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.186 作文 2017-05-09 出身：神奈川県 10代 男性 ログイン名：こきまろ
居住：神奈川県 タイトル：タメ口と敬語の使い分け

私は大学に入ってから敬語の使い方について困ったことがあった。それは、同じ学年で一年間浪人した

人と会話をする時に、敬語を使って話すのが当然だと思っていたが、相手がタメ口で話すのを許してくれた。しかし、私は野球部に所属していたので年上の人に敬語を使うのが癖になっている。

年上の人タメ口で話すのを許し、とても仲良くなったが先輩一つ上の先輩であることをいつの間にか忘れてしまう時があると思う。その時に改めてまた人との会話の難しさがわかると思う。私はあまり他の人に気を使ってほしくないでタメ口で話されてもあまり気にしていない。タメ口で話すことにもメリットがあると私は思う。

デメリットも潜んでいると思う。例えば会社に入り何年かたって上司の方々とも仲良くなってタメ口を使う場面も出てくると思う。その時にハメを外してしまい上司に怒られる時があると思う。タメ口を使って打ち解けていくのはいいことだと思うが、周りの状況を見て敬語を使うことも大切だと思う。

私は改めて言葉遣いについて考えてみたが、やっぱり難しいと感じた。これから社会人になって初対面の人と話す機会が増えてくると思う。その時に私はしっかりとした言葉遣いができるように気をつけたい。

[【コメントを書く】](#)

No.247

[No.186](#)へのコメント

2017-05-12

出身： 神奈川県
居住： 日本

10代 女性 ログイン名： トマト
タイトル： コメント

とても共感できました。

私も中学生の時、上下関係の厳しい部活に入りました。そんな部活に嫌気をさした先輩が私に『タメ口で良いよ』と言ってくれましたが、上下関係に厳しい先輩もいるので先輩によって使い分けるのが大変難しかったです。私の部活は1人でも優しい先輩がいると部活全体が緩くなり部活に来なくなる後輩が多く、問題になりました。

先輩に対しタメ口を使うことは悪いとは思いませんが、タメ口でも同級生との接し方と先輩への接し方は変わります。私は同級生の友人と接する時、物事をはっきりと言うことが出来ますが、先輩には言えません。

先輩の言う『タメ口を使って良いよ』は、ただ普通にタメ口だけを使うのか、それとも『軽くフレンドリーに接して欲しい』と意図があるのか分からないので大変です。

タメ口にも敬語にも色々な種類があって使い分けが大変ですが状況に合わせて使っていきたいと思います。

[【No.186の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.478

[No.186](#)の筆者から

2017-05-30

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名： こきまろ
タイトル： コメントありがとうございます

トマトさんコメントありがとうございます。

部活によって問題になるならないあると思います。たとえ厳しい部活でもつまらない部活とも限らないと思います。自分はあまり経験では1人でも優しい先輩がいたら部活が緩くなり部活に来なくなるということはありませんでした。そこはやはりやっていた部活によって変わってくるのだなと思いました。

先輩に対してタメ口を使うことは私も悪いことだとは思いません。場をわきまえたり周りに気を使ってタメ口を使ったことは私もあります。「タメ口を使っていいよ」と言われてもどの程度までいいのかわから

ない部分がとても共感できました。フレンドリーとため口もちよっと違うような気がしてきました。フレンドリーに話す中でも敬語を使って話すこともできると思うので、とても難しいと思いました。改めて計五日いて考えてみて難しいと感じました。私も敬語について考え方をいろいろ考えてみたいと思います。

[【No.186の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.185 作文 2017-05-09 出身： 神奈川県 10代 男性 ログイン名： ジャスティン
居住： 日本 タイトル：部活や今後使う様々な言葉使い

私は高校時代に部活動に所属していました。そこには、先輩、同学年、後輩、先生という様々な年代の人が集まる中で私は言葉を話す相手、場面で使い分けることに何度か悩まされたことがありました。

まず、先生や先輩と話す時です。この時に使う言葉使いは、基本的に「敬語」を使うのが正しいと思います。自分の目上の人に対して使うので敬意をもって話すのが当然だと思います。しかし、敬語をしっかりと話すのは難しいです。私が入部した時や、後輩が入部して私と話す時には上手く敬語を使い慣れていませんでした。また、自分が二年生の時に起きたことで、仲の良い先輩に対して「タメ口」を使ってしまった事がありました。その時は笑って許してくれましたが社会に出てつい使ってしまったなどでは、許されないと思います。

次に、同学年に人と話す時です。同学年は、同じ年で敬語を使わず親しく「タメ口」で話すのが基本的だと思います。しかし、同学年の人に「敬語」を使ったことはないかと聞かれるとそんなことはありません。入部するときは周りがほとんど初対面で初めて話す相手なので、そこで「敬語」を使うこともありました。また、仲良くなった人にも頼みごとをする時に、内容によっては「敬語」を使うことがありました。同学年と話す時に、「敬語」を使うこともあるが、基本的な場面では、私は「タメ口」で話します。

高校の部活に所属して私は、言葉の使い方がとても重要なことに気がしました。また、これから社会に出る中で言葉使いにより相手からの印象が変わり、印象が良ければ将来にも繋がり交流の幅も広がると思います。生きていく中で言葉の使い分けは様々な場面で生かされるので、しっかりとした使い分けが大事だと思いました。

[【コメントを書く】](#)

No.203 [No.185へのコメント](#) 2017-05-09 出身： 神奈川県 10代 男性 ログイン名： こきまる
居住： 神奈川県 タイトル：感想

私も高校時代部活動に所属していたので場面で使い分けることの難しさがよくわかります
私もあなたと同じようなことを書いたのでとても共感できます。

私は相手にタメ口を話されてもあまり気にしていないのですが相手と自分が話すときは気にしてしまいます。特に初めて話すときは一番気にしてしまいます。自分は第一印象がとても大切だと思っています。何をやるにしても初対面の印象が人間だれしもが記憶に残ると思います。言葉遣いは別として態度が一番気にしてしまいます。部活動をやっていてせいか言葉遣いよりもそっちのほうを見ることが多くなりました。

私も同学年と話すとき困りました。大学に入りサークルに所属し人が大勢いる中同級生と間違えてしまい先輩にタメ口を使ってしまいました。高校性の時は制服などで見分けがついたが大学生はみな私服を着ているので間違えてしまいました。やはり、初対面の時は敬語を使うのが一番だと感じた瞬間でした。

作文を読んでとても共感できるところが多かったです。これから社会に出たときに私も気をつけたいと改めて思いました。

No.295 [No.185へのコメント](#) 2017-05-16 出身：日本 ログイン名：KENTA
居住：東京都 10代 男性 タイトル：共感できます

僕も中学・高校の時に部活をやっていました。そのため敬語の使い方方で困ることがよくあります。僕は練習中や試合中は先輩後輩関係なくタメ口で話します。しかし、普通の生活に戻ると敬語を使うと決めていたので使い分けが難しく曖昧になっていました。先輩は皆優しくあったから何も言われませんでした。これから社会に出て様々な目上の人に会う機会が増えてくるのでしっかりとした敬語を使わなければいけないと思いました。

No.461 [No.185の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川県 ログイン名：ジャスティン
居住：日本 10代 男性 タイトル：コメントありがとうございます

自分の作品を読んでいただきありがとうございます。
自分の作品に共感してもらえるととてもうれしく思います。
部活動に参加しているとそういった経験があるなかで初対面の人に対して言葉遣いとは別に態度を気にしているのは自分も無意識にしていたと思います。
また、大学生になって自分もサークルに参加する中で誰が同級生で誰が先輩なのかまったく区別がつかないので自分はだれでもとりあえず敬語で話してから学年などを聞いています。
これからも交流が広がっていく中で言葉を使う中工夫が必要になってくると思いました。

No.466 [No.185の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川県 ログイン名：ジャスティン
居住：日本 10代 男性 タイトル：コメントありがとうございます。

部活動に参加している同じ環境の方に共感していただくととてもうれしく思います。
自分も試合の時に先輩に声をかけるときなどはタメ口を使う場合もありました。しかし部活がおわり普通に話すときなどは敬語を使い先輩に使う言葉も2通りありました。
自分の経験上、運動部だったのでスポーツをやる中で先輩に使うタメ口は許されていましたがこれから大学生活を送る中できっと先輩にタメ口で話すことはほとんどなくなるのかなと思います。そこでの言葉使いにきおつけていこうと思いました。

No.184 作文 2017-05-09 出身：神奈川県 ログイン名：シル
居住：日本 10代 男性 タイトル：メールやLINEでの言葉づかい

私は、よく言葉づかいで悩むことがある。とくに、メールやLINEでの言葉づかいだ。その理由は2つある。

1つ目は、送る相手によって言葉づかいを変えることだ。例えば、家族や友人であればタメ口でも良いと思うし、先生など目上の人に対してはならば敬語を使うべきだろう。しかし、初対面の人はどうだろうか。もちろん、その相手が年上であれば、私も敬語を使って話すのが同じ年や年下だった場合、私はどういった言葉づかいで書いて送るべきなのか悩んでしまう。

2つ目は、メールやLINEで送る文章の内容によって言葉づかいを変えることだ。例えば、相手が仲の良い友人だったとしてもメールやLINEで普通に会話をするだけであればタメ口でも良いだろうが、重要な内容を送るときはタメ口が良いのか、敬語を使うべきなのかというようなことだ。また、同じくらい重要な内容であってもそれが良い内容か、悪い内容かでも使い分けなければならないと思う。

以上のことから、私はメールやLINEなどでの言葉づかいでよく悩んでしまう。私は、この2つのことや、その他のことでも言葉づかいに気をつけるべきだと考える。そのためにも、私は敬語などの言葉づかいについてしっかりと学び、メールやLINEで送る相手によってしっかりと言葉を使い分けられるようにしたい。

[【コメントを書く】](#)

No.228

[No.184](#)へのコメント

2017-05-10

出身：日本
居住：日本

10代 男性

ログイン名：先輩ビースト
タイトル：コメント

メールなどでの画面の向こう側の人とのやり取りには確かに悩むものがあります。

自分の場合、初対面の年下や同じ年の人とはできるだけタメ口で話すようにしています。

メールやLINEなどの文だけのやり取りは声音などがなく、相手がどんな気持ちなのかがわかりにくく、どこか堅苦しく感じてしまいます。

ただでさえ堅苦しく感じるというのに、そこに敬語が加わり堅苦しいどころか窮屈に感じてしまいます。

だからと言って、初対面でも同じ年や年下ならタメ口で話すというのは正解ではなく、シルさんのように相手によって言葉遣いを使い分けるようにすることが大事だと思います。

[【No.184の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.254

[No.184](#)へのコメント

2017-05-15

出身：神奈川県
居住：神奈川県

10代 男性

ログイン名：masaball
タイトル：とても共感できました！

私もメールやLINEでのやり取りでの言葉づかいで悩むことはよくあり、とても共感しました。

確かに家族や友人にはタメ口で全然良いと思うし、目上の人には敬語で返せば良いと私も思うが、相手が初対面だったりすると確かに敬語ですべきか普通にタメ口で返すべきかは難しいと思いました。自分が初対面の人に返す時はタメ口でも良いか相手に聞いてから返すと思います。

また、二つ目の悩みに述べられた友人や家族に内容によって敬語を使って話すかどうかというのも私もとても悩んでいます。内容によってよい内容だったらいいものの、悪い内容でタメ口で話すのは少し抵抗感があるきもしますね。やっぱり、そういうのって結局は内容によって話し方を変えればよいとこの文章を読んで感じました。

最後に、メールやLINEでこれからもこのような悩みとぶつかることはあると思いますが、あなたが書かれたように敬語などの知識をしっかりと学び、うまく使い分けていくしかないと思いました。私自身もこれを機会にし、敬語の使い分けについて学んでいこうと思いました。

[【No.184の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.463

[No.184](#)の筆者から

2017-05-30

出身：神奈川県
居住：日本

10代 男性

ログイン名：シル

コメントありがとうございます。先輩ビーストさんのおっしゃる通り文章だけのやり取りでは堅苦しく自分の気持ちも伝わりにくいと思います。

そのため、私は年下や同い年の友人とメールやLINEでやり取りするとき堅苦しくなりすぎないように出来るだけ顔文字やスタンプなどを使って自分の気持ちが相手に伝わるように心がけています。

もちろん誰にでも顔文字やスタンプを使ってやり取りをするというのは違いますし、言葉づかいも大切ですが、自分の送った文章が間違った意味で相手に伝わらないようにするためにもそれなりの工夫や対策が必要だと思いました。

[【No.184の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.183 作文 2017-05-09 出身：日本 10代 女性 ログイン名：トマト
居住：日本 タイトル：バイト先での言葉の使い分け

私は、ファミリーレストランでウエイトレスのバイトをしている。
もう働いてから3年にもなるが、未だに敬語の使い分けが出来ていない。
ファミリーレストランではお客様に二重敬語の様な敬語を使うが、この敬語が大変難しい。

例えば「大丈夫」という言葉は日常生活の様々な場面で使える。
コンビニで店員に「お箸入りますか」と聞かれ「大丈夫です」と答える人は多いだろうし
私もよく使う、だが、この言葉の使い方は正しくない。

「大丈夫」というのは本来「体調は悪くないですか？」などの問いかけに対し「大丈夫です」と答えるのにふさわしい。

私はこの間違っている日本語に慣れ親しみ過ぎているために接客中にこの言葉を使ってしまったことがある。
お客様に「このクレジットカードは使えますか」と聞かれ「大丈夫です」と言ってしまったのだ。
本来なら「ご利用いただけます」が相応しい。

そのため、私はお客様からお叱りを受けた。
その日のバイトは恥ずかしさから営業でミスを連発したので、
今ではこの言葉を使わないよう心掛けている。

新人の後輩はこの言葉をよく使ってしまう。
そのため、新人へのトレーニングの時点でこのようなミスをなくしてもらうため自分の失敗談を話すようにしている。

「大丈夫」という言葉以外にも接客業では難しい言葉が沢山あるが自分で失敗しても先輩からアドバイスを聞き少しずつ直していきたい。

[【コメントを書く】](#)

No.205 [No.183へのコメント](#) 2017-05-09 出身：日本 10代 男性 ログイン名：KENTA
居住：東京都 タイトル：バイト先での言葉の使い分け

この内容はとても共感できた。私もこの前までバイトをしていた時、「大丈夫です」を間違っ
て先輩に指摘された。普段何気なく使っている言葉が実は間違った使い方だったりする
ことがよくある。これから面接などといった目上の人と会話する機会が増えてく中で、
このような日本語の間違いは気

を付けなければならないと思った。「大丈夫です」以外にも意識せずに間違った使い方をしているはずなので常に注意したい。また、最近では略語や造語も増えてきているので正しい日本語を話せるように心がけていくことが大切だと感じた。

大学に入って「文章を書く」の授業を受けて自分が今までいかに適当に話していたのが実感した。自分の書いた文章を読み替えずと話言葉と書き言葉が混ざっていたりする箇所があったり文法的に伝わらない箇所が何個かあった。普段は携帯電話で文字を打つから変換の作業がいらぬが、久しぶりに紙に書こうとすると漢字が出てこなかったりした。敬語に関しては正解よりも不正解のほうが多かった。

なので外国語を勉強するのもいいが、もう一度間違った日本語を直す作業をしたほうがいいと思った。

[【No.183の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.235

[No.183](#)へのコメント

2017-05-11

出身： **神奈川県**
居住： 日本

ログイン名： **ジャスティン**
10代 男性 タイトル：今後の参考に

私は今バイトをしていません。また、接客業の経験は1、2度しかなくそれも正式なアルバイトではなく派遣社員としてだったので敬語の使い分けのどに関しては意識もしておらずまた接客業の経験が少ないため敬語に触れ合う機会もありませんでした。

そこでこの文章を見て敬語は敬語でもその場その場で使い分けが必要なことを知りました。ただ単に「ですます調」で話せばいいものだと思っておりその前の言葉の選び方もとても大事なんだなと思いました。また自分の失敗談を後輩に話すことで後輩にミスをなくしてもらおうとする試みがとてもすごいと思いました。

これから自分も接客業にかかわると思いますそこでの敬語の使い分けにきおつけようと思いました。とても自分の参考になる文章でした。

[【No.183の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.290

[No.183](#)へのコメント

2017-05-15

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

ログイン名： **めしあ**
10代 男性 タイトル：大丈夫とは、、、？

「大丈夫」という言葉は問題ないというような意味として使うことが多いですが、否定的意味でも使うことも多々あります。

そんな曖昧の表現と印象を引き出してしまふから敬語としては不適切ととらえられてしまうのかもしれない。

私もバイト先でよく「大丈夫です」と言ってしまうのですがやはりその時これは違うなと違和感を覚えます。

使い所によっては間違えではないとは思ふこともあると思うのですが、それでも扱いは難しいですね。

もう少し上手い「大丈夫」の使い方ができるようになりたいですね。

[【No.183の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.472

[No.183](#)の筆者から

2017-05-30

出身： **日本**
居住： 神奈川県

ログイン名： **トマト**
10代 女性 タイトル：そうですね

コメントありがとうございます。

私もこれから就職活動などでしっかりした敬語を使っていかなくてはならないので、今から習慣づけていきたいです。そのために間違っただんご語を指摘してもらうために先生や目上の方との交流を増やしていこうと考えています。

私も普段は携帯電話でしか文字を打たないのでLINEやTwitterでなく友達に手書きで手紙を書きたいと考えています。そのために今、字が綺麗でないのでボールペン字を習っています。友人に対し敬語は使いませんが、しっかりとした日本語や、序論本論結論を組み立てるには最適な練習になると思います。これは苦手なレポートの練習にもなるので実行できるようになりたいです。

[【No.183の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.483 [No.183の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 女性 ログイン名：トマト
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます。

コメントありがとうございます。

私も今のバイトを始めて3年になりますが当時入ったばかりの時は、ですます調で十分だろうと思っていましたが、実際は「恐れ入ります」や「すみませんでした」でなく「申し訳ございませんでした。」など一工夫が必要になります。

これを頭で考えるより自然に言葉を発せれるようにしていきたいと思います。

そしてこれを就職の際に役立てたいと思います。

[【No.183の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.494 [No.183の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 女性 ログイン名：トマト
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます。

コメントありがとうございます。

大丈夫という言葉は本当に難しいですね。私も違和感は感じますが中々直すことができません。やはり日ごろ身についた習慣はなかなか消えないので習慣から気を付けています。

例えば友人と話して「飽いる？」と聞かれ「大丈夫」と話してしまうことがあります。

かといって「いらぬ」というと少し冷たい気がします。なので「今お腹一杯〜」などといったりしてま

す。
これからも日ごろから気を付けていくよう努力します。

[【No.183の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.182 作文 2017-05-09 出身：日本 10代 男性 ログイン名：KENTA
居住：東京都 タイトル：外国人とのコミュニケーションの仕方

私が今まで言葉で苦労したのは海外旅行と海外留学だ。中学生のときに短期ではあるがカナダに留学したが全く会話することができなかつた。また、海外旅行でも同じような経験を何度もしたことがある。しかし、海外から日本に来る留学生と話すとき皆ある程度日本語で会話することができる。一度だけ留学生にどうやって日本語を勉強しているのか？と質問したことがある。すると、インターネットの動画サイトや日本の曲を聴いて勉強している。と言っていた。私は教科書などを使って勉強はしていたものの全くリスニングや英語を口に出していないから海外旅行や海外留学に行ったときに話すことができない。と気づいた。また、日本の授業は海外の授業に比べて人前で話す機会がとても少ないという指摘も受けた。なので、今後苦労しないためにリスニングや英会話の勉強を中心的にやっていきたいと思った。

次に言葉づかいで苦労したのは海外から日本に来た留学生のホームステイのときだ。難しい言葉を使うと伝わらないので、いかに簡単に手短かに話すかを心がけた。それでも、伝わらないときは絵を描いたり、ジェスチャーをしたりして伝えた。

そのころから外国人とのコミュニケーションをとるためにはリスニングと英会話の勉強などといった実際に会って話してみる実践的なことを学んでいくことが大切であると考えている。

[【コメントを書く】](#)

No.218 [No.182](#)へのコメント

2017-05-10

出身： 神奈川県
居住： 日本

10代 女性 ログイン名： トマト
タイトル： コメント

私は海外留学も海外旅行もしたことが無いので投稿主さんが色々な経験をしたりして凄いなと思います。

私もニューヨークから短期留学で地元の中学校に来た男子学生と会話する機会がありました。

その人は私達が初めて間近で見た同い年の外国人で珍しい事もあり人気者だったので中々話しかけることも出来ず月日だけが流れていました。

ですが、たまたま家族で訪れた温泉にその男の子も来ており話す機会がありました。

彼は母国に温泉が無く日本の文化を見に来てたという事でした。

彼は英語で私に、『Twitterに載せたいから一緒に写真を撮ろう』と誘ってくれたのですが

私は当時中学1年生で英語力も今より弱く、スマートフォンを持っておらずTwitterも知らなかったのが彼が何を言っているのか理解出来ませんでした。

そのため、ただ首を傾げてしまい、彼を困らせてしまいました

写真は撮ったので後から親に聞きTwitterを見ましたが緊張で変な顔をしていたので、コミュニケーション能力がもう少しあれば彼と楽しく素敵な写真を撮れたのにと今でも思います。

その後、私は英会話教室に通うことになりました。

英会話教室では小学校や中学校の英語の授業と違い日本語を使うのが禁止でした。

日本の公立学校の英語の授業では文章を書くための英語でコミュニケーション能力は今までは身につかないのでこれから改善されるといいなと思いました。

[【No.182の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.320 [No.182](#)へのコメント

2017-05-18

出身： 香港
居住： 日本

20代 女性 ログイン名： 安
タイトル： コメント

今は日本に留学しているが、実は自分の国の人と母語で話すのが多いと感じている。言語の勉強は教科書で学んで、練習をいっぱいすればいいと思うが、やはり自己学習より人と話してみたらいいと思う。しかし、日本人と話すのは不安だ。自分の発音や言葉づかいなど、相手には理解できないかも。外国人として、全く知らない国で他の言葉を学ぶ時、不安感がありますが、そういう時、周りの人などは理解してほしい。それでも、自分も日本の生活に慣れるように努力すべき。勇気をもって、日本人とおしゃべりしたり、楽しみをしたりすることが良いと思う。言語の勉強はミスがあっても、怖くない大丈夫だよと考えることが一番大事と思う。

[【No.182の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.365 [No.182](#)へのコメント

2017-05-26

出身： 中国
居住： オーストラリア

10代 女性 ログイン名： TOMO
タイトル： 私も同じような経験がある

勝手にコメントをしてすみませんが、私もKENTAさんに似てる経験があるので、ここでシェアしたいと思います。

私は中学校一年生の時から家族と一緒に中国からオーストラリアに移りました。その時の私は、英語に関して経験はすべて学校で学んだまま、自分小学校から英語にずっといい点と取れたので、海外に行っても大丈夫だと勘違いしました。でも実際行ってみると、本物の英語の喋る環境は聞き取り練習よりスピード

早いし、知らない単語も山ほどあると感じました。あんまりのショックを受けた後、私は何回も中国語で教える英語教科書を探して、自分の英語力を上達したいのが、やはり自分今の生活環境必要な語彙と微妙に違うので、教科書式かたい勉強方法をやめました。別にオーストラリアの中国人はいっぱいって、KENTAさんとおしゃった通り「難しい言葉を使うと伝わらないので、いかに簡単に手短かに話すかを心がけた。それでも、伝わらないときは絵を描いたり、ジェスチャーをしたりして伝えた。」のたくさん優しいオーストラリア人もいるから、このままで五年間以上を経ちました。

しかし、そんな努力していないオーストラリアでの生活を送っている日々、私はある日に日本語を勉強しようと決定しました。日本語を勉強するため、私は教科書より、実際日本語のドラマや番組などにはまっている時が多いし、日本人のアイドルもできるから、毎日楽しく日本語の勉強をしています。その日本語に対するパーションはまさか英語より高いし、だんだん英語より自分は日本語がもっとできる気がしました。

それで、私は今こそ気がつきました。言語学習に成功するのは、趣味は最高の先生です。

それに、勇気が必要です。

今の私は英語も日本語もリスニングのほうは慣れるから大丈夫だから、普段性格のせいで、人とのコミュニケーションは少なく、また苦手です。

KENTAさんとお互いに頑張りましょう。

[【No.182の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.469 [No.182へのコメント](#)

2017-05-30

出身：日本
居住：日本

10代 男性 ログイン名：KENTA
タイトル：コメントありがとうございました。

コメントありがとうございました。日本語が上手で驚きました。TOMOさんのように共感してくれる方がいてくれてとても嬉しいです。やはり外国語を学ぶには教科書よりも実際に海外に身を置くのほうが身につきますよね。ずっと日本にいとネイティブの英語を聞く機会があまりにも少なすぎますし、会話をすることなんてまずないです。正直、教科書で学んだものを実際生かした経験がほぼありません。なので大学のうちに1回は海外に行って英語を学びたいと考えています。また、最近ではTOMOさんが行っているように私も海外のドラマを見て英語を聞くようになりました。まだまだ全て聞き取ることができませんが少しずつ勉強できたらいいなと思います。私は飽きやすいのですが、この勉強方法ならたのしみながらやっていけそうです。私も人と積極的に話せるタイプではないので、会話を楽しむまでは時間がかかりそうですが、努力してみようと思います。お互い違う環境ですが頑張りましょう。

[【No.182の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.486 [No.182へのコメント](#)

2017-05-30

出身：日本
居住：日本

10代 男性 ログイン名：KENTA
タイトル：コメントありがとうございました。

私もまだまだ全ての英語を聞き取ることができません。最近では海外のドラマを見てリスニングの機会を増やしています。普段普通に生活しているとなかなか英語に触れないので、いざ外国人と話すとなんか何を話しているのかわからなくなってしまいます。教科書だけの勉強だと限界があると思うのでなにか工夫をすることが大切だと考えています。なので大学の間に実際に海外に行って英語を学びたいと考えています。

[【No.182の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.492 [No.182へのコメント](#)

2017-05-30

出身：日本
居住：日本

10代 男性 ログイン名：KENTA
タイトル：コメントありがとうございました。

いざ現地の人と話す機会になると自分の発音や文法がおかしくてきちんと伝わっているのかとても不安になります。私は人と話すのがあまり得意ではないので、最近インターネットで海外のドラマを見て英語に触れる機会を増やしています。ですが、それだけでは海外の人と会話するのは無理だと考えているので、実際の海外に行って英語を学んでみようと考えています。安さんが言った通り勇気をもってコミュニケーションをとることもとても大切なことだと思います。

[【No.182の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.181

作文

2017-05-09

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名： **まうす**
タイトル： 外国人との話し方

私は外国人の方に話しかけられたときには、どのように話せばいいか迷っています。もし外国人に話しかけられたとき、日本語で話すのか外国人にもわかりやすい日本語で話すのか英語で話すのがいいのか迷っています。

私は一度だけ外国人に道を尋ねられたことがあります。そのとき相手の外国人は、英語しか話すことができず私もうまく説明することができませんでした。片言でもいいから説明をすることができればよかったですと思います。ですが外国人の方でも日本語の勉強をして話すことができる人も多くいると思います。日本語を話せる方でも日本人と話すとき、日本人が普段通り話していると伝わらないことがあると思います。そのような時には、どのように説明したらいいかがわからなくなります。

私は外国に行くことがありません。なので、外国へ行くときには何も話すことができないとそこで過ごすことができないのではないかと心配になります。しかし勉強をしたからと言ってすぐには話すことができるようにはならないと思います。少しの会話ができる程度の単語を覚えたほうがいいのかもかもしれません。

綿足はこれからの生活で外国人の方が困っていたときには助けられるようになりたいと思います。そのときは相手に伝わりやすいように、日本語で話せるようならばゆっくりわかりやすく話し、日本語を話せないのならば、自分の知っている単語でどうにか伝えられることができればいいと考えています。

[【コメントを書く】](#)

No.202

[No.181](#)へのコメント

2017-05-09

出身： **群馬**
居住： 東京

10代 男性 ログイン名： **sejuani**
タイトル： コメント

私も外国人に話しかけられたときどう答えていいか急には出てこず、ジェスチャーで答えたことがあります。

それと、東京オリンピックが近づいてきて日本来る外国人観光客も若干は増えてくると思います。

この前ニュースで見たのですが、東京オリンピックでは英語が話せるボランティアを募集していたりするみたいです。

最初が東京オリンピックのボランティアというのは難しいと思いますが、そういうボランティアの募集があれば参加してみたいかどうでしょうか。

[【No.181の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.354

[No.181](#)へのコメント

2017-05-26

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

20代 男性 ログイン名： **トッフィー**
タイトル： 外国人を話すとき

もうすさん、それは大変ですね。私の分かる事にとって、日本に行く外国人の日本語を勉強するのは色々な高さがあります。日本語を全然分からない外国人もペラペラしゃべれる外国人もいるのです。一般的に道を尋ねられるとき、他人は話始める言語はその言語でゆったり使っているということを物語られると思います。日本語でしゃべれますなら大丈夫ですね。日本語でも返事するのは平気です。もし、一方で英語を使って日本語が全然分かりませんなら、他の説明する方がありますね。たとえば、ジェスチャーも使うなら少し助かると思います。

私は留学の経験があります。そしてその時に私は勇気があまりありません。あの時、日本語を少し分かりますが、しゃべりませんから勿体ないとおもいますね。もしまた日本に行ければもっとしゃべりたいのです。そのコミュニケーションが大切です。日本語か英語はどんな理解の高さがあまり影響されました。一つではない、いろいろな話し方がありますね。だから、頑張りますなら、しゃべるはずだと思います。

[【No.181の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.357

[No.181](#)へのコメント

2017-05-26

出身：オーストラリア
居住：オーストラリア

20代 男性 ログイン名：Cicada
タイトル：コメント

うまくコミュニケーションをとりたいという気持ちがとても伝わってきます。

たしかに、全く日本語を話せない外国人もいますし、そういう人は、片言の英語でも、自分がよく知らない国で助けてもらったことがとても嬉しいはずです。

でも、日本語を話せる外国人も、最近は増えているのではないのでしょうか。

例えば、私は日本語を何年か勉強しているし、日本を旅行している時は、なるべく日本語を使いたいと思っています。しかし、日本人の人に日本語で話しかけても、「エイゴ、わかりません」と返されたり、片言の英語で答えてきたりで、がっかりします。もし、外国人との英会話を練習したいという理由ならわかりますが、私の顔を見て、「日本人に見えないから、日本語が通じない」と勝手に決めつけているような気がするからです。

私は、かなり日本語が話せると思っているのに、いつまでも日本人と隔たりを感じて、残念です。もちろん早口すぎたり、難しい言葉で説明されたりしたら、わからないこともあります。だからといって、三歳児に話すような話し方をされたら、決していい気はしません。

日本に来る外国人は様々ですし、日本に住んでいる人もいるかもしれません。日本語のレベルは人によるので、相手や時と場合にに応じて、外国人との会話を楽しんでください。結局、気持ちは通じると思います。

[【No.181の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.465

[No.181](#)の筆者から

2017-05-30

出身：神奈川県
居住：神奈川県

10代 男性 ログイン名：まうす
タイトル：作文を読んでいただきありがとうございます

コメントありがとうございます。

私は外国人に話しかけられたときにジェスチャーをすることもできなかったもので、私もジェスチャーをして答えることができればよかったなと今は思います。

東京オリンピックのためのボランティアを今から募集していることに驚きました。東京オリンピックのためのボランティアがどんなことをするのかは、わかりませんがこれを機に英語を使うようなボランティアなどにも自分から積極的に参加していけば、今後にやっておいてよかったなと思う機会があるのかもしれない

ないのでそのようなボランティアに参加したいと思いました。

[【No.181の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.495 [No.181](#)の筆者から 2017-05-30 出身：神奈川県 居住：神奈川県 ログイン名：まうす 10代 男性 タイトル：作文を読んでいただきありがとうございます

コメントありがとうございます。

私は小学校、中学校に通っているときは外国から来た友達も何人かいました。その友達は初めて話すときからある程度日本語を話すことができていました。なのでコミュニケーションをとるときに困ることはほとんどありませんでした。これからの学校や社会の中でグローバル化が進んでいくと思います。その中では英語が必要になっていくと思います。日本に来た外国の方には日本語が話すことができない人には日本語が伝わらないと勝手に思っていたと初めて気が付きました。たとえ日本語が使えなくても、こちらが少しゆっくりと話すこと、自分が知っている単語を話すことで伝わることもあるのだなと思いました。ジェスチャーを使うことで話すことだけでは伝わらないことが伝わることもあるのではないかと思います。

私は留学をしたことがありません。高校生の時に友達がアメリカへホームステイをしていました。伝わらないこともあったが、楽しいと言っていました。しっかりと伝えることができればより楽しいものになるのではないかと思います。

[【No.181の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.505 [No.181](#)の筆者から 2017-05-30 出身：神奈川県 居住：神奈川県 ログイン名：まうす 10代 男性 タイトル：作文を読んでいただきありがとうございます

コメントありがとうございます。この作文を読んで気持ちが伝わってくれてうれしいです。

私もそうですが人は見た目第一印象が決まると思うので外国人に話しかけられたらなるべく英語で返さなくてはいけないと思います。こちらは良かれと思って外国人に英語で答えようとするのが人によっては迷惑をかけているとは思いませんでした。これからは見た目だけでは決めないように気を付けたいと思います。

私は海外に行ったことがないので海外では自分をどのような対応がされるか考えたこともありませんでした。仮に私はそれなりに英語ができるとして、海外に行ったときに相手の外国人がこちらを日本人だと思って片言の日本語を使ってきたらあまりいい思いはしないなと思いました。

これからはよりグローバル化が進んでいき海外との交流も増えていくと思います。そんな中で人を見た目で判断をしているだけではよくないと思いました。話すことができるかは相手をしっかり見てコミュニケーションをとる必要があると思いました。

[【No.181の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.180 作文 2017-05-09 出身：Japan 居住：神奈川県 ログイン名：ジョージ 10代 男性 タイトル：アルバイトの時

私は、お客さんと店員との言葉使いや対応などについて書いていく。

私はアルバイトで焼き肉を3年間やっており今も同じ場所で働いているが時々言葉遣いに苦労する点が二つほどある。

1つ目は、お客さんが感じの悪い人や俺は客だぞっていうオーラが全開な方、確かにお客様に違いはないが接客をしても楽しくはなく、私は短気なため少し腹を立ててしまう。接客時には感情が出ないようにコントロールするが、時々顔に出てしまうこともあり、クレームをもらえば店舗のイメージや売り上げ、利益に関わることなので対応の際はいつも丁寧な言葉と対応に苦労しながら働いている。

2つ目は、自分が年下だがキャリア(経験)が上なで年上が後から入社、働いてくる場合だ。どんなにあとから入ってきても社員さんの場合は立場的には上なので敬語ですが、同じ立場であるアルバイトさんの場合はいつも迷うことがある。教育の際は店長に上からで敬語を控えろと言われますが、初対面というのもあり、毎回同じケースの場面では戸惑いを感じます。私は印象を気にしてしまうので、店長の指示には従っていませんが敬語を使いなれて友好関係を築けたら敬語にするという行動をとっています。

どの行動が正解で正しいのか、言葉遣いが適切なのかは今でもわからず、これからの経験で見つけていこうと思っており、今はお金をもらう立場としてやるべきこと、やらなければいけないことをしっかりこなし生活していこうと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.263

[No.180](#)へのコメント

2017-05-15

出身： 神奈川
居住： 神奈川

10代 男性

ログイン名： ないと
タイトル： コメント

自分も同じコンビニエンスストアで3年程度アルバイトを続けているので共感できることが多いのでコメントを書かせていただきます。まず、1つ目の態度の悪い客についてですが、自分も同じような感じですよ。店員と客という立場なので仕方がないと思うけれど、自分が店員だったらいやだなというような態度はとらないで欲しいですね。次に2つ目の年齢やキャリアの違いに対する敬語の使い分けについてですが、自分はそういう立場とかにはかかわらずアルバイト先では常に敬語を使うように心がけています。たとえ、後輩でも敬語を使うこと自体は別に問題があるというわけではないのでそっこのほうが楽ではあるかなという感じです。とにかく相手の立場になったときに自分の言葉や行動が相手を不快にさせていないのであれば問題はないと思います。ただ、まだアルバイトなので失敗してしまったとしてもあまり深く考えずに次に生かせるようにしっかりと学んでいくことが大切だと思います。

[【No.180の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.303

[No.180](#)へのコメント

2017-05-16

出身： 日本
居住： 神奈川

10代 男性

ログイン名： WATAGEI
タイトル： コメント

自分もアルバイトしている時に同じ事を思う時がかなりあります。自分の方がそのアルバイトをしているけど、新しく入ってきた年という先輩の人にどのような言葉使いで話したらいいのかのような口調で接し教えた方がいいのか戸惑うことがよくあります。その時に自分がどのように接しているのかというこの作文に書いてあるのと同じで最初から年上の人には敬語を使って話しています。そうすればたとえ自分の方がそのアルバイトをながくやっても違和感なく仕事ができ、しっかりと先輩後輩関係を築いていけると思いました。

最初から年上の人に、敬語を使わずにタメ口でやったら上手く上下関係を築いていけない確率が高くなると思います。そうしたらしっかりとアルバイトができなくなるかもしれないです。

いい上下関係ができないと最悪の場合いじめにも繋がるかもしれないです。

そうしたらよりよいアルバイトの仕事ができなくなるし、店の売り上げなどにも繋がるかもしれないです。なので、自分は最初から敬語を使っています。

どの場面でも年上の人には絶対敬語を使って行きたいと思いました。

自分がもし年上の立場で年下からいきなり敬語ではなくタメ口で接してきたらあまりいい気持ちではあり

ません。なので自分がされて嫌なことはしたくないので、敬語で礼儀正しく接して行きたいと思いました。

自分以外にも思った以上に思ってる事が同じ人が多くいるんだなと思って良かったです。

言葉遣いについては困った時はとりあえず敬語でいったらオッケーだと思いました。

年がわからない時は最初は敬語で年がわかり次第タメ口にするとかにした方が良い印象を与えるのではないかと思います。

[【No.180の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.309

[No.180](#)へのコメント

2017-05-16

出身：日本
居住：東京

10代 男性

ログイン名：綾鷹
タイトル：アルバイト

私も焼肉屋ではありませんが、コンビニで働いているときに、同じ経験をしたことがあります。

まず1つ目の感じの悪いお客さんなどです。私は駅前のコンビニで働いていたので、電車に乗る前にコンビニによる人がたくさんいました。そのときに、私はいつものように対応していても、電車の時間が近くに合わないかもしれないと思ったお客さんは、こちら側にすごく威圧的に「早くして」と言う人が多くいました。その場合いつもより少し急ぎ目で対応していくのですがたまにミスをしてしまいそのときに舌打ちをされたことがあります、私はそこまで短気ではありませんがさすがに頭にきてしまい態度に少し表してしまいました。ですが、言葉遣いが悪いとクレームにつながるので丁寧な言葉遣いに気を付けている。

2つ目は、自分の方が先に入っていて後から年上の人が入ってきた場合。教育の際敬語で説明するかタメ口で説明するか悩みます。年上なので敬語で説明しようとしたのですが、敬語よりタメ口の方がスムーズに伝わりやすいからと説明するときはタメ口で話すようにしました。私は年上の人にはいつも敬語で話しているので違和感があり、すぐに敬語で話すようにしました。

立場や状況によって適切な言葉遣いは今ではまだわかりませんがこれからの経験で見つけていきたいとおもいます。

[【No.180の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.468

[No.180](#)へのコメント

2017-05-30

出身：神奈川
居住：神奈川

10代 男性

ログイン名：ジョージ
タイトル：コメントありがとうございます。

ないとさんのコメント拝見させていただきました。

1つ目の態度の悪い客についてですが、自分も同じような感じですが、店員と客という立場なので仕方がないと思うけれど、自分が店員だったらいやだなというような態度はとらないで欲しいですね。

私もこの態度が悪いお客さんには仕方がないと思います。ですがやはり悪すぎるのは嫌ですね。マナーなど守って来店してもらいたいです。

2つ目の年齢やキャリアの違いに対する敬語の使い分けについてですが、自分はそういう立場とかにはかわらずアルバイト先では常に敬語を使うように心がけています。たとえ、後輩でも敬語を使うこと自体は別に問題があるというわけではないのでそっこのほうが楽ではあるかなという感じです。

こちらの回答では、ないとさんのどなたでも敬語を使うという形が正しいというより楽な気がします。

ですが私の職場先ではみんな仲が良くしているので一度敬語使ってしまうと差が縮まらないかなと考えてしまうので時、場所考え、その場に適した言語を使っていきたい。

今回ないとさんにコメントをいただいて改めてお客さんの重要さと対応の大事さを学ぶことができました。アルバイトという立場を使って色々経験して社会に出た時の対応を身に着けたいと考えます。ありがとうございました。

[【No.180の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.476 [No.180の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川 ログイン名：ジョージ
居住：神奈川 10代 男性 タイトル：コメントありがとうございます

私は、お客さんと店員との言葉使いや対応などについて書いていく。

私はアルバイトで焼き肉を3年間やっており今も同じ場所で働いているが時々言葉遣いに苦労する点が二つほどある。

1つ目は、お客さんが感じの悪い人や俺は客だぞっていうオーラが全開な方、確かにお客様に違いはないが接客をしていても楽しくはなく、私は短気なため少し腹を立ててしまう。接客時には感情が出ないようにコントロールするが、時々顔に出てしまうこともあり、クレームをもらえば店舗のイメージや売り上げ、利益に関わることなので対応の際はいつも丁寧な言葉と対応に苦労しながら働いている。

2つ目は、自分が年下だがキャリア(経験)が上なで年上が後から入社、働いてくる場合だ。どんなにあとから入ってきても社員さんの場合は立場的には上なので敬語ですが、同じ立場であるアルバイトさんの場合はいつも迷うことがある。教育の際は店長に上からで敬語を控えろと言われますが、初対面というのもあり、毎回同じケースの場面では戸惑いを感じます。私は印象を気にしてしまうので、店長の指示には従っていませんが敬語を使いなれて友好関係を築けたら敬語にするという行動をとっています。

どの行動が正解で正しいのか、言葉遣いが適切なのかは今でもわからず、これからの経験で見つけていこうと思っており、今はお金をもらう立場としてやるべきこと、やらなければいけないことをしっかりこなし生活していこうと思う。

[【No.180の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.484 [No.180の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川 ログイン名：ジョージ
居住：神奈川 10代 男性 タイトル：コメントありがとうございます。

WATAGEIさんコメントありがとうございます。

最初から年上の人に、敬語を使わずにタメ口でやったら上手く上下関係を築いていけない確率が高くなると思います。そうしたらしっかりとしたアルバイトができなくなるかもしれないです。

いい上下関係ができないと最悪の場合いじめにも繋がるかもしれないです。

この部分では納得できます。確かに最初からため口で話されると気分的にもよくないので、これから相手の立場も考え、その場に適した言語発言などしていきたいと考えます。

今はアルバイト、学生として学べる場所吸収できる場所もあるので、良い経験と考え失敗を繰り返さないようにしていきたいと考えます。

コメントありがとうございました。

[【No.180の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

今回綾鷹様にコメントいただいたこと大変うれしく思います。

職種はちがくともやはり同じ経験されている方いらっしゃるのですね。

やはり態度が悪いお客さんは嫌ですね。

我々も順番に料理提供しているが、お客さんから遅すぎとクレームや請求をよくもらいすぐに対応してもなかなか態度をよくして貰えずに帰ってしまう事がただありどうすればよかったのかと考えたりあるいは、仕方ないとも思ってしまいます。ですがやはりクレームもらうのは嫌ですし立場はお客さんと従業員。必要最低限の対応をしこれからもどうすれば態度気持ちよく帰ってもらえるかを考えていきたい。

2つ目は、私も綾鷹さんと同じような行動をしていましたが相手の気持ちを考えるとまた行動の仕方も変わってくるのかなと思いました。

綾鷹さんコメントありがとうございました

[【No.180の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

目上の人に対する言葉遣いは難しいです。部活の先輩に対する言葉遣いは、場面に応じて違います。

例えば先輩に対する言葉遣いは、試合中や練習中と私生活では、全然違います。試合中では同期と話すのと同じ言葉遣いでもいいですが私生活になると敬語で話をします。その理由としては、試合中に先輩も後輩もないし試合中に〇〇さんと呼んだりしていると少しですが時間の無駄になるので〇〇さんとは呼ばずにいつも呼ばれているあだ名とかで呼びます。練習中でも先輩がナイスパスをしたらナイスなど特に違和感なく使います。練習中や試合中では、敬語を使うと逆に違和感があるしそう言う言葉遣いのことを考えていると先輩のことを意識してしまいプレーに集中できなくなるので練習中、試合中は言葉のことは何も考えずにプレーします。

私生活では、先輩に対する言葉遣いは敬語で話します。練習が終わってから「お疲れ様です」とか、LINEなどで連絡をする時などに友達同士だとそのまま言いたいことを言えばいいけど先輩に連絡するときには、初めに「お疲れ様です」とか「こんにちは」などあいさつをしてから言いたいことを言わないといけないので、とても面倒くさいです。

私は、これらの2つのことを踏まえて場面に応じて言葉遣いを考えて生活していこうと思います。

[【コメントを書く】](#)

目上の人に対する言葉づかいは自分もとても難しいものだと思います。試合中、練習中のときは敬語を使わずに話しているのは良いものだと思います。

スポーツをしているときは、集中がとても大事だと思います。集中が大事なスポーツをしているときに目上の人に敬語を使うことを意識するとスポーツに集中ができないなと思いました。試合中や練習中に敬語を使わないことはスポーツにとっても集中して取り組んでいるなと思いました。先輩もスポーツのときは集中しているので特に違和感はないと思いました。

私生活で先輩に話すときは言葉を選び話さなくてはならないです。これは、とても面倒なことだと自分も思いました。ですが、場面に応じて頑張って使い分けてほしいなと思いました。この話を読んで、スポーツにとっても熱心だなと思いました。目上の人に対する言葉づかいは大変だとは思いますがスポーツと言葉づかい両方頑張ってほしいなと思いました。

[【No.179の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.255

[No.179](#)へのコメント

2017-05-15

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名： masaball
タイトル： 難しいですよ

私も高校の時は野球部に所属していたのですが、敬語の使い分けがとても難しかったです。

確かに試合や練習中などには年齢関係なくダメなところは強くいったり、ドンマイなどと声掛けをしたりなどですが、私生活になると先輩に対しては敬語を使わないと怒られたりといろいろ使い分けが難しいですよ。でもしっかり使い分けしないで私生活で先輩にタメ口つかったりすると怒られたりして、とてもわかります。

この文章を読んでみて、先輩に対する私生活の時と試合や練習の時の言葉の使い分けというのは難しく、面倒なことであると私も思いますが、このように使い分けを今の内からしておくことによって自分たちが社会に出たときに役に立つ時が来るのではないかとおもいました。とても共感できる文章でした。

[【No.179の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.170

作文

2017-05-09

出身： 日本
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名： カネごん
タイトル： アルバイトの上下関係

僕が働いているアルバイトでは様々な年代の人々が働いています。年齢が40～50歳の人もいれば高校生や大学生など多種多様なのです。そこで僕の中で一つある問題が起こります。

自分がアルバイトで年上の人よりも立場が上であるときに、どう接すればよいのか、あるいはどう指示をしたらよいのか分からなくなってしまったのです。普通に「敬語で話せばよいだろう」と思うかもしれませんが、敬語で話をするか、タメ口で話をするかで迷う理由があります。

僕より立場が上の先輩方は普通に年上の人とタメ口で話をしており、年上の人達は先輩方に敬語で話をしているのです。

これに対して僕は敬語を使うときの優先順位を決めようと思いました。立場が上の先輩には敬語しか使いませんが、自分より立場が下だけど年上の人には敬語とタメ口を使い分けて相手に不快感を与えないよう適度に話をすることが正解な気がした僕でしたが、先輩方と接してきた中学校、高校の先輩に使ってきたのはいつだって敬語だったじゃないかと思ったのです。

バイトで立場が上だからといってタメ口で年上の人と話すのはモヤモヤしますし、今まで習ってきたことが無駄になってしまう気がしました。

やはり先輩や年上の人に対して敬語を使うという敬いの精神を忘れず目上の人には敬語を使うのが一番だと思いました。

[【コメントを書く】](#)

No.177 [No.170へのコメント](#) 2017-05-09 出身：日本 神奈川県 10代 男性 ログイン名：ビースト先輩
居住：日本 神奈川県 タイトル：コメント

アルバイトの話が具体的でとても共感できる内容でした。
確かに自分より立場が下の年上の相手というのは言葉づかいに悩みますね。
自分も同じようなことで悩んだことがありました。
自分もいくら自分よりも立場が下でも年上の相手に対しては敬語で話すべきだと思いました。

[【No.170の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.260 [No.170へのコメント](#) 2017-05-15 出身：択捉島 10代 男性 ログイン名：サッカーボーイ
居住：択捉島 タイトル：共感

ものすごく共感できます。私もバイトをやっていますが、自分が明らかに年齢は年下で、新しく入ってきたひとが年上なので、敬語で話したほうが良いのかそれとも、タメ語でよいのかはとても迷いますよね。

初めのほうは、なるべく敬語使っていました。慣れてきたり急いでるとついつい、タメ語になってしまうことがあります。いった後にとっても後悔する時があります。書いてあるように今まで私も、部活動で常に敬語でした。なので、バイト先で立場が上でも今まで通り敬語を使っていきたいと思いました。

敬語を常に使っていれば、いずれ役に立つと思うのでこれから頑張っていきたいです。

[【No.170の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.262 [No.170へのコメント](#) 2017-05-15 出身：沖ノ島 10代 男性 ログイン名：パチョフ
居住：神奈川県 タイトル：アルバイトは大変

僕もアルバイトをしています。僕は厨房のみなので表にはほとんど出ることはありません。しかし、厨房ではお客さんからの電話対応があります。そして稀に表に出て後片付けを手伝う時もあります。その時に例のような対応をすることがあるから、とても共感できました。

たまに子供相手にも堅く丁寧な接客をしている従業員を見かけることがあります。しかし、子供からしたらもう少し柔らかくしてくれた方がよいと思います。だから僕は子供に対応するときは膝をついて子供の目線に立って、ため口で対応するようにしています。おじいさんやおばあさんに対応するときは声を大きめにしてゆっくりと語尾を柔らかくしています。

アルバイトを始めたころはどんなお客さんでも同じ対応をしていましたが、今ではこのようにお客さんに合わせて対応することができるようになりました。お客として来ていた時は気にしていませんでしたが、このようなちょっとした事が大事だと思いました。

[【No.170の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.308 [No.170へのコメント](#) 2017-05-16 出身：神奈川県 10代 男性 ログイン名：s18

作文よませていただきました。私もアルバイトをしていて、一年ぐらい同じところでやっていることや、かねごんさんのアルバイト先と一緒に年齢層が広いことから、全く同じことで悩んだことがあります。友達や他のアルバイトの人には「プライベートはとにかく、仕事中はお前のほうが立場が上の人間なんだからため口でも問題じゃないんじゃないか」と言われました。それもたしかに一理あります。現に今のバイト先には私が高校二年生の時に入ったのですが、その時私よりも先に入っていた高校一年生の子に思いっきりため口を使われていました。少し不快感がありました。あましようがないかと自分の中で割り切っていました。ただ、不快感があったのも事実なので、私は、後に入ってきた人が年上だったら、言ってしまうアルバイトということもあるので、仕事中でも敬語を使うようにしています。かねごんさんと一緒に、年齢が上の人や目上の人には、敬意をもって接することが大事だと思いました。

[【No.170の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.409 [No.170の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：カネごん
 居住：日本 タイトル：コメントありがとうございます！
 共感してもらって嬉しいです！いくら立場が上でも年上の人に対してはやはり敬語で話すのが一番ですね！

[【No.170の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.442 [No.170の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：カネごん
 居住：日本 タイトル：共感してもらってありがたいです！
 コメントありがとうございます！部活などで培ってきたものを活かして年上の人には敬語で話していきましょう！自分も急いでいるときはタメ語になってしまうときがあります。言った後にとっても後悔するというは相手を敬う気持ちが強い証拠です。誰にでもミスはありますので焦らずゆっくりと直していきましょう！
 敬語はこれからの将来ですずっと役に立つ言葉だと思います。年上の人には敬語を使うように常に心がけて頑張っていきましょう！

[【No.170の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.460 [No.170の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：カネごん
 居住：日本 タイトル：大変ですよね・・・
 コメントありがとうございます！
 年下の方の対応は考えたことがありませんでした。僕は年下の方にも敬語で対応するようにしていました。ですがバチョフさんのおっしゃる通り子供からしたら困惑してしまいますよね。相手に合わせて敬語だけでなくタメ口を活用して対応するという貴重なことを聞かせていただきありがとうございます！
 僕もお客さんに合わせて対応できるように頑張りたいです！

[【No.170の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.168 作文 2017-05-09 出身：静岡県 10代 男性 ログイン名：sof10o
 居住：神奈川県 タイトル：敬語はわびさび？面倒くさい？
 日本には敬語というある種独特な言葉に対する考え方がある。それは立場や年齢だけによって決められるものでもなく、その人との付き合い方や付き合いの深さ、年月なども複雑に関わって決定される。これについて掘り下げていきたい。

まず、敬語を使うのはどんな時か。相手が目上であるとき、年上であるときは言うまでもない。だが、たとえ同じ年であっても、もっと言えば年下を相手にした時でも敬語を使う場面も多々ある。相手との心の距離が遠い時だ。初対面からいきなりくだけた話し方をされると、なんだこいつ、と警戒されることもある。そもそも、そのように思うことこそが、日本人の風情を重んじるわびさびの心だと思う。もっとも、悪く言えば気疲れするめんどうくさいものともいえる。

次に、敬語を使わないのはどんな時かということだが、これはおおよそ敬語を使うときの逆だと思ってもらってよい。相手のほうが年下、立場が下であるとき、相手との付き合いが長いときである。

ではもし、相手が年上で、かつ立場が自分と同じか下であった場合、どうすればいいだろう。具体的には浪人した同級生、年上の部下のことである。年齢が上である相手にため口では失礼だが、同級生の友達に敬語ではなんとも不気味な心地がする。どうしても敬語のルールに対して矛盾が生じる。では、どうするか。

答えは難しくはないと思う。お互いが納得のいくように話してみてもどうだろうか。年や立場が違おうが双方が双方のことを思ってさえいれば、どのような言葉を選んだとしても良い関係が築けることは必然だ。なぜなら、日本人が敬語を遣うそもそもの理由は、相手を思いやる心を表すためだと、私は信じているからだ。

[【コメントを書く】](#)

No.289

[No.168](#)へのコメント

2017-05-15

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

20代 男性 ログイン名： **Nick**
タイトル： 同意見です

私もあなたと同意見です。

私は浪人生なので、同級生には年下の友人が多いです。彼らは私が年上だということを知っていますが、特に敬語を使うことなく気軽に話してくれます。また、私よりさらに年上である同級生の友人がいますが、私も彼に敬語を使うことなく話しています。年の差があるからといって、同級生同士で敬語を使うと、お互いに距離が生じてしまうと私は感じます。よって、年が離れていたとしても、同級生ならば対等の関係だと私は思います。

しかし、話す相手が先輩の場合は少し変わってくるかもしれません。なぜなら、一般的には先輩と話すときは敬語を使う必要があるからです。もちろん、敬語を嫌う先輩もいますので、その時は臨機応変な対応が必要です。

したがって、私は相手が同級生なら敬語を使う必要はなく、先輩の場合はその人に合う話し方をすれば良いと思います。私もあなたの意見と同じように、お互いが良ければそれで良いと考えます。

[【No.168の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.423

[No.168](#)の筆者から

2017-05-30

出身： **静岡県**
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名： **sof10o**
タイトル： 見落としていました

同意していただき嬉しいです。

確かに、先輩などの目上の方との対話では、どんなに親しくなれたとしても敬語が必要ですね。おっしゃる通り相手が敬語嫌いの方であるなら別ですが。礼儀として、相手を尊敬しているからこそ使う敬語。その点を私は見落としていました。

私は、以前自分が先輩の立場であるとき、後輩からなれなれしい口調で話をされることがよくありました。自分から敬語をやめてくれと言った覚えはないのですが、その後輩と親しくなるにつれ、いつの間にかそうなっていました。特段、強い怒りを覚えるということはありませんでしたが、ふとした時に「あれ？」と、もやもやした気持ちになることはありました。

相手がどんな話し方を求めているのか、その真意を突き止めることは難しいですね。現に私も、そのもやもやを後輩に表したことはありません。また、一度ため口になってしまった相手をもう一度敬語に直すことは、さらに難易度が高そうです。相手が本当はどう思っているのか、それを考えながら話し方を模索していく。これが大切なのでしょうね。

[【No.168の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.167

作文

2017-05-09

出身：神奈川
居住：神奈川

10代 男性

ログイン名：ないと
タイトル：話し言葉と書き言葉

私が言葉遣いで悩むのは連絡の方法による言葉遣いの違いだ。

大まかに分けると、話し言葉と書き言葉の2つだ。この2つでは前者よりも後者のほうがまじめな印象を受ける。これは後者が古くから変化が少ないのに対して、前者は時代と共に変化し続けていることに原因があるように感じる。古くから変わらないものが悪いということではないが、私たちと共に変わり続けるもののほうが親しみやすいということなのではないだろうか

また、私は話し言葉と書き言葉それぞれのなかでも言葉遣いには違いがあるように感じる。話し言葉では電話で話すことと直接会って話すこと、書き言葉ではメールと無料のメールアプリであるLINE等だ。書き言葉の方を例とすると、前者では一度に長い文を送ることが多いのに対して、後者では短い文をいくつかに分けて送ることが多いように感じる。特に後者は文というよりも単語や略語、スタンプを送ることも少なくない。このように文の長さが違うことで言葉遣いが変わっているのではないだろうか。

しかし、私はどれが一番優れているということではないと考える。なぜなら電話、直接話すこと、メール、LINEほかにも今回触れてはいないものだがtwitterやFacebookなどのSNSにもすべてのものにそれぞれの良さがあるからである。どれか一つだけを使うのではなく話す内容や相手の立場などに応じて、使い分けると良いのではないだろうか。そうすることによってそれぞれの利点を最大限に活用できると考える。

[【コメントを書く】](#)

No.216

[No.167](#)へのコメント

2017-05-09

出身：沖ノ島
居住：神奈川県

10代 男性

ログイン名：パチョフ
タイトル：場面ごとの言葉の使いわけ

書き言葉はなぜ話し言葉に比べて苦勞するののかという事について。ないとさんの話し言葉のように時代とともに変化していないからという部分になるほどと思われました。書き言葉も話し言葉のように、時代にともんなって変化していたら簡単に扱えていたのかな。と、ふと思う時があります。書くときになると急に慣れない決まり事が出てきて大変ですよ。

言葉の方が思いつきやすいから、私はLINEで友達と会話するときはずいぶん話し言葉にしてしまいます。そのせいでたまに伝わらない時が出てきてしまいます。だからこそ、普段から話し言葉のみならず書き言葉も使っていきたいと思う。

どれも一番優れていないという考えに共感しました。私も話し言葉は話やすいが、文章にした際に上のような失敗をしてしまう。かといって書き言葉で話していたら逆に伝わらないことも出てくるのだと思う。だから、場面によってどのような言葉を使っていくかをしっかりと考えながら使っていきたい。

No.266 [No.167へのコメント](#) 2017-05-15 出身：静岡 10代 女性 ログイン名：リンゴジュース
居住：神奈川 タイトル：様々な言葉の使い方

話し言葉は、書き言葉よりも日頃よく使います。確かに、話し言葉は時代と共に変わりつつあるあるのととても親しみやすいです。それに、話し言葉や書き言葉と言っても電話の時、直接話す時、無料通話アプリの時と少し言い方のニュアンスが変わってきます。

電話やメールでは長い文を送ることが多いけれどLINEなどでは短い文を送ったり省略して送ることが多いです。そのため、省略して送ると相手に伝わらなかつたり誤解を招いてしまうことがあります。その点は、言葉の使い方が難しいと感じました。

ないとさんのように、こういった言葉遣いが優れているのかを考えるのではなく、その時々言葉の使い分けが大切だと思いました。それぞれの良さをふまえつつ相手の立場や内容などに応じて言葉を使い分けることが出来たら言葉を最大限に活用できると思いました。

No.411 [No.167の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：ないと
居住：神奈川 タイトル：コメントありがとうございます！

バチョフさんへ、コメントありがとうございます。

バチョフさんの書き言葉も時代とともに変化していたら簡単に扱えていたかもしれないという意見にはとても共感しました。しかし、そのあとにバチョフさんも書かれているように、書き言葉にも良い点があるので、一概に変えたほうが良いとも言えないのが難しいところですよ。

二つ目に書かれているLINEでつい話し言葉や省略形を使ってしまって相手に上手く伝わらないといった経験は私にもあります。しかし、その相手が先輩や先生等の目上の人というわけではなく、親しい友人だというのなら無理に書き言葉に矯正する必要はないのではないかと思います。幸いLINEにはスタンプとかもありますし、そこまで改まった話し方というか、書き方をするのは相手に対して距離をとっているような感じで逆に不自然なようにも思います。書き言葉と話し言葉も伝える方法だけではなく、伝える相手との関係等によって使い分けられるといいのではないのでしょうか。

No.433 [No.167の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：ないと
居住：神奈川 タイトル：コメントありがとうございます！

リンゴジュースさんへ、コメントありがとうございます。

言葉の使い方は難しいですよ。省略形が相手に伝わらないことがあるというように、自分にとっては当たり前なものでも、相手にとっては未知なものであるということは決して少なくないと思います。自分だけでどうしたらいいのか考えるのではなく相手のことを知り、どうすれば相手により簡単に伝えることができるのかを考えるのが大切なかもしれませんね。もちろん、省略形というものも使いどころを間違えなければ私たちの会話の役に立ってくれるものなので、大事にしていきたいと思います。

二段落目では私の伝えたかったことがちゃんと伝わっているのがわかってうれしかったです。使いどころが難しい言葉遣いはありますが、私はその中には一つも無駄なものはないと思います。リンゴジュースさんの書かれているように相手の立場や、会話の内容によって使い分けることが会話を円滑に進めるのに必

要なことなのだと思います。

[【No.167の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.166

作文

2017-05-09

出身：日本
居住：日本 神奈川

ログイン名：先輩ビースト
10代 男性 タイトル：食パンの袋についているプラスチックのアレなんていうんですか？

言葉の尺度と円滑なコミュニケーション

「少し」という言葉があります。

「あと少しで着く」「少ししかない」と主に時間が短い、あるいは物の数量が小さいときにつかう言葉です。

自分は過去にこんな経験があります。

遅刻しそうになっているとき一緒にいる友人に自分が「あと少ししか時間がない」と急かすと友人は「まだ時間がある」と言ってゆっくりしていました。

このとき自分は友人との言葉の距離を感じました。

同じ時間でも自分にとってはあと少し。友人にとってはゆっくりできるほど余裕のある時間だったので。

この少しという言葉はつかう人によって度合いが違ってしまうのです。

少し以外にもつかう人によって度合いが異なる言葉があります。

例えば、少しの対義語である多い。

人によっては普通だったり、むしろ少なかったりします。

この人の数だけある言葉の尺度の違いは他者とのコミュニケーションにおいて大きなミスや誤解を招きます。

では、どうすればそれを防げるでしょうか？

それは言葉に具体性を加えればよいのです。

例えば「あと少ししか時間がない」なら、「あと2、3分ほどしか時間がない」

「かなり大きい」なら「〇〇より大きい」などと具体的な内容あるいは数値を加えるだけで言葉の尺度の違いは小さくできます。

普段から自分と他者との言葉の尺度の違いを意識することが円滑なコミュニケーションに大事なことです。

[【コメントを書く】](#)

No.176

[No.166へのコメント](#)

2017-05-09

出身：神奈川
居住：神奈川

ログイン名：めしあ
10代 男性 タイトル：バッグ・クロージャーっていうんですよ
(笑)

今日の日本ではあいまいな表現が多く使われていると思います。

そんななか、それをテーマとして描くのはすごく難しかったと思います。

具体的にするといってもすべて比べられるものだけではないと思いますし、2、3分ですら状況によって長かったり短かったりすると思います。

他人の尺度といっても初対面であったりあまりかかわりのない人なんかの尺度など図りようがないようにも思えます。

尺度なんてそれなりに長い付き合いがなければわからにもものだと思います。

だからこそそれをどうにかできないかと考える先輩ビーストさんにはもっと面白いことを考えてくれるの

ではと期待します。

今回の作文は今後の私の生活に使わせていただきます。

[【No.166の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.261 [No.166](#)へのコメント 2017-05-15 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：ないと
居住：神奈川 タイトル：あまり聞かない単語ですよ(笑)

面白い作文だと思います。確かに『少し』という言葉は、人によって考え方が違うので使い方が難しいものかもしれないなと思いました。また、解決策として提示されていた具体的な数値を用いて説明するというのもとても良いアイデアだと思います。しかし、『少し』という言葉は必ず誤解を招くということではないし、使い方によっては話が円滑に進むようにしてくれる使いやすい言葉にもなりえるのではないのでしょうか。私自身にもそのような活用法の答えはわかりませんが、それができるようになれば『少し』という言葉はとても重要なものになると思います。このほかにも『少し』と似た難しさを持つ言葉があると思うのでどんなものがあるのか、また、どんな使い方がよいのかということもあわせて考えてみたいなと思いました。自分が思いつくものでは、『とても』とか『たくさん』、『多くの』などが同じようにあいまいな表現になるのではないかと思います。それらの言葉にもいい点があると思うので少し考えてみたいなと思いました。

[【No.166の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.432 [No.166](#)の筆者から 2017-05-30 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：先輩ビースト
居住：神奈川 タイトル：バッグ・クロージャーっていうんですね笑

最初にこのテーマで書こうと決めた時、周りの人からも大変そうって言われました(笑)

でも、書いてみると案外そうでもなかったです。

作文を書くときにどうしたら自分の言いたいことを相手に伝えられるかを考えて書いたのですが、少しこのテーマに似通ったところがあって、どう書くかというのがそのまま文章になったりして割と効率のいい書き方になっていたと思います。

しかし、そうですね。確かに具体的な言葉を添えても状況や比べる対象によっては伝わり度には限界がありますね。

初対面の人やあまり付き合いのない人たちの尺度なんて図りようなんてないと思います。

それをどうにかするにはやはり相手と長い付き合いが必要不可欠だと自分もそう思います。

自分の作文を読んでさらにコメントまでしていただきありがとうございます。めしあさんの今後の生活でこの作文が役に立ってくれたら、幸いです。

[【No.166の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.453 [No.166](#)の筆者から 2017-05-30 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：先輩ビースト
居住：神奈川 タイトル：聞きませんねえ笑

まずは、作文を読んでいただき、コメントをしていただきありがとうございます。

自分も少しやかなり、たくさんといった言葉を使うことによって会話を円滑に進めたりすることができるというのは実生活の中でも感じています。

それに、あえて曖昧ないい方をすることで会話に弾みが出来たり相手の想像力をかき立てることができ

たりしますしね。

逆に具体的な言葉を付け加えるにしてもそうすることで逆に想像しにくかったり、比較対象などによっては比べられないものもあると思います。

食べ物の味なんてまさにそうです。

人によって好みがありますし、佐藤が何グラム入ってるとか言われてもどれくらい甘いのかなんて想像しにくいです。

でも、砂糖がたくさん使われているとかそういう言い方だとじゃあ結構甘いのかなんて感じに想像しやすいです。

ないとさんのコメントを読んで改めて考えさせられました。

とてもためになるコメントでした！

[【No.166の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.165

作文

2017-05-09

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

10代 無答 ログイン名： simo
タイトル： SNS

皆さんはLINEやTwitterなどのいわゆるSNSと言われるツールを使って誰かとコミュニケーションを取ったことがあるだろうか。私はよくLINEを使って友達と連絡を取ることがあるのだが、普段利用していて気が付いた事がいくつかある。

その一つが言葉遣いである。

以前私はクラスで行われる文化祭の打ち上げの出席確認を任された事があり、その際にもLINEを利用してクラスメイトに連絡をしたのだが、その中の数人が「私は大丈夫」や「ぼくはいいよ」などの参加とも不参加とも取れる返事がきたのだ。その時に思ったのがSNSでは字面だけでのやり取りになってしまうので、当然イントネーションやアクセントは読み手には一切伝わらないということだ。そのため、相手の伝えたい意図や微妙なニュアンスを理解するには、読み手の文章力や読解力がとても重要なのだ。

ほかにも、父とメールで連絡を取った時に、つい、友達同士のノリで「了解」という返事を「りよ」と略して返信をしたことがあるのだが、父には全く通じずにすれ違いが起きてしまった事がある。私の周りではよく見かける略語であったため、当たり前のように使っていたが普段SNSをあまり利用しない父にとっては産まれて初めて聞いた言葉だったようだ。

このように、書き手と読み手のSNSの環境や年齢が全く違うのにお互いが気にせず、むやみやたらに略語や略称を使用してしまうと、せっかく便利なツールなのにすれ違いが起り上手く意思疎通が取れないことがある。

これらのことから、私はSNSでのやり取りをする際は読み手の事をよく考え、言葉遣いを意識する事がとても大切なのだと実感した。

みなさんもSNSを利用する際にはこれらのことを頭の片隅におきながら利用していただけたらと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.221

[No.165](#)へのコメント

2017-05-10

出身： 日本
居住： 東京都

10代 男性 ログイン名： あ
タイトル： わかります。その気持ち

私もよくLineなどのSNSを使いますが、便利な一方で相手の気持ちというのは読みずらいですね。さりげない一言が相手を傷つけたり...

実際に会って話さなきゃ伝わらないこととかも多々あります。私自身、以前友達とLineで約束したことが

あるのですが上手く伝わらず約束ができなかったことがありました。

わたしは大事な約束など大切なことは出来るだけ自分の口から伝えるようにしています。どうしても会えない場合などは、相手の立場になり分かりやすい文章でつたえたいとおもいます。

言葉って難しいですね。

[【No.165の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.259 [No.165へのコメント](#) 2017-05-15 出身: 択捉島 ログイン名: サッカーボーイ
10代 男性 タイトル: 共感します
居住: 択捉島

私も、常に連絡を取る際は、LINEを使用していますが便利な一方で、相手の気持ちは、とても伝わりにくいですよね。

最近、LINEに新しい機能が追加されてグループ通話というものが可能になって少しはそのような戸惑いはなくなってきたと思われます。しかし、クラスとなると流石に難しいですね。さらに、高校時代流行っていたものを大学や中学校の友達に使うと、これもまた戸惑いがうれてしまうことがあるだろう。

だから、今後SNSを利用するときは一つ一つの言葉を考えて送ることが大切だと思いました。たとえ親だとしても、親友だとしても直接会っているわけではないから、一つの言葉で2つの意味合いが出てきてしまうから、今後気を付けていきたいと思った。

[【No.165の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.288 [No.165へのコメント](#) 2017-05-15 出身: 岩手 ログイン名: muggy04
10代 女性 タイトル: 文面での言葉遣い
居住: 神奈川県

私も文面で「大丈夫」と書いてしまうことがあります。しかし送る前に一旦読み直して、いや、伝わらないかと思って文章を書き直すことが多いです。文面ではイントネーションというものが存在しないので伝えるときは難しいですね。よくあるのが、ラインなどを利用するとき、冗談で言ったつもりが文章で言われると本気だと思われたり、絵文字がないだけで怒っているのかなと思われたり。誤解が生まれることもあると思います。相手に自分の気持ちをしっかり伝えるように送る人も気を付けなければならないと思いました。もしくは冗談なら「冗談だよ」と送るようにするなど、相手を傷つけないように気を付けたほうがいいですね。自分の表情や感情が相手にわからない分、そこは丁寧にやるべきだと思いました。最近SNSでのいじめも問題になっているので、SNSが身近にある私たちはみな、相手に不愉快にさせないことが大事だと思います。改めて、文章で気持ちを伝えることは難しいと感じました。

[【No.165の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.313 [No.165へのコメント](#) 2017-05-16 出身: 新潟 ログイン名: ストレッチマン
10代 男性 タイトル: SNSでの困ること
居住: 神奈川県

自分もSNSでの言葉遣いで困った経験がある。初めての友達とLINEするとき、敬語にするかため口にするかです。友達だからため口の方がフレンドリーみたいで良いと思うが、初めてだし敬語かなと迷ったことが何回かある。みんなはどちらのほうがいいのだろうか。

そしてもう一つ、SNS上でのやりとりは相手の表情、感情、気持ちが分からないということだ。怒らせてしまったかな、喜んでくれているかなと次の返信がくるのがドキドキ。今では顔文字、スタンプなどがあり少しは分かりやすくなった。それでも未だに返信待ちはドキドキ。

私の経験だけでも困った経験がこれだけあるので世の中の人をもっと感じていると思う。SNSでのやりとりは改めて難しいと感じさせられた。これからSNSを利用していくうえでより一層注意深くしていくだ

ろう。

だ・である体で申し訳ありません。とても共感しました。

[【No.165の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.410 [No.165の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：simo
居住：神奈川 タイトル：コメント

共感してもらえてとても嬉しいです。

メールやLINEだと立場が違ったり、出身地が違っただけでも冗談などを言っても本気にされてしまったり相手を不快にさせてしまったりでやっぱり文章で相手に気持ちを伝えるのは難しいんだと改めて感じました。

[【No.165の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.413 [No.165の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：simo
居住：神奈川 タイトル：NO.259

共感してもらえてとても嬉しいです。

メールやLINEだと立場が違ったり、出身地が違っただけでも冗談などを言っても本気にされてしまったり相手を不快にさせてしまったりでやっぱり文章で相手に気持ちを伝えるのは難しいんだと改めて感じました。

[【No.165の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.414 [No.165の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：simo
居住：神奈川 タイトル：NO.288

共感してもらえてとても嬉しいです。

メールやLINEだと立場が違ったり、出身地が違っただけでも冗談などを言っても本気にされてしまったり相手を不快にさせてしまったりでやっぱり文章で相手に気持ちを伝えるのは難しいんだと改めて感じました。

[【No.165の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.415 [No.165の筆者から](#) 2017-05-30 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：simo
居住：神奈川 タイトル：NO.313

共感してもらえてとても嬉しいです。

メールやLINEだと立場が違ったり、出身地が違っただけでも冗談などを言っても本気にされてしまったり相手を不快にさせてしまったりでやっぱり文章で相手に気持ちを伝えるのは難しいんだと改めて感じました。

[【No.165の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.164 作文 2017-05-09 出身：東京 10代 男性 ログイン名：ブラックジェントルマン
居住：神奈川 タイトル：グローバル化と接客

アルバイトをやったことのある人なら分かると思うが色々な人と出会うと思う。
私が特に視点を置きたいのは外国人との接し方である。外国人といっても、日本語を喋ることができるの

か、できないのかで接客の仕方が大きく異なると考える。

最初に日本語を喋ることができない外国人に注目したい。今、日本では年々外国人観光客が増加傾向にある。また、東京オリンピックが開催されたら、日本語ができない外国人を接客することが増えると考えられることができる。そのため、日本では外国語で書かれているメニューと日本語で書かれているメニューをお店よく見かけるようになった。自分がアルバイトをしていた時に、外国人を接客する上でそれら、2つのメニューがあったことにとっても助けられ。しかし、本当に外国人を接客する上で言葉遣いに悩むのは少し日本語ができる人たちだ。この人たちが接客した時に感じたことは、自分の日本語をあまりうまく聞き取れないことだ。また、コンビニエンスストアなど、メニューそのものがないお店なども外国人に対する言葉遣いに困ると思う。

私がこれらの経験から学んだことは、ゆっくりとハッキリと喋ることが重要だと感じた。また、日本語の敬語、ため口といった使い分けも外国人には難しいと考える。以上のことを踏まえ、私は、おもてなしができるようある程度の英語能力の向上と気が利く日本語の使い方を我々、日本人が身につけるべきだと強く思う。

[【コメントを書く】](#)

No.307

[No.164](#)へのコメント

2017-05-16

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名：**まうす**
タイトル：外国人への接客

私は最近初めてコンビニエンスストアのアルバイトを始めました。初めのころは慣れない接客業にミスをしたりと大変なこともありました。しかし教えてくれる先輩の人たちが優しくわかりやすく教えていただいたので何とか慣れていくことができました。私はまだ、コンビニで仕事をしている中で日本語が使えない外国人にあったことがありません。なのでこれからの仕事をしていく中で日本語が使えない外国人の方にも接客をする機会が増えてくると思います。その時にしっかりと対応ができるかが不安になります。日本語が少し使える外国人を接客しているときも伝わらないこともあります。

2020年になると東京オリンピックも始まりより多くの外国人が日本に来ると思いますなので私もこれからの外国人の接客は相手にしっかりわかりやすいものになるように努力をしていきたいと思っています。

[【No.164の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.343

[No.164](#)へのコメント

2017-05-25

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

20代 女性 ログイン名：**Jayz940**
タイトル：グローバル化とコミュニケーション

私はハンバーガー屋でアルバイトをしているから、ブラックジェントルマンさんの気持ちがよく分かります。多文化主義のオーストラリアで生まれて育った私は、幼い頃から英語が第一言語ではない人とよく話していたが、それでもアルバイトで英語をあまり話さないお客さんを接客する難しさを何度も経験しました。

ブラックジェントルマンさんの場合では、日本語が話せないお客さんのために英語で書かれているメニューを提供することは良い解決法だと思います。私が、英語があまりできないお客さんを接客する時、食品の写真が付いているメニューを見せてあげるのはかなり役に立つが、その食品をセットにするか、どの大きさのセットがいいのか、どの飲み物にしようかなど、細かく聞きたい時に少し困ります。そのような場合には、普段できるだけ、ゆっくりと簡単な英語で聞いて、ジェスチャーを使って、異なる大きさのコップやポテトのパケットを出して、見せてあげます。そうすると、そのお客さんとコミュニケーションが取れるようになります。

このグローバル化が進んでいる世界では、自分と違う言語を話す人と接することは増えていくと思いま

す。従って、外国人を接客する時、ゆっくりと分かりやすく話すことや、簡単な英語で説明する能力を身に着けることが大切です。そして、外国人の観光客なども自分と違う言語を話す国に行く前に、その国の言語で聞きたいことや話したいことを調べて、メモを取って、少し準備した方がいいと思います。

[【No.164の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.425 [No.164の筆者から](#) 2017-05-30 出身：東京 10代 男性 ログイン名：ブラックジェントルマン
居住：神奈川 タイトル：ありがとうございます。

まうすさんコメントありがとうございます。アルバイトは、様々な経験ができることが面白さでもあり、大変さだと思います。外国人に関わらず、今までの生活では気付くことの出来なかったことやそのコンビニエンスストアの戦略などのことが分かるようになって社会により関心を持てるようになると思います。さらに、様々なアルバイトをこなす事で将来にどのような職種に就きたいか向いているかがみえてくる良い機会だと私は思います。また、不安な気持ちになるのも分かりますが冷静に焦らず対応すれば大丈夫です。大きなジェスチャーで伝えたいことを表すとより外国人の方も理解しやすくなると思うので心掛けてみて下さい。

これからはより世界に出やすくなる時代だと思います。英語だけではなく、韓国語や中国語などの様々な言葉がいきかうようになってくると思います。

時代に遅れないようにお互い上手に対応出来るように言葉遣いやしぐさに気を使い頑張っていきましょう。

[【No.164の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.449 [No.164の筆者から](#) 2017-05-30 出身：東京 10代 男性 ログイン名：ブラックジェントルマン
居住：神奈川 タイトル：No.343 ありがとうございます。

Jayz940さんコメントありがとうございます。私はアルバイトを通して様々な発見、経験をしました。大変なことやくじけそうになる事がありましたが良い経験だと思っています。また、私が感じた問題が日本だけの問題ではないと分かり、グローバル化が本当に進んでいると改めて感じました。外国語で書かれているメニューを使用すると便利ですが少し冷たい印象を与えてしまっていないかと思う部分もありました。私が思うに接客は、対人でのコミュニケーションだと思うのでJayz940さんのジェスチャーで伝えるといった方法はとても温かみがあるなど印象をうけました。

このグローバル化が進んでいる世界では、自分と違う言語を話す人と接することが増え、第2、3外国語まで話せるのが当たり前の時代がすぐそこにきてるとおもいます。

お互い時代に遅れないように様々なスキルをつけ頑張っていきましょう。

[【No.164の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.162 作文 2017-05-09 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：メシア
居住：神奈川 タイトル：ことばづかいを意識するとき

小学生までは、年上や年下など関係なしに全員に対して同じ言葉遣いで過ごしてきました。たまに、両親の知り合いや、始めて会う大人の人などには敬語を使うことはありましたが、それは日常的につかうものではなかったと思います。ですが、中学校に入ることによって環境は変わっていききました。

中学校に入ると「先輩」や「後輩」といった上下関係を意識していきます。もちろんその上下関係には敬語は必須であり、友達としゃべるときのような言葉遣いでは相手を怒らせてしまう場合もあります。そんなことで怒られるのは面倒だと思った私は、多少の間違いはあったかもしれませんが、自分の中ででき

る限り丁寧な敬語を使うように心がけていました。

ですが、部活に入り半年ほど経過したころに先輩に「言葉遣いがなっていないんじゃないか？」と、怒られてしまいました。ですが先輩とどこがダメだったと話しているうちに原因は声のトーンであったことに気が付きました。自分では気づかぬうちにテンションの低そうな声を出し相手を不快にさせていたようでした。そのときに、言葉遣いとはただ敬語を使えばいいというものでもなく、相手を不快にさせないように話すことが重要であると感じました。

それは、海外から来た日本語に不慣れな方にも同じで、相手に親切な対応を取り、不快にさせないはなしかたが必要だと感じました。

今では、バイトなどでより多くの人々とかかわりあう機会を得たので、もっと相手を不快にさせないような言葉遣いを学び、生かしていていると思います。

[【コメントを書く】](#)

No.173 [No.162](#)へのコメント 2017-05-09 出身：北海道 ログイン名：ゆずポン
居住：神奈川県 10代 女性 タイトル：敬語難しい

歳をとるごとに小さい頃に使っていなかった敬語が使うようになって、大人になると敬語を使うのが当たり前になってくるので、学生のうちにきちんとした敬語を覚えなさいといけなさいと思いました。

また、t敬語にもしゃべり敬語？といった敬語とタメ語の間のような言葉使いがあるのできちんとした言葉使いをできるようにしないと学生や社会人に限らず相手に不快な思いをしてしまうので、そこらへんの所に関しても、日常的に自然に覚えたり、授業を通じて覚えたりして改善したいと思いました。

声のトーンだ相手を不快な気持ちにさせることもあるので、バイトや仕事といった場面では特に気を付けないといけなさいと思いましたし、友達との友好関係にもかかわってくると思ったので、きをつけるというか、心がけをきちんとするべきだと思いました。

[【No.162の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.457 [No.162](#)の筆者から 2017-05-30 出身：神奈川県 ログイン名：めしあ
居住：神奈川県 10代 男性 タイトル：敬語だるい

バイト先でよく敬語を使うのですが、その時はとくに注意して敬語をつかうようになりました。こえのトーンなどにも気を付け、あいてを不快にさせないように心がけています。

外国でははっきりとした敬語のない国も多くそんな国に憧れます。
日本から敬語なんてなくなればいいのと思うようになってきました。

要は、相手を不快にさせないかどうかなので敬語はいらないんじゃないかと思います。

[【No.162の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.161 作文 2017-05-09 出身：日本 ログイン名：イッセー
居住：日本 10代 男性 タイトル：自己紹介の意味

私は、今年の四月に関東学院大学の経済学部に入りました。高校を卒業し、それなりに春休みを楽し

く過ごしていて大学生活のことなど全く頭にありませんでした。

四月に入り入学式を終え大学生活が始まると、周りの人とはうまく話せず友達ができずにいました。もし話す機会があったら何をどう話しかけるかを悩んでいました。するとある日、友人が友達を私に紹介してくれ話す機会ができました。その時はまず自己紹介を敬語でしました。するとそれからは普通に話せるようになり仲良くなることができました。また、別の日には友人の先輩が同じ大学にいて、その先輩も友人に紹介してもらい、まず自己紹介をしました。すると、その先輩とも仲良くさせてもらい、大学の分からないことなどを沢山聞くことができました。

これらのことから、人との繋がりを得るためには、最初の一言が大事なのだと気づくことができました。つまりは、自己紹介をしてしまえば、自然と話せるようになり、そのあとの会話でも趣味や出身地などを話すことができ、自然と仲良くなることができると思います。

その後も、友人を通しての友人や授業で一緒になった人とも仲良くなることができ、いまでは、昼休みに体育館でバスケットボールなどをしたりして楽しく過ごしています。これからの大学生活でもまず自己紹介をして、友達を沢山つくり楽しく過ごそうと思います。

[【コメントを書く】](#)

No.250 [No.161](#)へのコメント 2017-05-14 出身：日本 ログイン名：あー
居住：神奈川県 10代 男性 タイトル：自己紹介は大事ですね

私も自己紹介はすごく大事だと思います。入学当時はやはり友達がいなかったのですがある日自己紹介を通じて友達になれた人がいます。初対面の場合大事なのは最初の掴みだと思います。自分をどれだけ知ってもらえるかが鍵です。緊張もするし、相手の顔を伺うことがあるのはしょうがないですしなんでも最初はそんなもんだと思いつつながら私は友達をつくってます。

第一印象を良く見られたいなら言葉をうまく使い相手に自分を知ってもらうことです。普段自分が発している言葉なんて気にしてないのですからより慎重にいかなければならぬと思う。これはどんな人もどんな相手に対してもルールとしてやることではなくマナーだと思っています。マナーだと思えば少しは気が楽になるのではないかと思います。

[【No.161の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.342 [No.161](#)へのコメント 2017-05-24 出身：中国 ログイン名：Shengyu Ma
居住：オーストラリア 20代 男性 タイトル：私の自己紹介

こんにちはイッセーさん、私も地元の大学の経済学部に入りました。自己紹介もとても大事ですが、やはり大学での友達作りは積極性が重要だと思います。

私は最初に入学した時、友達を作るため一生懸命自分のクラスメイトに自己紹介をしました、そのあと連絡先も一杯貰いましたが、正直に言うとその後自分から何の連絡もしないなら、その友達との友情もそこまでです。

他の大学と学部の場合はあまり詳しくないが、私の経済学部には学生のスケジュール表はひとそれぞれなので、スケジュールによって普通の場合は同じ友達と会う時間は週に一回のみです。それだけの時間を友達と過ごす事は全然足りないと感じました。確かに自己紹介は友情と繋がりのはじめかもしれませんが、

その大事な繋がりを守るために積極的に友達を遊びに誘う事はもっと重要だと思います。

大学は前の教育制度と違って、自発的な行動で友達作りはすごく必要だと感じました、イッセーさんの大学も大体同じ感じですか？この点についてはどう思いますか？

[【No.161の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.436 [No.161](#)へのコメント 2017-05-30 出身：長野 ログイン名：なおと
居住：神奈川県 10代 男性 タイトル：自己紹介は大切

私も第一印象は大切なんだと大学に入って改めて思いました。大学の人とはうまく話せなくて困りました。でも、友達を作るときに自己紹介をしっかりすれば、相手も話しやすくなるし、自分も話しやすくなりますよね。もし、自己紹介の時に同じ趣味や得意なことがあれば早く仲良くなれて、いい友達になれるのではないかと思います。自分もいい自己紹介をして多くの友達を作りたいです。

そう思うと、明るく元気に自己紹介するといい印象になるかもしれないですね。

[【No.161の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.160 作文 2017-05-09 出身：岩手 ログイン名：maggy04
居住：神奈川県 10代 女性 タイトル：方言について

大学に入学すると、様々な県からたくさんの人がやってくる。その中で方言というものは、人と交流する上でとても面白いものとなってくる。

私の地元は岩手県で、地元の中ではなまっている方ではなかった。しかし神奈川県に引っ越し、関東圏の人たちと会話をすると、やはり「なまっているね」と言われる。自分では標準語で話しているつもりでも方言はなかなか抜けないものである。

地元の人ではない人との会話の中で相違点があった。地元では「だからね～」という言葉は相槌を打つときに使われる。しかしこちらに来てからこの言葉を使うと相手は困ってしまう。地元でない人は、「だから何？」とってしまうようだ。だからこちらに来て相槌を打つときは何という言葉を使えばいいのかと悩んでしまう。もう一つは、ペンで字を書こうとして書けなかったとき、地元では「書かさない」と言う。しかしこちらでは「書けない」と言っている。私はこの二つはニュアンスが違ふと考える。「書かさない」は書く意志があるのに書けないときに使い、「書けない」は壊れたりして最初から書けないとわかっているときに使うものだと思っていた。地元でない人はこの二つを関係なく「書けない」と一つにまとめて言う聞いて不思議な感じがした。

このように方言というものは、時には相手に伝わらない部分も多少あるが、個性としてとても大事なものであるし面白いものだと感じた。しかしこれから就職活動や社会に出て働くときには、相手に通じるように言葉を選んで伝えていこうと思った。

[【コメントを書く】](#)

No.208 [No.160](#)へのコメント 2017-05-09 出身：日本 ログイン名：ジョージ
居住：神奈川県 10代 男性 タイトル：方言についての感想

自分は元々出身が宮崎でしたが生まれてすぐ都市部にきて、方言はしゃべれませんが 高校から東北の高校に行った友達が帰ってきたときに遊ぶと方言が凄かったです。

彼自身は、方言は使っていないとか訛っていないと言っていましたが、この前まで当たり前のように普通に

しゃべっていたのと思いながら私は話しており、一回身につくとなかなか取れないのかなと思いました。

大学に入ってから地方から来る学生、友達が特に増え、いろんな方言が聞けて自分自身面白いなと思っています。

馬鹿にしているわけではなく、日本でもほんとに言葉のニュアンスや違うことが新鮮でいろんな方言を知ってみたいなと思っています。

ただ私の県でも当たり前に使っていたことが実は方言とか普通に喋っていたことが隣の県の人には使わなかったりと調べたり聞いてみたりして、私のところにも方言があるのだからって感じました。少しですが地方の方たちと一緒に感じなのかなって思っていてこの感じも新鮮でした。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.219 [No.160へのコメント](#) 2017-05-10 出身：静岡県 10代 男性 ログイン名： **sof10o**
居住：神奈川県 タイトル：方言がない人にはわからんら！

岩手県の方言をこのお話で初めて知り、とても面白く感じました。「書かない」は「書かさらない」とのことでしたが、初めてこれを見た私としては、まず読むことができず、新しい早口言葉かな？と、思うくらい口にしづらく感じました。自分が今まで使い分けてきた言葉が一つになってしまっているときの話しづらさ、お察しします。

私も、もと静岡県民として遠州弁を遣ってしまうことがあります。相手に同意を求めるとき、標準語では「～でしょ？」と言うようですが、私たち静岡県民は「～だら？」や「～ら？」と言います。私はその言葉がでないように注意して話してはいるのですが、その癖がなかなか抜けず、ふとした時についてしまいます。「これ～だら...、でしょ！？」といった具合です。

今まで当たり前に使ってきた自分の言葉ですが、標準語を知ることで自分の地元の方言の良さを知ることもあると思います。これからの生活で標準語に慣れていくことになるでしょうが、自分の真の母語ともいえる方言を心の片隅に覚え続けておきたいところですね。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.220 [No.160へのコメント](#) 2017-05-10 出身：日本 10代 男性 ログイン名： **あ**
居住：東京 タイトル：方言なおすの大変ですよ

同じ日本語の中でも方言によっては「今の言葉は日本語か??」なんて感じるものがたまにあります。住んでいる地域によって方言があり面白いですよ。

私の友達にも田舎から上京してきた人がいたんですが、最初はなにを言ってるのかよくわからないことが多々ありました。その地域に住んでるときは方言で通じてたかもしれませんが、東京などで就職などを考えているのであれば標準語を覚えるとよいかもかもしれませんね。

個人的な意見としましては方言は可愛いと思いますが...(´▽`)

少しずつ少しずつ慣れるまでは大変だとはおもいますが、頑張ってください。応援しております。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.248 [No.160へのコメント](#) 2017-05-13 出身：茨城県 10代 男性 ログイン名： **のぎすけ**

自分も茨城から来たので方言があります。茨城といっても方言はそんなに出ないところで、どっちかという祖父母など年配の方がよく方言が出るので、方言が理解できます。しかし、神奈川にきて大学の友達と話していて方言を話してみるとわからないものが多くありました。それで意味を教えることもあります。方言が通じないとショックを受ける人もいますが、自分は方言を教えることで地元にも興味を持ってもらえる気がするので、地元や方言を知ってもらえるチャンスだと思っています。

自分も方言は面白いし、個性だと思います。それに同じ県出身の人がいると親近感もわいて話しやすいと思います。しかし就職活動では標準語で話さなくてはいけないと思っているので、自分も就職活動までには、直していこうと思っています。

方言はその土地の個性なので、通じなくても方言の良さを広めていってください。そして、興味をもってもらえるように頑張りましょう。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.269

[No.160](#)へのコメント

2017-05-15

出身：神奈川県

10代 男性 ログイン名：誠

居住：神奈川県

タイトル：方言について

私も、中学生に上がる時東京から三重に引っ越して方言を感じました。

引っ越して学校に通うようになり友達と話すと、「～やん」や、「えらい」と言ってることに、今まで標準語圏にいただけに「ああ方言だなあ」ととても感じました。

最初、先生に「えらいなあ」と言われた時、私はどういう意味かと結構悩みました。

三年して神奈川県に来たとき、標準語でしゃべってはいたけど。とっさに答えるときには「～やん」と方言が出るときもあり、「なまってるね」と言われることもありました。別に馬鹿にされてるわけではなく単純にめずらしがられてるなと思いました。

わたしも方言は日本にあるとても良い個性だと思いますしとてもおもしろいと思います。

ただ筆者さんの言うとおり、就職活動や社会に出て行く

ときに、こちらに伝わるように配慮してもらっているのはとてもありがたいと思います。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.282

[No.160](#)へのコメント

2017-05-15

出身：日本

10代 女性 ログイン名：1714

居住：神奈川県

タイトル：方言について

私はあまり方言に関わったことなかったので、読んでみてそういうことがあるんだなあと思いました。

確かに大学は様々なところから人が来ているから、方言など聞けるので交流する際にとっても面白いと思いました。

私の友達に頑張って標準語で話してくれる子がいるのですが、私はむしろ方言で話してもらえた方が親しみやすく、それからその地方の話などで盛り上がるので方言の方がいいなと思います。

あとは、普段何気なく使っている言葉でも若干違う意味になってしまうことにびっくりしました。例で「だからね～」の意味が方言だったら相槌なのに、こっちでは「だから何？」となっていてきつい言葉になってしまったり、「書かされない」と「書けない」という表現も違っていたりして日本人ですら理解するのに難しいと思いました。

将来社会に出て今まで以上にたくさんの人と出会い、その中でたくさんの方言を聞くときに、全部理解するのは難しいが、うまく意思疎通できるように努力したいと思います。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.421

[No.160](#)の筆者から

2017-05-30

出身：岩手

10代 女性 ログイン名：muggy04

居住：神奈川県

タイトル：方言について

同じ日本にいても通じない言葉や、別の場所だったら使わない言葉があったりして方言は面白いなと思います。もう一つ地元の方言の例を挙げるなら、「くすぐったい」を「こちょがしい」といいます。多分「こちょこちょ」からとってそうなっていると思います。今までこれが標準語だと思っていたのでこっちにきて通じなかったのがびっくりでした。

今まで過ごしてきて1番衝撃だったのが青森の方言です。同じ東北人なのに全く分かりませんでした。お年寄りと話すとのおさらです。そして話すスピードが速いので聞き取れないです。日本にいる心地がしませんでした。もう一つは沖縄ですね。沖縄は訛りとかじゃなく、単語そのものが違ったりするので不思議です。

たまにテレビ番組で方言についてやっていますが、正直、そんな言葉使わないよと思ったり、そこまで訛ってないか思ったり、異常に大袈裟だったりしているので腑に落ちないです。テレビ番組なので仕方ないかとは思いました。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.428

[No.160](#)の筆者から

2017-05-30

出身：岩手

10代 女性 ログイン名：muggy04

居住：神奈川県

タイトル：方言について

私もあなたに共感します。地元にいるときから「だからね～」が通じないことはわかっていましたが、こっちに来てからもそれはなかなか抜けません。言ってしまうので、「そうだよね～」と言い直します。

同じ日本にいても通じない言葉や、別の場所だったら使わない言葉があったりして方言は面白いなと思います。もう一つ地元の方言の例を挙げるなら、「くすぐったい」を「こちょがしい」といいます。多分「こちょこちょ」からとってそうなっていると思います。今までこれが標準語だと思っていたのでこっちにきて通じなかったのがびっくりでした。

今まで過ごしてきて1番衝撃だったのが青森の方言です。同じ東北人なのに全く分かりませんでした。お年寄りと話すとのおさらです。そして話すスピードが速いので聞き取れないです。日本にいる心地がしませんでした。もう一つは沖縄ですね。沖縄は訛りとかじゃなく、単語そのものが違ったりするので不思議だと思いました。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.429

[No.160](#)へのコメント

2017-05-30

出身：神奈川県

10代 男性 ログイン名：イッセー

居住：日本

タイトル：方言について

私も両親が秋田県出身で小学校の4年生、5年生と秋田県に住んでいました。両親が秋田出身ということもありかなりなまりがあります。そのせいか、私もなまりが出てしまい友達に「なにいつてんの？」と言われることがあります。しかし、その友達とのやり取りも笑い話となり盛り上がります。

その点では方言により友達との会話が楽しくなったこともあるので個性だと考えることに共感します。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.439

[No.160](#)の筆者から

2017-05-30

出身：岩手

10代 女性 ログイン名：muggy04

居住：神奈川県

タイトル：方言について

私もあなたに共感します。地元にいるときから「だからね～」が通じないことはわかっていましたが、こっちに来てからもそれはなかなか抜けません。言ってしまうので、「そうだよ～」と言い直します。

同じ日本にいても通じない言葉や、別の場所だったら使わない言葉があつたりして方言は面白いなと思います。もう一つ地元の方言の例を挙げるなら、「くすぐったい」を「こちょがしい」といいます。多分「こちょこちょ」からとってそうなっていると思います。今までこれが標準語だと思っていたのでこっちにきて通じなかったのがびっくりでした。

就活するときまでにはもう標準語に染まっていたいですね。なるべく早く染まりたいですけど(^◇^)周りにお友達もほぼほぼ標準語の子なので早く吸収したいです。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.443 [No.160の筆者から](#)

2017-05-30

出身：岩手
居住：神奈川

10代 女性

ログイン名：muggy04
タイトル：方言について

方言はいいものですよ。こっちにきて同じ県出身の人と出会うと親近感が沸いて、テンションも上がります。標準語の子でたまに「方言いいな～」と言ってくれる子がいるのでそれも嬉しいです。

同じ日本にいても通じない言葉や、別の場所だったら使わない言葉があつたりして方言は面白いなと思います。もう一つ地元の方言の例を挙げるなら、「くすぐったい」を「こちょがしい」といいます。多分「こちょこちょ」からとってそうなっていると思います。今までこれが標準語だと思っていたのでこっちにきて通じなかったのがびっくりでした。

就活するときまでにはもう標準語に染まっていたいですね。なるべく早く染まりたいですけど(^◇^)周りにお友達もほぼほぼ標準語の子なので早く吸収したいです。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.448 [No.160の筆者から](#)

2017-05-30

出身：岩手
居住：神奈川

10代 女性

ログイン名：muggy04
タイトル：方言について

方言はいいものですよ。こっちにきて同じ県出身の人と出会うと親近感が沸いて、テンションも上がります。標準語の子でたまに「方言いいな～」と言ってくれる子がいるのでそれも嬉しいです。

同じ日本にいても通じない言葉や、別の場所だったら使わない言葉があつたりして方言は面白いなと思います。もう一つ地元の方言の例を挙げるなら、「くすぐったい」を「こちょがしい」といいます。多分「こちょこちょ」からとってそうなっていると思います。今までこれが標準語だと思っていたのでこっちにきて通じなかったのがびっくりでした。

就活するときまでにはもう標準語に染まっていたいですね。なるべく早く染まりたいですけど(^◇^)周りにお友達もほぼほぼ標準語の子なので早く吸収したいです。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.451 [No.160の筆者から](#)

2017-05-30

出身：岩手
居住：神奈川

10代 女性

ログイン名：muggy04
タイトル：方言について

地元にいるときから「だからね～」が伝わらないことはわかっていましたが、言う癖がついているとなかなか抜けないので「そうだよね～」といいなすことが多いです。

同じ日本にいても通じない言葉や、別の場所だったら使わない言葉があつたりして方言は面白いなと思います。もう一つ地元の方言の例を挙げるなら、「くすぐったい」を「こちょがしい」といいます。多分「こちょこちょ」からとってそうになっていると思います。今までこれが標準語だと思っていたのでこっちにきて通じなかったのがびっくりでした。

就活するときまでにはもう標準語に染まっていたいですね。なるべく早く染まりたいですけど(^◇^)周りにお友達ほぼほぼ標準語の子なので早く吸収したいです。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.454

[No.160](#)の筆者から

2017-05-30

出身：岩手
居住：神奈川

10代 女性
ログイン名：muggy04
タイトル：方言について

こっちにきて同じ県出身の人と出会うと親近感が湧いて、テンションも上がります。標準語の子でたまに「方言いいな～」と言ってくれる子がいるのでそれも嬉しいです。

同じ日本にいても通じない言葉や、別の場所だったら使わない言葉があつたりして方言は面白いなと思います。もう一つ地元の方言の例を挙げるなら、「くすぐったい」を「こちょがしい」といいます。多分「こちょこちょ」からとってそうになっていると思います。今までこれが標準語だと思っていたのでこっちにきて通じなかったのがびっくりでした。

就活するときまでにはもう標準語に染まっていたいですね。なるべく早く染まりたいですけど(^◇^)周りにお友達ほぼほぼ標準語の子なので早く吸収したいです。

[【No.160の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.159

作文

2017-05-09

出身：日本
居住：神奈川県

10代 女性
ログイン名：スザルル
タイトル：慣用句の正しい使い方

日本語には様々な種類がある。しかし、今の世代である私達は日本人であるにもかかわらず、正しい日本語を完璧に使いこなせている人は、私が知る限り一人もいない。特に、慣用句もそうである。

最近のクイズ番組等で慣用句について出題されるが、私は毎回答えを聞いて初めて本当の意味を知ることが大分。そもそも、慣用句とは、二言以上の単語が結び付き、全く違う意味を持つ言葉のことである。しかし、今の若者はこれを理解できない。

なぜ、理解できないかは二つある。一つは、ことわざと一緒にになってしまうからである。ことわざは、昔から言い伝えられてきた風刺などを内容にした短い句である。したがって、慣用句とは別物である。最後の一つは、言葉は知っていても、意味を全く違うものとして覚えているからである。これは、私も当てはまる。

高校の時、「役不足」という慣用句が出てきた。意味を役に対して役者の力が足りないという意味だと思っていた。しかし、本来は、役者の力に対して役割が足りないという意味であるとの時に知ったのである。この経験は誰しもあることだが、日本語を主言語にする日本人としてはあまり良いことではないと思う。それにより、私は解決策が必要だと考えた。

私は小学校低学年から慣用句についての勉強が必要だと考えた。この時の記憶力ならば正しい慣用句も

自然に身に付けられると考えたからである。そして、教える方の教員にも正しい慣用句が身に付くからである。それにより最終的に、今後の日本人は皆、正しい日本語を使えるようになるだろう。

[【コメントを書く】](#)

No.267 [No.159](#)へのコメント

2017-05-15

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

10代 男性

ログイン名： 誠
タイトル： 慣用句の誤用

たしかに最近、慣用句の誤用はとて多いですね。
それに間違った日本語が使われることも多いと思います。

私も、最近のクイズ番組や池上さんの番組で正しい日本語、正しい慣用句の意味などをたくさん知りました。

私も、「役不足」は最初はあなたと同じ意味だと思っていました。私が正しい慣用句の意味で驚いたのは、「情けは人のためならず」です。この慣用句の正しい意味を聞いたとき、私は「え！」とおもいました。

ことわざと混ざってしまうと言うのにはわたしにも経験があります。

最後のまとめに関しては大いに賛成です。テレビに出ている人も平気で慣用句の誤用をしていて小さい子どもたちがそれを正しいと思って使ってしまうことがあるとおもうので小学生のころから授業で教え、テレビなどでも話題として取り上げると子どもから大人まで人たちに正しい使い方を教えられると思います。

[【No.159の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.158

作文

2017-05-09

出身： 日本
居住： 東京

10代 男性

ログイン名： あ
タイトル： 日本侵略

この世界は大きく2つの人類に分けられる。1つは目上の人に対して平気でタメ口を使う人。2つは目上の人に対して敬語を使える人だ。近頃の日本は、タメ口を使う人がこの国を侵略してきているようだ。

今から話すことは私が実際に体験した話である。私のバイト先の事である。バイト先には、10代から50代までの幅広い年代により構成されている。ある日の出来事だ。40代の陽気な婦人が目上の人であるはずの店長に向かってタメ口を使っているのを聞いた。私は何という鋼の精神の持ち主なのかと、思わず足元が震えた。店で1番上の立場である人に対してタメ口だとは...

次の話は私が中学生の時の出来事だ。私は野球部に所属していた。学年が2学年となり後輩という存在ができた。今までは1番下の学年として敬語を使ってきた自分たちが、ついに敬語が使われるときがついに来たと思ったその時。衝撃的な事件が起きた。なんと後輩という立場にも関わらず平然とタメ口を使ってきたのだ。先輩に対して敬語も使えないのかと。私はなにも返せず立ち尽くしことしかできなかった。我々が日本には敬語を使える人は全滅してしまったのか。私は意気消沈した。

目上の人に対して敬語を使うのが当たり前と思い生きてきた18年間。この瞬間当たり前が当たり前でなくなった。私たちが生活している日本という大陸はあと何年かで敬語は無くなっているのではないだろうか。タメ口しか使えない人類によって侵略される日も遠くはないだろう...

[【コメントを書く】](#)

No.172 [No.158](#)へのコメント

2017-05-09

出身： 日本

10代 男性

ログイン名： kkkaaaooo

この作文を見させてもらって例え方や文の構成力は面白く思わず笑ってしまいました。一つ気がかりとなることは読点をあまり使っていないことでしょうか。読点を使う場面で句点を使ったりそこで句点かい！！ってツッコミを入れたくなりました。

敬語を使えなくなってきた今の現状を日本侵略...。大げさな表現ではありますがそういわれればそうなのかもしれません。実際に入ってきたばかりの後輩にタメ語を使われるのはイラッときます。でもお互い仲良くなるとふざけ半分でタメ語になってきます。仲良くなれば別に私も問題ないです。でもだからといって挨拶や謝罪を怠るわけではないのでその使い分けはしっかりできてるだけマシだと私は感じます。なので初対面からタメ語はしっかり注意しないとその人のためにもなりませんしお互いが不快に思うので注意も大事ですよ！

敬語を強制しなくても場面に合わせた使い方をしてくれれば侵略もなくなるはずです。あとはタメ語しか使えない日本人しかいなくなるってことはあなたもタメ語に侵略されてますね？そうならないようにみんなに教えてあげてください！あなたは救世主なんですよ！あと読点もしっかり使いましょう。以上です。

[【No.158の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.175 [No.158へのコメント](#)

2017-05-09

出身：日本
居住：神奈川県

ログイン名：スザルル
10代 男性 タイトル：誰しもあること

私も似たようなことに遭遇してとても驚いたことがある。私も中高生の時に運動部に入っていた。それにより、先輩と後輩の上下関係はとても厳しかった。自分が部の最低学年から一学年上がり、後輩を持つようになると状況が変わった。後輩は皆、敬語を使わなかったのだこの時の私は、とても複雑な気持ちになった。

中学一年生が敬語を使えないのはまだわかるが、高校一年生が敬語を使えないのは私としては許し難かった。これは、もはや大人だけの社会だけではなく、学校という子供の社会でも先輩に敬語を使うべきと考えているからだ。

人によってはもしかしたら当たり前ではないかもしれないが、確実に仕事先だけでなく学校でも先輩に対して敬語を使うのは当たり前になってきている。これからの社会で生きるためにも敬語で話すことはとても大切だと改めて思った。

[【No.158の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.408 [No.158の筆者から](#)

2017-05-30

出身：日本
居住：東京

ログイン名：あ
10代 男性 タイトル：どうも

今回読んでいただき感謝申し上げます。そして数多くの作文の中から私の作文を読んでいただいたことに幸せな限りです。

私自身は面白く書こうとしたはなかったのですが、面白い文になっていたのならよかったです（笑）だが、大袈裟すぎた点に関しましては私自身も反省する点です。相手の気持ちを不快にすることもありますが、相手との仲が深まることもありますね。言葉遣いというのは難しいものです。感慨深いとも私はおもいます。

私たちが日本侵略を止めましょう。私たちが動かなきゃ誰が動きますか？そうです。私たちなのです。ぜひ、一緒に食い止めましょう。それが出来れば私たちには明るい未来がそこには待っているのです。10年

No.430 [No.158の筆者から](#) 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：あ
居住：東京 タイトル：頼もしい限りです...

まず初めに、数多くの作文の中からコノ作文を読んで頂いたことに御礼申しあげます。そこに奇跡も感じるほどでございます。

同じ体験をしている方が他にもたくさんいると思うと少し許しがたいですね。そして日本の様々な地域でこのような体験をしてる人がいると思うと恐怖を感じてしまうのも事実です。なぜ、目上の方に対して敬語を使うことが出来ないのか。日本の教育に疑問感じます。社会に出たときに誰が大変か？と考えたとき本人が一番苦しむのではないのでしょうか。

だが、本人だけが苦しむのなら良いほうなのかもしれません。言葉というのは時によって相手あるいは第三者までも不快な気持ちにさせてしまうことがあるので気を付けなければいけないでしょう。

この日本の現状。日本侵略を止められるのは私たちです。この国の未来は私たちに掛かっていると言っても過言ではないでしょう。10年後100年後のこの国の明るい未来に、私たちから行動しましょう。私たちがこの国の若者を変えるのです。日本侵略を食い止めるのです。

今回、同志に出会えたことに感謝です。共に日本を変えましょう。そこの明るい未来がまっています。

[【No.158の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.157 作文 2017-05-09 出身：神奈川県 10代 男性 ログイン名：誠
居住：神奈川県 タイトル：敬語の難しさ

私は敬語が難しいと思った。それは敬語の表現もあるが、敬語を使う場面や正しい使い方など様々な理由がある。

例えば、初対面の相手だった場面に敬語を使うが、それは相手との距離を測ったり、初対面の相手に不快感や悪印象を与えないようにするために使う場合が多いと思うし私自身もやっている。

これにはSNSも当てはまると思う

SNSは、いつ、どこで、だれ、の目に入るかわからないもので、うっかり変な発言をしてしまうと炎上してしまうこともあるので、私はSNSを使用する際には、いつ、どこで、だれ、の目に入ってもよいものにするために敬語を使う。

例えば、会社でのプレゼンや会議、ビジネスの場では、上下関係もあるが、変に丁寧にしすぎた敬語を使って話しをすると長くなりすぎてしまい用を得なくなってしまうこともあるので、そういう場合は、書面では丁寧な文面にして会話をするときには最低限の敬語を使って話をすると簡潔になってよいと思う。

私自身では、使う場面や使い方などを間違えないように気を付けるようにこころがけているので、対人関係で、今まで問題が起きたことはないが、これから社会に出ていく、身としては上に書いた会社やビジネスの場で書類やプレゼンの時に正しく対応できるか、失礼にあたいしないか、等に気を付けていきたいと思うし、今現在から今後の生活でも対人関係で問題を起こさないように、書くときと話すときの敬語を正しく使い分けられるよう頑張っていきたい。

No.195 [No.157](#)へのコメント 2017-05-09 出身：神奈川 ログイン名：ジャスティン
居住：日本 10代 男性 タイトル：敬語深い

例え話が二つ書かれてあり一つ目の初対面の相手との言葉の使い方でも悪印象を与えないという点でSNSの話を使いさらに具体的に書かれていて自分もSNSを使っているのが共感を持てた。
また、二つ目の話でも今後社会に出るうえでとても必要になることがかかれてあり、また、話し言葉だけでなく言葉を書くときの書面のこともありとても考えさせられる文章だった。これからの言葉使いやこれまでの言葉使いを改めて見直そうと思った。

[【No.157の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.306 [No.157](#)へのコメント 2017-05-16 出身：日本 ログイン名：WATAGEI
居住：神奈川県 10代 男性 タイトル：コメント

敬語が難しいということについて共感した。
SNSの言葉遣いのことに関しては、本当にいつ、どこで、誰がみてるかわからないし情報が広められるかもしれないので、目に入っても大丈夫なようにするのは自分も気にします。
変なことを言ったり、変な情報をみんなに公開して、炎上してその情報を公開した人がみんなに攻められたりするかもしれないので、SNSは1番注意しなければならないと言っても過言ではないと思います。

会社の時のプレゼンとか大事な発表な時に変な言葉遣いでみんなに発表したり、プレゼンの中での言葉遣いでへんなのがあったらそれだけでその勤めている会社の売り上げだったり、他社との関係が終わってしまったりするかもしれないです。そして倒産したりしてしまったら責任が取れません。なので、言葉遣いに関しては直せるので直した方が他社にも良い印象を与えられるのではないかと思った。敬語を正しく使えば、初めて会った人との関係も良い風になるとおもうので直した方がこれからの役に立つと改めて思った。

SNSに関しては1番気をつけなきゃいけないと思った。
自分が間違えてやっても取り返しのつかないことになるかもしれないので、そこは本当に気をつけようと思った。
自分もこれからしっかりと敬語で話せるように日々練習して行きたいと思った。

改めて考えさせられた。

[【No.157の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.418 [No.157](#)の筆者から 2017-05-30 出身：神奈川県 ログイン名：誠
居住：神奈川県 20代 男性 タイトル：敬語深い

コメントありがとうございます。
一つ目の話は私が、引っ越しが多くしかも中学と高校に上がるときに引っ越して友人が皆無に等しい状態から友人を作った時に、私が周りの人とかかわるときにやっていました。

SNSの話は、ニュースやテレビの番組で問題になっているのを聞きその内容を書きました。SNSやwebの掲示板だと相手の顔が見えないので強い言葉遣いをしてその結果もんだいが起きるとその番組で言っていたのでお互いに気を付けましょう。

二つ目の話は、私が「おじ」や両親から口を酸っぱくして言われてきたので書きました。できないと恥

をかくし相手にも失礼だからといわれいまは気にしています。

私が敬語で困ったときは葬式の時でした。見たことない親戚などがきてその時に、自分が間違った敬語を言っていないか、などをかんじたので、そのときに言葉遣いに気をつけようと思いました。

わたし自身まだ100%正しい敬語がしゃべることができるわけではないので注意するよう心がけています。

[【No.157の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.440

[No.157](#)の筆者から

2017-05-30

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

20代 男性 ログイン名：**誠**
タイトル：コメント

コメントありがとうございます。

SNSの話は、ニュースやテレビの番組で問題になっているのを聞きその内容を書きました。SNSやwebの掲示板だと相手の顔が見えないので強い言葉遣いや自己顕示欲を満たしたいがために一時期、いたずらの写真や動画をTwitterに上げてやられた店に風評被害や損害を与えることや、そのアカウントが大炎上したことが多かったのを例にしました。

会社のプレゼンや大事な時の話は、実体験ではないが相手の会社などや販売先に言葉遣い一つで売り上げにかかわるといふには私もそう考えます。

私も言葉遣いに関しては直せるうちに直した方が社会にでたときに相手の会社や初対面のひとにも良い印象を与えられると思います。敬語は正しく使えば、自分も相手もお互いに気分よく過ごせると思います。

私が1番気を付けようと思うことは会社のはなしです。SNSはLINE位しか使うことがないので大丈夫だが、社会に出たらすべて自分に責任がくるので気を付けようと思いました。

[【No.157の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.156

作文

2017-05-09

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

10代 女性 ログイン名：**1714**
タイトル：言葉遣いによる印象

私は最近、言葉遣いが悪い人が増えていると思う。例えば「全然いいよ」など文法を間違えている、また平気で年上の人にため口を使っている人を多く見られるようになったからだ。

言葉はコミュニケーションをとる際に、一番大事な手段である。コミュニケーションをとっている間、言葉遣いがいい人と悪い人では相手に与える印象がかなり変わってくると思う。例えば、スーパーやコンビニで買い物するとき、言葉遣いのいい店員だと、「また利用したいな」「ちゃんとしているお店だな」など好印象を受ける。しかし言葉遣いの悪い店員だと「利用したくない」などの印象を受ける。そのため私はコミュニケーションをとるときに一番大切なのは言葉遣いだと思う。

最近若者の間で、「まじ」や「ヤバい」などのラフな言葉を使っている人が増えている。私もバイト先でたまに使ってしまいよくないないと思っているが、友達同士や同級生同士の場合ではそのラフな言葉のほうが内容など詳しくわかるときもあると思う。先ほど言った「まじ」を「本当」という言葉にし、「ヤバい」を「楽しい」という風に変えると少し相手に与える印象は変わる。そのためこれらのラフな言葉は、状況によって使い分ければいいと思う。

私は普段言葉遣いがいいほうではない。だがこれから社会に出た時に困ると思うので、今のうちにちゃ

んとした言葉遣いができるようにしたいと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.171 [No.156へのコメント](#) 2017-05-09 出身： **神奈川県** ログイン名： **誠**
居住： 神奈川県 10代 男性 タイトル： 言葉遣い

最近の、人の言葉遣いが悪いと思うのには賛成です。私の周りにも言葉遣いが悪かったり、間違った日本語を使う人が多いです。「全然」を例にあげていますが最近特に多いのは「食べれる」などの「ら」抜き言葉もだと思えます。私自身何かのはずみで言ってしまうのですが周りの大人によく注意されます。

「まじ」や「やばい」等の若い人がよく使う言葉は親世代から上くらいだと通じないのでその点もよくないと思えます。

私も友人同士で「まじ」や「やばい」などの略語を多く使ってしまったたり悪い言葉遣いになってしまうことがあり、あまり親しくない人に不快感を感じさせてないか心配になることが多いので、社会に出るまでにそういう悪い所を直したいのには賛成です

[【No.156の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.206 [No.156へのコメント](#) 2017-05-09 出身： **神奈川** ログイン名： **シル**
居住： 日本 10代 男性 タイトル： 最近のことばづかい

確かに最近ことばづかいが悪い人が多いと思えます。私の身の回りにも敬語を間違っている人や、若者言葉を使っている人がいます。

ファミレスやコンビニの店員などでも敬語が間違っている人を見ることがあります。敬語は社会に出てから必要になることで私も時々敬語の使い方が合っているのか不安になることがあるので自分でも勉強して正しい敬語を使えるようにしたいと思いました。

また、若い人の使う言葉や、省略して使っている言葉なども、もっと上の世代の人にはわからないと思うし印象もあまりよくないので正しい日本語を意識して使うことが大切だと思えました。私も略語を使ってしまうことがあるので社会人になるまでに直したいというのは同じ意見です。

[【No.156の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.278 [No.156へのコメント](#) 2017-05-15 出身： **岩手** ログイン名： **muggy04**
居住： 神奈川 10代 女性 タイトル： 若者の言葉遣い

私もよく「全然いいよ」、「やばい」はよく使ってしまう。親と会話していて「全然いいよ」と言うと、「どういう意味？」と聞かれたり、「やばい」と言うと、「どっちの意味？」と聞かれてしまいます。ジェネレーションギャップですね。私も若者の間で話をするときはいいと思えますが、年が離れた人と話すときはなるべくこの言葉を使わないようにしたほうがいいと思えます。社会にでて、たくさんの人と話す機会がたくさんあると思えますが、その時にそのような言葉遣いを言ってしまうかわないか自分でもとても心配です。毎日のようにこの言葉を言っているので、言わないようにするのはなかなか難しいと思えますが、徐々に直していきたいと思えます。年上の人と話すときに関わらず、ちゃんとした日本語、伝わる日本語で話していきたいです。最近の若者の課題でもあると思えます。私も言葉遣いで印象が変わると思うので、良い印象を与えられるように言葉遣いに気を付けたいと思えました。

No.279 [No.156](#)へのコメント

2017-05-15

出身：岩手
居住：神奈川県

10代 女性 ログイン名：muggy04
タイトル：若者の言葉遣い

私もよく「全然いいよ」、「やばい」はよく使ってしまいます。親と会話していて「全然いいよ」と言うと、「どういう意味？」と聞かれたり、「やばい」と言うと、「どっちの意味？」と聞かれてしまいます。ジェネレーションギャップですね。私も若者の間で話をするときはいいと思いますが、年が離れた人と話すときはなるべくこの言葉を使わないようにしたほうがいいと思います。社会にでて、たくさんの人と話す機会がたくさんあると思いますが、その時にそのような言葉遣いを言ってしまわないか自分でもとても心配です。毎日のようにこの言葉を言っているのに、言わないようにするのはなかなか難しいと思いますが、徐々に直していきたいと思います。年上の人と話すときに関わらず、ちゃんとした日本語、伝わる日本語で話していきたいです。最近の若者の課題でもあると思います。私も言葉遣いで印象が変わると思うので、良い印象を与えられるように言葉遣いに気を付けたいと思いました。

No.424 [No.156](#)の筆者から

2017-05-30

出身：神奈川県
居住：神奈川県

10代 女性 ログイン名：1714
タイトル：言葉遣い

間違った言葉を間違っていると思わずに使ってしまうことがあるので私もこれからちょっとずつ直していきたいと思いました。

確かに最近「ら」抜き言葉が多いなとは思いますが、昔の人と今の人の言葉遣いは違ってきているのだと思います。正直「ら」を抜いても通じるならいいのではないかと少し思いました。

若者の作った言葉は、私たちなら通じるからいいと思うが私たちの親世代になってくると通じないまたは印象が悪く見えてしまうというデメリットがあります。将来、年上の人とかかわっていく中で言葉遣いに気を付けるのは面倒くさく難しいとおもいます。でもそれらに気を付けていかないとうまく人間関係を作れないので、仕方のないことだと思いました。

私はほとんど同級生といることのほうが多いので、どうしても言葉遣いを気にせずに略語を使ってしまう。そういう言葉を使っても不快にならない友達もいれば、不快になる人も、いるのだなと大学に入ってから改めて思いました。

No.437 [No.156](#)の筆者から

2017-05-30

出身：神奈川県
居住：神奈川県

10代 女性 ログイン名：1714
タイトル：最近の言葉遣い

間違った言葉を間違っていると思わずに使ってしまうことがあり、確かにもっと年上の人と話すときその言葉がわからなくまた、印象も悪くなってしまっているのかと思いました。

私はコンビニで働いており、お客さんに私の言葉遣いで怒られたことがあります。そのときは「なんで怒られたのだろう。」と思ったのですが、略語などため口のように聞こえてしまったみたいなので、改めて日本語は難しいと思いました。なので、今のうちに少しずつでもいいから直していこうと思いました。

若者の作った言葉は、私たちなら通じるからいいと思うが私たちの親世代になってくると通じないまたは印象が悪く見えてしまうというデメリットがあります。将来、社会に出ていく中で言葉遣いに気を付ける

のは面倒くさく難しいとおもいます。でもそれらに気を付けていかないとうまく人間関係を作れないので、仕方のないことだと思いました。

もともと日本語は難しい言語だと思う。今回、言葉遣いについて書いてみて、気を付けていこうと思いました。

[【No.156の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.444

[No.156](#)の筆者から

2017-05-30

出身： **神奈川県**
居住： **神奈川県**

10代 女性 ログイン名： **1714**
タイトル：若者の言葉遣い

間違った言葉を間違っていると思わずに使ってしまうことがあり、確かにもっと年上の人と話すときその言葉がわからなくまた、印象も悪くなってしまっているのかと思いました。

ジェネレーションギャップがあると、通じなくなってしまうのが難しいともいました。

私もよく、「やばい」などの略語を使っています

若者の作った言葉は、私たちなら通じるからいいと思うが私たちの親世代になってくると通じないまたは印象が悪く見えてしまうというデメリットがあります。将来、社会に出ていく中で言葉遣いに気を付けるのは面倒くさく難しいとおもいます。でもそれらに気を付けていかないとうまく人間関係を作れないので、仕方のないことだと思いました。

私たちが小さいころからできている言葉を使わないようにするのは確かに大変ですね。

もともと日本語は難しい言語だと思います。今回、言葉遣いについて書いてみて、ちょっと変えてみるだけで印象が変わっていくことが分かり、直していこうと思いました。

。

[【No.156の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.155

作文

2017-05-09

出身： **東京都**
居住： **東京都**

10代 男性 ログイン名： **Sakanosuke**
タイトル：年上に対する言葉づかいと礼儀

日本には年功序列という言葉がある。個人の実績、能力に関係なく年数だけを見て人を評価したりすることだ。この風習は主に企業や会社などにみられる日本独特のものだ。現在、この年功序列という風習は企業だけでなく、大学や高校などでもみられるものになっている。しかしながら、この風習が少しずつ薄らぎつつあるのではないかと私は思っている。

私が通っていた高校には多数の部活の中に野球部と女子テニス部があった。この二つの部活は部内の上下関係が非常に厳しかった。

当時同じクラスにいた一人の野球部の生徒は部活の先輩を見つけると、その場所が校内であろうと、最寄りの駅であろうと、小走りでその先輩の前まで行き、非常に大きな声であいさつをしていた。

また、朝電車を降りると女子テニス部の一年生と思われる生徒が駅のホームで大きな声で先輩にあいさつをしているところを何度も目にすることがあった。

それらの部活ではあいさつをしないで先輩の前を通るとひどく怒られるということだった。目上的人是敬えということである。

しかし、先輩と後輩が敬語を使わず会話をしているという話を私は高校二年生の弟から聞いた。弟が所属しているバスケ部では先輩のほうから後輩に対して敬語を使うなという話があり、それ以降先輩と後輩

が敬語を使わず話すようになったらしい。弟の話によるとチームワークが大切だから、より仲が深まったほうが良いということであった。私はこの話には反対であった。試合中であれば年齢の差は関係ないが、普段の生活の中では先輩と後輩の関係はしっかりと保つべきだと弟に話した。

このように同じ十代というせまい世代の間で年上の人間に対する礼儀に大きな違いがある。先に述べたように私は年上の人間に敬語を使わないのは反対だ。例に挙げた野球部や女子テニス部まではいかないが、やはり部活という同じ枠組みの中にいる年上には敬語を使い、ある程度の敬意を示すべきだと考える。

[【コメントを書く】](#)

No.253 [No.155へのコメント](#) 2017-05-14 出身： **神奈川県** ログイン名： **masaball**
居住： 神奈川県 10代 男性 タイトル：とても共感しました！

私もこの日本の年功序列という考えは薄くなってきていると感じていて、とても共感しました。

私自身も高校の時は野球部に所属をしていて、上下関係がとても厳しくよく最寄り駅や校内どこでも先輩に会ったら真っ先に挨拶しにいました。どこの高校でも野球部は厳しのですね。私たちも先輩は絶対敬語で接しないとひどく怒られたりしたので、年上には敬語を使わなければいけないということ教え込まれました。

私にも高校二年の弟がおり、テニス部に所属しているのですが、先輩とは敬語を使わずに会話しているそうです。なぜ、敬語を使わないのか聞くと先輩とも仲を深めるためのことでした。でも、年上の人には敬語を使うべきですよ。自分も弟に話してみます。

最後にあなたが述べたように私も野球部のようなまではいかなくとも目上の人には敬語ではなすべきだと思った。やはり、自分たちが社会に出たときに困らないためにもそうしたほうが良いとこの作文を読んでいて共感できました。

[【No.155の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.283 [No.155へのコメント](#) 2017-05-15 出身： **岩手** ログイン名： **muggy04**
居住： 神奈川県 10代 女性 タイトル：上下関係について

私も敬語を使わないのはよくないと思います。普段は普段、部活は部活でしっかり場をわきまえて話すのがいいと思います。敬語を使わなかったら仲は良くなると思いますが、先輩後輩の立場はしっかり保ったほうがいいと思います。チームワークと礼儀は別だと思うので。先輩にタメ口で話す癖がついて、社会に出たときに目上の人にタメ口で話してしまったら大変ですよ。悪い印象を与えてしまうと思います。しかし個人的に仲のいい先輩と話すときはいいのかなと思います。昔からの付き合いだったら、みな敬語では話さないですよ。どの先輩にもタメ口はいけないと思います。今のうちに上下関係をしっかり確立させたほうがいいですよ。敬語を使うことは大事だと思うので。今のうちから慣れておきたいですね。やはりどの高校でも野球部が一番厳しいのですね。なぜでしょう。気になります。どの部活であっても上下関係はしっかりしておいたほうがいいと思いました。

[【No.155の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.407 [No.155の筆者から](#) 2017-05-30 出身： **日本** ログイン名： **Sakanosuke**
居住： 東京都 10代 男性 タイトル：コメントありがとうございます。

同じようなエピソードを聞くことができ大変うれしく思います。

どこの野球部でも同じなのですね。

しかしながら、私の通っていた高校は地域の方々からの苦情が相次いだこともあり今まで大変厳しかった野球部の上下関係のルールは私の代の野球部から少し緩くなりました。

駅構内、ホームなどところかまわず大きな声で挨拶をするのでうるさいというご指摘があったようなのです。それからは駅や校内でわざわざ立ち止まって挨拶をする野球部の生徒は見かけなくなりました。せいぜい歩きながら軽く会釈するくらいになっていました。

野球部の挨拶の声がうるさいというのは生徒たちも思っていたことなのでとても良い結果になったなと思っています。

バスケ部とテニス部の違いはありますが、ほとんど同じようなエピソードだったので少し驚きました。理由も仲良くなるためといった同じものですね。敬語を使うと確かに壁を感じられるような気もしますが、だからと言って仲良くなれないということはないと思います。少し意味は違うかもしれませんが「親しき中にも礼儀あり」という言葉もあるくらいですからね。

コメントありがとうございました。

[【No.155の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.426

[No.155](#)の筆者から

2017-05-30

出身：日本
居住：東京

10代 男性

ログイン名：Sakanosuke

タイトル：コメントありがとうございました。

「個人的に仲の良い先輩と話すときはタメ口でいい」

という意見が気になったのでコメントさせていただきます。

それについての例として私の経験したことを書こうと思います。

作文に書いたように私には弟がいます。年齢は二つ下です。私が中学生のころ弟は小学生のバスケットクラブに通っていたのですが、その練習に兄として参加することが多々ありました。そこで弟の同級生たちと仲良くなりました。このときは敬語で話してくる子もいれば、タメ口で話してくる子もいました。

そして弟が中学に上がったとき、当時私の中学と毎年夏に合同合宿をするほど仲の良かった中学校にそのクラブチームにいた男の子がいたのです。練習試合の休憩時間、その子が私に近づいてきました。私はどう喋りかけてくるのだろうと考えました。その子は私がクラブチームに顔を出していた時と同じようにタメ口では話かけてきました。私は少しこのことが気にかかりました。慕ってくれていることは伝わってきてうれしいという感情もありましたが、後輩にタメ口を使われているということへの違和感の方が大きかったような気がします。

中学生から部活が本格的に始まり、部活という一つの社会に所属している。このことは将来大人になるうえでとても重要な経験になってくると思います。新しい職場に年上の幼馴染がいたとしてタメ口で話すでしょうか。いくら仲が良くてもある社会に入っている以上敬語は欠かすべきではないのではないのでしょうか。

コメントありがとうございました。

[【No.155の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.154

作文

2017-05-09

出身：日本
居住：神奈川県

10代 男性

ログイン名：kkkaaoooo

タイトル：状況別言葉遣い

私達が友達や家族、先輩と話すときしっかりとした言葉遣いができるのでしょうか。そもそも正しい言葉遣いとはどういうものか気になります。友達には親しい関係ということもありタメ語で話すことが多いでしょう。また家族もタメ語を使うことが多いでしょう。しかし、先輩や目上の人にタメ語を使うこ

とは失礼です。このとき使われるのが敬語です。敬語を状況に合わせて使い分けることが大事です。

まずSNS上での言葉遣いです。ここでも友達、家族にはタメ語です。ですが先輩やSNSでの知らない人には敬語です。画面越しだからや、直接話してないから等の理由は関係なくSNS上でも直接話しているときの状況と同じように接しましょう。

次に電話です。電話をかけるときもかかってきたときも最初の挨拶は敬語で対応します。友達の携帯に直接かけるのはタメ語で大丈夫ですが、家の電話にかけるときは友達の家族が出る場合もあるのでまずは敬語で話しましょう。またお店や学校なども同じです。しっかりとした言葉遣いで電話をしましょう。

このように友達と会話をするときと同じような口の利き方をみんなにするのはよくありません。タメ語が大丈夫という先輩や目上の人がありますが、その人たちにも状況によって敬語を使う時があります。普段の何気ない会話から言葉遣いに意識を傾け、楽しい会話ができるようにしましょう。

[【コメントを書く】](#)

No.223 [No.154](#)へのコメント

2017-05-10

出身： **オーストラリア**
居住： 日本

10代 無答

ログイン名： **k, r**
タイトル： osietekudasai

教えて下さい。タメ語とはどういう意味ですか？

[【No.154の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.419 [No.154](#)の筆者から

2017-05-30

出身： **神奈川**
居住： 神奈川

10代 男性

ログイン名： **kkkaaoo**
タイトル： osiemasu

読んでいただきありがとうございます。

今回、私がこの作文で使用したタメ語というものは俗にいう日本語の文体の中に丁寧体を含まない俗語のことを言います。「友達口調」ともいわれてます。一般的に目上の人や先輩の人には敬語という「尊敬語」「謙讓語」「丁寧語」からなる文体を用います。

この「敬語」を使わず「タメ語」および「友達口調」の文体で話すと礼儀がなっていないやマナー違反、また相手からは「生意気なやつ」と思われます。例えば、会社に出勤したとき上司の人に「おはようございます」とあいさつするところを「おはよう」というと怒られるのです。自分はそのことを取り上げて作文を書かせていただきました。

「タメ語」「タメ口」「友達口調」は同じものです。私が使った「タメ語」は言い方が違うもので意味は一緒です。

海外には「敬語」という文体はあるのでしょうか？日本ではこの「敬語」を使って縦の関係を保っているのです。

[【No.154の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.153 作文

2017-05-09

出身： **日本**
居住： 神奈川県

10代 男性

ログイン名： **あー**
タイトル： 初対面の人

私は最近初対面の人と会話をするとき、自分の言葉遣いが本当に正しいのか、相手が聞いて不快にはならないか、などよく考えるようになりました。大人になっていくなかで社会常識として必要になってくる言葉遣いを日常生活を振り返りながら考えようと思いました。

一つ目は、大学進学に進学してからの出来事です。中学校や、高校とは違い、他県から来る人もいるということです。それぞれに方言やなまりがあり、自分では当たり前に使っている言葉遣いが相手からしたら

当たり前じゃなくなります。言葉を砕いて話すのがいいのか、フレンドリーに話しかけるのが良いのかと言ったように、大学に入って一番意識しているところです。

二つ目は、バイト先でのことです。私はコンビニのアルバイトをしていますが客の年齢層は子供からお年寄りまでです。明らかに年上の人はもちろん敬語を使いますが、一番困るのは自分と同じくらいの年の客や、小さい子供への対応です。もちろん接客する側なので敬語は使いますが、反射的にタメ語になってしまい、場合によって言葉遣いを変えなくてはいけないことはややこしいと思う反面、日本人の器用なところだと思いました。

このように、いろいろな人とのコミュニケーションを通じてその場面、その人に合った言葉を使っていきたいと思いました。

[【コメントを書く】](#)

No.284 [No.153](#)へのコメント 2017-05-15 出身：日本 10代 女性 ログイン名：1714
居住：神奈川県 タイトル：初対面の人と話す時

私もたまに自分の言葉の使い方が間違っ相手に悪い印象を与えていないか考えるようになりました。学校では関わる人が大体同い年なので、フレンドリーにした方がいいのかなと思ってタメ口で話しています。大学の場合は他県から来る人がたくさんいてその際の方言があり、その時私も相手からしたらこっちが話してることと意味が違ってくるのであっているか不安になります。

それから私もコンビニでバイトしていて、気をつけてはいるのですが反射的にタメ口になることはあります。私は仲のいいお客さんは基本タメ口でお話しており、その方が親しみやすくいいかなと思っています。それ以外は敬語でなるべく話す努力はしています。

この作文を読んでいて複雑で難しいが、確かに日本人は会話する人によって器用に言葉を選んで使っているなと思いました。これからもできる限り正しい言葉づかいを使い、その場に応じてコミュニケーションできるようにしていきたいと思いました。

[【No.153の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.431 [No.153](#)の筆者から 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：あー
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます!

やはり相手がどう思っているかはすごく気になりますよね。
他県の人と話すのは新鮮な感覚で楽しいですが一方で難しさはありますよね。
言葉の壁は海外だけでなく日本国内でもあるようです。
わたしも仲のいい客に対してはタメ語で話すように最近しました。
常連さんだからこそできることですよね。
ただ見た目が大人や子供とかで判断するだけでなく
そのお客さんがどんな人なのかというのにも気にかけてみたら
敬語の使い方をもっとよく知れるのではないかなと思います。
コメントありがとうございます!!

[【No.153の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.152 作文 2017-05-09 出身：日本 10代 男性 ログイン名：あざみ
居住：神奈川県 タイトル：初対面の人

No.416 [No.152](#)の筆者から 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：あざみ
居住：神奈川県 タイトル：敬語の使い方頑張っていきたいと思います

コメントありがとうございます。
たしかにタメ語のほうが親しみやすさはあると思いますが
やはり相手がどう思うかすごく気になります。
そのひとが気にするような人ではなければいいのですが
よく思わない人だったらアウトですね。

バイト先でも僕も気を付けています。

先輩やバイト先などの親しい関係の人にはため語が許されている人には使いますが
その中にも礼儀はしっかりとしています。
礼儀がなかったらただの友達と同じになってしまいますから。

私もみんなが気持ちよく生活できるように場面、場面でちゃんとした敬語を使えたらいいなと思っています。
自分は偉いから使わなくていいとか、まだ子供だから使わなくても平気、ではなく一人ひとりが意識できたらいいなと思っています。

[【No.152の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.445 [No.152](#)の筆者から 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：あざみ
居住：神奈川県 タイトル：コメントありがとうございます

やはりどんなアルバイトでも敬語を使う場面があり
悩むことがありますよね。これから社会に出ていくうえで必要になっていくことなので
今のうちから使っていくことでいい訓練になっていますね。
自分も人の意見をどんどん取り入れながら成長していけたらいいなと思っています。

[【No.152の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.151 作文 2017-05-09 出身：神奈川県 10代 女性 ログイン名：うらびー
居住：神奈川県 タイトル：初対面の人と話すとき

初対面で話す機会は1年のうちに数えきれないほどあり、近所の人、大学内で初めて話す同学年に先輩と教師、バイト先の人や道端で話しかけられるなど年齢性別さまざまであるが、そのような人たちにどのような言葉を選んで話すか悩むことが多くある。

一つ目は教師やバイト先の店長のような目上の人との会話で、普段警護に慣れていないと、ですます調は当然使うのだが尊敬語や謙譲語の使い方についてすっかり忘れていたり、本当にこの使い方で行っているかと不安になったりすることがある。また、目上の人にメールをするときに年齢が高い人には文字だけで送っても特に違和感がないが、若い人には絵文字を使うかどうか悩むことがある。友達のやり取りではないので語尾が来るたびに絵文字を使うわけではないのだが、かといって全く使わないと堅いと感じてしまうため使うかどうか判断が難しいと思う。

二つ目は初対面で話す同じ年の人で主に学校での同学年の人の中で、相手から軽いノリでため口で話しかけられるとこちらも同じように返せるのだが、実際にあったときやSNSでつながってこちらから話しかけると、けいごにしたらいいかため口でも大丈夫かどうか迷うことが少なからずあった。

私は話すことが苦手だとは思ってないが初対面の相手だと言葉遣いに悩んでしまうのでもう少し慣れていきたいと考えた。目上の人とはメールだと言葉と選ぶ時間があるけれど会って話しているときはそのようなことができないし、同い年の人にはため口でもいいと思っているが印象悪く思われてしまう言葉は避けるようにして、どちらも相手が言われて失礼でないか意識して話そうと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.298

[No.151](#)へのコメント

2017-05-16

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

20代 男性 ログイン名： **Nick**
タイトル： 相手よりの話し方

私も、相手に失礼のないよう意識して話すことは心がけていますが、難しいと感じます。特に、目上の人と話すとき、私も尊敬語を使い忘れてしまったりすることがあります。特に、尊敬語と謙譲語を間違っ
て使っていたかもしれないと思うと不安になります。ですが、これらは経験を積めば意識せずとも自然に
使い分けができると思うので、私はたくさんの人と話すことが重要だと考えます。

また、私は同級生と話す際に敬語を使う必要は無いと考えます。初対面の時こそ丁寧語になる部分も
時々ありました。しかし、丁寧語を使うと相手との距離を感じてしまいます。また、同級生は対等なの
で、初対面だとしても特に意識することなくため口で話すのが自然だと私は考えます。

よって私は、目上の人と話すときは尊敬語を使い、同級生とはため口で話すことが自然だと考えます。

[【No.151の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.149

作文

2017-05-09

出身： **北海道**
居住： 神奈川県

10代 女性 ログイン名： **ゆずポン**
タイトル： 敬語とタメ語の使い分け

同い年や年上の人でも仲がいい人と知らない人、またそこまで仲良くない人で言葉遣いは変わるのでしょ
うか？

例えば、仲が良い先輩や先生、バイト先のパートさんや店長な場合どうなるのでしょうか？私の高校で
は、先生と生徒の間がとともフレンドリーで、
タメ語を使う先生がよくいました。特に担任の先生などがそうでした。ですがその一方で、将来働く時に
思わず目上の人にタメ語を使ってしまうといったこともあるので敬語を使うことが大事だと言っている先
生方もいました。また、先輩でも仲が良く遊んだりする人に限ってはタメ語を使っていることもありまし
た。

それとは反対に初対面の年上は、失礼にあたるのでもちろん敬語を使うことが必要ですが同い年の人ほど
なるのでしょうか？また、一目見ただけで年齢が分からないことがよくあるので、それも失礼がないよ
うに敬語を使うべきなのでしょう？同い年で敬語を使う人と急にタメ語で話かけた人を比べると、敬語
を使っている人の方がマナーが良いということもありますが、その一方でタメ語で話しかける人の方が親
しみやすくすぐに友達になれそうな気がします。

私は、これらの2つのことを踏まえて、先輩やバイト先のパートさんや店長そして先生に対しては仲が良い
関係であれば、タメ語を使ってもいいと思います。なぜなら、そちらの方が親しみやすく気軽に相談や世
間話ができると思うからです。また初対面の人に限っては年上と年下関係なく、敬語を使うべきだと思
います。なぜなら、馴れ馴れしいと引かれたり、実は年上で後から怒られるといった事態を回避できるから
です。

私は、これらのことをよく理解し自分なりの考えではありますが敬語を使うべき人にはきちんと敬語を
使って生活していきたいと思います。

No.210 [No.149](#)へのコメント 2017-05-09 出身： **神奈川県** ログイン名： **まうす**
 10代 男性 居住： 神奈川県 タイトル： 言葉遣い

私は小学生までは言葉遣いを気にしたことはありませんでした。先生方には敬語でしたが1年上の学年の人や上級生にも関係なく普段通りの話し方で話していました。中学生になると部活に入りその中で上下関係というものがわかってきました。その中でも仲の良くなった先輩とはため口で話していることもありました。私も年上の人だったとしてもため口で話せる関係になるほうが仲が良くなることができましたなと思えます。

私は最近アルバイトを始めて年上の人や年下の人があります。私は年上年下関係なく全員に敬語で話しています。今は全員に敬語で話していますが、ため口でも話せる関係になればよりそのアルバイトも楽しいものに変わっていくと考えています。

これからの社会の中では敬語で話すことが必要になっていくことが多くなると思います。しかし敬語だけで話すのではなくその場に合わせて言葉遣いを変えていくことでよりよい生活を過ごしていけるのではないかと思います。

[【No.149の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.438 [No.149](#)の筆者から 2017-05-30 出身： **北海道** ログイン名： **ゆずポン**
 10代 男性 居住： 神奈川 タイトル： コメントありがとうございます。

まうすさんの言う通りだと思います。

敬語を使うことによって楽しい生活やお話ができるようになるといいですね！！

私もアルバイトや部活そしてサークルでは敬語に気をつけたいと思います。
その場にに応じて敬語を使うことの大切さを改めて実感しました。

[【No.149の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.148 作文 2017-05-08 出身： **オーストラリア** ログイン名： **mayitbemay**
 10代 女性 居住： オーストラリア タイトル： 世界の顧客サービス言葉遣いの違い

私は接客業で働き始めてから、オーストラリアのサービス業に誇りを持っていたが、友達から日本と比べたら従業員の言葉遣いに関して不満な点が様々あると聞いた。そこで、自分の職場で利用する言葉はきちんとしているかどうか悩んでしまった。

日本では客によく対応するために、適切な方法で尊敬語を使うのは非常に大事な事だ。オーストラリアでは丁寧さより、親しみのある微笑とコミュニケーション能力がもっと重要だ。例えば日本では「いらっしゃいませ」のように、客は答える必要がない成句が多い。逆に店員の方から会話しようとするのが、オーストラリアではいいサービスと考えられている。

その上、オーストラリアのサービス業では客の年齢、性別や目指している市場によって異なる。店員は若者と話す時は俗語を使うのが珍しくないが、日本では失礼だと見られる。

文化と客の要請によって従業員の言葉遣いは異なるので、他国のサービス水準に達してほしいと望むのは意味がないと思う。

No.207 [No.148へのコメント](#)

2017-05-09

出身： **神奈川**
居住： 日本

10代 男性

ログイン名： **ジャスティン**
タイトル： 海外との違い

留学生さんということもあり海外と自分の住んでいる日本との違いがサービス業によって違うということがわかる文章でとても興味が沸く文章でした。

自分は日本にずっといて海外には一度も訪れたことがないのでこういう形で海外の人から見た日本のサービス業のことが書いてあり客観的に見たら日本のサービス業はこういう風を感じられているのだなと思った。

またオーストラリアのサービス業の雰囲気が少し分かれたような気もする。

今度もし海外に行くようなことがあれば日本との客に対する接し方や言葉使いにも注目してみたいと思った。

二つの国のサービス業の特徴が書かれていて最後に否定的な終わり方で文章を終えているのでとても最後の一文の協調性が増していると思った。

[【No.148の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.541 [No.148へのコメント](#)

2017-06-07

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

10代 女性

ログイン名： **mayitbemay**
タイトル： ジャスティンさんへ

ジャスティンさんは私の作文を読んでいただき本当にありがとうございました。サービス業の話題を気に入っていただいて嬉しかったです。最後に否定的な終わり方で文章を終えるつもりではありませんでしたが、なぜそういう風に見られたのわかります。ジャスティンさんは海外に行く場合に日本との客に対する接し方や言葉使いにも注目したら、本当いいことだと思います。私は英語を公用語としている国のサービス業の言葉づかいを比べたり注目したりしてみたいです。例えば、アメリカのイギリスのサービス業の言葉づかいがあるかどうかを探るのが面白いと思います。日本でのサービス業の言葉づかいについて少し教えてくれないか。なんの特徴があると思いますか。サービス業の言葉づかいに対していやがることありますか。

[【No.148の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.129

作文

2017-05-05

出身： **台湾**
居住： オーストラリア

10代 男性

ログイン名： **ジロ**
タイトル： 知らない人の呼び方

知らない人の呼び方

ちょうど三ヶ月前、高校の交換留学生として日本の高校のホームステイを経験した。ホストの生徒を始めて会った時に「ホストの人にどう呼んだらいいのかわからない」ということについてすごく悩んでいた。

ホストの生徒は最初から私のファーストネームで呼んでいて、思わず同じく直接彼の名前で呼んでいた。でもそれは正しい判断だったのかとずっと悩んでいた。最初の出会いから日本人に直接、「さん」や「くん」を使わずに名前を呼ぶのは失礼だろうか。その時点ではまだホストと仲良しの友達でもなかったし、しかも彼は三歳年下だったので本当にど何がよかったのか今でも考えている。

その後ホストといい友達になったので彼の呼び方を気にしなくなったけど、ここから将来の初対面はどうするべきだろう。英語の名前を持つ私は多分ファーストネームで呼ばれると思うけど、日本人の相手にどうすればいいのか。大体日本人に名前を聞く時は、日本人は英語の「名前」というものを意識していてファーストネームをあげる人が多いと思うけど、外国人だから許されている感じがする。自分の苗字をあげてもいいと思うが、自分に対してはやはり少し不自然で違和感を感じる。

今回の相手はホストの生徒だったので呼び方なんとかあったが、将来普通の場面や職場に出会う初対面の

人の呼び方はやはり「さん」をつけたら一番自然で安全なのかと、今でも悩んでいる。

[【コメントを書く】](#)

No.145 [No.129](#)へのコメント

2017-05-08

出身： **埼玉県**
居住： 埼玉県

10代 女性 ログイン名： **いちご**
タイトル： 呼び方

私は逆に、友達を下の名前でよぶことに少し抵抗、というか恥ずかしさみたいなものがあります。だから、相手にもそういう感情があるのかなと考えると、いきなり呼び捨てで呼ばれることは嬉しいです。個人的には、下の名前で呼ぶことは親しくなりたいという気持ちがあるからではと思うからです。

だから、全く心配することはありません。相手が呼んでくれたならなおさらです。しかし、それは友人関係の場合で、日本では相手が先輩や先生、お客様となると話は違ってくると思います。どんなに親しい仲間になれたとしても、先生なら「～先生」、先輩なら「～先輩」などと呼ぶのが礼儀かなと思います。「親しき中にも礼儀あり」という言葉がありますが、日本ではそういう風習が多いように感じます。

今回文章を読ませていただいて、日本人である私としてはあまり気づきにくいポイントでしたので、とても新鮮で、勉強になりました。最後に、悩み事について意見を申しますと、友人関係であれば、「なんて呼べばいい？」と聞いてみたらいかがでしょうか。また、初対面で年齢など相手の情報が何もわからないときには「～さん」と呼ぶのがベターかなと思います。あまり考えすぎなくて大丈夫だと思いますよ。

[【No.129の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.128 作文

2017-05-04

出身： **韓国、アメリカ**
居住： 東京

20代 無答 ログイン名： **イチゴ俺、飲むぞ**
タイトル： 私の日本語は世界一イイイイーーーーッ

不完全な日本語力で日本で住み、色んなことを経験しました。

日本で日本語が中途半端にしゃべれる外国人として住むのは面白いです。私と仲がいい日本人の友達はみんな大体分かるから直してくれたり、どこが間違っていると言わないですが、友達とか職場の仲間たちから私の日本語はSiriっぽいと言われます。私が何が言いたいかは分かるけど、どこか堅すぎたり、文法の間違いがあつたりするそうです。

自分もコミュニケーションを取る時自身が言いたいことを楽に表現できないから色々なもどかしさを感じたりしますが、いつもまずは目の前の相手との交流に集中して適当に話してしまっ、結局は‘楽しかったからまあいいっか！’とってしまいます。まあ、これが私だと思いますけど、もっと頑張らなきゃならないと思います。

アメリカみたいな多民族国家だったら英語にも色んな言い方とか種類があるという認識が広がっていますが、私の中途半端な実力の日本語は‘内’と‘外’を厳格に区別する日本文化では、時々不便です。その例として、バイトをする時、外国人の日本語にまだ慣れてない人と一緒に働く時とか、店にお客さんとして行ってまだ研修中の店員さんからサービスされる時、相手が私との会話にどう対したらいいか悩むのが感じられます。私がどこまで理解できたかを考えたりするから、時々子供に使う言葉を使ったりする時もあります。

文法とか発音などが不完全かも知れませんが、聞き取りは大体できるといってかまわないです。それがやさしさから来る配慮である時もありますが、時々本当に私を対しにくい存在だと考えているように感じられ、ちょっと寂しくなります。

[【コメントを書く】](#)

母国語が通じない国に住んで、その国の人と話す事は、とても面白いですが、悩みも多いですね。私は日本人ですが、ずっと海外に住んでいたため、日本語に自信がありません。私も日本の方と話す時、本当に言いたいことが伝わっているのか不明なまま、コミュニケーションを取っていることがあります。

おっしゃる通り、日本は“内”と“外”を分ける風潮があると私も感じます。境遇を知らない方には、私もきっと対応しにくい存在なのでしょう。日本人だから“内”に分類されるはずなのに、どちらかと言えば“外”の人間に近いからです。それはそれで、とても寂しいです。

ただ、最近気づいたことがあります。文化的な“内”と“外”の概念が問題なのではない、ということです。他の国と比べて日本では、外国の方と話す機会も限られてきます。日本人が対応に戸惑うのは仕方ありません。私が“内”の人なのに日本語を間違えたら変だ、と思われることと同様に、外国の方が“外”の人だから日本語が苦手であろうと思われるのは、当然の結果だと思います。

ですから、語学力ですれ違いが起きそうになった時には、思っていることを正直に伝えることが重要なことです。例えば会話の初めに、日本語の聞き取りができることを一言おっしゃってみたらどうでしょうか。きっと日本の方は、喜んで日本語を話してくださると思います。むしろ、外国の方が日本語を学んでいることを知ったら、会話の練習に協力してくださる可能性もあります。

現実的に言えば、店員さんに毎回説明することは難しいです。しかし、やはりコミュニケーションの悩みは、相手に伝えて解決するものだと実感しています。

[【No.128の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

なるほど。そばさん私とは逆に、むしろ日本人として日本社会内でそのような言語の障壁や文化の違いを感じたのですね。私の友達の中でもハーフや、帰国子女の子たちはそんな壁をしばしば感じてはできそうだとです。むしろ外国人より、深刻に悩むようになるという友達もいました。なぜなら、アイデンティティの混乱と周りの視線からの圧迫がもっと強い上、'日本人らしさ'についてさらに深く考えなければならぬからでしょう。"あれ?あの人はなぜ日本人だが、このようなことすら知らないんだよ?"という反応を経験することになったりする形でね。

これも全部、まだ多くの日本人が典型的な日本人の枠組みから外れた存在をたくさん接してみる機会がなかったからだと思います。外国人を見て、偏見を持って眺め、彼らの知能や教養レベルが彼らの日本語実力と直結していると簡単に断定してしまっている姿を見せる人たちがたびたびあるのも、そのためでしょう。多分"日本人血統だが、日本社会で育って奥地ない"人たちに対する理解が不足したのも、これといった悪い意図があったというよりは帰国子女たちやハーフと会ったことが少なくてと思います。

私のような場合には、いざとなれば私は外国人です!と強く自己アピールをしてしまうので、むしろ気が楽になる部分があるのも事実です。悪く言えば怠けることで、良く見ると、楽天的な態度でしょう。完璧に日本人になれないなら、最初から開いて過ごすのだからです。そばさんの言うように大半の日本人友達も私に慣れた後からはもっとゆっくりと説明してくれたり、よく話を聞いたりもしています。

このような問題は、特にこれといった解決策はないようです。それぞれ自分に受け入れられ次第でしょう。

[【No.128の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

なるほど。そばさんは、私とは逆に、むしろ日本人として日本社会内でそのような言語の障壁や文化の違いを感じたのですね。私の友達の中でもハーフや、帰国子女の子たちはそんな壁をしばしば感じているようです。むしろ外国人より、深刻に悩む友達もいました。なぜなら、アイデンティティの混乱と周りの視線からの圧迫がもっと強い上、'日本人らしさ'についてさらに深く考えなければならないからでしょう。"あれ? あの人はずいぶん日本人だが、このようなことすら知らないんだよ?"という反応を経験することになったりする形ですね。

これも全部、まだ多くの日本人が典型的な日本人の枠組みから外れた存在にたくさん接してみる機会がなかったからだと思います。外国人を見て、偏見を持って眺め、彼らの知能や教養レベルが彼らの日本語実力と直結していると簡単に断定してしまっている姿を見せる人たちがたびたびいるのも、そのためでしょう。多分"日本人血統だが、日本社会で育っていない"人たちに対する理解が不足したのも、これといった悪い意図があったというよりは帰国子女たちやハーフと会ったことが少ないからだだと思います。

私のような場合には、いざとなれば私は外国人です!と強く自己アピールをしてしまうので、むしろ気が楽になる部分があるのも事実です。悪く言えば怠けることで、良く言うと、楽天的な態度でしょう。完璧に日本人になれないと、最初から開き直ることができるからです。そばさんの言うように大半の日本人友達も私のことをよく知った後は、もっとゆっくり説明してくれたり、よく話を聞いたりもしてくれます。

このような問題は、特にこれといった解決策はないようです。それぞれ自分がどういう人かを周りにアピールするしかないでしょう。

[【No.128の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

2015年から東京に住んでいて、そろそろ二年になる。東京大学の留学生として、二年前から日本語を勉強しているものの、日本語がまだうまくできていないと思う。特に、言葉遣いに悩むことが多い。

日本人の学生と活動する時、相手によって言葉遣いを考えないといけないので、問題になる。

大学の女子ホッケー部に入っているので、先輩に対する言葉を使わなければならない。そのために、丁寧体が一番大切なことだ。そして、敬語を学ぶための応用日本語のクラスを取った。しかし、私はずっと丁寧な日本語が苦手で、会話に追いつきたいとき、丁寧体と普通体を取り違えている。この問題に加えて、丁寧のレベルもあまりわからない。例えば、ごめんなさいとすみませんの違いを理解できない。先輩に一番丁寧な日本語を使うが、コーチに一般的な丁寧体を使ってしまう。

また、部活をやり、体育系の用語をよく使う。大部分の用語はカタカナ語なので、使いたいときもなかなか覚えていない。例えば、走ることはランニング、筋トレはフィジカルトレーニングと言い、普通フィジカルと省略する。カタカナ語をノートに書くことが一番悩んだことだ。

最後に、日本語を勉強すればするほど、言葉遣いについて疑問が多くなると思う。日本人と会話するために、もっと勉強しなければならない。

[【コメントを書く】](#)

イオンさんと同じく、先輩に対して私も同じ悩みがある。

三年前、学校のバレー部に参加した。日本の高校ではないが、わたしの面倒を見る先輩は日本人でした。その時、日本語の勉強をしたいから、その先輩とずっと日本語で交流した。何度でも彼女は「日本では、部活の先輩に対してタメ口は絶対だめだよ」と言いた。もう友達同士なので、最初はあまり気にしていなかったけど、日本語を正式習いはじめた以来、そういう文化差異が益々感じた。もっと実践と勉強する必要はあるね。

丁寧のレベルについて、それは話し相手より決まってことなんだろうか。イオンさんの例なら、「ごめんなさい」は知り合いや友達に対して使う、「すみませんは」はもっと丁寧な話し方だと思う。

カタカナ語の問題ですが、私はそういう悩みはなかった。カタカナ語や外来語はだいたい英語と発音が似ている。私は英語圏で住っていたから、そういう用語は漢字より簡単かもしれないね。イオンさんはまず、その用語を英語の語彙に転換してみたら覚えやすいかも。

イオンさんが言った通り、日本語の勉強者として、やはり当地の人々と出会い、もっと話しをかけながら自分の言葉能力を強めるは大事だ。

[【No.121の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

レベル1の勇者さん、コメントいただき、ありがとうございます。

レベル1の勇者さんはオーストラリアに住んでいるのに、いつも先輩や友人と日本語を練習していて、本当にすごいと思う。私は日本人の友人と会話するとき、日本語だけを喋りたいが、内容を全部理解してもらうために、時々英語の補充も必要だ。

私は、丁寧のレベルがあまりわからないから、もっと勉強しなければならないね。

カタカナ語について、発音が英語と似ているカタカナ語は理解できるけれども、仮名遣いが苦手なので、なかなか書かない。私にとって、これは一番難しいことだ。やはり、日本語を勉強しなければ、進歩するのは難しい。

[【No.121の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

去年の九月から東京で一年間の留学をしている。それ以来、先生と先輩に対して言葉遣いで悩んでいる。時々私は彼らに連絡したいけれども、結局自意識過剰のせいでそれをやらない。

スペイン人の私にとって、尊敬語や丁寧語はほとんど使えない。スペインでは先生に普通体で話すので目上の人とのやりとりが難しい。おまけに語彙の違いと動詞の活用を覚えるのに苦労する。

例えば、初めは、自分の答えが出てこなかった。だから何を聞かれても全てに「大丈夫です」と答えていた。私はだんだんより自信を持つようになり、日本人の友達にちゃんと話を始めた。友達とたくさん話すようになり、ます形の仕方を忘れてしまった。

私は内気な上に、私の指導教官とチューターは中南米研究部の一員だから、私の母語のスペイン語が非常に堪能だ。どうしても日本語を話さなくてはならない状況にならなったら、日本語がもっとうまくなると思

う。

[【コメントを書く】](#)

No.229 [No.119](#)へのコメント

2017-05-10

出身：静岡県
居住：神奈川県

10代 男性 ログイン名：sof10o
タイトル：練習したい、でもココじゃない

日本語を使うことで日本語を覚えたいけれども、強制的に使わなくてはならない場面でないと使う気にならない気持ち、よくわかります。私は日本人ですが学校の授業で英語を習っています。しかし、それを日常で使う場面はほとんどありません。ここは日本なので当たり前といえばその通りなのですが、せつかく上達させたいという気持ちがあっても練習する場がないというのはもったいないですよ。だからといって日本人同士で英語を使って話すほどストイックにはなれませんし、さて、どうしたものでしょうか。

友達と話すことで日本語のため口だけ上達してしまい、より「です・ます」に苦手意識を持ってしまったのです。加えて、スペインでは目上の人とも自然体で話すそうで。しかし、私はたとえ「です・ます」ができていなくとも、先輩や先生には自分の本当の気持ちを伝えたほうがいいのではないかと思います。日本語を頑張っているとわかっている相手が、たとえ少し「です・ます」を抜いて話したとしても、こっぴどく叱る人はいないでしょう。

私も英語の日常会話を学んでいるところです。スマートな日本語で先生方と話せる日が早く来るといいですね。

[【No.119の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.560 [No.119](#)の筆者から

出身：スペイン
居住：日本

20代 女性 ログイン名：ベッカ・セイヤー
タイトル：共感して、ありがとう

sof10oさん、コメントありがとうございます。

私の話に関感して頂き、とてもうれしいです。言語を学ぶときに日常生活の中で学んでいる言語を使うことができないという気持ちを感じるのは残念ですよ。日本語を上達するために、毎日朝ドラを見たり、読書をしたりしています。最近、これが私にとって新しい語彙を学び日本語の表現を練習するための最良の方法だと分かってきました。年上の人と話すことに関しては毎日少しずつ良くなっています。励ましてくれてありがとうございます！

sof10oさんが日本で英語を上達させる方法を見つけることができればうれしいです。

[【No.119の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.70 作文

2017-05-01

出身：日本
居住：

50代 男性 ログイン名：odagiri
タイトル：伝えることは難しい

私たちの日常会話の中では話がかみ合わないことがよくある。それは自分の考えを相手にうまく伝えることができていないからであるからだ。その結果、大きな失敗につながり取り返しの利かないことに発展する可能性もある。ここでは、そうした出来事を防ぐ方法を考えていきたいと思う。

私が最近体験した例としては、東京の駅で友人に映画を見るときに待ち合わせをするときである。彼が「私のいる場所はどこか？」と聞かれたことに対して私は「中央改札の前の店にいる」と答えた。しかし、中央改札には左右にそれぞれ改札があったのでお互いに別の改札の店の前に行き、それゆえ待ち合わせに時間がかかり映画を見ることができなくなってしまった。今回の失敗は自分がどちらの改札にいるか

を詳しく伝えなかったためである。

このように自分中心に考えて相手に説明すると正しく伝えることができない。したがって、自分にも相手にも共通する表現で伝えることが非常に大切である。簡単な例として「右」や「左」等の向き、固有名詞などだ。これらは誰にでも共通する表現なので間違えることはほとんどないだろう。そういった、簡単な言葉を利用することによってシンプルにわかりやすく相手に伝えることができるだろう。

相手に対して絶対に伝わると思いながら話すことはよくないことだろう。相手に伝わって当然だと思いつまらずに、自分のイメージをしっかり作ることも大切なことである。簡潔に伝えることが一番大切なのであろう。

[【コメントを書く】](#)

No.85

[No.70](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

20代 女性

ログイン名： おかし

タイトル：待ち合わせで会えないという「すれ違い」

お話を興味深く読ませていただきました。駅での待ち合わせで、場所の説明が十分ではなく会えなかったというお話についてですが、映画を見ることができなくて残念だったと思います。

私も東京駅など大きな駅に行くと待ち合わせに苦労するので、もちろん上手に説明することに加え、駅の表示に工夫してもらい、左右で違う表示をつけたらよいのではないかとも思いました。例えば中央改札一番出口、二番出口などです。携帯電話が普及するまで、どのように待ち合わせをしていたのか考えてみると、もしかしたら以前はこのようなことが無いように今以上に詳しく説明をしていたのかなと思ったりもします。

駅で会えなかったというのは、言葉による意思疎通がうまくできなかった結果であることがはっきり分かりますが、私たちはこのような小さなすれ違いを日常生活で気づかないだけで意外と多く経験しているのかもしれないね。友達や家族に自分の感情をうまく伝えられずに誤解を与えてしまうということもありません。自分が伝えたいことを、それにぴったりの言葉を選んでいくことが大切なのだと、この作文を読んで改めて感じる事が出来ました。

[【No.70の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.387

[No.70](#)へのコメント

2017-05-29

出身： ジャパン
居住：

10代 男性

ログイン名： odagiri

タイトル：感想の感想

コメントありがとうございます。

確かに「映画を見ることができなくて残念だった」のほう感情が伝わりやすいですね。

今の学生は携帯・スマホがあつて当たり前で育っています。だから、待ち合わせを詳しく伝えていなくても直ぐに連絡を取って話し合うことができます。ですが、もしそういった連絡手段を持っていない場合、彼らはすぐにトラブルに対処できないでしょう。日頃から日常生活の中で小さなすれ違いを繰り返していると大きなズレを生み出すかもしれませんね。

自分自身、考えていることを伝えることが出来ず、相手に不快感を与えてしまうことがよくあります。相手が怒ってから気づくことがほとんどです。最近読んだ本には、「そういった事態を未然に防ぐためには、自分の中のイメージを聞き手に共有させることが大切だ。」と書いてありました。しっかりとイメージを共有することによってはじめて通じ合っているのかもしれないね。

[【No.70の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

言葉はかけがえのない役割で見ず知らずの人がお互いを理解するようにした。自分が周りの人たちからどう思われたいということも、自分の言葉遣い次第じゃないかと、僕はそう思っている。

まず、僕が丁寧語を使えないこと。僕は最初いきなり日本語を勉強し始めたわけじゃなかった。その前に、アニメを山ほど見てきた。アニメの中ではやはりため口、または若者の言葉が多かったので、僕は自然に影響され、日本語の話す習慣が出来上がった。「俺」や「じゃねえ」や「つつーか」などをつかいてくって、自分勝手だったかもしれない。それによって、自分が人と会話する時にため口しかなかった。最初その丁寧語を使えないという状況に気づいたのは、僕にはじめて日本人の友たちができたとき。その人に「僕の日本語はどうだった」って聞いてみたら、「失礼かもしれないですけど、きみの口からため口しか出てこなかったから、最初この人どうかしているだろうと思った」と言われて、かなりショックを受けた。それから長い間、きちんと日本語を勉強したが、人と話す時確かに丁寧語が使えないような気がする。練習すればするほど、いつ丁寧語を使うか、どんどんコントロールがとれたが、初めに生まれた習慣を治すことに疲れると感じた。

このように、言葉遣いに悩むときがあったが、昔の経験で僕は言葉遣いの大切さをわかった。この先、悪い言葉遣いによりもっと躓いて悩んでかもしれない、それが全部勉強になれば大丈夫と思う。

[【コメントを書く】](#)

外国の方が日本語を勉強するきっかけはあなたが言うようにアニメなどが一番だと思います。自分は日本語を学ぼうと思ってただけでも嬉しいです。しかし、そういった人たちがつまづくのが丁寧語などアニメではなかなか出てこない言葉だと思います。確かに知らない人からいきなりタメ口で話しかけられると失礼に感じる人も多いと思います。

丁寧語は何回も練習しなければなかなか身につかないものだと思います。なので、失敗してもいいから繰り返し何回でも話す練習をして丁寧語を身につけて日本語をもっと楽しんで使って行って欲しいと思います。

日本語は、使う状況や相手によって敬語やタメ口を使い分けなければいけないので大変で難しいですが、しっかりと身につけば、話していて楽しい言葉だと思っています。それに話せるようになると、自分の視野も広がってあなたの人生をより価値のあるものになると自分は思います。これからも勉強頑張ってください。

[【No.69の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

外国の方が日本語を勉強するきっかけはあなたが言うようにアニメなどが一番だと思います。自分は日本語を学ぼうと思ってただけでも嬉しいです。しかし、そういった人たちがつまづくのが丁寧語などアニメではなかなか出てこない言葉だと思います。確かに知らない人からいきなりタメ口で話しかけられると失礼に感じる人も多いと思います。

丁寧語は何回も練習しなければなかなか身につかないものだと思います。なので、失敗してもいいから繰り返し何回でも話す練習をして丁寧語を身につけて日本語をもっと楽しんで使って行って欲しいと思いま

す。

日本語は、使う状況や相手によって敬語やタメ口を使い分けなければいけないので大変で難しいですが、しっかりと身につけば、話していて楽しい言葉だと思っています。それに話せるようになると、自分の視野も広がってあなたの人生をより価値のあるものになると自分は思います。これからも勉強頑張ってください。

[【No.69の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.322 [No.69の筆者から](#) 2017-05-19 出身：中国 ログイン名：エド
居住： オーストラリア 10代 男性 タイトル：日本語を学んで良かった

のぎすけさん、コメントを書いていただき、誠にありがとうございました。

私は全くののぎすけさんが言ったことに賛成します。

アニメがきっかけで日本語を勉強し始まり、様々な人やものに出会って、日本語のおかげで有意義で楽しい時間を過ごさせて頂きました。今回のようにのぎすけさんからコメントを頂き、また一ついい思い出が増えて嬉しい限りです。

私も失敗を怖がっていません。むしろ失敗があったからこそ、共に成長ができたじゃないかと私はそう信じていおります。日本語の中にある多様な言葉の形で、日本語が今みたいに表現が最も豊かな言語の一つとなっております。それを使いこなせるように頑張りたいと思います。

これからも日本語の言葉使いを勉強し続けて、のぎすけさんが言う“自分の視野も広がってあなたの人生をより価値のあるものになる”、その通りになったらこの上ない喜びです。

最後に、お忙しいところお礼申し上げます。どうか全てに順調でありますように。

[【No.69の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.66 作文 2017-04-30 出身：群馬県 ログイン名：oka14
居住： 東京都 10代 女性 タイトル：bamenn にあった言葉遣い

私が言葉遣いで悩むことは、場面にあった敬語が見つからないときにどのように相手と話すのがいいのかということなのです。

日本人は、基本的に目上の人には敬語を使うと思います。私も大学の先輩や先生と話すとき、仕事でお客様に話すときなどは敬語を使っています。しかし、年上だったり少し気を遣う相手であっても気軽に話せる仲の人に対してどこまで言葉を崩していいのか判断が難しいなと思います。

私がずっと悩んでいるのは、近所のおばさんやおじさんに挨拶をするときのことです。私が小中学生のとき、登下校中に近所のおばさんやおじさんはよく「おはよう」「行ってらっしゃい」「こんばんは」「おかえり」と声をかけてくれていました。私はそれらに「おはようございます」「行ってきます」「こんばんは」「ただいま」と返していたのですが、この「ただいま」に私は違和感をもっていました。「おはよう」「行ってらっしゃい」の挨拶には、丁寧語で返すことができるので違和感なく使っていましたし、「こんばんは」もそのまま返しても違和感がなかったので普通に使っていました。しかし、「おかえり」に対して「ただいま」と返すことは私の中で少し生意気な感じがして気持ちよく挨拶を返すことができませんでした。最近になって「ただいま帰りました」や「ただいま戻りました」などが丁寧な言葉遣いなのかなと思い始めたのですが、これだと堅すぎる印象があり自分が思っているよりも相手に距離を感じさせてしまう気がします。

場面に合った、相手の立場や自分との関係に合った言葉遣いで話せたらそれは一番良いと思いますが、なかなか見つからないときは丁寧な言葉遣いで話したほうが間違いはないと思います。しかし堅くなりすぎるなど感じたら、言葉以外の表情や身振り手振りで堅苦しさを軽減するのが良いのではないかと思います。

[【コメントを書く】](#)

No.131 [No.66](#)へのコメント 2017-05-06 出身： **スペイン** ログイン名： **ベッカ・セイヤー**
居住： 日本 20代 女性 タイトル： 近所の生活

私は、今まで日本で近所づき合いの経験がないけれども、その感じが理解できると思う。外国人にとって、敬語が一番難しい形式だと思う。しかし、外国人だから一般的に、間違いは日本人の相手に許される。最初、「日本人でも確かにその場合、敬語の使い方に悩むだろう」と思った。そして、作文を読んだ後、年上に対する言葉遣いの違和感がより詳しく分かってきた。例えば、近所の話について、その丁寧な挨拶の感じはちょっと堅いかもしれないが、距離を十分に判断できない時には、たぶん最も安全な選択肢だと思う。私は、寮のおじさんに対して使う言葉に悩んでいる。「学校行ってるの。行ってらっしゃい！」と言われた時に、何も言わずに笑顔でうなずく。緊張して言葉が出てこない。笑顔だけでもいいと思うけれども「行ってきます」と言えればもっといいだろう。

[【No.66の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.335 [No.66](#)へのコメント 2017-05-22 出身： **オーストラリア** ログイン名： **にゃんこ**
居住： オーストラリア 10代 女性 タイトル： SNSにあった言葉遣いは

私も適切な言葉が分からなく困る時があるので、普段は日本語を出来るだけ丁寧に話そうとします。もし勘違いか距離感があればジェスターなどの非言語的な表現も使います。でも言葉に限る場合、例えば手紙や通話では出来なくてもっとも難しいでしょう。

私のバイト先の店長も友達でもいるマヤさんは、いつもタメ口を使ったり「やっほ」で挨拶したりする扱いをします。しかし「やっほ」で返すことが生意気で違和感があるので変わりに「おはようございます」や「ごきげんよう」で丁寧に答えます。対面で堅いと感じても表情などで親しさが伝えられますが、電話やメールの会話で私の丁寧さが時々疎遠的だと勘違いされます。

確かに表情と身振り手振りで丁寧語のみの堅さが溶けられるといえ、現代のコミュニケーションでこれは難しいです。インターネットなどの使用が普及する一方、我々の交流も変化していきます。省略語といったように語彙と表現が段々単になっていくに伴い、誤解の可能性も上がるでしょう。

その誤解も言葉の気遣いは、このSNS時代の中で必要になっています。

やはり場面にあった言葉遣いが分からない問題はこれから増えると思います。

[【No.66の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.380 [No.66](#)の筆者から 2017-05-29 出身： **群馬県** ログイン名： **oka14**
居住： 東京都 10代 女性 タイトル： バイト先での言葉遣い

日本人の私でも敬語の使い方に悩むのだから、外国の方にとって敬語を使いこなすのはとても難しいことなのだと改めて感じました。

はじめの作文にかいたように、年上の方と話すときにとりあえず敬語を使えばいいというものでもありません。もちろん、多くの場合は年上の方には敬語を使って話せば問題はありません。しかし、場面にあつ

た言葉遣いをしなければ相手との距離をはかり損ねてしまいます。

近所の方とのやりとりを例に出しましたが、バイトの先輩に対しての言葉遣いも難しいです。年上の方でも、敬語でなくていいよと言ってくれる方がいます。しかし私からすると相手は年上なので、敬語のほうが話しやすいこともあります。仲良くなりたくないというわけではないのですが、先輩の方から言ってくれたのに無下にするのはこちらが距離を縮めるのを嫌がっているのだと勘違いされてしまうこともあります。そのようなときに敬語を使うときには、言葉以外の表情や身振り手振りなどで堅苦しさを軽減することで相手も親しみを感じられるのではないかと思います。

[【No.66の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.396 [No.66](#)の筆者から 2017-05-29 出身：群馬県 10代 女性 ログイン名：oka14
居住：東京都 タイトル：表情が見えないときはどうすべきか

確かに、手紙やSNSなどでやり取りをする場合は表情、身振り手振りは伝わらないので実際に会って話すよりもより言葉遣いに気を付ける必要があると感じました。

私も年上の方や実際に話したことが少ない方とメールをするときに、必要以上にメールが堅苦しくなってしまうと感じることはよくあります。実際に会って話しをしていると多少敬語が崩れても他の表情や身振り手振りでカバーできるので良いのですが、文字におこしてみると失礼かなと感じて、正しい敬語で書こうと思います。しかしそのようにすると、堅苦しさが目立つようになり、いつも実際に話しているよりも距離を感じさせる文章になってしまいます。

私はそのようなときは堅苦しさを軽減するために絵文字やスタンプを使います。今はSNSが広く普及しているので無料の絵文字やスタンプも多く存在します。失礼にならないように、かといって堅苦しすぎないように考えてそれらを使うようにしています。しかし、それらを使うことをよしとしない人もいると思うので、簡単に問題を解決することはできないなと思いました。

[【No.66の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.65 作文 4・29 出身：オーストラリア 20代 男性 ログイン名：cdog
居住：オーストラリア タイトル：言葉遣いの悩み：職場の上下関係

僕は去年休学して、大阪の飲食店で働いて、同僚の使った日本語に驚いた。なぜかと言うと、新入社員が仕事に慣れてから、上下関係に対して言葉遣いが変わった。

新しく出来た姉妹店の店長になって、募集をした。山田さんと言う新入社員を受けて、僕が彼の検収をした。検収している間、彼は敬語を使った。「畏まりました」、「宜しく願いいたします」などの表現を使った。しかし、仕事に慣れて、日本人のスタッフと使っている警護が変わらずに、段々僕と話している友達同士の話し方になってきた。

一つ思ったのは、その理由は僕が外国人なので、警護に対して気にしなくては大丈夫だった。後輩が「了解っす」、「お疲れー」、「やっといてね」などのカジュアルな表現を使っても怒らないだから。逆に、僕が先輩とそのような言葉を使ったら、怒られなかった。さらに思ったのは外国人に対して言葉遣いをあまりに気をつけなくていいなら、職場の上下関係に対してなそのような言葉遣いは必要があるのだろうか。

[【コメントを書く】](#)

No.174 [No.65](#)へのコメント 2017-05-09 出身：日本 10代 男性 ログイン名：あ
居住：東京 タイトル：わかります。その気持ち

職場において日本では上の者に対して敬語を使うのが一般的だとおもわれます。しかし、年齢も近かったり、仲よくなったりすると敬語を使わなくなったりすることもあります。敬語でなくなったのは相手があるあなたに心をひらきたいのではないのでしょうか？それは凄いことだとおもいます。文化によって違いはあると思いますが、日本においては上記で述べた通りだとおもいます。もしよろしければ参考になさってください。

[【No.65の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.64 作文 2017-04-26 出身：オーストラリア 20代 男性 ログイン名：brax
居住：オーストラリア タイトル：自然な日本語の大切さ

確かに、日本語学習者として、文法と語彙の勉強は大切だが、言葉違いも日本語の大切な一部だ。日本に行きたいなら、敬語や自然な日本語で話す能力は大事だと思う。

初めて日本に行った時、高校で習った日本語は十分だと思った。しかし、ホテルのフロント係や、レストランのウェーターと話した時、敬語が使われたから、まるで別の言語のようで、最初にまったく理解出来なかった。それだけでなく、状態によって、敬語かタメ口か、どちらを使ったほうが良いのは分からなかった。ホストファミリーの娘と話した時、下の名前だけで読んでもいいか、タメ口で話してもいいか、そういうことにいつも悩んだ。

高校の日本語教師と会話練習をした時、俺は「私」や「またね」など、男性らしくない言葉をいつも使って、先生が何も言わなかったから、正しい話方だと思ってしまったことがあった。日本にいた間に、そのことがしらなかったで、そのまま続けた。しかし、オーストラリアに帰ってから、日本語をもう少し勉強して、変な日本語で話したことに気づいた。

結局、日本にいた時、色々な困った事があったから、高校生の時にもう少し実用的な日本語を習ったほうが良いと思っている。

[【コメントを書く】](#)

No.87 [No.64へのコメント](#) 2017-05-01 出身：静岡 10代 女性 ログイン名：ぴー
居住：東京 タイトル：とても勉強になりました

日本語の敬語と自然な話し言葉を使い分けるのは確かに難しいと思います。私自身いまだに正しく敬語を使えていることはなく、間違った使い方をしていたりすることがよくあります。そういった際恥ずかしいなという思いもありますが、そこで治せてよかったなと思い、ほかにもどんな敬語があるのかを知る機会が生まれとてもいいなと思っています。

日本に留学にせつかく来ていただいたのに正しい使い方を学べずに帰ってしまったのはとても残念だと思いました。日本では間違っていることを注意する、指摘することををはばかることが多く、きっとホストファミリーも多少間違っているでもいいだろうと思ってしまっていたと思います。ですが、留学してきた身としては正しい生の日本語を学べる最高のチャンスであり、指摘してほしいですね。そういったことを考えると、もっと留学生に間違いを教えていくべきなのだあなたの作文を読んで感じました。

ため口でいいかどうかは私もすごく悩むところで、同じ年齢でも部活やサークルで入ってきた時期が違えば上下関係が変わってしまうと思います。しかし、どちらを基準にして話すべきかあいまいであり、人によって考えが違ってしまいます。その場で確認を取りお互いが納得した上で会話をしていくことがベストだと思います。

[【No.64の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.538

[No.64](#)の筆者から

6/6/17

出身： オーストラリア
居住： オーストラリア20代 男性 ログイン名： brax
タイトル： 賛成です。

ぴーさん、コメントを書いてくれてありがとうございます。

ぴーさんの意見に賛成します。言語学習者として、一番大切なのは間違いを恐れないことだと思います。なぜかと言うと、間違いをしないなら、いつも同じ話し方や書き方を使うから、上達する事が出来ないと思います。間違っても、新しい文法や言葉遣いを使えば、自分のバリエーションが広がります。しかし、この方法を使うと、一つの条件があります。その条件は間違いを指摘する人が必要です。例えば、先生がいるなら、間違いをすぐに教えるから、早く進むことができます。

日本語を勉強する学生として、留学すれば、日本の生活を完全に経験して、日本語を使う機会が多いから、いつも練習する事が出来ますね。しかし、社会的交流をする時、間違いを指摘する人があまり多くないですね。それで、間違った話し方を使っても、気づかないから、間違いが続けてしまうことになるでしょう。

確かに、相手の間違いを指摘したくないのも無理はありませんが、自然な日本語を話すために、指摘されたのはベストだと思います。

[【No.64の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.63

作文

2017-04-25

出身： オーストラリア
居住： オーストラリア10代 男性 ログイン名： Kumamon
タイトル： 敬語を使う時、使われる時の悩み

私は敬語を使われる事をあまり好まない。しかし、敬語自体を嫌っているわけではない。ただ、年下や後輩が自分に対して敬語を使うことに少し違和感を覚える。

敬語は相手をうやまい、尊敬を示す言葉という価値観が身に染みているため、敬語を使われるとまるで自分が偉くなったように感じてしまう。そのため、後輩などから敬語を使われると、自分は敬語を使われるほど偉い人物なのか、と疑問に思ってしまう。また、小中学生などに敬語を使われると、こちらが強要しているような気になるため少し罪悪感を覚える。だから私は、後輩が敬語を使ってきた際には「タメ口でいいよ」と言うことがあり、戸惑われたりする。

一方、自分が年下の場合には、先輩や年配の方に敬語を使わないのは失礼だと思う。年下に敬語を使ってほしくないけれども、自分が年下の場合、敬語を外せないのだ。

しかし、年が2、3年ほどしか離れていなかったり、幼少の頃からの付き合いがある年上がいると、もしかしたら自分と同じように敬語をあまり使われたいくないのではないかと考えてしまう。そのため、敬語を使うのをためらってしまい、後ほど失礼なことをしたと後悔することもある。

仕事や、認識も共通点も全くない相手に対して敬語を使うのは礼儀だと思う。しかし、全ての年上に対して敬語を常に使う必要はあるのだろうか。例外がいても良いと私は思う。

[【コメントを書く】](#)

No.127

[No.63](#)へのコメント

2017-05-03

出身： 日本
居住： 日本10代 男性 ログイン名： おもち
タイトル： 年齢と言葉遣い

私は、年上の人には敬語を使う。それは、年上の人に敬語を使わずに話すということは失礼にあたると考えるからだ。しかし、幼い頃から自分のことを知っている人には敬語を使うべきか否かについて悩むことが多々ある。よって作文の中にあつた年上の人に一律に敬語を使って話すことに悩むという意見には非常に共感した。

また、私も作文の中にあった意見と同様に年下の人から敬語を使われるという状況に違和感を覚えることがある。その理由は、自分とその人との間に距離があると勝手に感じてしまうからだ。たとえそれが儀礼的なもので、私との距離を感じているがゆえに使われている敬語ではないと分かっていたとしても、敬語に対して冷たい印象を抱いてしまう。この理由は、年の近い年上の人や、知り合いの年上の人にどのように敬語を使うべきか悩んでしまう原因でもあると思う。

したがって、敬語を使わずに話す年上の人がいなくてもいいのではないかという筆者の意見には賛同できる。

[【No.63の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.200

[No.63](#)へのコメント

2017-05-09

出身： **神奈川県**
居住： 日本

10代 男性

ログイン名： **トマト**
タイトル： 共感します

私も中学生の時初めて先輩というものを経験し、緊張して「タメ口でいいよ」って行ってしまいました。

私は敬語を後輩から使われて嫌な気はしません

ですが自分は人から尊敬されるような人間ではないし、後輩も敬語を私に使うのが嫌ではないかと不安になります。

それと同様に私もあまり好めない先輩に敬語を使いたくありません。

私は将来社会人になってもきっこう思います。

社会人では上司や目上の方に対しどんな場合でも敬語を使わないといけません。

とても嫌ですが惰性し使っていかなければなりません。

一緒に頑張っていきましょう。

[【No.63の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.537

[No.63](#)の筆者から

2017-06-06

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

10代 男性

ログイン名： **Kumamon**

タイトル： おもちさん、トマトさん、コメントありがとうございます

おもちさん、コメントありがとうございます。自分と同じような価値観を持っている人がいるのが嬉しいです。改めて付き合いの長い年上への敬語の悩みや、難しさについて考えさせられました。

私も敬語を使われることに相手との距離感を覚えます。敬語が冷たく感じるのは言葉に感情が乗りにくいからではないでしょうか。ですが、まれに敬語でも親近感が湧く相手もいるとも思います。例えば、高校の先生とは常に敬語で話しますが、話していて敬語が冷たいと感じない先生がいました。敬語でも声のトーンなどで感情を入れられれば、冷たさを無くしたり距離感を縮めることができると思います。また、おもちさんのコメントを読んで、今の若者達の敬語離れはもしかすると相手との距離感をより縮めたいからなのではないか、と少し思いました。

トマトさん、コメントありがとうございます。私も今思うと初めて「タメ口でいいよ」と言ったのは高校生の時に小学生に敬語を使われた時でした。後輩が嫌々自分に対して敬語を使っているのではないか、という点にはとても共感しました。もちろんそのような考えを持つ後輩はいないと思いますが、やはり私も心配になってしまいます。

敬語を使いたくない先輩がいることについては驚きました。苦手な先輩などがいれば話すのを避けたり、できるだけ早く話を切り上げたりしますが敬語を使いたくないと考えたことはありませんでした。ですが改めて考え直すと、たしかに不良などと話す時にはどうして自分が礼儀正しく話さないといけないのか、

と思うことがあります。敬語を使うべきか悩む年上がいることは事実だと思います。

[【No.63の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.61 作文 2017-04-24 出身：中国 ログイン名：shengyu ma
居住：オーストラリア 20代 男性 タイトル：ボスやセンパイと慎重に話さないと..

日本語は私が学んだほかの言語と違って、敬語や丁寧語などの言葉扱いがある。相手により、インターネットスラングや若者言葉なども使う。私は毎年の冬休みに、必ず日本で冬季アルバイトをする。自分にとって、日本の社会で人々と上手く交流するためには、色んな言葉扱いを流暢に使える必要がある。無考えに言葉遣いを軽々使用すると、沢山の問題が発生する。以下に、私の職場の言葉遣いに悩むときを教える。

最初にアルバイトを探すために日本に行く時、私が最も悩んだ事は仕事の先輩や社長と話す時だった。日本人ではない私は、日本語を正式に使う経験はほとんどなかった。敬語などの社会人の言葉遣いも、基本的なものしか覚えていなかった。敬語で自分の伝えたいことを表すのに随分と苦勞をした。後輩と会話した直後に先輩たちと話す時、言葉遣いの切り替えにも困難した。

アルバイトの他の従業員の中には、私と同年の日本人もいた。その人は時々訳が分からない流行語や、若者語を話す。流行語が嫌いな私は理解不能の上に、イライラした。

先輩と後輩の従業員が二人ともいる場合は一番災厄と感じる。その二人と話すときはどちらの言葉遣いを使うのかは全く心当たりがない。後で気づいたが、日本語をまだうまく話せない人達にとって、こういう場合は敬語を使うと損はない。先輩に失礼な言葉遣いを使用するより後輩に向かって変な言葉遣いや敬語を使うほうがいい。

日本語は中国語や英語と結構違って、言葉遣いも私が学んだ言語より難しいが、日本語はあくまで言語の一つである。私はまだまだ日本語の違う言葉遣いを使いこなしていないが、様々な人々と多く話せばきつと流暢に使えるようになれるだろう。この道は長いが、急いでは事を損じる。

[【コメントを書く】](#)

No.349 [No.61へのコメント](#) 2017-05-26 出身：韓国、アメリカ ログイン名：イチゴ俺、飲むぞ
居住：東京 20代 男性 タイトル：私も悩んでいますよ笑

“後輩と会話した直後に先輩たちと話す時、言葉遣いの切り替えにも困難した。”

という気持ちは、私もわかります。心の中ではよく知っていますが、急速に頭の中で転換ができていなかったです。

私もバイトをしながら色んなものを感じて、また特に、先輩や後輩と対話する際に、どのように対するべきか言語の使用にあって困難を感じたりします。

個人的に私はバイトにおいては、親しい程度、楽な程度によってため口と敬語を分けて使用して、インターンや会社のように公式的な場所ではもっと職級に神経を使う方です。

一步一步ずつゆっくりと進んでいけば、いつかは日本語実力も上手になっているんじゃないでしょうか。...と信じながら、今日も私も頑張ってみます。私もあなたも、二人ともファイト!!

[【No.61の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.552 [No.61へのコメント](#) 2017-06-08 出身：中国 ログイン名：Shengyu Ma
20代 男性

コメントありがとうございます。（≧▽≦）!! 私も頑張ります。私と同じ考えが持っている人がいるのは本当に嬉しいです。そうですね、私も言葉遣いについて、頭が急に回らない時も結構あります！特に友達と話す時、普通は親しいほど敬語の使い回数も減りますね、もしそこで敬語を不自然に使ったら、余計な距離感が出るかもしれません。

絵を描くのが私の趣味なので、そこで進歩を求めるのはいっぱい描くしかないと思います。で、それほどの量を描き終わったら、自然にいい描き方を覚えますね。言語も同じく、違う言葉遣いを慣れたらだんだん簡単になるものですね、敬語や謙遜語などの言葉遣いも同じく、その切り替えをよく慣れたら、あまり難しくない気がします。

いずれにしても、練習が一番大事ですね、一緒に頑張りましょう！

イチゴ俺、飲むぞさんはどう思いますか？なぜ日本にいますか？そして、韓国語の中にも敬語見たいな言葉遣いもありますか？

[【No.61の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.553

[No.61](#)の筆者から

2017-06-08

出身：中国

居住：オーストラリア

20代 男性

ログイン名：Shengyu Ma

タイトル：頭が回らない

コメントありがとうございます。（≧▽≦）!! 私も頑張ります。私と同じ考えが持っている人がいるのは本当に嬉しいです。そうですね、私も言葉遣いについて、頭が急に回らない時も結構あります！特に友達と話す時、普通は親しいほど敬語の使い回数も減りますね、もしそこで敬語を不自然に使ったら、余計な距離感が出るかもしれません。

絵を描くのが私の趣味なので、そこで進歩を求めるのはいっぱい描くしかないと思います。で、それほどの量を描き終わったら、自然にいい描き方を覚えますね。言語も同じく、違う言葉遣いを慣れたらだんだん簡単になるものですね、敬語や謙遜語などの言葉遣いも同じく、その切り替えをよく慣れたら、あまり難しくない気がします。

いずれにしても、練習が一番大事ですね、一緒に頑張りましょう！

イチゴ俺、飲むぞさんはどう思いますか？なぜ日本にいますか？そして、韓国語の中にも敬語見たいな言葉遣いもありますか？

[【No.61の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.60

作文

2017-04-24

出身：香港

居住：オーストラリア

20代 女性

ログイン名：からあげクン

タイトル：SNSと言葉遣い

近年SNSの普及は若者の言葉遣いに大きな影響を与えた。若者たちは常に流行語や略語使える。流行語というのは言葉を短くしたり、外来語と混ぜて使ったり、特に若者がよく使える言葉だ。それで、最近の流行語は意味不明の言葉が多いらしい。それに対して、SNSでは丁寧な言葉遣いほぼ使えない。それに、私みたいな日本語学習者にとっては非常に難しい。

それについて私の悩みはSNSで馴染めない友達と話したら、きちんと挨拶とスタンプで挨拶するの間に迷った。もし礼儀が正しいなら、例えば、敬語を使うと相手は距離感を感じるかもしれない。しかし、スタンプだけを使うなら、少し失礼か、相手に悪いイメージをさせるかもしれない。その上、SNSで非常に丁寧な言葉を使うのはおかしいだが、学校の先輩や職場の上司や同僚で話す時は、流行語を入れても変と思う。例えば、新年の時昔の日本語の先生と挨拶したいだが、言葉遣いの選択があまりわからなかった。

敬語で「新年のお慶びをもしあげます」、普通に「あげましておめでとう」、または「あげおめ」とスタンプだけを使う、どっちを使うの方がいいのか。

流行語はメリットがあるけれども、濫用すぎるなら標準語に影響を与えると正しいな用語を憶えてなくなる可能性がある。例えば、会社の会議で思わず上司に流行語を交えて使えるかもしれない。それについて、若者の言葉遣いは直すの必要はあるのか。

[【コメントを書く】](#)

No.240 [No.60](#)へのコメント 2017-05-11 出身：日本 ログイン名： Skanosuke
居住：日本 10代 男性 タイトル：文章が与える印象

私もサークルの先輩とSNS上で会話するときには悩んだ。もちろん敬語を使って話すのは大前提だ。しかし、今後も交流をしていって仲良くなっていくことを考えるとあまり硬すぎた印象を与えるのも良くないと思ってしまう。そこで私は語尾に「！」をつけてみた。

例えばお礼を言う際に「ありがとうございます」よりも「ありがとうございます！」の方が相手に明るい印象を与えることができる。敬語があることで表現の幅は広げるがそれがいいところもあれば悪いところもある。要は使いどころだ。それを上手に使い分けるのは日本人にとっても難しい。

[【No.60の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.540 [No.60](#)の筆者から 2017-06-07 出身：香港 ログイン名： からあげクン
居住： オーストラリア 20代 女性 タイトル：コメントへの返事

Skanosukeさん、コメント書いていただいて、ありがとうございます。

私も敬語はいいことと悪いこともあると思う。母国語の中国語は敬語がないので、いつもいつかどのように敬語を使うのを迷った。

Skannosukeさんの提案はとてもいいと思った。これから職場と学校の先輩とSNSで話す時は必ず敬語を使う。それに、もし先輩とだんだん馴染めてが、距離感をなくした欲しいなら、語尾にビックリマーク使うのはもっと明るいイメージをする。私はラインを使う場合には、スタンプと絵文字を使うもビックリマークと同じ作用がある。次に先輩とラインで話す時は以上の方法をしてみたい。それに、仲良くの先輩とは敬語を使いながら、流行語と省略語とかを加えても構わないと思う。しかし、やはり職場の人や目上の人とSNSで話してる時は必ず丁寧な言葉遣いだ。

敬語は外国人にとって難しいだけではなく、日本人も上手に使うのは驚いた。私はいつも日本人と話す時は敬語を使うのかを迷って、よく間違いをした。これからは敬語についてもっと勉強しなければならない。

[【No.60の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.59 作文 2017-04-24 出身： オーストラリア ログイン名： Cicada
居住： オーストラリア 20代 男性 タイトル：私？僕？俺？

日本語を話す時、自分の呼び方にいつも困る。英語では、年齢、性別、社会的属性に関わらず、誰でも自分を指すときは「I」で済む。しかし、日本語には「私」「僕」「俺」など様々な一人称代名詞があり、属性や状況に合わせて、自分の呼び方を選ばなくてはならない。

日本語の一人称は、自分の個性を表す手段である。その一方で、使うべき呼び名は、世間の固定観念や先

入観により、すでに決められてしまっているとも言える。たとえば、女性は「私」と呼ぶべきだから、「僕」を使う女の子は、お転婆だとレッテルを貼られてしまう。それから、一人称は状況に応じた使い分けもしなくてはいけない。例えば、先生や目上の人と話す時に「俺」と言うのは、失礼になってしまう。

こういった訳で、どの一人称を使えば良いの迷う。だから、どんな場面でも日本語を学び始めたころから使っている「私」に落ち着いてしまう。クラスメートに話す時でも「俺がやるよ」といった親しい話し方ではなく、「私がやります」など、とても堅苦しく、不自然な言い方になる。

多様な日本語の一人称代名詞は、日本語学習者にとって難しい。日本語ネイティブの人たちは、自分の一人称に迷ったことはないのだろうか。自分の呼び名は、意識的に決めたのだろうか、と興味深い。

[【コメントを書く】](#)

No.132 [No.59](#)へのコメント

2017-05-07

出身：日本
居住：日本

10代 男性 ログイン名： [ごごごりら](#)
タイトル：一人称の区別

私も日本語の一人称の使い分けは非常に難しいと思います。

もし女性ならば全て「私」を使っても全然堅苦しい感じはなかったのですが、正直なところ投稿者のように男性の場合は普段のコミュニケーションにおいて「私」を使う人はほぼいないため、堅苦しく感じてしまいます。やはり「私」か「僕」を使うのは失敗することはないと思うので無難ですが、親密な関係を築きたいなら「俺」を使うのが最もよいため、「俺」を使っても良さそうなときは積極的に使ってほしいと思います。

ネイティブは長い時間をかけているのもう一人称で迷うことはなくなっているのですが、日本語学習者が複雑な一人称を理解するのは大変だと思いました。今回投稿者の作文を拝見して、自分の一人称を振り返ってみると、自分も一人称を何にすべきか迷っているときがあったのを思い出しました。また一人称は理論よりも感覚なので、日本の映画や小説のようなものをみるのが最も理解できるかと思います。

[【No.59の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.133 [No.59](#)へのコメント

2017-05-07

出身：日本
居住：日本

10代 男性 ログイン名： [ごごごりら](#)
タイトル：一人称の区別

私も日本語の一人称の使い分けは非常に難しいと思います。

もし女性ならば全て「私」を使っても全然堅苦しい感じはなかったのですが、正直なところ投稿者のように男性の場合は普段のコミュニケーションにおいて「私」を使う人はほぼいないため、堅苦しく感じてしまいます。やはり「私」か「僕」を使うのは失敗することはないと思うので無難ですが、親密な関係を築きたいなら「俺」を使うのが最もよいため、「俺」を使っても良さそうなときは積極的に使ってほしいと思います。

ネイティブは長い時間をかけているのもう一人称で迷うことはなくなっているのですが、日本語学習者が複雑な一人称を理解するのは大変だと思いました。今回投稿者の作文を拝見して、自分の一人称を振り返ってみると、自分も一人称を何にすべきか迷っているときがあったのを思い出しました。また一人称は理論よりも感覚なので、日本の映画や小説のようなものをみるのが最も理解できるかと思います。

[【No.59の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

出身：日本

ログイン名： [ごごごりら](#)

私も日本語の一人称の使い分けは非常に難しいと思います。

もし女性ならば全て「私」を使っても全然堅苦しい感じはなかったのですが、正直なところ投稿者のように男性の場合は普段のコミュニケーションにおいて「私」を使う人はほぼいないため、堅苦しく感じてしまいます。やはり「私」か「僕」を使うのは失敗することはないと思うので無難ですが、親密な関係を築きたいなら「俺」を使うのが最もよいため、「俺」を使っても良さそうなときは積極的に使ってほしいと思います。

ネイティブは長い時間をかけているのもう一人称で迷うことはなくなっているのですが、日本語学習者が複雑な一人称を理解するのは大変だと思いました。今回投稿者の作文を拝見して、自分の一人称を振り返ってみると、自分も一人称を何にすべきか迷っているときがあったのを思い出しました。また一人称は理論よりも感覚なので、日本の映画や小説のようなものをみるのが最も理解できるかと思います。

[【No.59の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

私も日本語の一人称の使い分けは非常に難しいと思います。

もし女性ならば全て「私」を使っても全然堅苦しい感じはなかったのですが、正直なところ投稿者のように男性の場合は普段のコミュニケーションにおいて「私」を使う人はほぼいないため、堅苦しく感じてしまいます。やはり「私」か「僕」を使うのは失敗することはないと思うので無難ですが、親密な関係を築きたいなら「俺」を使うのが最もよいため、「俺」を使っても良さそうなときは積極的に使ってほしいと思います。

ネイティブは長い時間をかけているのもう一人称で迷うことはなくなっているのですが、日本語学習者が複雑な一人称を理解するのは大変だと思いました。今回投稿者の作文を拝見して、自分の一人称を振り返ってみると、自分も一人称を何にすべきか迷っているときがあったのを思い出しました。また一人称は理論よりも感覚なので、日本の映画や小説のようなものをみるのが最も理解できるかと思います。

[【No.59の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

私は大学に入学してからフランス語を学び始めた。そこで教授の「フランス語は日本語とは異なり一人称はどんな時でも je であり、相手の立場によって変えない。」と言う言葉を聞いてから、一人称について考えるようになった。

私は日本語を母国語としているが、どの一人称を使うか悩んだ時期があった。日本人のほとんどの人は幼少期自分の名前を一人称に使う。

しかし、自分の名前を一人称に使うことは子供っぽいと思われてしまうことがある。

私も中学生まで自分の名前を使っていたが、ある日男の子に、まだ使っているのか？と馬鹿にされ私口をつかうようになった。最初は今までと違うため不自然だと感じることもあったがすぐに慣れた。

このように、日本人のでも一人称に悩み、変えることは難しい。日本語学習者には更に難しいだろう。

最後に、一人称を決めるきっかけは人それぞれだがやはり私口がどのような場面でも一番使いやすく良い

と考える。

[【No.59の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.528 [No.59の筆者から](#) 2017-06-06 出身：オーストラリア ログイン名：Cicada
居住：オーストラリア 20代 男性 タイトル：コメントありがとうございます

おんぶさん、ごごごりらさん、コメントありがとうございます。やはり、日本語が母国語の人にとって一人称は難しいことがわかり、少し安心しました。

おんぶさんが指摘した通り、外国語を習うと、それまでは自分が当たり前と思っていたことが違って見えたり、新しい発見があったりします。だから、外国語を習うことは面白いと思います。

子どものころ、一人称に悩んだというエピソードについて、なるほどと思いました。日本語の一人称は、やはり、アイデンティティに深く結びついているのだとわかりました。

ごごごりらさんのアドバイスにしたがい、もっと積極的に「俺」を使ってみようと思います。「俺」を場面にあった形で自然に使えるようになって、自分の日本語がもう少しネイティブに近づくことができたら嬉しいです。

そのために、一人称にもっと注意を払って、日本の映画やドラマを見たり、漫画を読んだりしていきたいと思います。いろいろな使い方に気づくことで、内容の理解も深まるような気がします。

[【No.59の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.58 作文 2017-04-24 出身：中国 ログイン名：小籠包
居住：オーストラリア 10代 女性 タイトル：敬語は本当に複雑

日本では人間関係はとても複雑で昔から「礼儀は人の人格をあらわす」ものとしてとても重視されて来た。だから、日本語の中で敬語が存在している。しかし、敬語の中でたくさん形態がある。尊敬語や丁寧語や謙譲語など色々あって、違う人と違う敬語の形態を使う。だから、敬語を使う時よく間違える。

私は日本語を四年間勉強しているけど、今でもどのような時に丁寧語を使うか、どのような時に尊敬語と謙譲語を使うか分からない。それは本当に悩んでいる。

高校三年生の時、私は日本に留学したことがあり、あの時ホームステイに住んでいた。教科書で「人物間の上下関係や親疎関係を反映した言語で初対面の人と話す時敬語で話した方がいい」という内容を読んだことがあるから、ホストファミリーと出会った時全員に尊敬語で話した。しかし、ホストシスターはただ十歳だ。だから、私が尊敬語でホストシスターと話す時、ホストファミリーの全員は大爆笑。あの時本当に恥ずかしいと思った。

その他、尊敬語と謙譲語の選ぶのも大変だと思う。注意しないと、あやまちになりやすい。例えば、私は日本語の先生と別れを告げる時、私は「張川先生、私は先にいらっしやいます」と話した。そのような間違いがよくある。人と話しながら、尊敬語か謙譲語か一瞬で選ぶのが本当に難しいと思うので。本当に悩んでいる。

言葉遣いは心遣い、相手にどんな印象を与えるのに決定的な動きがある。だから、正しい話し方を使わなければいけないと思う。

[【コメントを書く】](#)

正直日本人も尊敬語、謙譲語、丁寧語を完全に理解している人は少ない。敬語を使っているだけで今自分が尊敬語を使っているのか、謙譲語を使っているのか、丁寧語を使っているのかをいちいち考えている人はいないのだ。私は学校で習って初めて敬語に種類があることを知ったし、それを習ったかといって実際に敬語を使う場面でのどの種類の敬語を使うか考えるようになったかというところもない。きっと外国人の方々が思っているよりも敬語というものは単純だ。変に難しく考える必要はない。今の日本の若者の中には敬語を使えないような人間もいるのだから、敬語をうまく使えるか使えないかではなく、使おうとしているその姿勢がとても素晴らしいものだと思う。

[【No.58の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

さかのすけさん、コメントを書いていただいて、本当にありがとうございます。

私は最初完璧な日本語を学ぼうとしていました。日本人は上下関係を重んじるし、敬語をつかうことで互いにスムーズなコミュニケーションができるからです。また、敬語を使えないと、それを聞いている周りの人から信頼されなくなるかもしれません。だから私は尊敬語や謙譲語を完璧に話せるようになろうと思っていました。

しかし、日本人でも完璧な敬語を話せる人は少ないと聞いて驚きました。若い人の中には全く使えない人もいるとは思いませんでした。私はまだ日本語を学んで4年間であるし、焦って敬語を完璧にしようとしなくてもいいかもしれません。

しかしさかのすけさんが仰っていた通り、「敬語を話そうとする姿勢」は大切だと思います。敬語を使う上で間違いはよくあるし、たとえ間違えたとしても聞いている人はわかってくれます。「敬語を話そうとする姿勢」こそがスムーズなコミュニケーションを可能にするのではないのでしょうか。

最後に、お忙しいの中、作文をご覧いただき、誠にありがとうございます。

[【No.58の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

さかのすけさん、コメントを書いていただいて、本当にありがとうございました。

私は最初完璧な日本語を学ぼうとしていました。日本人は上下関係を重んじるし、敬語をつかうことで互いにスムーズなコミュニケーションができるからです。また、敬語を使えないと、それを聞いている周りの人から信頼されなくなるかもしれません。だから私は尊敬語や謙譲語を完璧に話せるようになろうと思っていました。

しかし、日本人でも完璧な敬語を話せる人は少ないと聞いて驚きました。若い人の中には全く使えない人もいるとは思いませんでした。私はまだ日本語を学んで4年間であるし、焦って敬語を完璧にしようとしなくてもいいかもしれません。

しかしさかのすけさんが仰っていた通り、「敬語を話そうとする姿勢」は大切だと思います。敬語を使う上で間違いはよくあるし、たとえ間違えたとしても聞いている人はわかってくれます。「敬語を話そうとする姿勢」こそがスムーズなコミュニケーションを可能にするのではないのでしょうか。

最後に、お忙しいの中、作文をご覧いただき、誠にありがとうございます。

[【No.58の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

言葉遣いは色々な言語に見つかった。例えば、日本語や英語と私の例のベトナム語に含む。日本語に似ていて、ベトナムも社会的な状況に正しい言葉遣いは期待がある。だから、他人の呼び方が少し大変だ。私の場合は日本語の「さん」と「くん」に似ている、ベトナム語で他人は名前と敬語を使われるのは丁寧だ。ただ、ベトナム語では他人の年齢と親しみの範囲は呼び方に影響された。一般的に年上の呼び方は違いが、両親の年齢に応じて違いもある。そして、親しみの範囲も違いがある。例えば、もし親しい人と話す時、丁寧語を使う代わりに砕けた言葉を使うかもしれない。一方で両親の年上を話す時、もっと丁寧な表現と呼び方を使うことが大事だ。なぜなら、もしその人は自分と両親に違い呼び方を間違えられれば少し変になる。

私の経験で両親がいない時、初めの会う年上をどんな呼び方が正しいのは大変になった。特に自分の両親と近い年齢に似ている。だから、文化と社会の文脈に正しい言葉遣いを使うことが大事だ。特に呼び方を使う時、初めの印象が大切だから。

[【コメントを書く】](#)

No.120

[No.57へのコメント](#)

2017-05-01

出身： 群馬県
居住： 東京都

10代

女性

ログイン名： oka14

タイトル：相手と自分の関係に合った呼び方

私も年上の人の呼び方で悩むときがあります。基本的には「苗字+さん」で呼べば間違いはないと思うので特に問題はないのですが、私が悩むのは親しくなったあとその人を何と呼ぶのがいいのかということです。親より年齢が上か、同じくらいの方に対しては仲良くなったとしても「苗字+さん」かあるいは「名前+さん」と呼ぶのが一番しっくりきます。しかし、自分に近い年齢の人と仲良くなると、相手のほうから「呼び捨てでいいよ」などと言ってくれることがあります。相手からの申し出なのでそのまま受けとっていいと思うのですが、やはり年上なので少し抵抗があります。かといってそう提案してくれたのに「〇〇さん」と呼ぶのはこちらから壁をつくっている気がして呼びづらくなってしまいます。

相手と自分の関係にあった呼び方や言葉遣いをするのは難しいですが、それをみつけることでその相手との良い関係を続けていけると思います。初対面の人に対しては、日本人は誰に対しても「苗字+さん」で済むのでベトナム語よりはややこしくないかなと思いました。

[【No.57の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.302

[No.57へのコメント](#)

2017-05-16

出身： 東京都
居住： 神奈川県

10代

男性

ログイン名： ブラックジェントルマン

タイトル：日本語の敬語の難しさ

私は日本で生まれて日本育ちでしたが、正直、敬語の使い方をきちんとマスターできていないと感じることも多いです。学校で敬語を学ぶことはあっても、パターンが多い上に、18年生きてきて、アルバイト経験もなく、あまり目上の人とも話す機会が少なかったので使う機会がそもそもありませんでした。また、敬語にも謙譲語、丁寧語などの種類があり、正直私は日本人ですけどもよくわかりません。

自分の敬語は間違っているのではないかと感じながらも、まずは使ってみることで、慣れていくうちに敬語がうまく使えるようになるのではと思います。当たり前のように使いこなせているようにみえる社会人も、最初からうまく使っている人はいないでしょう。

敬語はもう一つの日本特有の言語ともいえるかもしれませんが、難しい言葉ではありますが、これから働いていく上で大切な言葉ですので、悩みながらもうまく使いこなせるように私も努力しようと思います。言葉はルールなどあまりなく臨機応変に対応し、使うものだと思います。言葉は一生勉強だと思うのでこれからも頑張っていきたいと思います。

[【No.57の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.513 [No.57の筆者から](#) 2017-06-02 出身: **オーストラリア** 20代 男性 ログイン名: **トッフィー**
居住: オーストラリア タイトル: コメントありがとうございます

ブラックジェントルマンさん、コメントを書いてくれてありがとうございました。
私もそういうことと思います。その話し方のパターンを学んだとしても、機会の使う事があまりないなら、少し大変ですね。敬語や謙譲語や丁寧語など改善するために、その機会とか経験が大切だと思います。勉強と練習を続ければその状況で敬語の使いを結局慣れます。そして理解のレベルも上がると思います。私もその状況で正しい敬語を使うことをまだあまり上手ではないです。それにしても私は勉強を頑張りたいと思います。敬語は話し方に通じて尊敬を見せるの方法です。そしてその尊敬はどれの国で大切な文化の部分だと思います。だから敬語は日本特有かもしれませんが、他の国に尊敬のいろいろな見せ方は言葉と話し方もあります。その基本的な意義は同じですから、私の言語で特に敬語を使わないとしても、ブラックジェントルマンさんの視点をまだ分かると思います。また、敬語の使いは大変がありますから一生懸命に勉強しましょう。

[【No.57の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.56 作文 2017-04-24 出身: **オーストラリア** 10代 男性 ログイン名: **ジャレッド**
居住: オーストラリア タイトル: なぜ日本人学生が敬語を嫌うのか

外国人からすれば言葉遣いは難しいものだ。敬語は世界に誇る日本の素晴らし文化だ。しかし、日本人でさえ正しい敬語の使い方を理解してる人は少ないだろう。この問題について考えていくことにする。

私の経験上、日本人は、特に若い世代は滅多に敬語を使わないので、正しい敬語の使い方理解していない人が多い。どういうシチュエーションで使っているのか分からない人がある。なので外国人は日本人と敬語の練習するのは難しいだろう。例を挙げるならば、日本に滞在すれば、友人同士では通常タメ語を使うものだ。

それに、敬語を使ったら、ロボットのように冷たく感じる可能性があり、親密感はわからない。そして、敬語を使うことで、真の個性が輝くことはないだろう。本当の意図を隠してしまう。以前、日本からの留学生は私に「敬語で喋りたくない」と言ったことがある。敬語を完璧に理解していても、相手が話していることの真意を感じ取ることができないかもしれない。そのため、会話が気まずく進む可能性がある。

この問題を解決するために、小学校で敬語でよりよく感情を表現することを教えたほうが良いと思う。そして、アルバイトを得る為に、外国人が敬語を習うのは大切だ。できるだけ多くの人と関わるのが重要である。目上の人、特に年上の人と関わった方が効率的である。視野を広げなければならない。

[【コメントを書く】](#)

No.238 [No.56へのコメント](#) 2017-05-11 出身: **日本** 10代 男性 ログイン名: **Sakanosuke**
居住: 日本 タイトル: 敬語に対する価値観

日本人でも敬語をしっかりと理解している人はいないと私も思う。実際私は自分がしっかりと敬語を理解しているとは思っていない。しかし、別に言葉遣いに関して目上の人から注意を受けたことはないし、私も敬語を使われたときにその言葉遣いに違和感を感じることはほとんどない。皆敬語はしっかりと使っているのだ。敬語とは所詮そんなものだ。外国の方から敬語は日本の素晴らしい文化だという話を何回か聞いたことがあるが、実際に使っている我々にとってはただの言葉だ。「敬語は日本の素晴らしい文化だ！」と大々と言い切る日本人などごく少数だと私は思う。

[【No.56の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

さかのすけさん、お返事ありがとうございます。違う意見を聞いてよかったです。

日本文化において階層構造が重要であると思われます。だから、敬語は大切です。良い印象を作ることが重要です。そして、特に就職面談などでは重要です。

しかし、日本の友達によると、敬語はちょっと堅苦しいイメージがあるそうです。先に言ったように、敬語は聞き手と話し手との距離を作ります。その理由で、若者は敬語を使うことを避けているみたいです。

また、日本のドラマやアニメでは敬語を使うことはめったにないので、学ぶのは難しいと思います。

私はよく人々が私に敬語を使用しないように教えているのを聞くものです。私は敬語を使うほど、それほど難しくはないでしょう。人生は経験だと思うので、失敗をして、それを乗り越えていきます。

日本人にとって、敬語を使って意見を述べることは難しいですか？

[【No.56の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

言葉遣いに悩むときはたくさんあると思う。中でも僕が悩むのは方言だ。僕は小学校生活の約半分を日本の福岡県で過ごした。福岡には博多弁という方言がある。友達の多くは博多弁を話していた。それに日本できちんとした敬語を勉強するのは中学生からだった。

小学生のときにオーストラリアにきた僕は、本格的な敬語を習っていない。だから、敬語を使うことが苦手だ。時々博多弁と敬語の区別がつかなくなったり、博多弁ではわかっても敬語でそれを説明することができなくなったりすることがある。それにオーストラリアに来てすぐ家で英語を使って話すようにしたため、博多弁も完璧ではない。

方言があることは決して悪いことではない。同じ方言や似ている方言を話す者同士で意思疎通がスムーズになり、相手との距離を縮めることができる。それに、標準語では少しきつい言い方などでも方言だと柔らかく聞こえることがある。また、標準語では表現できないその地方ならではの表現ができる。このように方言のいいところはたくさんある。

誰にでも方言が通じればいいが、そうはいかない。日本人同士でも通じないことももちろんある。だから、日本語を学ぶ上で、様々なバリエーションを学ぶことは大切だが、敬語と標準語は必要不可欠だ。

[【コメントを書く】](#)

私は神奈川県で育ったのですが他の県に比べて方言というものが無い気がします。でも他の県から見た神奈川県は方言があると思われているのか。なんて考えたことがあります。

さらにオーストラリアと言ったように国が違となると敬語などといった問題ではなく言語の違いは大変だと思いました。もし自分がその立場だったらすごく苦労すると思います。

だがやはり述べられているように敬語と標準語は必要不可欠であるのは間違いないと思いました。現代では敬語をちゃんと使えない人は厳しい目で見られ方言やなまりがある人も社会に出たときにやはり標準語で話せないといけない時代になってきていると私は感じます。日本語の難しさを改めて感じました。

[【No.55の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.511

[No.55](#)の筆者から

5月31日

出身：日本
居住：オーストラリア

20代 男性 ログイン名：ろっどまん
タイトル：コメントありがとうございました！

あーさん、コメントを書いて頂き誠にありがとうございました。

そうですね、方言って実際に使っている側からするとどれが方言なのかわからなかったり、方言で話していることに気がつかなかつたりすることがありますよね。

神奈川県にも方言があると思います。私の友達が神奈川県出身で、話すことがあるのですが、よく話の最後に「～じゃん」や「～だべ」と言っていたので、それらは方言なのか聞いてみたのですが、その友達はわかっていませんでした。後に調べてみると、神奈川県の方言だということがわかり友達に教えると、すごく驚いていました。私も指摘されてそれが方言だと気づかされることがたくさんあります。

確かに国が違うと言葉全てが違うし、一から勉強しないといけないので慣れるまではとても苦労しました。

この間授業であったビジターセッションでも多くの日本人の方が、「日本人として社会に出て行くためには、敬語と標準語が話せなければいけない。」と話していたのでその通りだと思います。そして、それらを話す相手や状況に応じて使い分けることが大切ですよね。

お忙しい中、投稿を読んで頂きありがとうございました。

[【No.55の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.54

作文

2017-04-24

出身：オーストラリア
居住：オーストラリア

20代 女性 ログイン名：bakingpaper
タイトル：敬語と失礼さについて

私の言葉遣いについてよく悩むことは丁寧度と私の価値観の関係である。特に私のオーストラリアの生い立ちで価値観を作り、私の決定が周りの人にどんな影響があるか、悩んでいる。

日本に留学した時に、主に砕けた言葉を使うだと思っていて。こうすると私は気さくな人と見えると思って、いい友達になれる。そして、私は話し方に対して価値観がある。みんなは人間で同じと思いたいわけだから砕けた言葉を使って、話し方でその価値観を表現したい。しかし、今私の悩みは失礼さだ。砕けた言葉を使いすぎて失礼だったかもしれないから留学した時に私はどんな感情をだしたかを悩んでいる。

私は、礼儀は人間関係の難関だと思う、儀礼的な時以外あまり使いたくない、だが悩んでいて普通に丁寧語を使うわけになった。その丁寧語の誤りも悩んでいる。留学した時に砕け言葉だけを使ったから私の丁寧語はそんなに上手ではない。私は時々「です」と「ます」を忘れてしまって、慌てる。特に、私はオーストラリア人なので日本語を使って呼び捨てで呼んでしまって失礼と悩んでいる。

[【コメントを書く】](#)

No.215

[No.54](#)へのコメント

2017-05-09

出身：茨城県
居住：神奈川県

10代 男性 ログイン名：のぎすけ
タイトル：敬語の難しさ

確かに日本語の丁寧語の使い分けは難しいと思います。日本人の自分でもたまにこの敬語であっているのかなと感じることがあります。それを外国の方が学ぼうという意識が凄いですし、尊敬します。敬語は堅苦しいイメージがあつて自分もなかなか使いたくはないです。しかし、状況に応じて敬語がベストなときがあるので、敬語の使い方を知っておくことに越したことはないですね。

今、言葉遣いで悩んでいるとありますが、今のうちに悩んでいるのは良いことだと思います。間違っ

使ってもそれが経験になってだんだん間違いが少なくなってくるはずですよ。逆に悩みすぎることは良くないことだと思います。間違えることを気にしていたら話すことが少なくなって言葉遣いも上手くならないと思います。

人生は何事も経験だと思うので、失敗をしてそれを乗り越えていってください。

[【No.54の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.522 [No.54の筆者から](#) 2017-06-05 出身： **オーストラリア** ログイン名： **bakingpaper**
 居住： オーストラリア 20代 女性 タイトル： 返事くれてどうも

のぎすけさんがコメントを提出して、助言してくれてどうもありがとうございました。最近のほう丁寧語を使うときが増えました。けれど尊敬語と謙譲語を使う機会がありません。

一回だけ、ある日、私は和食レストランのウェイトレスなので、マニュアル敬語と尊敬語を使う機会がありました。そのときに本当に緊張していましたが、お客さんたちがすごく優しく、辛抱強く、親切なので日本語の敬語練習がいっぱいできました。お客さんが来た日に全員の日本人スタッフが忙しくて助けられませんでしたから、日本語が話せる人は私しかいませんでした。

普通に他のスタッフと話すときはタメ口のほうが使っています。私たちはほとんど英語で話すけど日本語を使うときでも謙譲語でも丁寧語でも使わなければいけない気がありません、逆に使ったら変な顔がする可能性が高いです。

ある日、日本で短い間、多分1年間ほど、住みたいと思います。その時に敬語を使う機会が増えると思って、その時に恥ずかしくなくなっていて、いっぱい練習すると習いたいと思います。

[【No.54の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.53 作文 2017-04-24 出身： **オーストラリア** ログイン名： **ファレン**
 居住： オーストラリア 20代 男性 タイトル： 敬語と先生と生徒の関係

日本語を勉強している間、私は敬語を使う必要のある機会にあまり触れていない。一ヶ月間福岡第一高校という高校に通う機会があったが、その時敬語をまだ習っていなかったの、使うことができなかった。でも、もう敬語を習ったとしたら、どうやって敬語が使われるかに私は悩んでいる。

オーストラリアでは、初めて先生に会うと、丁寧に話す。しかし、しばらくして先生と生徒の結びつきが成長するとしたら、それと共に、先生に対する学生の話し方がもっとカジュアルになる。日本では、私はあまり知らないの、この作文プロジェクトを通して前より知りたいと思う。

例えば、高校の最初の数週間でお手洗いをを使う必要がある時、先生に敬語それとも丁寧語を使うか知らない。それに、その場合に敬語を使わなければいけないなら、時間の経過と共に先生と絆を形成して、先生にお手洗いをを使ってもいいか聞いたら、まだ敬語を使う必要がないのだろうか。

[【コメントを書く】](#)

No.348 [No.53へのコメント](#) 2017-05-26 出身： **韓国、アメリカ** ログイン名： **イチゴ俺、飲むぞ**
 居住： 東京 (は一つの国と思います) 20代 女性 タイトル： 日本語の敬語

私は日本語のように敬語がある言語が母国語ですが、こんな私さえ最初は少し驚いた点がありました。それは自分より年上な人にも、親しい程度によっては、懇意にため口を使うという点!この事実を感じたときはアルバイトをする時でした。韓国なら特殊状況(軍隊とか)を除いてはいかなる場合でも年齢や経歴を考えて、敬語を使っているのに、日本の場合、親密度や知って過ごした時間、相手の性格などによって左右されるようなのでちょっと驚きました。

韓国では家族ではないが、親しくて、そして、歳が近いが、同い年ではないときに使える呼び名(例え

ば、'オッパ'とか)が存在します。そのためか、自分より年上な人に、あえて敬語を使用しなくても、ある程度敬愛の意味を含んだ表現が可能です。しかし、日本では違うんですよ。

一つ付け加えると、アルバイト先で知る日本人友達が教えてくれた、'よく分からない時は無条件に敬語を使いなさい!'というティップは今でも有用に参考になっています。先生に許可を受ける時も、一旦は敬語で聞きながら学んでも大丈夫ではないでしょうか?

[【No.53の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.52

作文

2017-04-24

出身：東京
居住：東京

10代

女性

ログイン名：ハリーポッター

タイトル：目上の人とのコミュニケーション

私は目上の人にはっきりと反対意見を述べるのが得意ではありません。どうしても言葉遣いに困ってしまいます。

私は長年書道を習っているのですが、先日、先生が何も言わずに教室をお休みしました。その日は大学があったので時間に余裕がなく、急いで向かいました。また、私はやらなくてはならないことがたくさんあり、その日はかなりの工夫をして空けた日でもありました。しかし先生は教室にはおらず、電話を掛けたところ平気なふうで今日は休むと言われました。なので、頭にきたし、もっと早く連絡してくれればいいのかと思います。これは敬語で伝えても強く伝わらないと思い、「だったらもっと早く連絡するべきでしょ?」と厳しく言いました。ですがあの言い方で良かったのかはわかりません。また、バイト先でも、先輩に理不尽なことを言われて、言い返したい気持ちはやまやまだったのですが、自分の新人という立場にふさわしい言い回しが思い浮かばず何も言えませんでした。そのとき私は結局無視することしかできませんでしたが、無視するより賢いやり方があったのではないかと思います。他にも部活など、困ったときがたくさんあります。

このように、目上の人への反対意見の言い方は私の課題となっています。どうしたら相手が目上の人という意識を保ったまま強いニュアンスで伝えられるのかがわかりません。ただ敬語を使ったまま伝えるのは違う気がしてしまいます。しかしかといってタメ語でいいとも思えません。これから社会に出たらそういう機会が多くなるので大学の授業やバイトを通して克服していきたいです。

[【コメントを書く】](#)

No.222

[No.52](#)へのコメント

2017-05-10

出身：静岡県
居住：神奈川県

10代

男性

ログイン名：sof10o

タイトル：弱いからって、舐められたくないですよ
ね。

目上の人に対して自分が怒っていることを伝える、これってとても難しいですよ。敬語で話しているから、自分の怒りも伝わりづらい。敬語という、礼儀を正すフィルターに通しているから、自分の言いたい素直な気持ちもうまく表現できない。もっと言えば、下の立場である自分が、思い切って怒りを表そうとしただけで年下のくせに、部下のくせに、とお叱りを受ける場面もあるかもしれません。そんな時、弱い立場の人間は理不尽な思いをするしかないだなんて納得できませんよね。

では、いったいどうするのが正解なのでしょう。私の考えとしては、真っ向から怒りを表すことはほぼ不可能なのではないかと思っています。向こうが悪いとはいえ、相手は自分より強い存在。正直に言って、相手が悪いです。あ、これは分が悪いという意味で、です。ですから、せめて遠回しに怒りを伝えるなど、正面から怒らない方法を模索していくしかないのだろうと思います。

まだまだ弱い立場の人間にとっては生きづらい世の中ですが、いろいろなことを諦めすぎず、たくましく歩んでいきたいところですね。

No.355 [No.52へのコメント](#) 2017-05-26 出身：オーストラリア ログイン名：smt21
10代 男性 居住：オーストラリア タイトル：相手に解ってもらうためにも...

私は両親が二人とも日本人なので日本での上下関係の大切さを理解しているつもりです。オーストラリアで生まれ育った私は年上の人にも自分の意見をはっきりと伝えることができていると思います。しかしこれは文化の違いがあるからだと思います。オーストラリアでは歳が離れていても上下関係にとらわれない付き合い方ができます。敬語というものが無いからでしょうか、学校の先生や職場の先輩、上司とも気さくに話をしています。しかしだからと言って自分の意見を提案するとき失礼な言い方をしているわけでもなく、年上の人にはちゃんと敬意を払っているつもりです。相手も私の意見を大事にしてくれているので、言いやすい環境を作ってくれているのではないかと思います。しかし、年上だから絶対正しいとは限らないので意見をはっきり言うのは悪いことではないと思います。

まず、敬語を使いながらも言いたいことは伝わるといいます。表現や強さではなく何が間違っているかをきちんと指摘すればいいだけではないのでしょうか。やはり、どんな場面でも敬語は使うべきだと思います。例えば相手が間違っていたとしても、上司や年上だという関係性は変わらないのですから。また、敬語を使わなかったことによって、話の本題がすり変わりがねないかもしれません。伝えたいことを一番優先したほうが良いと思います。

No.381 [No.52の筆者から](#) 2017-05-29 出身：東京町田 ログイン名：ペンケース
10代 女性 居住：町田 タイトル：コメントありがとうございます

コメントありがとうございます。
結局真っ向から対決してしまっています。でもそれはその書道の先生とは10年を超える仲だからこそできることです。例えば自分が将来企業に務めたとして、上司に同じように怒りをぶつけるのはまず無理でしょう。そこで思ったのですが、怒りをぶつけられる人は年齢に関係なく、いつもある程度親しい人ということです。確かに目上の人の方がより親しくなる必要がありますが、初対面の人に怒りをぶつけるなんてことは相当なことが起こらない限りまずないですね。まずは親しくなることが大切なのだと思います。社会で社交性が求められるのはこういうことが理由になっているのかもしれませんが。正面から怒らない方法を模索できた気がします。ありがとうございます。

No.398 [No.52の筆者から](#) 2017-05-29 出身：東京町田 ログイン名：あお
10代 女性 居住：町田 タイトル：コメントありがとうございます

コメントありがとうございます。
あなたのコメントを読んで、年上の人を作る意見の出しやすい環境づくりになるほどと思いました。たしかに尊敬されている先輩の方が年齢に関係なく色々な意見を取り入れている気がします。それにそうしたほうが本人の更なる成長も期待できると思います。自分ばかりが正しいと思い込み大きな態度をとってばかりいる典型的な嫌な上司も少なからずいますが、自分のためにも、そして周りの人のためにも、自分がそうなるのは絶対にいけないと改めて思いました。それぞれが自分の嫌な目上の人との経験を生かして後輩思いになれたなら、日本もオーストラリアのようにはっきりと目上の人にも意見が出せるようになる日がくるかもしれません。

No.51 作文 2017-04-24 出身：オーストラリア 20代 男性 ログイン名：エモジン
居住：オーストラリア タイトル：友達と言葉遣い

友達と話す時に、話し方が興味深い。友達なのに、言葉遣いが大切なことだそうだ。話し方は多くの情報を含めるようで、丁寧すぎに話したら問題が発生する可能性がある。だったら、どう話すべきか。親友と話す時に、砕けた言葉を使うことが普通だ。丁寧に話したら、他の人は変だと思って、丁寧な人が親友になりたくないようだ。私はその話題についての自分の経験がある。子供の時から、友達と話しても、ちょっと丁寧に話す。知人や仕事の友達とその丁寧のレベルが当然だが、よく私が親友になりたくないと知られてしまった。だから、成人して、自分の話し方を変えた。だから、知人と親友になりやすくなった。

言葉遣いは友達に与える印象に影響することは明らかだ。親友になりたかったら、砕けた言葉遣いを使う方がいいそうだ。しかし、人格のようなことも個人的な言葉遣いと印象も影響するそうだ。だから、友達と話しても、正しい言葉遣いを選ぶことが時々難しい。文脈がいつも大切だ。

[【コメントを書く】](#)

No.74 [No.51](#)へのコメント 2017-05-01 出身：静岡 10代 女性 ログイン名：ぴー
居住：東京 タイトル：私も同じ悩みを持っています

私もあなたの考えと同じように困ることがあります。

「親しき中にも礼儀あり」ということわざがあるように、仲良くしている親友に対しても砕けすぎて失礼な言い方になっては親友関係が悪くなることもあります。また逆に、仲良くなりたいたって思っているのに自分が敬語を使っていると、向こうは壁があると感じてしまい仲良くなることをやめてしまうかもしれません。このように敬語を使うタイミングや頻度、敬語のレベルによってその人との付き合い方が変わってくるのはとても難しいと思います。

その上砕けて言葉遣いと汚い言葉遣いは違って、日本人は子供のころに親から汚い言葉遣いは使うなと叱られて育つため、基本的にわかって使っている人が多いですが、第二外国語として使う人にとっては漫画やアニメなどで学んだりしてしまうと汚い言葉遣いや、ふつうあまり使わないような言葉遣いになってしまうと思うのでより日本語は難しいと感じてしまうと思います。

日本人でも使いこなせていない敬語はとても難しいなとあらためて思いました。

[【No.51の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.212 [No.51](#)へのコメント 2017-05-09 出身：静岡 10代 女性 ログイン名：リンゴジュース
居住：神奈川 タイトル：あなたの意見に共感です。

私もあなたの考えに共感するところがあります。

言葉遣いの使い分けは、日本人の私でも難しいです。仲の良い友達と話す時に砕けた言葉を使いますが、砕けすぎた言葉遣いは時と場合によって相手を不快にさせることがあるのでそこがまた難しいです。相手と仲良くなりたいたがために、変な言葉遣いを使ってしまって結局相手と壁ができてしまうこともあるのでそのところが大変です。

日本では、幼いころから言葉遣いが間違っていたり、相手に対してその言葉遣いが正しくないと言われ親や周りの大人たちが教えてくれますが、他国の方が日本語を勉強するにあたって漫画、アニメ、ドラマなどから勉強する方もいるので私たちが日常会話として使っている日本語とギャップがあると思います。

コミュニケーションアプリのラインやメールなど、SNSを利用するときに自分意見や感情がうまく伝わっているのか不安になることが多々ある。

私は投稿者と同じで長年付き合いのある友達には私のことをよく知っているということもあり、文字だけで返信することが多い。だから、傍から見たらそっけない態度に見えてしまうかもしれない。しかし、大学の友達、先輩はまだ関係が浅く文字だけで返信したら冷たい人と勘違いをされてしまうので、絵文字や（笑）、w、ラインのスタンプなどを使い気持ちが伝わりやすいようにする。だが、先輩へ返信するときはスタンプでも失礼のないようにしたり、（笑）と送る時も数が多すぎるとうざったくなってしまうので考えたりと気を使うことが多い。

直接話すときと違い、文面だけの会話は誤解を招きやすく、感情を伝える絵文字やスタンプでさえも上手に使わなければ失礼にあたるので、人との距離の測り方は難しい。だから、直接会うことが、電話で話す方が今現在有効な手段だと思う。

[【No.50の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

コメントありがとうございます。

携帯の機種によって見えない顔文字や絵文字があるというのは、なるほどと思いました。私は現在iPhoneを使っていますが、前にAndroidを使っていたことがありました。そのとき実際に表示されない顔文字や絵文字があって、相手の気持ちが分かりにくいなと思うことが多々ありました。AndroidからiPhoneに機種を変更したときは、相手に表示されない顔文字、絵文字だったらどうしようと思いついて送信するようにしていました。しかし、今ではiPhoneでしか表示されないような顔文字や絵文字を何も考えずに多用してしまっています。今回このようなコメントをいただいたことで、相手に気を配って送信したいと改めて思うことができました。

現代社会は、機器の発展で実際に会わずともコミュニケーションをとることができます。しかし、文字だけでは自分が思っていることの少ししか伝わらないのではないかと思います。だからこそ直接会って会話をするとするのはとても大切だと改めて思いました。

[【No.50の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

コメントありがとうございます。

私もSNSを使うとき相手に伝わっているのかとても不安です。まりさんと同じように私も先輩との連絡は気を遣います。距離感を感じさせるような文章では仲良くしたくないのかなと思わせてしまうかもしれないし、逆にラフにしすぎても失礼にあたります。私は普段絵文字や顔文字を上手に使い、上のどちらにも偏らないよう気をつけています。現在、ラインというコミュニケーションアプリでは、顔文字や絵文字のほかにスタンプの機能も備わっています。スタンプにも様々な種類があり、これを使うのも気を使います。

やはり文字だけでは誤解を招くことが多いし、自分の伝えたいことが相手に伝わらないことも多いように感じます。直接会って話したり、電話で話したりすることは、文字だけよりも確実に相手に伝わるのでは

ないかと思えます。

[【No.50の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.49

作文

2017-04-24

出身： 鹿児島県
居住： 神奈川県

10代 女性

ログイン名： おんぷ

タイトル： 初対面の人との言葉遣いをどう決めるか？

先日、私は介護施設に訪れた。施設の方は認知症の方には敬語は遣っていなかった。しかし、私より年上であるということでもどのように話すか悩んでしまった。

この経験からどのように私は言葉遣いを決めているのか考えてみたい。

初対面の人との言葉遣いを決める基準として、知識量と立場という二つの項目を設けた。

初めに、どちらも満たす場合だ。私は知識もあり立場も上な、教授や上司に対して敬語を遣う。このように二つとも満たす場合は敬語を遣う。

次は、どちらも満たさない場合だ。先日、私は従妹の幼い女の子と遊んだ。その際、彼女に対して「ニャンニャン」と言うなど、幼児語を遣って会話をした。このことから、相手の知識量によってどのように話すか決めているのではないかと考える。また、先ほどの介護施設でも認知症の方にわかりやすいように敬語でなく常体で話したのではないかと考えた。

今まではどちらも満たす場合を考えたが、片方しか満たさない場合も考えたいと思う。

まず、知識量はあるが立場が下の場合だ。先日バイト先に新しく私より年上の方が入った。はじめ、彼に敬語を遣っていたが、使わなくていいと断られてしまった。

このように、知識量があるが立場が下の場合は常体で話すと考えた。

次に知識がないが立場が上の場合だ。先日、上司の子供に会った。その際私は常体で話した。距離を近づけ仲良くなるためだ。

以上のことから、初対面の人との言葉遣いを決める際、知識量と立場によって決めると考える。また、知識が多く立場が上の人には敬語を遣うと考えた。

[【コメントを書く】](#)

No.106

[No.49](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 埼玉県
居住： 埼玉県

10代 女性

ログイン名： しらす

タイトル： 新しい発見

私はこのような方法で言葉づかいを決めたり考えたりしたことがなかったので、とても新鮮でした。言葉の使い方をパターン化して考えてみるという発想自体が私にはなかったので、面白いなと思いながら読ませていただきました。また、知識量と立場で決めるという方法を私も日常的に取り入れてみようと思いました。

私は今まで言葉遣いについて、日常的にふと思っても深く考えることはありませんでした。そのため、今回このような機会があって、ほぼはじめてきちんと考えてみたのですが、そこで思ったことは、将来的にはとくに何も考えずにスマートに、正しい敬語を使えるようになれば、と思いました。そのためには「慣れ」が必要だと思います。何でもそうかもしれませんが、言葉も同じで、成功も失敗も、様々な経験をすることで上手に言葉が使えるようになるのではと思います。

今は自分の言葉遣いや敬語の使い方に自信はありませんが、ゆくゆくは自信をもって様々な人々と円滑なコミュニケーションができるように努力していきたいと思っています。

もちろん知識量と立場を考えて。

[【No.49の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

私も言葉遣いをこのように深く考える機会は今までありませんでした。確かにスマートに何も考えることなく敬語を使えたらとても良いと思います。相手との関係も円滑になると思います。

最近のできごとですが、目上の方と話す機会があり、友人がとても綺麗な敬語を使っていました。その場にいた他の男の子たちも「すごくきれいだな！」とほめるくらいの綺麗な敬語です。そのとき、私はそのようにしっかりと敬語を使えませんでした。なので、大人としてしっかりと身に着けたいと強く思いました。

スマートに使えるようになるまでに、経験を積み慣れていくことも必要だと思います。しかし、しっかり勉強し覚えることが一番の近道ではないかと思いました。これから、日本人として綺麗な日本語や敬語を使えるようもう一度自分の言葉遣いを見直していきます。

私も今は自分の言葉遣いに全く自信を持っていません。しかし、これからしっかり勉強し、慣れていくことでコミュニケーションを円滑にできるようにしたいです。

[【No.49の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

数多くの留学生の悩んでいることと同じように、自分が言葉遣い（敬語、ですます調）の選択を悩む時というのは、同じ地位あるいは身分の人と会話する時である。

つい先日、こういう出来事があった。授業が始まる前、隣に座っている女子に話しかけられた。二人とも会ったことがないため、自然的にというかも当然のことで「ですます」調で話をした。が、彼女が僕の歳（僕の歳は彼女の二つ上のだ）を知ったら、「ごめんなさい、同じ一年生とっていたので敬語を使わなかった」と慌てて誤ってくれた。そして僕は「歳が違っていても同じ一年生だから別にいいんです」と言ったら、「いえいえ、馴れ馴れしい感じで本当にすみませんでした」と返された。違う歳とはいえ、同じ学生である以上、しかもお互いも一年生ということは別に敬語を使う必要はないと僕は今でもそう思った。彼女のその対応を見て自分も驚いたのだ。敬語を使う場面と云ったら、それは明らかに自分より上の処にいる者との会話でしかならなくて僕は思った。何を言いたいかということ、日本人は歳一つ上の人に対してもすごく気を配って接し、要するに歳に敏感的なものである。しかし中国人の僕はそのような繊細さ？あるいは配慮はなかった。「日本にいる以上はそのくらいのことは知っているはずだろう」とか「中国人だからしょうがない」などと思われてしまうことがなくもない。自分の行動は中国人の考え方を代表していることから、自分が日本人のようにやらないと、「中国人」も誤解されてしまうというのを痛感した。

日本人のようにやるということ簡単ではない。たとえ行動上は一緒といっても、心的にはイヤだというのは正直なことである。いやいやながらもそうやらざるをえないなんて辛いと思うのは自分一人ではなく、多くの留学生達も同感した。

思いついたことをダラダラ書いたので、「論理的ではない」とか「何を言いたいのかわからない」とかと思われたら申し訳ないとか言うようながないが、ここまで見てくれた人ありがとうございました。

[【コメントを書く】](#)

日本人の私たちにとって、当たり前になっている上下関係ですが、それは、日本特有のものだと思います。しかし、大学に入って周りに様々な年齢の人がいる環境が変わってから、そこまで、年齢を気にする必要はないのではないかと思うようになりました。

私の友人で生まれてからずっと海外に住んでいた友達がいます。彼女は、同じ学年ですが、私より年上です。彼女自身は、自分が周りよりも年齢が上であることを全然気にしていなかったのですが、クラスメイトにその話をしたときに、みんなが驚いていたことに、彼女は驚いていました。

おそらくこれは、日本人と外国人の感覚の違いだと思います。日本では、中学校に入ると、部活動に入り、そこで先輩後輩という関係を学びます。先輩と言っても、一つしか年齢は変わりませんが、先輩を敬い、先輩には仕事はやらせてはいけないということが、当たり前になります。メロンパンさんが体験したことは、日本のこういった一種の文化的なものが原因だと思います。私は日本人ですが、このような文化はあまり好きではないし、もっとフランクなコミュニケーションをとることができたらいいと思います。

[【No.48の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.346 [No.48](#)へのコメント

2017-05-25

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

20代 女性 ログイン名： **レイニー**
タイトル：先輩！タメ口でいいですか？

メロンパンさんの作文とmokaさんのコメントを読ませていただきました。とても面白い内容で、視野が広がったと思います。ありがとうございます。

ふっと思い出すと、私もメロンパンさんのお隣さんと似たような経験があります。

大学に入った頃、日本語クラスで自分より四つ上の中国人のFさんに会いました。Fさんとは意気投合していて、すぐに友達になりました。最初、日本語で話している時はタメ口をしていましたが、年上だと分かった時は敬語を使わないかどうか迷いました。

遡って考えると、大学に入る前にいつも同い年の人と接触していました。たとえ、年が違っていても英語では上下関係を示す言葉遣いがはっきりしていません。なので、大学でこのような場合に会うとは全然思っていませんでした。

しばらく躊躇した後、Fさんに敬語で話し始め、一時気まずい空気になってしまいました。Fさんは私の言葉遣いの変化に気付き、「以前通りタメ口でいいよ」って言いました。「いいんですか？」と聞いたら、Fさんはむしろタメ口のほうが嬉しいと言ってくれました。タメ口のほうが距離感がなく、自分も若く感じると思っています。今でもタメ口を使っています。

やはり、外国人として日本語を勉強する時は、言語を学ぶことより母語話者の話し方の習慣を把握するのがもっと難しいですね。私たちの場合は、二人とも日本人ではないので、年の違いに気にせず、好きな話し方を選択しました。それに比べて、日本人は小さい頃から敬語の使い方を身につけているので、場合によって敬語を正しく使うほうが当たり前になっているのではないのでしょうか。敬語が苦手だと思う人はたくさんいると思いますが、「敬語を無くした日本語は、日本語なのか？」と思う自分がいます。

長い話しを読んでくれてありがとうございました。

[【No.48の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.378 [No.48](#)の筆者から

2017-05-29

出身： **中国**
居住： 日本

20代 男性 ログイン名： **メロンパン**
タイトル：No.80へのコメント

コメントをしていただきありがとうございました。

上下関係ときたらもちろん僕の母国にも存在していますが、日本ほど重視されてはいませんでした。ここでいう重視さは学生の頃にとか社会人の頃にとかではなく、社会全体的に、全年齢層もあまり重視されていないことをさします。

ここでは「言語が文化を影響する」について言っておきたいです。中国語の中では、「敬語」と明確に名付ける言葉はなく、目の上の人に対してなんとなく「敬語」っぽく言葉を使うほうがいいと思う時は言葉選択をします。例を挙げると、日本語の「先輩」と中国語の「前輩」があります。意味は言うまでもなく同じ学校または職場に先に入った人のことです。しかし中国で「前輩」を言う場合はただそれが読み方であって、その人を敬う気持ちの度合いからみると、日本の「先輩」の中の敬意の重さよりは軽いだと感じています。

よって、中国の人は敬語ところが、年齢のこともあんまり気にしていないなのです。

それと逆に、日本では敬語という言語システムがしっかりしているから、したがって人々の付き合いで言葉遣いの中にある敬意の度合いも中国よりはるか高いと言えるでしょう。

[【No.48の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.391 [No.48の筆者から](#) 2017-05-29 出身：中国 20代 男性 ログイン名：メロンパン
居住：日本 タイトル：まさにその通りです

コメントを書きいただきありがとうございます。
すごく良い指摘をしてくださいました。

自分も中国出身なので、レイニーさんの中国人クラスメートが考えていることが分かる気がします。確かに私たち中国人は年の違いをあんまり気にしていません。「言語が文化を影響する」のはよく言われていますが、まさにその通りだと思います。中国語には明確に「敬語」と定められたジャンルがなく、よって人と人のコミュニケーションも適当になっている気がしなくもないです。

日本語は敬語をなくしてはならないというのが私の考え方です。日本人は上下関係を重んじるから、よって敬語も安易になくすことがなく、むしろなくしたら日本語ではなくなると思います。

[【No.48の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.47 作文 2017-04-24 出身：埼玉県 10代 女性 ログイン名：ちえんていー
居住：埼玉県 タイトル：世界の言葉遣いの違い

世界には文化や言語によって、様々な言葉遣いがある。日本では年齢や性別、時や場所によって、言葉を使い分けることが多い。例えば学校だ。私は学校で1日過ごす中で、相手によって言葉遣いを使い分ける。友達と話すときは、あまり何も考えず思ったことをそのままストレートに話す。先輩と話すときは、敬語だがその中でもラフに思ったことをそのまま話す。先生や教授と話すときは、頭で何を言うか考え気を付けながら敬語で話す。このように日本では相手によって言葉遣いを変えるのが当たり前になっている。

しかし、他の国は日本と同じ習慣ではない場合もある。実際に、私は高校時代にカナダへ1年間留学していた時に身をもって経験した。カナダではほとんど先輩後輩は関係なく、先生に対しても友達感覚で話していて、初めて会う人にもあまり気を遣わずに話していた。これは日本と大きく違うと思った。その背景として、日本人の謙虚で堅実な性格が関係していると思う。私はどちらが良くてどちらが悪いとは思わない。なぜなら、敬語を使うことによって良い面もあり、悪い面もあるからだ。良い面の1つとして、社会に出た時に敬語は必要になるため、学生の時から敬語を使うことで将来役立つということだ。反対に悪い面は、敬語を使うことで心の距離ができてしまうということだ。私はどちらも大切なことだと思う。従って、どちらかに決める必要はないと思う。

言葉遣いの問題は永遠のテーマだと思う。その国の文化や人柄に合わせた言葉遣いをし、相手との丁度いい距離感を保っていくべきだと私は考える。

No.92 [No.47へのコメント](#) 2017-05-01 出身：日本 10代 男性 ログイン名：おもち
居住：日本 タイトル：先生との会話

私は、今まで海外に留学した経験がない。しかし、日本の中においても同じような状況に出くわすことはある。作文の中にあったのと同じように先生と生徒の関係においてはよく見られることであると思う。

例えば、先生は日本人で、生徒も日本人であっても、ある生徒は先生に敬語を使って話しかけるが、またある生徒は先生に友達のように敬語を使わずに話しかけるという光景である。

私は、相手が先生であっても敬語を使わずに話すことは悪いことではないと思う。なぜなら、立場が上の人に敬語を使わずに話すことでその人との距離を効率的に短くすることができるからである。立場が上の人であるからと言っていつまでも遠い関係のままではよいのだろうか。遠い関係だからこそその関係を短くする必要があるのではないかと私は思う。

[【No.47の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.136 [No.47へのコメント](#) 2017-05-07 出身：中国 20代 女性 ログイン名：カンガルー
居住：日本 タイトル：逆の経験

作文と似ているところもあるけれども、私の場合は逆である。

中国文化は何となく日本文化に似ているので、日本と同じく、謙虚や堅実などを。しかし、中国語は敬語があまりない。

高校時代、周りに若い先生が多かったので、先生と学生の距離感が近かった。だから、私は言葉遣いをあまり考えなかった。特に、私の故郷は西洋に影響されていて、個人主義の意識が高い。今、若者の中でマイペースな人が多い。実は職場で目上の人と会話するときも、高い丁寧の程度は不要で、礼儀正しささえあれば大丈夫だ。つまり、言葉遣いについて私の状況は日本のと違う。私もカルチャーショックを体験したが、筆者とは逆のカルチャーショックである。

今、日本に住んでいるので、部活や就職のために文化と言語の違いをよく考えるべきだ。

[【No.47の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.217 [No.47へのコメント](#) 2017-05-09 出身：中国 20代 女性 ログイン名：おでん
居住：オーストラリア タイトル：アジア文化圏の人が共感できます

私は中国で生まれ育って、今オーストラリアで留学しているので、ちえんていーさんの気持ちに非常に共感できます。

中国も儒教の国なので、中国人は相手の立場によって言葉遣いをよく考えなければなりません。学校で先生をきくと「～先生」と呼ぶべきです。だからこそ、オーストラリアで、先生の名前の代わりに、先生を直接的に「ティーチャー」と呼ぶ中国人が多く見られます。ちえんていーさんが言った通り、その現象は民族性格との関係があります。

東アジア圏の文化は人間の上下関係に対する意識は欧米より非常に強いです。日本在住の外国人に聞いてみると、ほとんどの人は母国に比べて日本の上下関係は何倍厳しいと回答したというニュースを見ました。敬語の使用もその厳しい上下関係の反映だと思われれます。逆に、オーストラリアは昔から民主主義の

伝統があります。だから平等を大切にするのはオーストラリアの価値観の一部として思われています。敬語も少ないし、呼称も厳しくないし、年上の人とくだけた言葉を使ってもいいし、オーストラリア人の話し方はたぶん日本人から見ると、自由すぎるですね。やはり文化と民族性格の違いは言葉に与える影響は大きいではないでしょうか。

[【No.47の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.379 [No.47の筆者から](#) 2017-05-29 出身：日本 居住：埼玉 ログイン名：ちえんていー 10代 女性 タイトル：先生との距離感って難しいですね

おもち様、この度はコメントをいただきありがとうございます。
私も日本の中においても同じような状況に出くわしたことがあります。私は先生に対して敬語で話しますが、私の友達で、先生に敬語を使わないで話している子がいました。実際にその先生も友達感覚で話していて、悪い気がしている感じではなかったので良いと思います。しかし、敬語を使わないで話されて嫌な気分になる先生や注意する先生もいるので、敬語でなくても大丈夫かどうか、しっかり判断する必要があるのではないかと思います。距離を縮めるだけなら、あまり堅苦しくないくらいの敬語を使って話すのが丁度いいのではないかと私は思います。日本の礼儀正しい文化はとても良いと思いますが、いつまでも遠い関係のままでは良くないと思うので、様子を伺いながら、徐々に距離を縮められたら良いと私は考えます。

[【No.47の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.397 [No.47の筆者から](#) 2017-05-29 出身：日本 居住：埼玉 ログイン名：ちえんていー 10代 女性 タイトル：中国のお話が聞けて、とても勉強になりました

カンガルー様、この度はコメントありがとうございます。
中国のお話が聞けてとても嬉しいです。やはり日本は歴史的に中国の文化と似ている傾向があるのですね。中国語にはあまり敬語がないのは初めて知りました。
確かに年齢の近い先生のほうが生徒との距離感が近いイメージがあります。日本もゆとりの影響で、昔に比べてマイペースな人が増えたように感じますが、やはり社会に出るにあたって敬語は必要不可欠です。そのため、あなたのコメントを読んで、職場で目上の人と会話するときも、丁寧な敬語は不要と聞いて、とても驚きました。逆に、どのような時に丁寧な敬語を使うのですか？確かにそれが普通だと思っていたら、カルチャーショックを受けるのは当然だと思います。日本では、様々な場面で敬語が必要になるので、敬語は難しいと思いますが、日本の文化に合わせ上手く使いこなせるように頑張ってください。

[【No.47の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.401 [No.47へのコメント](#) 2017-05-29 出身：日本 居住：埼玉 ログイン名：ちえんていー 10代 女性 タイトル：同じ経験をした人からのコメント嬉しいです

おでん様、この度はコメントいただきありがとうございます。
同じ留学経験者の方からの意見とても嬉しいです。やはり国によって言葉遣いの文化も異なりますよね。中国も日本と同じで言葉遣いをよく考えなくてはいけないのですね。私も日本では先生のことを必ず、○○先生と呼びますが、カナダに留学していた際は、皆先生のことを呼び捨てで呼んでいたもので、私も周りに合わせて呼び捨てで呼んでいました。東アジア圏は特に人間の上下関係に対する意識が高いというのは初めて知りました。それは良いところでもあり悪いところでもあると思います。敬語を使う文化も、使わない文化もどちらかを否定するつもりはありませんが、違う文化の国に行ったときに、大きなカルチャーショックを受けると思います。ですが、言葉遣いの違いによって、印象が悪く見られたり、評価が下がっ

たり、距離感ができてしまったりするので、その文化に合わせて、使い分けをしていかなければいけないと思います。

[【No.47の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.46 作文 2017-04-24 出身：東京 10代 女性 ログイン名：shiori
居住：東京 タイトル：デパートでの言葉遣い

私は今年の三月から初めてアルバイトを始めました。「デパ地下は様々な人が来るから、色々な方への接客が学べる為就職したときに役立つ。」ということを昔どこかで聞いたのでデパートの地下の食品売り場を選びました。

始めたばかりの頃は商品の名前、レジの操作の仕方やカード処理の方法などを覚えることに精一杯でしたが、段々慣れてくると言葉遣いに悩むようになりました。世間的にもそのようなイメージがあると思いますが、デパートはきちんとした言葉遣いで接客しなくてはなりません。お金やカードをお預かりするときなどの言葉遣いは決まった言い方があるのでそれに従ってやればいいだけですが、商品について詳しく聞かれたときや少しの間があるときにお客さんと会話するとき、この言い方では日本語として、また敬語として間違った使い方をしているのではないかといつも不安に思います。ほかの店舗のやり取りを聞いていると、そこの販売員はきれいでしっかりとした話し方をしていて、自分が使っている言葉は丁寧語に丁寧語を重ねている。また時には部活の先輩に使うような敬語を使っているなど思い反省します。一番出来ていないことは接客中にお客さんが何か話されたときに気の利いた上手い言葉が返せず、また少しの間があるときに何も言えない事です。いつもこの言葉遣いで本当にいいのか、こんなことを言ってもお客さんは聞いていて面白いのだろうか悩んでしまいます。

これから更に気の利いた話をきれいな日本語で話さなければいけない事が多くなっていくと思います。その為にもアルバイト以外のところでも学んでいきたいと思っています。

[【コメントを書く】](#)

No.102 [No.46](#)へのコメント 2017-05-01 出身：神奈川県 20代 男性 ログイン名：Noddy
居住：神奈川県 タイトル：「場慣れ」をする

拝読しました。私なりの意見をお返しいたします。目上の人（本文中ではお客様）と話をするとき、自分の使っている日本語や敬語が本当に適切なものか私でも迷ってしまうことがあります。だからとても共感が出来ました。あなたが敬語や日本語に不安を感じているのは、まだ接客に慣れていないからではないでしょうか。「敬語」は学校の国語の授業で必ず教わりますがあまり使う機会がないですよ。だから、慣れていなかっただけなのです。他の販売員さんが綺麗な日本語を使っていたとおっしゃいましたが、それはその人が場慣れをしていたからだと思います。敬語やビジネス日本語を使う機会がある中、場慣れをすれば、どう使うかなどが感覚で分かるようになると思います。そして、いつの間にか敬語とか日本語の表現に悩まなくなると思います。

[【No.46の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.384 [No.46](#)の筆者から 2017-05-29 出身：東京 10代 女性 ログイン名：shiori
居住：東京 タイトル：慣れることの大切さ

コメントありがとうございます。

私はいま大学1年生で大学受験が終わり、高校を卒業してすぐにアルバイトを始めたので今までのアルバイト経験もなくただ場慣れしていなかっただけだとコメントを読んで思いました。始めてから二カ月程経ったので、最近は言葉遣いにも自信が持てるようになりました。そうして改めて場慣れすることは大事だなと実感しました。今思い返せば中学校に入学したばかりの時も先輩や先生への言葉遣いに戸惑った気

がします。今のように言葉遣いに悩んだという訳ではありませんが、小学校までは先生に対しても上級生に対しても敬語を使っていなかったのにいきなり敬語で話すというのは大変だった気がします。でも、私が入った部活は学校の中でもかなり厳しく、また一貫校だった為高校生もいて、先輩が先生と話すときの言葉遣いはきれいで特に高校生の先輩はとてもきれいでした。そういうのを聞いて段々と慣れていったので、やはり場慣れすることは大事だなと思います。

これから先就職するときなども慣れていって感覚をつかんできちんと話せるようになりたいです。ありがとうございました。

[【No.46の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.45 作文 2017-04-24 出身：日本 埼玉県 ログイン名：白い恋人
居住：さいたま市 10代 女性 タイトル：浪人生と話すとき

私は大学に入学して困ったことがいくつかある。そのうちの 하나가浪人生と話すときのことだ。浪人生は見た目ではわからない。同い年だと思って話していたら実は歳が一つ上の人だったということはよくある。そうしたときに非常に気まずくなってしまふのだ。

通常、今までの学校では同じ学年には同い年の人しかいない。そのため普段友達にどのように話すかなんて考えることがなかったし、同じ学年に自分と違う歳の人がいるという経験がないため、どう接したらよいかかわからないのだ。その結果、同じ年の人とは気楽に話せるが、浪人生に対しては自分から話しかけにくくなってしまふ。

私は中高と上下関係のはっきりした部活に入っていた。そこでは、年上の人には絶対に敬語を使わなければいけなかった。それは部活を引退して先輩と後輩という関係ではなくなっても暗黙の了解だった。さらに先輩とは同級生と話すときのように親密な雰囲気でも話しかけることもできなかった。年上の人に対し壁を感じるようになったのだ。そのため、大学生になり話していた人が浪人生だったとわかると、急に壁を感じてしまったり、「タメ口でいいよ」と言ってくれたとしても、今までの部活の環境があったので敬語を外すことに大きな抵抗を抱いてしまったりするのだ。そうしてタメ口で話せないでいるとせっかく気を遣ってくれた相手にとても申し訳なくなるし、微妙な雰囲気が流れてしまふので会話が弾まなくなってしまうのだ。

しかし私は浪人生だから仲良くなれないというのは嫌なので、まずはサークルなどでとても話しやすい先輩と仲良くなることから始めて、そこで慣れて、ゆくゆくはいろんな人と壁を感じずに気軽に話せるようになりたい。

[【コメントを書く】](#)

No.82 [No.45](#)へのコメント 2017-05-01 出身：中国 ログイン名：乙乙修司
居住：日本 20代 無答 タイトル：おっ 奇遇 私が浪人の一員

こんにちは、「白い恋人」さん。ログイン名はお菓子からなのか、それとも曲からなのかは気になります。が、残念 今は聞く場合ではない。

タイトル通り、私も浪人。周りに同い年の人はいない、「白い恋人」さんとは違い、話しかけにくいかどうかの話ではなく、同い年でない人に話をかけなければならないというに状況にあります。しかし、不運なことに、周りの人や、私が浪人のため、自ら話しかけては迷惑な気持ちがいっぱい。まるで、恋愛したくても、誰にも愛されていない子のような感じ。

わかりにくいかもしれませんが、つまり、浪人生たちは待っている、誰かに話しかけられるその時を。
(少なくとも私はそう)

敬語など、実はどうでもいい（私的感想）。

さあ、話をかけてみよう、きっといい出会いがあると、私は信じています。

[【No.45の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.332 [No.45へのコメント](#) 2017-05-21 出身： **オーストラリア** 20代 男性 ログイン名： **冗談**
居住： オーストラリア タイトル： 浪人生も大学生ですよ！

作文を読んだ。白い恋人さんの意見に共感できる。僕は日本の高校に留学した時、先輩と後輩の関係はおかしいと思った。先輩は後輩にタメ口を使うのに、後輩は答えると、硬い丁寧語しかが出てこないせいで、あまり仲良くなれないそうだ。日本の文化の一部だから仕方がないと思う。

そういう先輩後輩関係はいい点も悪い点があると思う。いい点の一つは、若いころから尊敬がそだてている。しかし、白い恋人さんが写した状況のように、先輩と仲良くなりたくても自らの気持ちをはっきり伝えることが大変だ。なぜなら、はっきりな言葉を使うのは失礼に見られているからなのである。ところが、全部の日本人はこのような考え方がないはずだから、大学で友達を合うのは唯一時間の問題だろう。それとも、外国人は先輩後輩という考え方がないと思うから留学生と仲良くしようとしたら、きっと気軽に話せるようになれるではないか。

浪人生としては大変だが、白い恋人さんの作文を読んでとてもいい人だと思うから、もう恐らくたくさん友達できただろう。

[【No.45の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.333 [No.45へのコメント](#) 2017-05-21 出身： **オーストラリア** 20代 男性 ログイン名： **冗談**
居住： オーストラリア タイトル： 浪人生も大学生ですよ！

作文を読んだ。白い恋人さんの意見に共感できる。僕は日本の高校に留学した時、先輩と後輩の関係はおかしいと思った。先輩は後輩にタメ口を使うのに、後輩は答えると、硬い丁寧語しかが出てこないせいで、あまり仲良くなれないそうだ。日本の文化の一部だから仕方がないと思う。

そういう先輩後輩関係はいい点も悪い点があると思う。いい点の一つは、若いころから尊敬がそだてている。しかし、白い恋人さんが写した状況のように、先輩と仲良くなりたくても自らの気持ちをはっきり伝えることが大変だ。なぜなら、はっきりな言葉を使うのは失礼に見られているからなのである。ところが、全部の日本人はこのような考え方がないはずだから、大学で友達を合うのは唯一時間の問題だろう。それとも、外国人は先輩後輩という考え方がないと思うから留学生と仲良くしようとしたら、きっと気軽に話せるようになれるではないか。

浪人生としては大変だが、白い恋人さんの作文を読んでとてもいい人だと思うから、もう恐らくたくさん友達できただろう。

[【No.45の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.44 作文 2017-04-24 出身： **静岡県** 10代 女性 ログイン名： **ぴー**
居住： 東京都 タイトル： 上下関係と敬語の悩み

私は初対面の方に対する話し言葉、敬語に悩むことが年々増えてきた。

中高生の時は、先輩後輩の上下関係がはっきりしており敬語を使うことに悩むという状況になったことはなかった。しかし、大学に入り先輩後輩の関係性が緩くなり、先輩でも友達のように接してくれる方がいたりする。そういったときに「ため口でいいよ」と言われてもなかなか呼びづらく、たまに冗談交じりに

ため口が出るといった感じになる。そうなると思われたいやうに思われてしまったりする。友達にはうまくやっている子もいるが、私はいやまい具合に敬語を使うことができず困ることが多い。敬語を使うか使わないかで人との関係性が大きく変わってしまうのは怖く、うまく使えるととても得を思う。

また、大学では年齢的に上の人でも学年が同じだったりすることもある。そういった見分けができないため、ため口でいいかと思ひ話してみると年齢的には上の人だったりすることがある。その際気づいてから敬語に変えるが、失礼だったなという反省と恥ずかしさが残る。それだけでなく、授業も学年を超えて行われることがあり、ディスカッションを求められ話すときに同い年なのか違うのか迷ってしまうことが多々ある。逆に自分より年下だと思ひた人にため口で話しかけられてしまうのも嫌だと思ひてしまう。このように敬語を使うタイミングや使うべきかの見分けは本当に難しい。一歩間違えると失礼になってしまうが、この敬語を使いこなすことができればとてもかっこいいと思ひ。

今までは敬語の使い方に関して難しさを感じていながら放置していたが、今後会社などで失礼なことがないようにするためには、今の段階から気を付けていかなければならないと思ひた。使っていくうちに見分けがついたり、何かうまく使い分ける方法が見つかる可能性もあるため、恐れず使っていくと思ひ。

[【コメントを書く】](#)

No.115 [No.44](#)へのコメント 2017-05-01 出身：秋田 10代 男性 タイトル：大学での上下関係や同級生との関係について
居住：東京 ログイン名：みと

大学での先輩後輩の関係性や言葉遣いに悩むというのにとっても共感しました。敬語でもたとえば運動部の人を使うような「砕けた敬語」というものがあると思ひのですが、上手い人は敬語を使っているのに相手との間に距離を感じさせない言葉遣いをしていて、すごいなあと思ひしてしまいます。私はただ敬語を使うだけなら問題なくできますが、そうするとやはり相手との間に壁ができてしまうので、敬語を使いつつ、でもなるべく壁を作らないように、という微妙な加減にとっても苦労します。

また、個人的な話なのですが、私は浪人生で、そのことを言うと同じ学年の同級生に敬語を使われてしまうことがあります。ですが、それは寂しいですし、多くの人と同じように感じると思ひます。なので、同じ学年の人には、たとえ年上であれ、タメ口で話しかけた方が相手も嬉しいのではないかなと思ひます。恐らく同じ大学かな？と思ひますが、この大学はとくに浪人生が多く、私の所属している学科は3分の1くらいが浪人生なので、あまり気にしすぎないのが良いと思ひます。

[【No.44の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.147 [No.44](#)へのコメント 2017-05-08 出身：静岡 20代 男性 タイトル：タメでもいいから！
居住：東京 ログイン名：冷やし中華始めませんか

自分も、大学に入学してからはしばらく、同じような場面で悩むことが多かった。入学早々数多の新歓を受け、その中からサークルを選んで入った。いざ入ってみると、同級生の中に年上が何人もいることに驚いた。しかし、その同級生は「タメ口で話していい」という。それどころか、先輩でさえも「気軽にタメで話して！」と言ってくる。どうすればいいのか、といった感じだった。

そんな自分は今、後輩に「タメでもいいから！」という側の立場になってしまった。時間が経つのは早いものである。そんな経験者からひとつアドバイスをするとするならば、「まあそのうち慣れるよ」ということしかない。そう、時間が経てば自然に慣れるのだ。

今では自分も、ひとつ上の同級生を普通にいじっている。仲のいい先輩も、「～ちゃん」呼ばわりだ。これがいいことなのか、と言われたらこの作文のテーマ的には微妙なのだろうが、間違いなく仲は深まっていると思ひ。

どうしても慣れないようだったら、いつそ先に年上か否か聞いてしまうのがいいと思ひ。いずれにせよ、

上下関係について、あなたにとっていい解決策が見つかることを願っている。

[【No.44の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.347 [No.44](#)へのコメント

2017-05-25

出身：日本
居住：オーストラリア

10代 女性 ログイン名：寿司
タイトル：敬語とタメ口

日本で生まれ育ったピーさんも敬語の使い分けに悩んでいるのですね。私も誰に丁寧語で話していいか、タメ口を使っていいかはっきりと見分けることが難しいと思います。私は歳の近い日本人の親戚との話し方に悩んでいます。いくら血が繋がっていても親しくないのも、砕けた言葉で話していいかわかりません。確かにその相手から「タメ口でいいよ」と言われてもなかなか使いづらいですね。敬語で話すかタメ口で話すか悩む時は状況を見ながら、徐々に判断していけばいいと思います。オーストラリアでは学校などで、いくら学年が離れていても大抵砕けた言葉で会話します。やはりこちらでは敬語がないので親しく、馴れた感じで話す人が多いです。日本人から見るとオーストラリア人はとても自由に言葉遣いをすることができますね。

ピーさんが言ったように、敬語を使うタイミングを一步間違えると失礼になってしまいますが、正しく使いこなせば周りから感心されると思います。今後会社に就職する時に問題がないように、今の内に敬語の使い分けに気をつけて、恐れずどんどん使っていくのが大切ですね。

[【No.44の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.371 [No.44](#)の筆者から

2017-05-29

出身：静岡
居住：東京

10代 女性 ログイン名：ピー
タイトル：コメントありがとうございます

コメントしていただきありがとうございます。浪人生ということで悩むことがあるというのは私の周りでも起きてるので、きっと多くの方が悩んでいるのだと思います。私の友達も2つ上の子が同級生だと知ったときはとても驚きましたが、知る前と後で何か変わったこともなく、そうなのかという感じで私は接しています。ですが、そこまで仲良くない人や初対面で言われてしまうと、どうしたらいいのか悩むことはあります。極力敬語は使いませんが、たまに出てしまったりするとやはり相手は気になってしまうのだなと、改めて分かりました。みとさんのおっしゃる通り、気にせず接することがベストだと思います。

先輩後輩の敬語に関しても、深く考えすぎずにその時その時で臨機応変に使い分けられるようになれるといいかと思います。大学のサークルは特に上下関係が厳しいというわけではないと思うので、なおさら敬語をうまく駆使できるととても活動が楽しくなりそうに思えます。お互いうまく使えるようになれるといいですね。

[【No.44の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.382 [No.44](#)の筆者から

2017-05-29

出身：静岡
居住：東京

10代 女性 ログイン名：ピー
タイトル：コメントありがとうございます

コメントありがとうございます。冷やし中華始めませんかさんのおっしゃる通り、いつかは自分も先輩になって後輩にためていいよとか、気軽に話してきてほしいと思うと思います。そういった純粋に仲良くなりたいと思ってくれる人が大半だと思うと、先輩に対しても気軽に敬語をうまく使いながら会話を楽しむことができるのかなと思いました。そして、実際冷やし中華始めませんかさんはそういった先輩との関係がとてもうまくいっているように思えるので、敬語を使わず近い距離間で先輩と話すこともいいのかなと思いました。

時間がたてば慣れるという言葉は確かにそうだなと思いました。その人との関係が深くなればそれなりに慣れてきて敬語もうまく駆使できるようになると思うと、やはりどんどん使っていくべきだなと思いました。

そして、先に年齢を聞いてしまうというのも最終手段としてはありかと思えます。やはり年齢を気にして、会議に支障が出たりするよりは、敬語を使うべきかも含め聞いてしまったほうが楽だと思いました。実践できればいいなと思いまう。

[【No.44の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.394 [No.44](#)の筆者から 2017-05-29 出身：静岡 10代 無答 ログイン名：ぴー
居住：東京 タイトル：コメントありがとうございます

コメントありがとうございます。日本人の私ですら悩むことは外国の方にとっては本当に難しいですね。年の近い親戚に敬語を使うべきか悩むとのことでしたが、私は年が近い親戚であり親しくない人とは会わないので何とも言えませんが、もしそういう場面に遭遇したら、取りあえず敬語で話しますが徐々にため口もまぎれさせると思えます。なので寿司さんのおっしゃる通り、状況を見ながら判断していくしかないですね。

やはりオーストラリアでは敬語の文化はなく、上下関係もないというのほうらやましきもあります。敬語が一概にだめだというわけではないですが、このように敬語のわずらわしきもなく、先輩ともとてもいい関係でいられることは本当にいいことだと思います。

敬語がうまく使えるようになれば、感心されるとともに会社に入ってから先輩や仕事関係の方との関係性がうまくいくと思うので、大学生活の中で敬語をうまく使えるようになりたいと思います。ぜひ寿司さんも頑張って敬語を駆使できるようになってください。

[【No.44の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.43 作文 2017-04-24 出身：日本 茨城 20代 男性 ログイン名：Tim
居住：日本 東京 タイトル：おっかなびっくり

日本生まれの日本育ちで、且つ他言語に通じているわけでもない私が日本語表現に悩む時はどんな時かと、それはまさにこういった、皆さん懇懇に澄ましたお硬い学術的な何かでもなく、また顔の知れた血縁友人相手に披露する忌憚なく綴り垂れ流すものでもない、曖昧な立場の文章を書く時なのです。

どうせ膨大な電子の波の一滴よ、こんなものは落書きよと、Twitterなどでは、その名の由来たる鳥の囀りの如くに、思い切ってやくぎな語調で勢いをつけて一人芝居をやっつてのけるぐらい、人の目を何とも思わない傲岸さを発揮できるのですが、如何せん生来の気の弱い軟弱であるから、特定の人に読まれることを意識すると途端に恐縮して、文章の巧拙、表現の良し悪し、読んだ人はどう思うかしらと、言葉にする以前のことに固執する、結果、黙して語らず。寡黙な人という評価は全く当たらない。内では常に何かがつづつと滾っているのです。しかし、評価が怖い。気が弱い。故に、吠えず。『犬は吠ゆこれ哀しむべし、人は吠ゆべきか、吠えざるべきかに迷いて、吠えず。故に甚だしく人なり』と、有り難いお言葉を盾にして、俺はきつと思慮深いから口にせんのだと、言い訳を続けています。気の知れた仲か、はたまたその対極の、顔の見えない不特定多数、それも圧倒的に膨大なものを相手にしなければ、おっかなびっくりにしか口を開かない、弁慶なのだから内弁慶なのだからよくわからない自分を、意識する時、この時に最も言語の難しさを、文法上のことでなく、意思疎通手段として自己表現の手段として、言語を駆使することに困難さを覚えるのです。

[【コメントを書く】](#)

作文読ませていただきました。自分は作文を書くのがとても苦手です。でもとても文才のある方だなと思いました。難しい言葉をたくさん使っていたので、読書が好きな方なのかなと勝手に思いました。

自分も、ツイッターなどで発言するのは苦手というかとても怖いです。理由は同じで、不特定多数の目が気になります。自分が何かを発信することで自分への評価がどう変わるか、どうみられるのかをいつも気にしながらSNSをしています。でも私はそれが悪いことだとか、直したいなどとは思いません。人の目を気にしながら生きるということは、人間関係を築いていくうえで欠かせないことだと思います。周りや相手のことを考えずに自分の言いたいことだけ言いつばなしというのはいくらSNSだからと言っても、モラルがないのかなと私は思います。でも同時に何も気にせずに自由に発言している人を見ると、そのくらいの勇気と度胸が自分にも欲しいなとも思います。でもやっぱり自分には無理そうです。

[【No.43の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

久しぶりに会った知り合いに、なんと声をかけたら良いのか分からない。分からないまま、結局声をかけられない、ということを経験した。

私は中学生の頃、部活に所属していた。その部活は先輩や後輩の区別なく、部員同士の仲がとてもよい部活だった。当時から特に仲のよかった先輩とは、今でも連絡を取っている。しかし、その部活内でしか関わりがなく、部活を引退したあとは疎遠になってしまう先輩というのももちろんいる。そのような先輩とは、基本的にはそれっきり会うこともなくなってしまうのだが、稀にどこかでばったりと会うことがある。そのようなとき、私はなんと話しかければいいか分からなくなってしまう。

まず、相手をなんと呼べばよいか分からないのである。部活をやっていた当時はお互いをあだ名で呼び合っていたのだが、時間が経ち、部活という「場」も失われてしまうと、途端に、「年上に対してあだ名で呼ぶというのは失礼なのではないか」と感じるようになってしまい、かと言って今まであだ名で呼び合っていたものを突然「〇〇先輩」と呼ぶのも不自然な気がして、結果的になにも言うことができなくなる。

次に、相手に対する喋り方、それこそ言葉遣いにも悩む。やはり部活という「場」がなくなってしまうことで、今まで通り気軽に接することもできず、しかし今更敬語で話しかけることもできずに、言葉を失ってしまうのである。

言葉遣いというのは、相手との関係、場所、その他にもいろいろな要素が関係するものであり、それらの要素が一つでも変わると、相手に対する言葉遣いも変わってくるのだと思う。そうなってしまうと、以前のように話すというのはとても難しいことなのだが、それでもまた、以前のように話せるようになると良いなと思う。

[【コメントを書く】](#)

作文を読ませていただきました。私も同じような経験があり、とても共感しました。

私は部活動をやっていたとき、仲の良い先輩に対しては敬語を使っていませんでした。しかし、部活内でしか関わりがなくそこまで仲良くしていなかった先輩には敬語で接していました。稀にありますよね。そ

これまで仲良くなかった先輩に限ってすれ違ってしまうという不運。私の場合は、気づかなかったふりをして下を向いて通り過ぎ、その場をやり過ごします。そもそも部活動をやっていた当時から、特別仲が良かったわけでもないのに久々に会って話すことなんてないですよ。

どうしても話さなければいけない状況になったとき、私ならきっと敬語で話してしまうと思います。当時あだ名で呼び合っていたとはいえ、やはり先輩は目上の人なので迷ったら敬語を使って話してしまえばいいと思いました。

そんな私はほとんど後輩に敬語を使われたことがありません。敬語を使ってくれる後輩はひとは欲しいと思っています。

[【No.42の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.114 [No.42へのコメント](#) 2017-05-01 出身：神奈川 20代 男性 ログイン名：Noddy
居住：神奈川 タイトル：かしこまると逆に怖い(owo)

作文を拝読しました。私なりの意見を述べたいと思います。そのまま「あだ名」で呼べばいいのではないのでしょうか。なぜなら、相手はあなたに対する記憶は疎遠になる前で止まっているわけですし、相手はあなたのことを「あだ名で自分を呼ぶ後輩」として捉えているでしょう。ですから、急にかしこまった言い方を相手にしてしまったら相手も委縮してしまうでしょう。変なことを考えるかもしれません。もし、私が近しかった人と疎遠になって、久しぶりにあったら敬語だったらと考えると、「何か困っているから助けてほしいのかな」と考えてしまいます。だから、もし疎遠になってしまったという友人に会ったならば、疎遠になる前の呼び方、話し方で呼べばよいのではないかと思います。相手を不安にさせずにすむので。。。

[【No.42の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.281 [No.42へのコメント](#) 2017-05-15 出身：神奈川 10代 男性 ログイン名：ヘッジホッグス
居住：神奈川 タイトル：昔の友人

この作文を読んでみとさんの言っていることがとても共感する所がありました。

私も高校生の頃は、とても仲の良い先輩・同級生・後輩がいました。その頃は、LINEとか毎日連絡をとりあっていて日々楽しい思いがありました。だけどみんな大学や専門とかで忙しく高校生の頃とは違い会うことが出来なくなっています。ですが夏休みや冬休みとかで今まで会うことが出来なかった友達等に食事に誘って見ます。最近では久しぶりにあって何て声を掛けたいのか分からなくなってしまうこともあると思うけど今までみたいに元気に「おはよう」と言って昔みたいにあだ名で呼んだりしてあげたらうまいけると思いました。

みとさんも元気に声をかけたりしたら昔みたいに先輩とやっていけると思います。だから深く考えずにリラックスしていけると思います。ありのままのみとさんでいれば言葉遣いに気にせずやっていけると思うので頑張ってください。

[【No.42の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.514 [No.42の筆者から](#) 2017-06-02 出身：秋田 10代 男性 ログイン名：みと
居住：東京 タイトル：コメントありがとうございます

コメントありがとうございます。とても個人的な体験を書いたのですが、共感したと言ってもらえて嬉しいです。

そうなんですよね、仲の良かった先輩とは久しぶりに会ったとしてもあまり困らないのですが、部活内でしか関わりがなかった先輩と会うと距離感に困ってしまいます…。気付かなかったふりをして通りすぎる、というのともわかります。というか自分もやっちゃいます。ただ、たとえば仲の良かった先輩とそうでもない先輩が二人で一緒に居るところに遭遇してしまったりもして、そうなるたさすがに気付かないふりも出来ず、気まずくなってしまう…。

迷ったら敬語を使ってしまう、というのも一つの手ですよね。先輩は目上の人だし、間違いはないと思います。

後輩に敬語を使われたことがないということなので、もけけさんは後輩から見て接しやすい良い先輩だったんだなあと感じました。でも一人くらいは敬語使ってくれる後輩がいるといいですね…。大学の部活・サークルに期待ですね！

[【No.42の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.515 [No.42の筆者から](#) 2017-06-02 出身：秋田 10代 男性 ログイン名：みと
居住：東京 タイトル：コメントありがとうございました

コメントありがとうございました！

「以前のままあだ名で呼べば良い」というアドバイス、なるほどなと思いました。

たしかに、こういうのって自分が言うときはすごく気にしちゃうけど、言われる相手からするとそんなに気にしていなかったり、むしろ以前のまま呼んだ方が嬉しかったりするかもしれないですね。もし自分が、仲の良かった後輩と久しぶりに会ったときに敬語で話しかけられたら、それは嫌だなあ…と思いますし、そう考えるとやっぱり以前のように話しかけた方がいいのかなと思いました。

自分が相手をなんと呼ぶか、だけではなく、相手がなんと呼ばれたら嬉しいか、またそう呼ばれたときに相手はどのように感じるか、のように、言われる側、相手の立場になって考えることも大事だなあと、Noddyさんのコメントを読んで気付かされました。

[【No.42の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.516 [No.42の筆者から](#) 2017-06-02 出身：秋田 10代 男性 ログイン名：みと
居住：東京 タイトル：コメントありがとうございました

コメントありがとうございました！

個人的な体験を書いたのですが、共感できる場所があったと言ってもらえてとても嬉しいです。

やっぱり、仲の良かった友達でも、しばらく会えなくて久しぶりに会うってなると緊張しちゃいますよね…。だけど、ヘッジホッグスさんのコメントを読んだら、悩んでも思い切って昔みたいに声をかけてみようかな、と思えました。

ヘッジホッグスさんのコメントは、その場しのぎの一時的な対処法ではなくて、以前のように話せるようになるというところがとてもいいなと思いました。今までは、久しぶりに知り合いと会ったときにどうやってその場を乗り切るか、としか考えてなかったのですが、ヘッジホッグスさんの言うように、昔みたいに話しかけてみて、それでまた以前のように仲の良い関係に戻ればそれが一番だな、と思いますし、そうなればいいな、とも思うので、今度からはがんばって話しかけてみようかなと思います。

[【No.42の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

日本では敬語は一般的に中学生になって部活動を始め、そこから使われ始めるものだと思う。そのため私が言葉遣いで悩むのは、まだ敬語を使うことのなかった小学生のときから仲良かった年上の人と中学校に入った際に急に今までと話し方を変えなければならなくなったときである。

しかし正直に言ってしまえば、年上の幼馴染との会話において全て中学生以来では敬語を使うので、一見すると何も問題ないように見える。だが、一見問題ないように見えても、年下の私としてはけっこう気を使い、困る場面が多々ある。

例えば、私と年上の幼馴染の二人だけで会話するときである。学校などのように他に人がいる場面においてはもちろん敬語を使わないといけない気がするので敬語を使うが、二人でしかも学校外の場合、昔と同じように話すべきか、学校の時と同様に敬語を使って話すべきか非常に迷う。今までは何も意識せず話していた先輩との話し方があるときから急に話し方を変えるというのは内心どこか違和感があるためだ。さらに困る点は基本的に先輩の方は困っている私を助けるためか往々にして、タメ口という同い年の人を使う言葉でいいと言う。そのため私が混乱してしまったという経験を何度もしている。

そして、敬語と同じように呼び方というのも私は大変悩むことがある。というよりも、この件の方がもっと困る。昔は基本的には先輩のことをあだ名で呼んでいたが、中学生に上がると同時に〇〇先輩と呼ぶように変わる。しかし実際は、私の場合あだ名で呼ぶ癖が取れずけっこう困惑した記憶がある。

私はこれらに対してもう全て強引に敬語を使い切り、他の先輩の人と全く同じようにすることで言葉遣いの悩みを解決しようとした。しかし、私の個人的には、そうして解決しようとした結果、今まで仲良かった先輩との距離が一気に大きくなったように感じる。それなので、もっと良い解決方法があったら今度会う機会に試してみたい。

[【コメントを書く】](#)

No.117 [No.41](#)へのコメント 2017-05-01 出身：埼玉県 10代 女性 ログイン名：ちえんていー
居住：埼玉県 タイトル：私も全く同じ経験をしました

作文を読ませていただきました。私もあなたと同じ経験をしたことがあります。小学校の時に近所に住んでいて、仲良くしていた年上の友達がいました。その子とはもちろんタメ語で話していたし、あだ名で呼んでいました。私が中学に進学するときに、これからどうしたらいいか聞いたら、敬語で先輩呼びにするように言われました。また、部活も同じだったので絶対そうしなくてはならず、すぐにタメ語から敬語に切り替えました。しかし、実際違和感が凄くあり、それからは部活でしかほとんど話さなくなり、距離感ができてしまいました。小さいころからずっと仲良くしていたのに、同じ歳ではなく敬語で話すようになったせいで、今まで通り仲良くできないというのは良くないし、とても寂しい気持ちになりました。だからと言って、何か良い解決方法があるかと考えましたが、私の中では解決策は思いつきませんでした。そのため、私もあなたが思うように、良い解決策があれば知りたいです。

[【No.41の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.508 [No.41](#)の筆者から 2017-05-30 出身：日本 10代 男性 ログイン名：ごごごごりら
居住：日本 タイトル：コメントありがとうございます

ちえんていーさんコメントありがとうございます。同じような経験をしていた人がいたのはとても嬉しいです。敬語を使うとやはりどうしても距離感を感じてしまい、中学生くらいになると、先輩に会うだけでどこか気まずい雰囲気を感じます。しかし、だからといって関係が疎遠になっていくのを放置していくの

は私も良くないと思う。したがって、何か良い具体的な解決策は思いつかないが、とりあえず関係を昔のように戻すために、何かしら行動してみたい。たとえばスポーツを一緒にしたり、ゲームを一緒にしたりしてみようと思う。スポーツやゲームといったみんなで楽しむものを、一緒にやることは何となくまた昔のように打ち解けていく気がしている。正直、もっと早めに考えていたらより楽だっただろうなと思えました。このように、いろいろととりあえず試してみて、もし有用なものが見つかったらいいなと思います。

[【No.41の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.40 作文 2017-04-24 出身：埼玉県 10代 女性 ログイン名：ゆきだるま
居住：埼玉県 タイトル：子供に敬語は使うべき？

先日、中学受験の塾の模擬試験があり、その試験監督のアルバイトをした。実際に働く前に面接選考会というのがあり、そこで担当者の方に「相手は小学生なのだから、敬語を使わなくてもいいよ」ということを言われた。

そう言われるまで私は相手は何歳であろうとお客様であるから敬語を使うべきなのでは、と漠然と思っていた。しかし、そのように言われて自分が小学生のころを思い返してみると、敬語や堅苦しい言い回しをされるとこちらも改まってしまったような気がする。また、大人が幼い私たちに敬語を使わないことはいたって普通であるように感じていた。実際に職場へ行き、社員の方の様子を見ていても、やはり堅苦しくない、柔らかい口調で話しており、その方が生徒たちに親近感や安心感を与えていたように思った。

とはいえ、年齢がいくつも下であっても、友達に話すような軽い口調はどうかと思う。相手への誠意を伝えるために私はそのアルバイトのとき丁寧語を使った。そして思ったことは、敬語を使う・使わない以上に、子供に物事を伝えるときにはなるべくわかりやすく伝えることと柔らかい口調が大切だと思った。

この一連のことを通して、私は年齢層によって言い方を変えることを改めて見つめ直すことができた。相手と円滑にコミュニケーションをとる上で、自分が言いたいことをどのように伝えるかによって、相手の理解が変わることを実感した。大学生になって、ゆくゆくは社会人になって、今まで以上に色々な立場や年齢の人と話すことは増えていくだろう。そのときに、相手にどう伝えるかは相手の中の自分の立場を左右すると思う。社会のなかで他人と生きていくために、敬語や口調など言葉の使い方には今後も注意していきたいと思った。

[【コメントを書く】](#)

No.141 [No.40へのコメント](#) 2017-05-08 出身：町田 10代 女性 ログイン名：朝
居住：町田 タイトル：考えさせられました。

私も幼い子供に対してでもお客様なのだから敬語を使うべきだと思っていましたが、ゆきだるまさんの作文を読んで確かに柔らかく堅苦しくない言葉遣いのほうが子供に親近感や安心感を与えることができると思いました。それに実際私が敬語で話されるようになったのも、敬語の存在を意識するようになったのも中学生になってからのような気がします。でも小学生の頃、学校の先生は語尾に「です」や、「ます」がついてなくても言葉遣いにすごく気をつけていたと思います。そこにはあくまで生徒はお客様という意識とともに軽く砕けた日本語がすべてであると子供に思わせないようにしなくてはならないという無意識もあるのではないかと思います。特に習わなくてもある程度の敬語が気づくと使えようになっているのはそういった意識のおかげなのかもしれないと思いました。古事記などの古い時代に始まった敬語がそういったお客様精神や教育意識の中で受け継がれ、今も続いているのには日本人の素晴らしさを感じました。

[【No.40の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.142 [No.40へのコメント](#)

2017-05-08

出身：町田
居住：町田

10代 女性 ログイン名：朝
タイトル：考えさせられました。

私も幼い子供に対してでもお客様なのだから敬語を使うべきだと思っていましたが、ゆきだるまさんの作文を読んで確かに柔らかく堅苦しくない言葉遣いのほうが子供に親近感や安心感を与えることができると思いました。それに実際私が敬語で話されるようになったのも、敬語の存在を意識するようになったのも中学生になってからのような気がします。でも小学生の頃、学校の先生は語尾に「です」や、「ます」がついてなくても言葉遣いにすごく気をつけていたと思います。そこにはあくまで生徒はお客様という意識とともに軽く砕けた日本語がすべてであると子供に思わせないようにしなくてはならないという無意識もあるのではないかと思います。特に習わなくてもある程度の敬語が気づくと使えようになっているのはそういった意識のおかげなのかもしれないと思いました。古事記などの古い時代に始まった敬語がそういったお客様精神や教育意識の中で受け継がれ、今も続いているのには日本人の素晴らしさを感じました。

[【No.40の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.143 [No.40へのコメント](#)

2017-05-08

出身：東京
居住：東京

10代 女性 ログイン名：shiori
タイトル：その場」に合った言葉遣い

私は模試の試験監督の場合は敬語で話す方が良いと思います。実際の入試会場では全部敬語で話されるはずだから生徒にとってもその方がいいと思います。少なくとも私が受けた中学は敬語で話されました。

でも、確かに小学生は敬語を使われたいほうが話しやすいと感じると思います。だからおっしゃるようにその場その場に合わせた言葉遣いで円滑に物事を伝え、お互い良い気持ちでコミュニケーションを取ることが大事だと思います。小学生の模試の場合も前に立って何かを話すときは敬語で個人的に何かを聞かれたら柔らかい口調で話すなど時と場合によって変えることがいいのではないかと思います。

これから先どのような言葉遣い、話し方をするかによって相手からの自分への評価が大きく左右すると思うので、まだ大目に見てもらえる大学生のうちに言葉遣いや話し方を学ぶことが社会に出たときに役立つと私は思っています。相手からも良い印象を持ってもらえる言葉遣いをするのが一番大切だと思います。

乱文にて失礼いたしました。

[【No.40の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.319 [No.40へのコメント](#)

2017-05-18

出身：中国
居住：日本

回答しない ログイン名：太陽
無答 タイトル：ひとによって

私は留学生なのに、実は日本の言葉遣いについてまだ迷っています。でも、私なら、この問題に対して、人によって言葉遣いが違います。相手とは初対面の場合ならば、敬語を使うほうがいいじゃないの。初対面の相手と話すとき、敬語を使ったら、相手は尊敬されることが感じできると思います。私は授業を受けるとき、先生も丁寧の言葉を使いました。もし、相手と知り合いとか、関係がいい人ならば、相手も距離関係が分かるので、敬語を使わなくても、大丈夫だと思います。それは相手も親しい感じができるとおもいます。

以上は私の考えなので、よければ、参考してください。

[【No.40の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

コメントありがとうございました。

たしかに、幼いころから先生や親は言葉遣いに注意していたことを思い出しました。そして成長するにつれて、目上の人にはきちんとした言葉遣いできちんとした敬語を使うことが当たり前というか、使えないと恥ずかしいと思うようになりました。そう自然に思ってしまうことというのも、敬語を使う文化があまりない国などからすると、珍しいことであり、素敵なことであると、朝さんのコメントを読んで改めて感じました。

私は言い方によって、相手の感じ方や相手の自分への感情が変わるように思っています。間違っている敬語は恥ずかしいものですが、それでも、敬語を曲がりなりに使おうとしている姿勢は伝わるのではと思います。逆に、私が今回取り上げたテーマのように、敬語を使わないほうが相手に届くこともある。その塩梅を臨機応変に対応できる人が「大人」であり、他者とうまく付き合える人かなと思います。私はそんな人になりたいです。貴重なご意見、本当にありがとうございました。

[【No.40の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

そうですね、次回試験監督のアルバイトをする際の参考になりました。コメントありがとうございます。今後は社会人となり、さらに子供扱いされない立場になっていくことでしょう。その際にきちんとした敬語が使えない大人では恥ずかしいなとも私も思います。ミスが許される今の「大学生」という立場の間に、できるだけ敬語を使いこなせるようになっておきたいです。

ちなみに私は試験監督のほかに、販売の接客業のアルバイトを始めたのですが、そこでは未だに慣れない仕事で、人間関係も一から築いていかなければならないという点で、つらいことがまだまだ多いです。しかし、私が今その仕事のメリットを感じられていることは、「敬語」であり「言葉遣い」です。たまに「あれ、おかしい言葉遣いになってしまった！」と心の中で思いながらも、言葉遣いや敬語についてきちんと考える機会や時間は作ろうと思ってもなかなかしにくいので、そういう機会が社会人になる前に作ることができて、良かったなとも思います。貴重なご意見、ありがとうございました。

[【No.40の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

留学生だからこそ、迷うのではと思います。というか、日本で18年間生きてきた私よりも敬語の使い方や言葉遣いがうまいなら尊敬しますし、嫉妬してしまうかもしれませんが、、、冗談ですが、参考になるコメント、ありがとうございます。

私も初対面の人に話す際には、立場にもよりますが、丁寧語が一番無難かなと思います。初対面の際には相手の情報が限りなく少ない状況ですし、はじめから嫌われたくはないために失礼のないようにするのが、人間の普通の感情ではないかなと思います。そんなときに丁寧語は便利です。

さて、私のアルバイトである試験監督は複数の、もちろん初対面の小学生が相手です。あれからもう一度試験監督をする機会があり、私も色々考えたのですが、やはり笑顔でわかりやすい言葉で話してあげると安心してくれるのではと思いました。が、それなりに模擬試験ですのである程度の緊張感も大切ですので、丁寧語を使い、最低限必要なことを伝えました。改めて考える機会があつて良かったです。貴重なご意見、ありがとうございました。

[【No.40の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

年をとるにつれて、大人として子どもと接すると、言葉の使い方が難しいと感じる時がある。特に小学生において、私は難しいと感じる。

私は以前、幼稚園と小学校において職業体験を行ったことがある。幼稚園児には「よくできたね」や「こわくないよ」といったように、語尾に「～だね」や「～よ」という言葉づかいを心がけるよう、担当の先生から指導を受けた。園児たちや保護者から言葉づかいについて苦情を受けるようなことはなく、受け入れられていた。

だが、その次に行った小学校の実習ではそうではなかった。学年が上がるにつれて、「大人扱い」してほしいようだ。例えば、1年生（5歳から6歳）には幼稚園児に対しての言葉づかいは受け入れた。それに対して、小学校4年生（9歳から10歳）以上は「そんなに子ども扱いしないで」「敬語つかって」といった対応を求められた。大人の私は「4、5歳なんて、そんなに変わらないじゃないか。」と思いつつ、できるだけ敬語で話していた。

正直、私がおその年齢だったころ、子ども扱いされるのはものすごく嫌だった。今になって考えてみると、中学生から先輩、後輩といったように人間関係が複雑になってくる。小学生は6年間の間で親や兄弟、先生からそれを知らず知らずのうちに感じ取っているがゆえに求めているのではないだろうか。そして、大人である私たちが、大人扱いしつつもまだ子どもであることには変わらない小学生に対してどのような言葉づかいをしていけばよいのかと疑問に思う今日この頃である。

[【コメントを書く】](#)

あんまり考えたことのないことではありますが、今考えてみたら、小学生の場合は確かにそういうことがあるかもしれません。

まず、人はそれぞれだという点に注目してほしいです。同じ歳の人でも、自分のことに子供扱いをせずにちゃんと大人として認めてほしいという人と、そうでない人がいます。その人と最初に会った時点でそれを見分けることは難しいが、ちょっと話（もちろん敬語で）をしたら、相手は自己意識が強いかどうか、「大人扱いをしてほしい」という意思を示しているのかが分かるようになると思います。それが分かったらそれなりの対応をすれば良いのではないかな。

敬語というもの、もちろん僕の国（中国）にもあるんですが、「敬意」の程度は日本語ほど細かく分けられていないです。「ね」や「よ」のような句尾に付いている、和らげという働きをするような感じの言葉は、中国語にはないです。よって、幼稚園児に対しても小学生に対しても、大人に対するような言葉遣いをするのです。

日本語はちゃんとした敬語あってこそ、人と人の付き合いが難しくなるなんだと改めて思いました。

[【No.39の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

メロンパンさん、コメントありがとうございます。

日本語の敬語の複雑さは、日本人である私ではなかなか気づきませんでした。日本語の複雑さ故に相手に対して余計に複雑に考えているのかもしれない。相手の様子を窺い、差し障りのない言葉を使いつつ会

話をしていけば、相手に対する言葉の「扱い方」は、わかるように思えます。ですが、私の場合、相手の言葉の先を考えなくてはとってしまう傾向があるようです。相手に合わせて言葉を選ぶというより、年下の小学生に対しては「私のほうが年上だから、しっかりしなくては」とどうも自分の意識が先行してしまっているように思えます。自分の子どもの頃「大人はきっと、こう考えている」と思っていたことと照らし合わせているのかもしれませんが。

少しの会話で、まずは自分の自己意識を抑え、相手の自己意識を窺いながら、会話を進めていくということが私にとってはこれから先、必要なのではないかと思いました。

[【No.39の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.38

作文

2017-04-24

出身： 埼玉県
居住： 埼玉県

10代 女性 ログイン名： みかん
タイトル： 顔を見て話ができないとき

私が最も言葉づかいに悩む時は、話す相手と顔を合わせて話すことのできない状況の時です。顔が見えないと相手がどんな気持ちで聞いているのか不安になってしまうことがあります。そして、意思疎通ができなくなり、気持ちがすれ違い、トラブルに発展してしまうかもしれません。また、相手の声色が変わった時、相手の表情や状況を確認することができないので、自分が何か変なことを言ってしまったのではないかと心配になります。そのため、相手の顔を見て話ができない時は、緊張してしまい、特に話す言葉に慎重になります。

私は、電話をする時が特に言葉づかいに悩みます。なぜなら電話の場合、相手が置かれている状況や表情がわからないからです。相手が忙しかったり、都合が悪かったりすると失礼になってしまいます。また、メールと違い、相手に失礼なことを言っていないかどうかを時間をかけてよく考えてから話すことができません。失礼でないかどうかを瞬時に判断し、話さなければなりません。それが原因で私は言葉づかいに悩み、電話をすることが苦手になってしまいました。

また、SNSで会話をする時は、言葉づかいにさらに注意する必要があると思います。なぜなら話す相手が見知らぬ人である可能性が高いからです。さらに、不特定多数の人々が発言した人の発言内容を見ており、一度発言した言葉は取り消すことができません。言葉づかいに失敗すると、人生を台無しにしてしまうほど恐ろしいと思いました。

このように電話やSNSでは相手の表情を見ることができないため、言葉づかいに特に慎重になります。電話の場合、最初に相手の都合を聞くことが大切だと思いました。そして、要件を予めまとめておき、言葉づかいが間違っていないかどうかをシミュレーションしておくのも良いと思いました。SNSの場合、発言する内容を時間をかけてじっくりと考え、誰が見ても大丈夫な内容を発信するべきだと思いました。

[【コメントを書く】](#)

No.90

[No.38](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 静岡
居住： 東京

20代 男性 ログイン名： 冷やし中華始めませんか
タイトル： こうなったらテレビ電話しかない

私も同じ場面で悩みます。特に電話での会話や、SNSで個別に話すときなど、互いの顔を見ずに一对一の場面でコミュニケーションをとるときに困ることが多いです。

前述のような、相手の顔を見ずに、声色や文面だけで感情を判断しなければいけない場での会話は、本当に難しいと思います。顔が見えていない分、相手の口調が少しでも変わると、それに敏感になってしまいがちです。かといって、あまりしつこく「どうした??」と聞いてしまうと、それもそれで相手の状況を損ねることがあるので、本当に難しいです。これといった解決策はないのかもしれませんが、相手の機微を感じ取れるような会話がしたいな、といつも感じます。私も、電話の際には、最初に相手の都合をしっかり聞いてみるようにします。

また、あなたの、SNSで不特定多数に発信する際に気を付けなければならない、という言葉には共感しました。私も、あらかじめ発信前に内容を見直すようにしよう、と改めて思いました。

[【No.38の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.109 [No.38](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 静岡
居住： 東京

10代 女性

ログイン名： **ぴー**
タイトル：共感しました

私も電話やSNSが苦手です。バイトの面接の申し込みや返事の電話などいつも緊張してしまいます。失礼があつてはいけないのはわかっていますが、普段敬語を使って話す機会はないため慣れておらず、その場でどのように敬語を使うのかわからなくなってしまいます。最初に話始める言葉はメモしておいて始めると落ち着いて電話することができます。ですが、やはり予想していないことが起きた時には困ってしまい砕けた言い方が出てしまいます。その際に相手がどのような表情をしたのかが見えないおので、とても不安になることがあります。

SNSもやはり顔が見えていないのと、多くの人が見ていると思うとうかつに発言できないなと感じてしまい、ほとんど発言しません。相手の顔が見えないのはこんなにも違うのかと思うほど、文面からではわからないことが多く、会って話すことが一番いいことなのだなと改めて実感しました。私は友人からラインの反応が少し冷めた感じにとれるよと指摘されたことがあり、とても驚きました。自分では喜んで送っていた文面も、絵文字などがないと怖く感じてしまうというのはとても難しいなと思いました。指摘されて以降は絵文字をうまく使うことで、冷めた文面にはならなくなりました。ですが指摘されるまで気づかなかったのはとても恐ろしいなと思いました。

みかんさんのようにきちんと今後の対策を考えるのはとても良いことだと思いました。

[【No.38の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.334 [No.38](#)へのコメント

2017-05-22

出身： オーストラリア
居住： オーストラリア

10代 男性

ログイン名： **kumamon**
タイトル：言葉遣いと気遣いの難しさ

みかんさんと同じような理由で私も電話が苦手です。特に知り合いや友人に電話を掛けるときは時間帯などを考慮して恐る恐る掛けています。また、電話では感情が相手に伝わりにくいので自分の話し方が相手に怒っているように聞こえないか、威張っているように聞こえているのではないかと考えてしまいます。そのため、相手に勘違いをされないような言葉を選ばなければいけないので大変です。ですが、会社や飲食店に電話はする際には、自分がお客という前提があるので逆に気軽に話せます。

私はSNSでは知り合いだけが見れるコメントしか書かないので、あまり言葉遣いを気にしていませんでした。ですが、私はユーチューブの動画などによくコメントを載せるので、その際には言葉遣いや論議を呼ぶような内容を書かないように気を付けています。しかし、ユーチューブのコメント欄は匿名性で素性がばれないので、それを逆手に取って誰に対しても批判をする人が多くいます。SNSでもそのような人たちを見たことはありますが、身元がばれる可能性が高いので中傷コメントは少ないと思います。最近では就職の際にSNSをチェックされたりすと聞いたことがあります。言葉遣いの間違いなどで人生が台無しになる可能性がたしかにあるので注意しなければいけませんね。

[【No.38の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.388 [No.38](#)へのコメント

2017-05-29

出身： 埼玉県
居住： 埼玉県

10代 女性

ログイン名： **みかん**
タイトル：参考にします

コメント、ありがとうございました。ぴーさんの「最初に話し始める言葉はメモしておいて始める」ということがとても参考になりました。今後、実践してみようと思います。私もアルバイト先に電話をしたときに予想外のことを言われ、戸惑ったことがあります。そのときにアルバイト先の人の声色が少し変わり、とても不安になりました。電話だったので、もちろん表情はわからなく、さらに不安になりました。このように思っているのが私だけではないと思うと少し安心しました。

私は、ラインなどで気持ちを表現するのは苦手です。そもそも文章を考えることが苦手なので上手に気持ちを表現できずに相手に誤解されてしまうことがあるかもしれません。だから、直接会えた時はできるだけ多く話すようにしています。ぴーさんの「絵文字をうまく使う」ということも参考にしたいです。私は普段、ビックリマークばかり使っているので明るい絵文字を使って、少しでも誤解されることのないようにしようと思います。

[【No.38の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.390

[No.38](#)の筆者から

2017-05-29

出身： 埼玉県
居住： 埼玉県

10代 女性 ログイン名： みかん
タイトル： 参考にします

コメント、ありがとうございました。ぴーさんの「最初に話し始める言葉はメモしておいて始める」ということがとても参考になりました。今後、実践してみようと思います。私もアルバイト先に電話をしたときに予想外のことを言われ、戸惑ったことがあります。そのときにアルバイト先の人声色が少し変わり、とても不安になりました。電話だったので、もちろん表情はわからなく、さらに不安になりました。このように思っているのが私だけではないと思うと少し安心しました。

私は、ラインなどで気持ちを表現するのは苦手です。そもそも文章を考えることが苦手なので上手に気持ちを表現できずに相手に誤解されてしまうことがあるかもしれません。だから、直接会えた時はできるだけ多く話すようにしています。ぴーさんの「絵文字をうまく使う」ということも参考にしたいです。私は普段、ビックリマークばかり使っているので明るい絵文字を使って、少しでも誤解されることのないようにしようと思います。

[【No.38の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.402

[No.38](#)の筆者から

2017-05-29

出身： 埼玉県
居住： 埼玉県

10代 女性 ログイン名： みかん
タイトル： 驚きました

コメント、ありがとうございました。Kumamonさんの「会社や飲食店に電話する際には自分がお客だという前提があるので気軽に話せる」ということに共感しました。宅急便の再配達などで運送業者に電話をすることがあります。そのときは、多少緊張はしますが、アルバイトの面接のことで電話をするときほどは緊張しません。この時に、逆に自分が運送業者の立場だったら、物凄く緊張していたのではないかと思います。このように立場によって相手の顔が見えなくても緊張の度合いが違うことに気が付きました。

私は、ユーチューブのコメント欄をあまり見ないので、誰に対しても批判する人が多くいると聞いて驚きました。批判された本人の気持ちを考えると悲しくなります。素性をばらしてからユーチューブのコメントをしたほうが誰も傷つかなくて済むと思います。

また、私も就職の際にSNSをチェックされると高校生のころに教えられました。私は問題になるようなことは書き込みをしない自信がありますが、万が一のことを考えてSNSには書き込みをしないようにしています。

[【No.38の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.403

[No.38](#)の筆者から

2017-05-29

出身： 埼玉県
居住： 埼玉県

10代 女性 ログイン名： みかん
タイトル： 共感しました

コメント、ありがとうございました。共感してくださる部分があつてうれしいです。私も冷やし中華始めませんかさんの「相手の機微を感じ取れるような会話がしたい」ということに共感しました。電話などの相手の顔を見て話すことができないときだけでなく、相手の顔を見て話すことのできる普段の日常会話の中でもそれは重要なことだと思います。そして、相手の立場に立ってみて話そうと思いました。また、グループでラインをするときは、特に発言に注意しなければならないと思いました。そんなときに冷やし中華始めませんかさんが提案してくださったテレビ電話も便利だと思いました。私は、スマートフォンで友達と使ったことがあるのですが、電話と違った新鮮味があつて楽しかったです。また、しっかりと相手の顔を見て話すことができるので相手の喜怒哀楽がわかり、安心します。電波の調子が悪いと使いづらいですが、できるだけテレビ電話を使いたいと思いました。

[【No.38の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.37 作文 2017-04-24 出身：日本 埼玉 10代 男性 ログイン名：おもち
居住：日本 埼玉 タイトル：親戚との会話で

私は、普段はほとんど会う機会がない親戚との会話で言葉遣いに困ります。

滅多に会うことがない親戚とは話をするときに少し緊張することがあり、家族や仲の良い友達と話すように敬語を使わずに話をするには失礼な気がして、やや抵抗があります。しかし、普段から会う機会の多い親戚と話するときには敬語はほとんど使いません。そのことから、同じ親戚であるのに相手によって敬語を使ったり、使わなかったりするの少し変であるように感じられます。特に相手が自分よりも年上で、幼少の頃にはよく会っていたが、最近は会わなくなってしまったという親戚の場合は、私自身には会っていた記憶がないので敬語を使ってしまうがちですが、相手からすれば私はよく会っていた人物になるので敬語で話をするのは他人行儀な感じで嫌だと言われることがあります。このような場合では敬語を使わずに話すことも、敬語で話すことも失礼な気がしてしまいとても困ります。

また、年齢の近い年上のいとこと年下のいとこと自分の3人で会話するという場合も言葉遣いに悩みます。年上のいとこには敬語を使い、年下のいとこには敬語を使わないという状況には少し違和感があります。しかしだからといって、年上のいとこと同じように年下のいとこにも敬語を使って話すことや、年上のいとこに年下のいとこと同じように敬語を使わずに話すこともやや変であるように感じられるので言葉遣いには非常に困ります。

そこで、これらの状況で言葉遣いに困らないようにするには、敬語を使いがちな相手には積極的に話しかけて会話をするので、自然に敬語なしで話が出来ようになることが良いと思います。

[【コメントを書く】](#)

No.88 [No.37へのコメント](#) 2017-05-01 出身：鹿児島 10代 女性 ログイン名：おんぷ
居住：神奈川県 タイトル：賛成です。

私も親戚と話ときにどちらで話していいか迷います。私の両親の実家はどちらとも遠いため、正月に一回会うくらいです。そのため、どのくらいの距離で話していいか悩みます。

小学生の頃は誰それ構わず敬語でなく話していましたが、中学生になって上下関係がしっかりしてきてから私は言葉遣いに悩むようになったと思います。また、小学生のころを思い出すと周りの年上の方々に無礼な行動をたくさんしていて申し訳なく思います。

おもちさんの「言葉遣いに困らないため積極的に話すことで自然な会話にしていく」という考えに共感しました。確かに、年上の親戚などと自然に敬語を使わず話すことで心の距離が縮まるかもしれないと思ったからです。しかし、やはり中学生や大人に近づいたとき一度敬語になることは大切だと考えました。敬語に一度なることで親戚も、礼儀を知り成長したなと思ってくれると考えるからです。

距離がつかめない年上の相手と話すとき、最初は敬語で話し、積極的に話して自然な会話にするという方法はとてもいいと思ったため実践していきたいです。

[【No.37の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.125 [No.37へのコメント](#) 2017-05-02 出身： **埼玉県** ログイン名： **みかん**
居住： 埼玉県 10代 女性 タイトル：親戚と話すための参考にします

おもちさんの作文の内容にとっても共感しました。私にも滅多に会わない親戚がいます。私が幼い頃は、敬語を使わずにタメ口で話していました。しかし、数年ぶりに会ったときに相手の親戚は年上であるのにタメ口で話していても良いのだろうか疑問に思いました。そのときから敬語を使うか使わないか迷っています。迷った結果、私はもう大人になるのであるから、敬語で話すことを決めました。しかし、実際に敬語で話してみると違和感や恥ずかしさがありました。また、親戚との心の距離がとても遠く感じました。そのため、会話がほとんどできず、後になってもっと会話をするべきだったと後悔しました。今は、会話をするためにはどうすべきか悩んでいます。そして、悩んでいた時におもちさんの作文を読みました。おもちさんがおっしゃっている「敬語を使いがちな相手には積極的に話しかけて会話をする」ということを参考にして親戚と自然に話せるようになりたいです。

[【No.37の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.251 [No.37へのコメント](#) 2017-05-14 出身： **マカオ** 回答しない ログイン名： **カンガルー**
居住： 日本 無答 タイトル：コメント

日本人は、相手が家族や親戚の場合も、言葉遣いをよく考えている。私はこの投稿を読む前に知らなかったから、少しびっくりした。私は日本人ではないので、親戚に対して、年下でも年上でも、言葉遣いを全然考えていない。

しかし、投稿と似ているところもある。私は秋入学なので、春入学の部活の同期生は私より、一学期、年下であるが、授業の一般生は私より、一学期、年上の先輩だ。また、クラスの同期生の何人かは部活の先輩や先輩の友達だ。だから、部活の先輩に敬語を使っているが、授業では、彼女に敬語を使わない。本当に微妙だと思う、私もずっと困っている。

[【No.37の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.372 [No.37の筆者から](#) 2017-05-29 出身： **日本** ログイン名： **おもち**
居住： 日本 10代 男性 タイトル：コメントへ

私は、この作文に共感を持っていてくれる人がいて嬉しい。なぜなら、自分は他人とコミュニケーションをとることに苦手意識を持っている。そのために、親戚やいとこと会話をするのに悩むのだと思っていた。つまり、私の悩みは、普通の人なら悩んだりしないようなことで、誰にもわかってもらうことのできない悩みであると思っていたからだ。しかし、私と同様のことで悩むことがある人がいたことや、私の悩みを理解してくれる人がいたことはとても嬉しく、これからは会話を積極的にしていこうという気持ちになった。

さらには、自分が提案した解決策を参考にして実践していきたいというコメントには自分の考えが間違っていないという気持ちにさせてもらい、自分に自信が持てた。自分もこれからは自分が提案した解決策を

実践して、より多くの人と自然なコミュニケーションが取れるようにしていきたいと強く思った。

[【No.37の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.386 [No.37の筆者から](#) 2017-05-29 出身：日本 10代 男性 ログイン名：おもち
居住：日本 タイトル：コメントへ

私は、この作文に共感を持ってくれている人がいて嬉しい。なぜなら、自分は他人とコミュニケーションをとることに苦手意識を持っている。そのために、親戚やいとこと会話をするのに悩むのだと思っていた。つまり、私の悩みは、普通の人なら悩んだりしないようなことで、誰にもわかってもらうことのできない悩みであると思っていたからだ。しかし、私と同様のことで悩むことがある人がいたことや、私の悩みを理解してくれる人がいたことはとても嬉しく、これからも会話を積極的にしていこうという気持ちになった。

また、自分の解決策を参考にして親戚と自然な会話ができるようになりたいという意見は私にとってとてもうれしいものであった。なぜならそれは、自分の解決策は本当に有効なものであるとあまり自信を持って言えなかったからだ。さらに言えば、「上手くいかないのではないか」と自分の解決策に疑問を感じていたからだ。しかし、私の意見を参考にして会話をしていきたいという意見は、私の意見に自信を与えてくれた。私はそれが嬉しく感じられた。

[【No.37の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.393 [No.37の筆者から](#) 2017-05-29 出身：日本 10代 男性 ログイン名：おもち
居住：日本 タイトル：コメントへ

私の意見に近い意見を海外出身の人からもらうとは思ってもいなかった。そのことに私は一番驚いた。また、大きなとらえ方として考えれば、私の意見と同じようなことが違った形で起こることがあるのだということにも驚いた。

また、私の意見は日本の文化に根付いたものであるかもしれないとは考えもしなかった。しかし、よく考えてみれば当然のことであると思った。

[【No.37の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.36 作文 2017-04-24 出身：中国・江蘇 20代 無答 ログイン名：乙乙修司
居住：日本・東京 タイトル：おじいさんは困った

Hello.nihao.hola.こんにちは。日本の宮島で、あるおじいさんは、これからの言葉遣いに悩んでいる。助けてあげよう。

昔、宮島に一人のおじいさんと一人のおばあさんが暮らしていた。おじいさんとおばあさんは愛し合っていた。

ある日、一人の女性が島にやってきた。大阪へ行く途中で疲れて、ここで二三日休むという。その女性の名は「さくら」、きれいな方ではないが、明るくて物知りの女性だった。おじいさんはさくらに、一目惚れした。自分の少ない貯金で、高価な着物と翡翠（ひすい）のかんざしを買った。もちろん、さくらのためだった。

時は無情、いよいよ別れの日。おじいさんはさくらに告白した。ただ、さくらは何も言わずに、微笑みながら汽船に乗っていた。「ブー」汽笛がきこえて、汽船が出港した。おじいさんは海に飛び込んで、必死に汽船へ向かって泳いでいた。しかし、到底着けなかった。むざんな姿で家に戻ったおじいさんは全財産

を巻き寄せて、大阪へ急いだ。それから十日後、おじいさんはさくらに会えた。

「なぜ君が？」

「会いに来たのだ。」

「あっ かんざしありがとう。では、さようなら。これからは嘘をつかないでね。」

「何が嘘？」

「わざわざ会いに来るなんて、信じられない話。海に飛び込むまで、私を追いつくなんて、そんな馬鹿々々しい男はいない、ははは。しかも君には、奥様がいるでしょう？」

おじいさんは分かった。おじいさんは悟った。

「さくらはいい子だ。私のことを考えてくれて、本当にいい子だ。」とおじいさんは思いつつ、宮島へ戻った。

そして、おじいさんは困った。

[【コメントを書く】](#)

No.124 [No.36](#)へのコメント 2017-05-02 出身：埼玉県 10代 女性 ログイン名：みかん
居住：埼玉県 タイトル：それぞれの立場になってみる

おじいさんは、愛すべきおばあさんが居るのに、別の女性を好きになってしまっただけだとは思ってはいけなかった。もちろん、さくらのことを好きになってしまったのは人間として仕方のないことであるのかもしれませんが、大人なのだからさくらのことを追いかけるのは、堪えるべきであったと思いました。おばあさんの気持ちを考えると、悲しい気持ちになります。おばあさんは、これまでおじいさんのことを支えてくれたのだらうに、裏切られたような気持ちになるのではないかと思います。さくらにとっては、うれしかったのかもしれませんが、それと同時に奥さんがいる人に好意を持たれても迷惑なだけだったのではないかと思います。おじいさんは、さくらと別れた後に宮島に戻って今までのことを正直におばあさんに話し、謝罪するべきだと思いました。それとも、どうしてもさくらのことを諦められないのであれば、おばあさんに別れを告げ、もう一度さくらを追いかけたら良いと思いました。

[【No.36の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.392 [No.36](#)の筆者から 2017-05-29 出身： 20代 無答 ログイン名：乙乙修司
居住： タイトル：おじいさん本人です

ご返事ありがとうございます。おじいさん本人です。

実は、もう幾つかのエピソードを、この作者は書いていなかった。

それは、春の頃にさくらが島に来たあと、わしを誘っていた、「一緒に大阪にいきませんか」と。当時、きっぱりと断った。そして、夜 大風で屋外の桜の木が揺り揺られ、花卉もさらさらと落ちてきた、風に乗せてわしの部屋にまで。花卉の中の幾つかがおばあさんの寝顔の上に止まっていた。月光の下で余りにも美しい。しかし、美しいのはおばあさんなのか、それとも桜の花卉なのか、分からなくなってきた。そして、そのままおばあさんの寝顔を見つめて、いつの間に夢見ている。夢のなかは春模様、満開の桜がわしの目のまえで舞い踊っている。一つの振付が終わる度、花卉がわーっと空に飛んでいて落ちてゆく。最後の花卉が地面に止まったその瞬間、大風が起き、あらゆる桜の木は消えて、裸のさくらが立っていた。

驚いて起きた。隣のおばあさんはまだ寝顔のまま、それらの花卉も何処かに行ってしまった。窓外は既に夜明け、その微弱な日差しを借りておばあさんの財布を見つけて買い物に行った。

その後のことはご存じの通り、終わった。

謝罪？謝罪のどころか、懺悔の値打ちもなく、終わった、全てが。

しかし、わしは未だにおばあさんをも、さくらをも愛している。そしてなんだかみかんさんのことも愛し始めた。

ご返事ありがとうございます。

[【No.36の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.35 作文 2017-04-24 出身：中国 20代 男性 ログイン名：墨文
居住：日本 タイトル：言葉に悩む、微妙な人間関係の取り方

私は日本に住んでいる時間はまだ長くないため、日本語もまだまだなところもあると思う。そのため、言葉使いに悩むときと言われたら、おおむねに敬語とか、カタカナ語など硬いことしか浮かべなかった。それでも、日常で起こったことがなくもない。クラスメートからLINEの話を聞き、自分もネットであったことを思い出した。例えば、ネットで会話するといつて、顔さえも知らない人だから、初めは敬語を使うのは普通だと思う。しかし、声をかけられる人から、普通体を使っていることが多くあった。その時は結構悩んでいた。相手の年齢、性別さえも知らないのに、いきなり普通体で返事するのは良いことだろうか。その時、相手の普通体にかかわらず、自分が敬語で返事したら、相手も敬語に変わった。そのように、互いに敬語を使えば、元々縮める関係が妙に遠くなったような気がする。これは日本語の問題だけではなく、人間関係の取り方にもかかわるため、難しいと思う。

また、前に住んでいたところにはエレベーターがあった。時には家に帰る小学生と一緒に乗ることがある。その時<何階ですか？>と声をかけるのは普通だと思うが、小学生が妙な顔をし、変な人を見るような目で私を見た。どこがおかしいだろうかと思っていた。確かに年下の子供だと言っても、全然知らない子だから、馴れ馴れしく声をかけるほうがおかしいのではないか。

要するに、自分の発言が他人の中にどんな印象が残ったかに気になる時、言葉遣いに悩むのだと思う。そこで、人間関係の取り方をわからないと、悩むことは続けるだろうと考えさせられた。

[【コメントを書く】](#)

No.94 [No.35へのコメント](#) 2017-05-01 出身：日本 10代 女性 ログイン名：chocomoo
居住：日本 タイトル：距離の取り方

日本語を場面ごとに使い分ける、というのは本当に難しいことですよ。日本人の私でも使い方に困ることは多くあります。特に初対面の人との距離の取り方は、大学に入ってからより悩むようになりました。パッと見た感じでは何年生かわからない、ましてや同じ学年でも浪人生かもしれない。確かに最初は固くなってしまいかもしれません。すこし距離が遠くなってしまいかもしれません。しかし、その人と本当に仲良くなりたい、話したいと思うなら、笑顔でまた話しかければ相手も快く話してくれることと思います。初めて話す子供に対しても、ただ本当に知らない人として話しかけるのではなく、年上として、子供が打ち解けやすいような表情、話し方をするといいのではないかなと私は思います。

今回あなたの作文を読んで、共感できる部分が多くありました。今すぐ解決できることばかりではないと思いますが、一つずつ自分の納得できる言葉遣いをお互いに見つけられるといいですね。

[【No.35の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.395 [No.35の筆者から](#) 2017-05-29 出身：中国 20代 男性 ログイン名：墨文
居住：日本 タイトル：コメントありがとうございます

コメントありがとうございます。chocomooさんの話を聞き、少しすっきりしました。そういう人と人の絆もすぐできるわけでもないから、それなりの時間が必要でしょうね。急げば急ぐほど、相手をちゃんと理解することはできません。一つ一つ話のやり取りから、相手との接し方を模索していくことで、相手に

対する言葉使いがわかるようになるでしょう。そのほうが得られた友情も固いでしょうね。

子供との接する方法も勉強になりました。知らないといっても、自分が年上だから、子供に気を遣い、難しい言葉を避け、親切で話しかけるのは無難でしょうね。

言葉は人と人の接し方もつないでいるから、難しいことが次々と出てくる。しかし、人と接するのは私たち日常のもので、毎日会話しており、そこからいろいろ学べるのも楽しいことです。難しいからこそ、そこから生まれるものは素晴らしいと思います。だから、これからも人との接し方、日本の文化を理解するよう頑張ります。

[【No.35の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.34 作文 2017-04-24 出身：埼玉 10代 女性 ログイン名：moka
居住：埼玉 タイトル：敬語の使い分け

日本では、上下関係や先輩、後輩という関係が強く意識されるが、年上の人と付き合っていく上で、敬語はなくてはならないものであると思う。しかし、敬語といっても様々な種類がある。学校の授業で学ぶ敬語の形は、一番正しい形であると思うが、日常会話で一つ年上の先輩に「いらっしゃる」や「おっしゃる」というような敬語を使うと、堅苦しく聞こえ、少し距離感が生まれてしまう気がする。

私は高校の部活動の先輩と仲が良く、色々な相談をすることもある。その際に、私が先輩に対して先ほど挙げたような、堅苦しい敬語を使うことはない。もちろん、年上であるから、タメ口で話すことは、失礼にあたると思うが、あまりにも堅苦しい敬語を使って話してしまうと、自分が思っていることを上手く伝えることができなくなってしまい、打ち解けるのが難しくなると思う。

では、どのような言葉遣いがいいのかというと、私は、語尾に「です」や「ます」をつける程度の少し砕けた敬語を使うことは、一つか二つくらい歳の離れた先輩に対してなら、問題ないと思う。その方が親近感も沸くし、言いたいことをわかりやすく伝えられ、会話もスムーズに進んでいくと思う。しかし、先生や社会人になって上司と会話する際には、砕けすぎた敬語は、失礼にあたると思うので、敬語にも、TPOがあると思う。

上下関係は、これからも避けては通れないものであるなので、会話する相手や、TPOをよく考えて、正しい敬語を使うことはとても重要であるが、年上の人とより良い関係を築いていくためには、その場面にあった敬語を見極めて使うことが重要である。

[【コメントを書く】](#)

No.97 [No.34へのコメント](#) 2017-05-01 出身：千葉 10代 女性 ログイン名：まり
居住：千葉 タイトル：敬語の難しさへの感想

日本では先輩と後輩の意識が強く、言葉遣いに悩むことが確かに多い。敬語を目上の人に使うのは当たり前のことだが、使い次第で堅苦しくも、失礼にもなるのでややこし問題となる。

目上の人を意識するあまり、「おっしゃる」や「いらっしゃる」など堅苦しい敬語ばかりを使うと、かえって距離を置きすぎて親睦が深まらない。逆に、敬語を崩しすぎても、会社やその会社の顧客などの目上の方に対して接する時にきちんとした言葉遣いではないと印象が悪く、失礼に当たる。

自分で適当な関係、言葉遣いを使えばいいが、そうは上手くいかないのが現実で、失礼をしたときに素直に謝罪したり、堅苦しくて距離を感じたときは次からの対応を変えたりと言葉遣いに悩んだ後の対応が重要だと思う。相手に謝ったり、相手との距離を詰めたり非常に難しいとは思いますが、そこで勇気を振り絞り、相手に歩み寄ることが大切なことだと思った。

No.385

[No.34](#)の筆者から

2017-05-29

出身： 埼玉
居住： 埼玉

10代 女性

ログイン名： **moka**

タイトル：敬語を使うときに気をつけるべきこと

学生の間は、先輩に敬語で話していて少し間違えたとしても、それほど気に留める人は多くなし、同じ大学やサークルの中で関わっていれば、上下関係はあるにしても、自然と距離は縮まっていて、崩れた敬語で会話をしている、お互いにそれほど気にしなくなることもあると思う。

しかし、私たちが社会に出ると、今まで関わったことのないような偉い人や、取引先のお客さんと話す機会が多くなる。こういったときに、学生のときに使っていたような崩れた敬語を使ってしまうと、相手には不快感を与えてしまい、自分への信頼感を失い、更には自分の会社に悪いイメージを与えてしまうことになり、学生の時にはなかった大きな責任が伴ってくる。

社会人になったからといって、みんなが正しい敬語を使えるとは限らないので、まりさんが言っていたように、間違ってしまったらその後の対処法はしっかり考えておくべきだと思った。これもまた、場面ごとに敬語を使い分けると同じように敬語を使う上で気を付けるべき点であると思う。

[【No.34の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.33

作文

2017-04-24

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

20代 男性

ログイン名： **Noddy**

タイトル：目上の人にはじめてメールを送るとき言葉遣い

私が大学に入学して担当の教授や講師からメールアドレスをもらったとする。後になって、そのメールアドレスを用いて、担当教授や講師にはじめてメールをする時に言葉遣いに悩むことがある。

私にとって、大学の担当教授や講師というのは目上の人なので、言葉遣いは丁寧にすべきである。しかし、担当教授や講師のことをよく知らないからといって変に気を遣って、丁寧すぎる文章を書いてしまうというのも問題である。なぜならば、そのような文章は相手に「私はあなたに気を遣っていますよ」というアピールを魅せることはできるが、丁寧すぎるため文章がガチガチになってしまって、相手に何をいいたいのかという要旨の部分が分からなくなる可能性がある。また、丁寧すぎる故に、相手を萎縮させてしまうだろう。

しかし、相手にわかり易い文章を目指して砕けた表現で送るのもまた問題が起きる。砕けた表現にすれば、内容も簡潔になり、相手に何をいいたいのかという要旨を見つけるのも容易になるだろう。しかし、相手が目上の人である場合、相手に対する言葉遣いに気をつけなければ相手は「自分は気を遣われていないのか」と思わせる可能性がある。その結果、相手を怒らせてしまうことがある。

結果、相手が目上の人の場合にメールを送る時は相手に要旨が伝わるように、そして相手に対する言葉遣いを意識して送らなければいけないということである。しかし、これらを完全に満たすメールを相手に送ることは容易なことではない。それぞれをどれくらいの比率で書かなくてはならないのか、それが分からないため、私は毎回、担当教授や講師にメールを送るとき、悩まされているのだ。

[【コメントを書く】](#)

No.91

[No.33](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 日本
居住： 東京

10代 男性

ログイン名： **はなこ**

タイトル：あ

私も受験後、六年間お世話になった学校の先生にお手紙を渡そうと思い書いていた時に同じことに悩まされました。私は失礼ながらも先生との会話において普段は敬語をあまり使わず、フランクな話し方で接していたので、いざ手紙を書こうとなったときに、敬語の堅い文章をかくのか、いつも通りフランクなしゃべり口調で書くのかなやみました。結果私はカチカチの敬語のお手紙を書きました。たしかに敬語ではない方が伝わりやすい表現もたくさんありますが、それ以上に今までの恩、感謝、尊敬の念が強かったので敬語の文章にしました。

Noddyさんの作文は私のような一度きりの手紙ではなく、塾講師との連絡程度のメールや手紙のやり取りなので、わたしは伝わりやすさを優先するのがいいと思いました。敬語を使ったが故に本当に伝えたかった内容が伝わらず、間違ったことが伝達したり、二度手間になってしまうよりも、内容をまず正確に伝えることがそのメールの主旨だと思うからです。少し敬語を使ってなかったり、間違ったりしても怒る人は少ないはずですから、。

[【No.33の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.367

[No.33](#)の筆者から

2017-05-29

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

20代 男性

ログイン名： Noddy
タイトル： 納得しました

コメント頂戴ありがとうございます。拝読しました。はなこさんの経験談等を交えていてとても説得力のある内容の作文でした。まず、みんなも堅いメール・作文にすべきか、フランクなメール・作文にすべきか迷うのだなと感じました。確かに初対面の人との簡単なメール・手紙のやり取りと6年間お世話になった先生に感謝の念を伝えるとでは、内容と敬語の比率というのは違ってきますね。私が投稿した問題点は「初対面の教授にメールを送りたいのだけどうすれば？」というものだったので、この場合は敬語を多くするよりも内容を分かりやすくしたほうがいいのだなと感じました。だって、相手にいい印象を持たせるために内容が上手く伝わらず二度手間になってしまっは相手もいい顔をしない、すなわち本末転倒ですものね。実際、私は初めて教授にメールを送った時に失敗したので投稿をしたのですが、これをもっと前に聞いていれば失敗せずに円滑に進んでいただいでしょうに！なんて思いました。これをいい機会に次に教授にメールするときは気を付けたいと思います。勉強になりました。

[【No.33の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.32

作文

2017-04-24

出身： 千葉
居住： 千葉

10代 女性

ログイン名： まり
タイトル： 目上の人に対する敬い方

私は、小学生から高校生までの9年間陸上競技部に所属していた。体育会系の部活ということもあり、先輩と後輩の立場の区別や、先輩に対しての言葉使い、礼儀等は非常に厳しかった。そこで言葉遣いに悩んだ。

例えば、部活動をしていく最中や廊下ですれ違った時など、直接対面している時でも敬語は欠かせない。だが、初めのうちは先輩と後輩を意識して敬うことをわすれないが、仲が深まるにつれて立場があやふやになり言葉使いが雑になる。また、仲が深まっているのに変に敬語を使うとかしこまった感じになり、気まずくなってしまう。しかし、話す時の表情や話し方や声色で先輩との友好的な関係築くことができる。

そして、コミュニケーションアプリの一種であるラインやツイッターなどのSNSで先輩と会話をする時も言葉使いや表現に気を遣う。なぜなら、一つ目の例の場合は直接話すことで感情を伝えやすいが、文字では感情までは読み取ることが出来ないからだ。先輩の読み取り方一つで敬語を使っても馴れ馴れしく見えたり、逆にかしこまり過ぎて先輩との距離を感じてしまったりする事がある。文字で表現する場合は目上や先輩に限らず、友人でも誤解を招きやすい。そこで、携帯電話の機能の一つである絵文字や笑、泣などの感情を表す漢字、ラインの機能であるスタンプを添えることで自分の感情を表現できる。

直接話す場合と文面だけで会話する場合の二つの場合のどちらも言えることは、親しき仲にも礼儀ありだ

ていたものが方言だったと他人からの指摘で、気づかされることもよくあります。例えば、モノサシのことをサシということなどがあります。話し言葉のイントネーションも全く違うので方言が強い地方出身者にとってイントネーションはみんな大敵に感じていると思います。友達からは「隠さないほうがいいよ」「方言がかわいい」とよくいわれますが、私からすると不思議でたまりません。また標準語に慣れてないので、男のひとが語尾に「よね」「なの」など普段聞きなれていなかった語尾をつけて話すことにすごく違和感をおぼえ、一瞬しゃべり方がおかまだな、と感じることがあります。方言がある人だからこその悩みだと思います。同じ出身地の人とこの情報を共有したとき、みんなやはり思っていることは一緒に安心しました。同じ日本なのになぜ方言という違いがあるのか日本語は複雑だなと思います。

結果方言を直し標準語をマスターするには時間と経験が必要であり、これからの大学生活で標準語を完璧にしゃべれるようになる様、頑張りたいと思います。

[【コメントを書く】](#)

No.118

[No.31](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

10代 女性 ログイン名： もけけ
タイトル： 感想

作文を読ませていただきました。私は出身も育ちも関東なので、感じたことのない悩みでした。地方出身の方が苦労していることを知ることができました。

地方出身の方に会おうとよくやってしまうことが「方言でしゃべってみて。」と言うことです。しかし、方言をコンプレックスに思っている方が少なくないということを知り、気を付けたいと思うようになりました。

私は修学旅行で広島に行きました。広島での民泊の体験があります。民泊の家の方は、思い切り方言を使っていて、イントネーションの微妙な違いもありました。しかし、私はその方々が話していた言葉はとても素敵だと思いました。方言というのは、文化の違いだと私は思っています。各地域によって文化が違うというのはとても面白いことだと思います。文化の違いのおかげでその地域の名産品が生まれ、日本の産業が発達したと考えられるからです。私は、文化の違いを肌で感じるために国内旅行を試してみたいと思っています。

[【No.31の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.130

[No.31](#)へのコメント

2017-05-06

出身： 中国
居住： 日本

20代 男性 ログイン名： 墨文
タイトル： 方言も文化の一つ、自信をもって話したら

友達のいう通り、方言など気にしないほうが良いと私は思う。はなこさんは方言が汚いというのは、すこし言いすぎの感じで、地元の人たちが聞かれたら、傷つけてしまうだろう。国と同じく、言葉が違って、それなりに文化の違いもあると思う。同じ日本でも違うところに住み、その文化があり、たまには自分からそういう文化を表現するのも、いいではないか。もしかすると、友達もそういう違いが気づかなかつたりして、楽しく受け入れるのではないかと私は思う。

[この世界の片隅に]という映画ある。広島弁を使った映画だ。その時、前に座った二人の中、一人が広島の人だと思い、映画が終わった後で、隣の人に説明していた。そういうことを経て、理解を深まるのもいいことではないかと思う。

私は中国人で、中国でもいろいろな方言があり、南の方言は外国語のように取り扱われていることもあり、多くの人々がそれを勉強している。別に東京に住むことで、全く方言を捨てようと思わずに、自信をもって慣れていくことが大事ではないかと私は思う。

[【No.31の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

コメントありがとうございます。「方言をしゃべってみて」は本当によくふられることなので最初はコミュ障の私にとっては、話のタネになって、逆にありがたかった部分も実際あります。。。
 広島の人とはとても素敵な経験ですね。おじいさん、おばあさんの代になると私たちよりも方言がきつく、同じ県民でさえ、わからないような方言を使ってくることも多々あります。
 同じ故郷の人としゃべる時に私は今でも自然と方言になってしまいます。しかし東京にきて約2か月、方言を治すことを意識していたおかげか、地元の人と話す言葉までもが標準語化してきているといわれました。嬉しいけれど、悲しいような。。。

‘文化の違いのおかげでその地域の名産品が生まれ、日本の産業が発達したと考えられるから’というわけさんの考え方は本当にその通りだと思います。国内旅行ぜひ実行して楽しんでください。

[【No.31の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

コメントありがとうございます。確かに方言が汚いというのは言い過ぎている感じはあるかもしれませんが。墨文さんのおっしゃる通り、国と同じく、言葉が違って、それなりに文化の違いもあると思う、という意見に私もその通りだと共感します。みんなが同じだと面白味もないですもんね。方言も個性の一部であると考えるようにします。最近標準語に慣れてきて、方言を使う機会が全然なくなり、どこか寂しさを感じている自分があるので不思議なものです、、、。方言がきっかけとなり、友達との距離が深まる、なんてこともある様ですね。これからは、もう少し方言に自信をもっていけるように頑張ります。

[【No.31の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

皆さんは自分より小さな子供との接し方で困ったことはないだろうか。私はある。子供はまだわからない言葉が多い。自分が年上の人と話すときはあまり意識しないかもしれないが、年下の人と話すときは自分が相手の言葉を補ってあげなければならない。

例えば、難しい言葉、言い回しを使ってしまったときはどうなるだろうか。きっと子供はその言葉の意味を聞いてくるだろう。普段私たちが間違った認識で使ってしまった言葉は多くある。子供に言葉の意味を聞かれた時、正しく答えられる自信がないと答える人が大半であろう。相手が外国人の時も同じである。私たちは一度、日本語が正しく使えているのかを確認すべきだと思う。

また、言葉遣いも気を付けなければならない。私たちが普段友達と話すときに使う言葉遣いの中には、少し下品な言葉や、意味を説明できないものがある。そのような言葉を子供に対して多用してしまうと、子供に悪影響を及ぼしてしまうかもしれない。もちろん、いつでもどこでもきちんとした言葉を使う必要はないと思う。しかし、これからたくさんさんの言葉を覚え、使っていく子供には正しい言葉の使い方を身につけてほしいと思う。そのためには自分をはじめ、周りの大人たちが良い環境を作ってあげることが大事だ。

私たちが言葉の使い方で悩むことは日常茶飯事だ。しかしそのとき悩んだことをそのままないがしろにせず、自分で言葉の意味を調べたり、それでも悩むことは友達や先生に相談したりするなど、自分から解決するようにできたらいいと思う。そうすれば、自分の言葉遣いに自信を持てるようになり、周りとも良

い関係が築けるようになるのではないだろうか。

[【コメントを書く】](#)

No.138 [No.30](#)へのコメント 2017-05-08 出身: **japan** 10代 男性 ログイン名: **yeah!**
居住: タイトル: 感想

自分も小さい子供と話すときに心がけていることがあります。
難しい言葉を避けたり、相手の目線に合わせてたりなど色々気を使って会話しています。
友人と話すときのようなノリで話してはあまりよくないし、子供はすぐ周りの真似をしたがるので一つ一つの行動に気かけなければいけないので億劫のも感じる事が多々あります。子供は無地のキャンパスのようなものなので周りの人の影響を簡単に受け、何色にも染まることができます。だからこそ我々大人たちが正しい言葉使いをしっかりと学び子供たちを正しく導く立場に居なければならないと改めて実感しました。

[【No.30の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.139 [No.30](#)へのコメント 2017-05-08 出身: **japan** 10代 男性 ログイン名: **yeah!**
居住: タイトル: 感想

自分も小さい子供と話すときに心がけていることがあります。
難しい言葉を避けたり、相手の目線に合わせてたりなど色々気を使って会話しています。
友人と話すときのようなノリで話してはあまりよくないし、子供はすぐ周りの真似をしたがるので一つ一つの行動に気かけなければいけないので億劫のも感じる事が多々あります。子供は無地のキャンパスのようなものなので周りの人の影響を簡単に受け、何色にも染まることができます。だからこそ我々大人たちが正しい言葉使いをしっかりと学び子供たちを正しく導く立場に居なければならないと改めて実感しました。

[【No.30の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.140 [No.30](#)へのコメント 2017-05-08 出身: **japan** 10代 男性 ログイン名: **yeah!**
居住: タイトル: 感想

自分も小さい子供と話すときに心がけていることがあります。
難しい言葉を避けたり、相手の目線に合わせてたりなど色々気を使って会話しています。
友人と話すときのようなノリで話してはあまりよくないし、子供はすぐ周りの真似をしたがるので一つ一つの行動に気かけなければいけないので億劫のも感じる事が多々あります。子供は無地のキャンパスのようなものなので周りの人の影響を簡単に受け、何色にも染まることができます。だからこそ我々大人たちが正しい言葉使いをしっかりと学び子供たちを正しく導く立場に居なければならないと改めて実感しました。

[【No.30の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.366

[No.30](#)へのコメント

2017-05-29

出身：日本
居住：日本10代 女性 ログイン名：chocomoo
タイトル：これから

コメントありがとうございました。子供は無地のキャンパス、という表現はとても適しているなと思いました。そのキャンパスを色鮮やかなものにしてあげるのも私たち、真っ黒に汚してしまうのも私たち大人なのです。たしかに責任をもって言葉を使わないと、その子たちが大人になってから苦労したり、目上の人に敬語を使えなくなってしまうたりしてしまいますよね。正しく導く、というのがどのようなことなのかまだ私にはわかりませんが、子供たちと接していくうえでその答えを見つけることができたらいいなと私は思います。自分も敬語があまり得意なほうではないので、これから自分のためにも周りの人のためにも勉強していかなければならないなと思いました。また、自分だけでなく、友達も巻き込んでいい環境を作っていけたらいいなと思います。今回のこの作文で終わらせることなく、同じ世代の仲間として、これからお互いに努力していけるよう、一緒に頑張りましょうね。

[【No.30の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.29

作文

2017-04-24

出身：静岡県静岡市清水区
居住：東京20代 男性 ログイン名：冷やし中華始めませんか
タイトル：インターネットでの言葉遣いについて

私が「日本語は難しいな」と強く感じたのは、アルバイト先で仕事をしていた時のことです。私は、アルバイトでニュース作成の仕事をしています。ニュース制作といっても、日本のあらゆる出来事について配信するものではありません。私が担当しているのは、あるスポーツについての速報の作成です。日本で行われているあるスポーツをインターネットで観戦し、プレーを文字に起こし、そのスポーツを見ることのできない人に対して、リアルタイムで配信する。それだけの仕事ですが、それでも日本語の難しさを痛感する場面は多々あります。

日本語には、その場面をわかりやすく表現するための「慣用句」というものがあります。例えば、「ボールの勢いがなくなってしまう」ということを表現したいときに、日本人は「勢いを殺す」という言い方をします。普段の会話の中では、この言葉はわかりやすい表現として使われると思います。私も、仕事の中で状況を分かりやすく伝えるために「勢いを殺す」という言葉を用いようとしていました。しかし、仕事の先輩に、「インターネットで速報を配信する際には、『殺す』という言葉を用いるのはあまり望ましくない」と言われてしまいました。考えてみると、確かに「殺す」という言葉は、記事の読者によくない印象を与えかねません。普段は会話の中で当たり前のように使っている言葉でも、いざ文字に起こしてみると、読む人に対して不快な印象を与えるのだな、と実感した瞬間でした。

私のアルバイトに限らず、今はインターネットで多くの人に様々な情報を発信することのできる時代になっています。もちろん、この作文もそのひとつです。その全てで、過剰なまでに言葉遣いに気を付けるべきだとは思いません。しかし、普段から、自分が発信した情報は全世界の人が見るのだな、自分が書いたことはずっとインターネット上に残るのだな、という自覚を持ち、情報を発信していくことが大切だと思いました。

[【コメントを書く】](#)

No.98

[No.29](#)へのコメント

2017-05-01

出身：日本
居住：神奈川県20代 男性 ログイン名：ハイドン
タイトル：日本語って難しい！

作文を読んで、確かに日本語って難しいなと思いました。慣用表現や故事成語といった日本の昔からのことばにはスポーツの報道では不適切と思われる場面が多いです。

私はテレビ鑑賞が趣味なのですが、過去20年くらい前のバラエティー番組を見てみると「拉致」や「監禁」という言葉を使い、その行いを見て笑う効果音や出演者が少なからずありました。今、このような表現を使うとインターネットで途端に拡散され、問題視されてしまうと思います。

報道とバラエティー番組、全く違うと考えるかもしれませんが、日本語の表現は改めて難しいと私は思いました。

[【No.29の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.368 [No.29の筆者から](#) 2017-05-29 出身：静岡県 20代 男性 ログイン名：冷やし中華始めませんか
居住：東京都 タイトル：報道規制って多いですよ

ハイドンさんの出してくださった例を読み、共感するところがありました。確かに、近年のテレビ番組では規制の面が厳しくなっているように感じます。数年前までには笑って流されていたような表現も、自主規制されるようになりました。バラエティ番組も過激な演出は減少しましたし、それによって自分の周りで「テレビが面白くなくなった」と言っている人も目にすることがあります。

過激な言葉や表現が減少した理由には、視聴者からのクレームが増加したことが背景にあると考えます。その原因には、ハイドンさんのおっしゃるようにSNS、ひいてはインターネットの普及があるのかもしれませんが。昔と違い、リアルタイムで番組の感想を共有できるようになっただけに、苦情というものも増え、結果としてクレーム対象となるような映像が減ったのではないのでしょうか。

一方で、インターネットの普及によって、不適切な表現を目にする機会も逆に増えたように感じます。この点に関しては、私たちのメディアリテラシーが問われているのかもしれませんが。

[【No.29の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.28 作文 2017-04-24 出身：オーストラリア 10代 女性 ログイン名：にゃんこ
居住：オーストラリア タイトル：日本語の言葉遣いに苦しんでいる

日本語を勉強し始めてから六年間も経ったとはいえ、まだ出来ない事が沢山あると感じる。特に日本語の「言葉遣い」に困っているが大切だと言われており昔から丁寧に話すように勧められた。先生にいつも自分の日本語を丁寧に直されて尊敬語と謙譲語の組み合わせを詳しく説明してくれたので身につけられた。

このような教育を受けたので、私は日本語を使う際に出来るだけ丁寧にしようとしている。しかし丁寧な言葉遣いは人間関係作りに有益であると思った一方、私は相手に気を遣いつつ丁寧な話し方と言葉遣いをする事にこだわり過ぎてしまう。言いたいことよりも言葉遣いのもとに話す結果、人々と素直に話せなくなる。

例えばバイトの同僚やパーティーで会う年上の日本人などと初対面で仲良くしたくても適切に話すように注意するあまり、会話が勧めず、素直にコミュニケーションが取れない事がある。おとなしく丁寧に話したいと同時に本当に言いたい事を伝えたいという葛藤に苦しむ。

結局、私が言葉に気を遣えば心を隠してしまい自分らしく語たれない。

[【コメントを書く】](#)

No.107 [No.28へのコメント](#) 2017-05-01 出身：町田 10代 女性 ログイン名：青
居住：町田 タイトル：日本人らしさ

私も敬語を使うときは相手に対して壁を作っている事が多いです。むしろ日本人は故意にそうしているのだと思います。例えば最初のうちは相手に対して壁を感じているから（素直になれないから）日本人の多くは敬語を使い、仲良くなっていくと同時にタメ語になっていくのです。学校やサークルで先輩と仲良くなるよりも同い年と仲良くなるほうが早いのは、一緒にいる時間がより多いというのがありますが、最終的にタメ語でお互いに話せるというのが大きいと思います。あなたは丁寧に話したいと思ってしまうばかりに素直に話せないとおっしゃっていますが、それはあなたが敬語を習得しただけでなく日本人の感覚も手

に入れたということだと思います。まるで日本人みたいですごいです。あとは使い分けるだけです。最初からタメ語で話してくる日本人はそういません。徐々に言葉を崩して行って仲良くなるのです。ちなみに、年上の人と仲良くなる時は謙譲語や尊敬語がなくなっていき、最終的に丁寧語だけになっている気がします。

[【No.28の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.547 [No.28の筆者から](#) 2017-06-07 出身： **オーストラリア** ログイン名： **にゃんこ**
居住： オーストラリア 10代 女性 タイトル：日本語の言葉遣いとは

青さん、コメントありがとうございました。

やはり言葉遣いというのは国々それぞれに違うと思います。

私が日本語を勉強してきた中で、言葉だけでなく言語の習慣なども覚えて身につけようと思いました。特に相手と状況を考えて話す事が大事だと分かりました。例えば自分に反してどんな立場であるのに応じて言葉を選ぶべきだと感じ、常に「言葉遣い」をしようと思います。

しかし日本語と違って英語では敬語とタメ語という言葉の区別がなく、目上に対しても言葉にあんまり気を遣いません。年上でも違和感なく言葉を気にせず話すことが多いです。元々自分の母語で言葉遣いが強調されていないため、日本語で未だに難しく困る時があります。もしかしたらこれから日本語を最も使い続けることに通じて言葉遣いのコツを把握していけるでしょう。

ならば日本語を使う際は日本人のように言動してみれば色々習える思います。その一つとして、言語に関する文化をきちんと理解し従う事が大切でしょう。

[【No.28の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.551 [No.28の筆者から](#) 2017-06-08 出身： **オーストラリア** ログイン名： **にゃんこ**
居住： オーストラリア 10代 女性 タイトル：日本語の言葉遣いとは

青さん、コメントありがとうございました。

やはり言葉遣いというのは国々それぞれに違うと思います。

私が日本語を勉強してきた中で、言葉だけでなく言語の習慣なども覚えて身につけようと思いました。特に相手と状況を考えて話す事が大事だと分かりました。例えば自分に反してどんな立場であるのに応じて言葉を選ぶべきだと感じ、常に「言葉遣い」をしようと思います。

しかし日本語と違って英語では敬語とタメ語という言葉の区別がなく、目上に対しても言葉にあんまり気を遣いません。年上でも違和感なく言葉を気にせず話すことが多いです。元々自分の母語で言葉遣いが強調されていないため、日本語で未だに難しく困る時があります。もしかしたらこれから日本語を最も使い続けることに通じて言葉遣いのコツを把握していけるでしょう。

ならば日本語を使う際は日本人のように言動してみれば色々習える思います。その一つとして、言語に関する文化をきちんと理解し従う事が大切でしょう。

[【No.28の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

私の日本語の勉強は間も無く四年目になる。しかし少しずつ進歩して知識が増えると、潜伏した言葉遣いの難点もどんどん表面に現れる。

多言語母語の日本語学習者は大体母語に基づいて、思考が成り立つ。中国語の敬語表現はほとんど人称的や語彙的な手段だ。中国語と比べると、接辞的や構文的な敬語表現は、日本語にはずっと多く見られる。その上、日本語の構文的な敬語表現に授受関係を示している動詞・助動詞が多くある。これに反して、中国語の動詞・助動詞自身は授受関係を表す機能が弱いし、中国語に動詞としての敬語が少ない。その結果として、私にとっては場面と相手によって適当に尊敬語と謙譲語を選ぶことが難しいと思う。例えば、日本語の「いる」「くる」に対応する「いらっしゃる」「おられる」「おいでになる」など色々あるが、中国語に対応する敬語がそんなに多くないから、私はその動詞に対して選ぶ意識は弱いのである。昔日本語の先生に話した時、「母なら中におります」を言うつもりだが、「いる」の謙譲語を間違えて「母なら中にいらっしゃいます」になって、友達に大変笑われた。

言葉遣いというのは、適当な時機に正しい言葉を選ぶことだ。言葉遣いは心遣い、話し手の人柄が現れる。敬語はその中の要素の一つにして、進展し難い部分でもあった。話す相手に好印象を与えて、不愉快にさせないように、正しい敬語を選択しなければならないのではないかと思う。

[【コメントを書く】](#)

私は日本人ですが敬語を使いこなすことは難しく、あまりできていません。それは、今まで尊敬語、謙譲語、丁寧語を使い分ける場面があまりなかったからだと思います。小・中・高校生のとき、丁寧語以外はあまり使っていませんでした。正しくは「お客様がいらっしゃいました」などと言わなければいけないときも、「お客様が来ました」のようにとりあえず丁寧語を使っていました。丁寧語を使っていればとりあえず大丈夫だろうという思いがまだ自分の中にあっただからです。しかし、大学に入って自分のことは自分でしなければいけない環境におかれて、今まであやふやにしていた目上の方との接し方も改めなければいけないと思うようになりました。そこで直面したのが、敬語の難しさです。主語になる人の立場や自分との関係で動詞が変わるのは、覚えていなければわかりません。普段から使っていないととっさに敬語が出てこずに相手に失礼な態度をとってしまうこともあります。相手に不快な思いをさせないように普段から正しい敬語を使い、社会人になるまでには自然に正しい敬語が使えるようにしておきたいと思います。

[【No.26の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

最近の日本の若者は敬語が使えないと話題になっている。日本人にとっても難しいと言われている敬語は外国で生まれ育った日本語ネイティブの私にはより難しい。

私は高校に入ってから、日本人が働いている寿司屋でアルバイトを始めた。そして、自分が敬語をほとんど理解できていなかったことを実感した。私はその時まで敬語を使う必要がなかったからだ。徐々に慣れて行ったけれども、困る状況に何度も落ちいった。

その一つは日本人のお客さんに対応する時だった。私はとりあえず「です」と「ます」を使ってればいいと思っていたが、何か違和感を感じていた。その時の私は敬語に丁寧語、尊敬語、謙譲語があることを知らなかったから店長や先輩などの目上の人に話しかける時は丁寧語だけを使っていた。

謙譲語は目下の人に向かって話すとき使うと習ったけど、謙譲語と尊敬語の使い分けが良くわからない。

バイトでお客様に対応するときどのような敬語を使えばいいのでしょうか。

[【コメントを書く】](#)

No.79 [No.25へのコメント](#)

2017-05-01

出身： **埼玉県**
居住： 埼玉県

10代 女性 ログイン名： **しらす**
タイトル： 敬語って難しい

私は日本で生まれて日本で育ちましたが、正直、敬語の使い方をきちんとマスターできていないと感じることも多いです。学校で敬語を学ぶことはあっても、パターンが多い上に、18年生きてきて、アルバイト経験もなく、あまり目上の人とも話す機会が少なかったので使う機会がそもそもありませんでした。しかし、大学生になってアルバイトをしたり、これから社会人になったりしていく上で敬語を使えることは当たり前です。

自分の敬語は間違っているのではないかと感じながらも、まずは使ってみることで、慣れていくうちに敬語がうまく使えるようになるのではと私は思います。当たり前のように使いこなせているようにみえる社会人も、最初からうまく使えている人はいないでしょう。

敬語はもう一つの日本特有の言語ともいえるかもしれませんが、これから働いていく上で大切な言葉ですので、悩みながらもうまく使いこなせるように私も努力しようと思いました。

最後に、質問に私なりに少し答えてみると、お客様に使うときは尊敬語が、自分には謙譲語が多いかと思えます。例えば、お客様に「いらっしゃいませ」は尊敬語、自分からお客様に対してなにかを見たとき「拝見しました」は謙譲語です。少しでもお役に立てれば幸いです。

[【No.25の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.539 [No.25へのコメント](#)

2017-06-07

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

10代 女性 ログイン名： **emily213**
タイトル： コメントありがとうございます。

コメント書いていただきありがとうございました。

日本人でも最初から使いこなせる人がいないと聞いて少し安心しました。そして、敬語を使えるようになる気がしました。間違っている敬語を使っていると間違っている敬語と正しい敬語の違いが分からなくなってしまうと思っていましたが、しらすさんが言っている通り、敬語を話せることは当たり前なため、だからと言って話さなすことを避けることにはなりません。

また、私は学校で敬語を学べば使えるようになるかと思込んでいました。しかし、しらすさんがおっしゃったように敬語には色々なパターンがあるため、ひたすら学校で学んだり、必死にマニュアル敬語を勉強しても正しいと言われている使い方をするのが難しいと思います。マニュアル敬語は状況や相手の立場（目上の人でも先輩と上司に使う敬語は違う）を意識しないで書いてある言葉なので実際使うと間違っている場合も多くないと思います。なので、やはり敬語を使いこなせるようになるためには練習を重ねることが一番大事だと実感できることができました。アドバイスありがとうございます。

[【No.25の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.24 作文

24.04.2017

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

10代 女性 ログイン名： **spatula**
タイトル： 言葉遣いの悩み

最近、私の言葉遣いの一番の悩みは敬語の使い分けである。特に、バイトで働いてる時、日本人のお客様が来て、何の成句あるのか、どのような丁寧さで話した方がいいか、困る。

もちろん、「です」「ます」の体の使い方はわかるけど、お客様にもっと丁寧なフレーズを使うべきだろ

うかと悩むときがある。あとは、日本人は普段文法的に少し間違ってる成句を使うから、これもだいぶ困る。

私が日本へ訪れた時に感じた違和感はスタッフさん接客の言葉である。例えば、バイト敬語を使う人たちは、「〇〇でよろしかったでしょうか」や「〇〇のほうでよろしかったでしょうか」などを使っていた。サービス業でもそれが、間違っているのにも関わらず皆が使っているから不思議に感じた。

オーストラリアでは、丁寧語を使うと、相手に対して皮肉に受け取られることがある。それは、日本とオーストラリアのお客さんに対する「距離の違い」であると私は考える。

日本では【お客様は神様である】と表す言葉がある。それは、お客さんを持てなす気持ちが強いのである。一方、オーストラリアではお客さんとスタッフの距離がとても近い。それは、お互いに仲間という意識があるためである。

お互いに立場が平等であるためだ。

敬語の使い方から、日本とオーストラリアでは敬語を話す時と場所によって大きく意味が変わるのであると感じた。

[【コメントを書く】](#)

No.113

[No.24](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 埼玉県
居住： 埼玉県

10代 女性 ログイン名： moka
タイトル： 文化の違い

オーストラリアだと、敬語は皮肉に受け取られるということはとても驚きました。日本でも、目上の人と関わる際に改まりすぎると相手に不快感を与えてしまうこともあります。でも、私たちが普段敬語を使う際に、正しい敬語であるかどうかを気にすることはありますが、相手を不快にさせてしまうかどうかを気にすることはほとんど考えないと思います。むしろ、敬語は、目上の人に不快感を与えないように配慮するためのものとして、使われているように思います。

確かに、最近では、敬語＝礼儀正しいという考えから、正しくても間違っていたとしても、敬語さえ使っていればそれでいいという考えが特に若者に広まりつつあるように感じますしかし、間違った敬語は目上の人にため口で話していることと、さほど変わらないと思います。改めて自分の敬語はどうであるか、と考えると常に正しい敬語を使っているわけではないと思いました。

また、日本と海外の店員と客の関係性の違いにも驚きました。どちらが良くてどちらが悪いということはないと思いますが、日本には、お客様に良いサービスを与えようという考えがあるからこそ、「おもてなし」という日本特有の素敵な文化が生まれたのだと思います。

[【No.24の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.555

[No.24](#)へのコメント

06/06/2017

出身： オーストラリア
居住： オーストラリア

10代 女性 ログイン名： spatula
タイトル： コメントありがとうございます

mokaさんコメントありがとうございます。

確かに、外国人に対しては日本のお店の接客はおもてなしの印象が強いです。

私が日本に行った時は、お店の人も英語のメニューを持ってきてくれて、おもてなしをしてくれました。

確かに、敬語は使い方を間違えれば皮肉に取られることもありますが、元の意味としては相手を敬う言葉なので、私たちは正しい使い方を学んで、それを使っていくのがいいと思います。

敬語というのはあくまでも相手に敬意があるということを伝える一つの手段なので、敬語を使うということよりもまずは相手を敬うという気持ちが大事だと思います。

[【No.24の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

私は現在、去年まで通っていたオーストラリアの高校で日本語を教える手伝いをしている。そこで教師や生徒達との関係性が変わった。そして、どのような言葉遣いで接するべきなのか悩むことが増えた。

まず同僚と話す時、相手のほうが年上なのに立場上自分の方が先輩に当たる場合、または関係性がはっきりせずあやふやな場合、どう話しかけて良いのか戸惑うときがある。特に私はオーストラリアで生まれ育ったので敬語を使うにしても正しく使えているのか自信が持てない場合が多い。

次に生徒と話す場合。仲の良い下級生を教えるときでも、あえて丁寧語で話すようにしている。それなのに、生徒から今までどおり、親しい感じで近寄られると、友達なのに同じように返さないのも悪いかと思ってしまう。また、英語と日本語をどう使い分けていいのかわからなくなる。

結果、私は相手が誰であっても日本語で話しているときは丁寧語を使うようにしている。きっと丁寧語を使っていれば間違いないと思えてきたからだ。しかしこのまま言葉を使い分けられないでいると、似たような場面に出くわしてもまた対応に困ってしまうだろう。

[【コメントを書く】](#)

私は日本人であり、海外から来た人と会話をするという機会が今まであまりなかったが、同じ様な悩みを持つことがある。そのような悩みが起こってしまったときに私は会話をしなくなってしまうことが多い。それは自分が無意識のうちに相手に不快な思いをさせてしまえば、知らないうちに嫌われてしまうのではないかと不安に思ってしまうからである。

しかし、そのような状況においても会話をすることを恐れずに、悩みながらも話をするという意見はとても理想的な意見であると思う。なぜなら私のように会話をしなくなってしまうとそこで相手との関係はストップしてしまうが、たとえ上手くなかったとしても会話を続けることで相手との関係を維持することができるからだ。

また、会話において重要なことは文法や敬語の使い方だけでなく、どれだけ一生懸命気持ちを伝えようとしているかということだと私は思う。

[【No.23の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

おもちさん、返事が遅くなってすみませんでした。そして、貴重なコメントをありがとうございました。

おもちさんのコメントを読んで「たしかにそうだな」と共感できることがいろいろありました。おもちさんが書かれていたように、私もどこかで相手にどう思われてしまうのかが心配で悩んでいたのかもしれませんが。そんなことよりも、間違った表現を使うことを恐れた結果、消極的になってしまうことの方が良くないということに気付かされました。また、私は話し方や立場などとらわれ過ぎていたことにも気付くことができました。確かに、間違いを恐れて使う機会が少なくなればいつまでも上達しないと思いました。言葉遣いもまた他の経験と同じように失敗や間違いを正していくうちに自然と身についていくものなのかもしれませんね。

これからはおもちさんの意見を参考に、生徒や同僚の教師との関係性を大事にできたらいいなと思います。

[【No.23の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.22 作文 2017-04-23 出身：インドネシア 20代 男性 ログイン名：katsudon
居住：オーストラリア タイトル：外来語

私は日本語を使う時、外来語に対して悩みがある。なぜなら私の思うには普通に日本語で表せない言葉がカタカナで訳すことで、この外来語が誕生するのだが、最近日本語で表せる言葉にも英語化していることも多い。例えば、私は友達と話した時、私はこう言った、「言語は結局人とわかり合いのための道具」、そして彼は、「そこは普通に道具じゃなくてツールを言う」、と訂正した。これは時代によって変わった若者ことばかただ私の訳間違いかまだ悩んでいる。だが、外来語を嫌がっているわけではない、むしろ面白いに思う。

私の母国語はインドネシア語でありながら話す機会が少なくて言葉を忘れることが多い、その時よく英語からの外来語を使う。インドネシア人の女生友達は話しに英語を混ぜる理由は可愛いと偉いに見えるだからと言う。私の母は少し中国系から、混乱かストレスを感じた時、「アラマジヤン」と叫ぶ、もはやどこの言語から借りたのはわからない。利便性かイメージのためかもっと慣れたからか日本語にもそれぞれの外来語を使う理由もあるだろう。私はもっと日本語での外来語の使い方を上手になりたい。話し手の意図をより理解しやすいため、そして自分の意図を正しく伝えるため。

[【コメントを書く】](#)

No.99 [No.22へのコメント](#) 2017-05-01 出身：日本 20代 男性 ログイン名：Noddy
居住：日本 タイトル：使えなくても大丈夫

作文を読みました。日本語の「外来語」について私なりの意見をお返しします。私は日本人のネイティブですが、そんな私でもバッグやデスクのように日本語として定着しておらず、日本語で通じる単語を外来語で話されると多少違和感があります。だから、あなたが思っていることはとても普通のことなのです。また外来語を上手く使うことは、日本人でもとても難しいことです。もともと日本語として定着していなかった言葉ですから、世代や住んでいる地域によって意味・解釈が異なる語もあります。また、英語圏での意味と日本語での意味が異なる語もありますから英単語の意味をそのまま日本語の「外来語」として使用するのをおすすめしません。「外来語」を無理に使うと、相手が日本人でも誤解を生むことがあるので、「外来語」よりも日本語を使って会話したほうが相手に意図が伝わるのではないのでしょうか。

[【No.22の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.530 [No.22の筆者から](#) 2017-06-06 出身：インドネシア 20代 男性 ログイン名：katsudon
居住：オーストラリア タイトル：コメントありがとうございます！

コメントを書いてくれてありがとうございます！返事が遅くなりましたがNoddyさんの意見を読んで、本当に勉強になりました。私はNoddyさんの助言（「アドバイス」を使ったほうがいいかな）に大体同感です、定着していない「外来語」をネイティブとの会話に使うと確かなんだかの違和感があるんですが。最近先生から聞いたことですが、「外来語」もポライトネスに関係があるらしいです。特に意外なのは「便所」と「トイレ」の使い方を比べたら、「トイレ」のほうが礼儀正しいだそうです。「外来語」については、色んな意見があってすごく面白いですね。私は、「外来語」の使い方をこれからもたくさん間違いをすると思いますがNoddyさんのおかげでもっと理解をできてとても嬉しいです。

[【No.22の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.21 作文 2017-04-23 出身：オーストラリア 20代 男性 ログイン名：冗談
居住：オーストラリア タイトル：くだけていいじゃねえか

「くだけている日本語と若者言葉はそんなに悪いか」。これは、日本語の学習者として最近悩んでいる質問だ。

タクヤとトクちゃんは関西から来た留学生の二人で、私にくだけた日本語と若者言葉を教えてくれた人は彼らだった。彼らは、僕と同じような興味があつて、早く仲良くできた。毎日昼に、日本人の高校生と話せたから、高校生のような巻き舌の話した方がうまくできるようになったのだ。くだけた表現を使う、友達に日本語で自分の気持ちを簡単に伝えるようになったのである。ようやくアニメで聞く日本語が理解できると思ったのに、日本の旅行をしたとき、世間ではそのような話し方を悪い目で見られていると分かった。

京都にいたとき、ある日風邪をひいてしまって、薬屋に行つて、薬剤師さんに「あのう、風邪をひいちやってさ、のどがいたくて一、どの薬を買えばいいですか」と適当に聞いた。しかし、彼はただ薬を指さして、飲み方も忠告も言わなくて、私の背中に他のお客さんの目を感じた。最初に何が悪いかが分からなかったが、回顧すると私の言葉遣いが英語でも言うのと失礼だった。

くだけた日本語は不適切な話し方として見られているが、くだけている言葉で、若者がじょこ表現できるから、社会に役割があると思う。くだけた言葉やほかの言葉遣いなどは、場合によって、気を付けないと自分の顔をつぶすかもしれない。

[【コメントを書く】](#)

No.108 [No.21](#)へのコメント 2017-05-01 出身：中国 20代 無答 ログイン名：乙乙修司
居住：日本 タイトル：「おい、おれコメントしにきたぜ」

こんにちは、「冗談」さん。

「おい、おれコメントしにきたぜ」「お前の書いた文を読んじつまつたが、まあまあいいじゃねえか」

場合によって、言葉遣いを変えなければならないと思います。

友たちと一緒にいるとき、もちろん、「くだけた言葉」では構わないと思う、それは、友たちは関係の近い人、つまり「内」。逆に「内」の人と付き合う時、敬語を使ったりして、あまりにもていねいすぎると、不自然ではないか？

しかし、「外」の人と付き合う時、「内」の言葉でよいでしょうか？

薬局は無論、「外」です。しかも、薬局に他の客も大勢います。そのような場合で、「内」の言葉を使って、本当によいでしょうか？

日本は古来、「内」と「外」、「上」と「下」を厳しく分けてきた国です。

「くだけている日本語と若者言葉はそんなに悪いか」という質問の答えは、もうお分かりでしょう。

[【No.21の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.112 [No.21](#)へのコメント 2017-05-01 出身：日本 10代 女性 ログイン名：白い恋人
居住：埼玉県 タイトル：くだけていいですよ！

作文読みました。すごく共感しました。日本ではまだ、敬語が使えないとロクなやつではないみたいな風潮があるんだと思います。

日本人は外面だけで相手を評価する傾向があると思います。確かに第一印象はとても大事だし自分もそこはよく見るほうだと思います。場合によっては砕けた日本語が許されないこともあります。そういうときは自分の頭で判断して使い分けなくてはいけないと思います。しかし、砕けた日本語を使っている人や、若者言葉を使っている人をさげすんだ眼で見るとはどうかと思います。ちゃんとした言葉遣いができなくても、中身はいい人だという人を私は何人も知っています。

言葉遣いがちゃんとしてないからこの人はろくな人ではない、という風に見ている大人たちが私は嫌いです。心を広くして中身を見ないとその人のことを本当に知ることはできないと思います。わたしはあなたのタイトルどうり、「くだけていいんじゃないか」と思います。大事なものは中身ですから。

[【No.21の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.226 [No.21](#)へのコメント

2017-05-10

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

10代 男性

ログイン名： s18

タイトル：くだけた日本語と若者言葉

作文を読ませていただきいただきました。確かに、私も、くだけた日本語や若者言葉は今大学生の自分にとって、とても重要だと思います、ただ、もちろん堅い敬語ももっと重要だと思います。要は場面によって使い分けることが大切だと思います。友達と話すときや後輩と話するときにはくだけた日本語や若者言葉を使うことで、堅い敬語を使うよりもちろん親近感も得ることができるし、面白いとも言えるし面白いと思われることもあります。ただ、あなたが薬剤師に冷たい対応をとられたように、目上の人や知らない人に尋ねるときなど、こっちが失礼な態度をとってはいけないと思います。だから、薬剤師の人にそういった態度をとられてしまうことや、周りの人の冷たい視線も正直仕方がなかったと私は思います。私も焼き肉屋でアルバイトをしています、失礼な言葉を使ってくるお客さんはいい風には思いません。ただ、最初にも言いましたが、くだけた日本語や若者言葉がないと、会話が面白くなってしまおうと私は思います。

[【No.21の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.519 [No.21](#)の筆者から

2017-06-04

出身： オーストラリア
居住： オーストラリア

20代 男性

ログイン名： 冗談

タイトル：言葉遣いが大事だけ。。。

乙乙修司さん、コメントしてくれてありがとうございます。「内」と「外」という考え方に賛成します。ただ、「外」という人に仲良くなりたかったらどうするでしょうか。硬い敬語で話したら相手に楽な関係を作らないと思います。タメ口か砕けた言葉を使ったら相手が自分のつもりを勘違いしてしまうかもしれません。だから言葉遣いに慣れていない人にとって難しいと思います。解決は練習と勉強だけです。

白い恋人さん、コメントを書いてくれてありがとうございます。日本人は外面だけで相手を評価する傾向があるという意見に賛成します。私はそれを経験したことがあるからです。しかし、白い恋人さんが言うように、全国はそうに思いません。人によって違う言葉遣いを使うのは大事ですが、相手に心を広くして中身を見ないとその人のことを本当に知ることはできないと私も思います。

s18さん、コメントを書いてくれてありがとうございます。もちろん、敬語や若者言葉やくだけた言葉などが社会に大切な一部だと思うことに賛成します。日本語バリエーションを勉強したことで、敬語の役割が明らかになりました。尊敬を表することだけでなく、自分が高い高度で話せることを見せることも敬語の使用の一つです。まとめると言語はいろいろな使い方があって、敬語もくだけた表現もそれぞれの使用がありますから、正しい言葉遣いは大切です。

No.20 作文 2017-04-23 出身：台湾 ログイン名：ラーメン
居住：オーストラリア 10代 女性 タイトル：言葉遣いに悩む時

私が日本語を勉強するきっかけの一つの理由は敬語の美しさだと思う。しかし、日本語の学習者にとって、最も難しいのはやはり敬語である。英語と違って、日本語の敬語は丁寧さが違うので、話す相手によって言葉遣いも異なっている。私はたまに誤った敬語を使ってしまう。そういうわけで、話す前に、いつも悩んでいる。

間違っている敬語を使ってしまった経験の例をあげれば、4年前の夏休み、台湾の塾で日本語のレッスンを受けた。まだ日本語の初心者だったので、あまり敬語がわからなかった。ある朝、先生に「おはよう」と言ってしまった。先生は何も言わなかったが、少し嬉しくないようだった。その後、「おはよう」は砕けた言い方で、先生に対して、丁寧な言葉遣いは「おはようございます」である。

もう一つの例を出したいと思う。クラスで、みんなが先生に質問をされて、単語の意味を説明した。私の順番が来るとき、先生に「中国語で説明していい？」と答えてしまった。いつも友達とくだけた表現で会話するため、先生に敬語を使うのを忘れてしまった。今回、先生が私の間違いを指摘した。

間違えた言葉遣いをしないように、話す前によく考えた方がいいと思う。だが、日本語は母語ではないので、たまに考えすぎると、流暢に話せなくなる。多分みなさんも敬語を言い間違えた経験があるのではないのでしょうか？

[【コメントを書く】](#)

No.105 [No.20へのコメント](#) 2017-05-01 出身：秋田 ログイン名：みと
居住：東京 10代 男性 タイトル：敬語の美しさと難しさ

私は日本人ですが、「日本語の敬語の美しさ」という表現をととても新鮮に感じ、また同時に、とても嬉しく思いました。日本語を母語にしているとなかなか気付くことのできない観点だと思います。

本題ですが、日本語の敬語はとても難しいです。日本人ですら難しいのですから、海外の学習者のみなさんにとっては尚のこと難しいだろうと思います。どのようにすれば敬語が上手くなるか、というのは難しいですが、考えすぎて何も言えなくなってしまうよりは、間違っていてとにかく喋ってみるのが良いのではないのでしょうか。もしかすると今後、それでは駄目な時が来るかもしれませんが、学生の間はおそらく間違っていたら先生が指摘してくださると思うので、たくさん話して、たくさん間違えて、その時に指摘されたことをきちんと覚えておけば、きっと今よりも敬語が上手くなるのではないかなと思います。

日本人として海外で日本語を学習している人がいることはとても嬉しいです。日本語を勉強して、ぜひ日本に遊びにきてくださいね。

[【No.20の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.533 [No.20の筆者から](#) 2017-06-06 出身：台湾 ログイン名：ラーメン
居住：オーストラリア 10代 女性 タイトル：コメントありがとうございます

みとさん、コメントありがとうございます。

多分日本語はみとさんの母語なので、「日本語の美しさ」ということは考えたことがありません。でも、日本語の学習者として、日本語は難しいがとても美しいと思います。私は日本語の母語話者は小さい頃から

白い恋人さん、コメントを書いて頂き、ありがとうございました。

白い恋人さんのコメントはご自分の経験を元にしてくださっているので説得力もあり、とてもわかりやすかったです。確かに敬語は話せば話すほど上達するかもしれませんね。日本人の白い恋人さんでも最初は敬語を使うのが上手ではないことがわかって少し安心しました。たとえ、間違った敬語を使っても笑顔で一生懸命に話せば相手を不快にさせることはないですよ。

敬語遣いは相手に対する敬意なので大切な事だと思います。ですから、これからも恐れずどんどん敬語を使っていきます。そうしたら、きっと、白い恋人さんのように敬語をスラスラ話せるようになれると思います。

[【No.19の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.18

作文

2017-04-23

出身： オーストラリア
居住： オーストラリア

20代 男性 タイトル：単なる言葉遣いだけではない・外国人の経験

ログイン名： **フラットホワイト**

言葉遣いに悩む時と言え、やはり状況によってどんな形で言ったらいいのかと悩んでいる。昨年、日本に留学した。そこで大学のサークルの先輩達と話す時に、敬語を使わないといけないのか。外国人の私にとっては、異文化から来たので敬語、もしくは正しい使い方を使用するのは必要なのか。日本にいる間、主な留学生が敬語を使わなかったと気づいた。「固すぎ」や「遠い感じがするから、敬語で喋りたくない」などの意見を聞いたことがある。私達は留学生なので、敬語を使用する期待されていないが、その先輩達の表情を見ると、後輩達から敬語を聞きたかったのではないかと思っていた。その表情をどう解すべきであろう。これは言葉の問題だけではない、言葉には文化の関係もある。

敬語は非常に曖昧なことだと思っている。敬語は単なる違う形だけではなく、基本的に敬語とは人間関係に関連していると思う。個人的に日本の文化にまだ親しくないの、敬語の言葉遣いに悩んでいる。ある人と出会い、言葉遣いを正しく使えるのが私の悩むことである。

[【コメントを書く】](#)

No.83

[No.18](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 神奈川県
居住： 神奈川県

10代 女性

ログイン名： **もけけ**
タイトル：感想

作文を読ませていただきました。やはり、留学生の方は文化の違いで苦労されているんですね。基本的に日本では目上の人には敬語を使うことが当たり前だと私は思っています。

しかし、私も先輩と話ときは、敬語を使うべきなのかとても悩みます。人によっては、「自分に対して敬語は使わなくてもいいよ。」と言ってくれる先輩もいます。しかしそう言われても、日本人としては目上の人には敬語を使うべきだという固定観念があり、敬語を使わずに先輩と話するのはなかなか難しいことだと思います。

確かに、敬語を使って話していると固い上に、遠い感じがするというのもわからなくないです。敬語を使わずに話した方が、その人との距離が近く感じられると思います。

以上を踏まえて私が先輩と話ときは次のように行動しようと思います。最初は敬語を使い、仲良くなっていくうちに徐々に敬語を使わずに話し、さらに距離を縮めるということです。この敬語を使わなくなるタイミングは難しいので、これから模索していこうと思います

[【No.18の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.549 [No.18](#)の筆者から 2017-06-07 出身：オーストラリア ログイン名：フラットホワイト
居住：オーストラリア 20代 男性 タイトル：コメントありがとうございます

もけけさん、コメントして頂きありがとうございます。もけけさんコメントを読み終わった後、私が理解したのは日本では、上下関係ということは非常に難しいことです。日本人と海外の人の価値観が違いますので、敬語を使わないといけない状況は曖昧です。もけけさんが言ったように、最初に敬語を使い、もし相手が「敬語を使わなくてもいい」と答えたら、砕けた表現で会話を続いても問題ないでしょう。私は留学生として日本に居た時に、砕けた表現で先輩達と話していたのに、日本人の後輩達が敬語を使い続けました。もけけさんが言ったように、彼らは固定観念を守っていました。もちろん、私の場合にはその先輩が「敬語を使わなくてもいい」と言っていましたから、敬語のことを考えなくなりました。距離を縮めるより社会の固定観念を守るのが優先を把握しています。外国人にとって自分が相手の後輩だったら、敬語を使わないといけないルールを少し認め難いのではないかと思います。距離を縮める為に、ある先輩と仲良くして、タイミングを適当に合わせる事が可能だと思いますが、やはり、それを実現させるのが中々難しいですね。

[【No.18の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.17 作文 2017-04-23 出身：オーストラリア ログイン名：パン
居住：オーストラリア 20代 女性 タイトル：相槌の悩んでいる所

言葉遣いの最も難しい所は相槌だと思う。自分のことより相手の話をきちんと聞くのが大切だが、相槌をどんなタイミングでどうやって正しく打てばいいかよく分からない。それは今まで何度も思い悩んできたことだ。

まず、誰と話すことや状況によって相槌のタイミングが違うと思う。例えば、親しい友達と会話をしている時、友達が「昨日さあ」と話し始めると私はその瞬間に「うん」と早く返事したら、問題はない。でも、アルバイトで年上のマネジャーと話したら「そうですか」という返事が早過ぎると、マネジャーの言っていることを考えせずに返事をするだけというイメージがある。

それに、会話で間が空いた場合、相手が相槌を待っているのかそれとも何か言おうとしているのか分けるのが難しい。もし相手がわざと間を空けると、何も言わないのはいいことではない。逆に、あまりに早く口出すのも失礼に見えるかもしれない。相手の思考の流れを中断してしまい、会話もうまく続かない。だから、他人のペースに合わせないと、相槌も正しく打てるはずがないのではないだろうか。

相手の話を引き出すような相槌があったり、話し手が単語を思い出せない時、相槌で手伝ってあげたり、相槌の使い方が山ほどある。でも、誰と話しても聞き上手な印象を与えるため、タイミングが一番大事だと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.95 [No.17](#)へのコメント 2017-05-01 出身：日本 ログイン名：chocomoo
居住：日本 10代 女性 タイトル：相槌

私は相槌に関して悩んだことがなかったので、この作文を読んで、こういうことで悩んだり考えたりするのだなあとも勉強になりました。

確かに今考えてみると、自分が話しているときに相手が何も反応してくれなかったり、変なところで「うんうん。」などと言われたりすると、不快に思う人もいるかもしれません。しかし私が今までそう

だったように、相槌をどのタイミングでするかを考えながら人の話を聞く人はあまりいないと思います。きっとみんな無意識だと思います。だから意識して相槌をせずに、日本語が本当に理解でき、なるほど、と思うことができれば自然と相槌ができるのではないのでしょうか。もし声に出せなくても、相手の目を見て真剣に話を聞けば、相手も「あ、ちゃんと聞いてくれているのだな。」と分かってくれるはずですよ。よかったですら参考にしてみてください。

今回この作文を読んでみて、相槌について考えたのはとても面白かったです。ありがとうございました。

[【No.17の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.100 [No.17へのコメント](#) 2017-05-01 出身：日本 埼玉 10代 女性 ログイン名：ちえんていー
居住：日本 埼玉 タイトル：とても勉強になりました。

作文を読ませていただきました。私は今まで相槌について、あまり考えたことがありませんでした。私は普段、よく相槌をするほうだと思います。やはり、自分が話しているとき無言で聞かれるよりも、何か相槌をしてくれるときちゃんと聞いてくれている感じがして、話していて嬉しくなります。そのため、タイミングや相槌の言葉もあまり考えず、自分が思ったその瞬間に思いついたことを言えば良いと思います。ただあなたが言っているように、先輩や先生など目上の人と話すときの相槌は確かに難しいと私も思います。なぜなら、友達と話す時とは違い、相槌をする前に言葉やタイミングを考えずにしてしまうと、相手に悪い印象を与えてしまうこともあるからです。そのため、相手の様子をよく伺って、丁度いいタイミングで相槌をする必要があると思います。

以上のように、私は相槌の言葉やタイミングは、話す相手によって柔軟に対応する必要があると考えます。

[【No.17の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.122 [No.17へのコメント](#) 2017-05-02 出身：秋田 10代 男性 ログイン名：みと
居住：東京 タイトル：相槌の難しいところ

私は日本人ですが、同じように相槌について悩むことがあります。それは、相槌の言葉についてです。たとえば、友達が「あのさあ」と話し始めたときに、「うん」と相槌を打つとします。短い話なら「うん」という相槌だけで良いと思いますが、友達が長く話しているときにずっと「うん」という相槌だけでは、相手に対して相手の話をちゃんと聞いていないのではないかという印象を与えてしまいます。なので、多くの日本人は「うん」「へえ」「そうなんだ」などと、いくつかの相槌を使い分けています。また、相手によっても相槌を変えなければいけません。たとえば、目上の人に「うん」という相槌は使えないですね。このような相槌の使い分けについて、難しいと私は思います。

タイミングについては、私はあまり悩んだことがなかったです。日本人でも悩む人はいるかもしれませんが、むしろ海外の日本語学習者特有の悩みなのかな、という感じがしました。しかし、上手く相槌ができるというのは日本語を話す上で間違いなくプラスになると思います。なので、ぜひこれからも相槌について探求して行ってほしいです。

[【No.17の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.178 [No.17へのコメント](#) 2017-05-09 出身：神奈川 10代 無答 ログイン名：simo
居住：神奈川 タイトル：相槌

作文を読ませていただきました。私は普段相槌をする時は何も考えずに無意識にしていたのですが、作文を読んで少し意識してみるととても難しく今まで無意識にしていた相槌は相手を不快にさせていたのではないかと思います。かといって相手が話しているのを、ただただ黙って聞いているのも話

に興味がないのかと思われてしまいますし、逆に相槌ばかりしていても話の腰を折ってしまい相槌のむずかしさを再確認させられました。ですが、やっぱり私は今までどうり無意識に相槌をしているときの方がお互いスムーズに会話のできたので目上の力などと話すとき以外はそこまで深く考えなくてもいいのかなと思いました。

[【No.17の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.224 [No.17へのコメント](#)

2017-05-10

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名： **s18**
タイトル： 相槌

作文を読ませていただきました。私は相槌について深く考えたことはありませんでしたが、とても共感しました。仲いい友達だったら気にする必要はないですね。でも、あまり仲良くなくて、少し気まずい友達や、深刻な顔して悩みを相談してくる友達などにも相槌を打ったりします。ただ、一番考えて相槌を打つのは、作文にも似たようなことが書いてありますが、アルバイト先での店長と会話するときです。店長は少し声が小さいので、聞こえない時に、最初は「はい？」と聞き直せますが、2回、3回聞き直すのは失礼なので、聞き直しても聞こえなかったときは、相槌や愛想笑いで何とか過ごしたりしています。でも、店長は満足そうにそのあともずっと喋ってくるので、相槌って使えるなと心から思いました。逆に、自分が話している立場だとしても、相槌を打ってくれるだけで、ちゃんと聞いてくれていると思えます。会話しているうえで、あなたの作文を読んだおかげで相槌が大事ということを再確認しました。

[【No.17の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.225 [No.17へのコメント](#)

2017-05-10

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

10代 男性 ログイン名： **s18**
タイトル： 相槌

作文を読ませていただきました。私は相槌について深く考えたことはありませんでしたが、とても共感しました。仲いい友達だったら気にする必要はないですね。でも、あまり仲良くなくて、少し気まずい友達や、深刻な顔して悩みを相談してくる友達などにも相槌を打ったりします。ただ、一番考えて相槌を打つのは、作文にも似たようなことが書いてありますが、アルバイト先での店長と会話するときです。店長は少し声が小さいので、聞こえない時に、最初は「はい？」と聞き直せますが、2回、3回聞き直すのは失礼なので、聞き直しても聞こえなかったときは、相槌や愛想笑いで何とか過ごしたりしています。でも、店長は満足そうにそのあともずっと喋ってくるので、相槌って使えるなと心から思いました。逆に、自分が話している立場だとしても、相槌を打ってくれるだけで、ちゃんと聞いてくれていると思えます。会話しているうえで、あなたの作文を読んだおかげで相槌が大事ということを再確認しました。

[【No.17の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.518 [No.17の筆者から](#)

2017-06-04

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

20代 女性 ログイン名： **パン**
タイトル： コメントありがとうございます

皆さんのコメントを書きいただきありがとうございました。

自分の文章に共感してくれる方々がいて嬉しいです。相槌について勉強になったと言った皆さんもありがとうございました。コメントを読んだ後で、相槌をどのタイミングでするのかを考えながら人の話を聞く人はあまりいないと初めて知りました。それは無意識で相槌をするからかそれともみとさんのおっしゃる通り、海外の日本語学習者特有の悩みかもしれないですね。

しかし、相槌は無意識ですとしても、それはいつものことではないと思います。ちえんていーさんとみとさんとs18さんの例で、目上の人と話す時、相槌のタイミングは意識しなければならないことを同意します。私は友達同士で無意識に相槌をしている時は深く考えなくてもいいですが、目上の人など会話したら

例えが逆になってしまいましたが、私は地元の文化によって日本語の使い方を変える方がいいと思います。

乱文にて失礼いたしました。

[【No.16の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.532 [No.16の筆者から](#) 2017-06-06 出身: [オーストラリア](#) 20代 女性 ログイン名: [レイニー](#)
居住: [オーストラリア](#) タイトル: [自己紹介から見る文化](#)

shioriさん、コメントをしてくれてありがとうございます。そして返事が遅くなってすみません。

そうですね、やはり地元の文化によって日本語の使い方が変わるのでですね。両方納得できる言葉を決めると会話を上手く続けられると思います。

そして、shioriさんのアメリカでの経験を聞いてふっと思いつたことがあります。それは、自己紹介は文化を反映してることです。日本語で自己紹介する時は、苗字と名前、あるいは苗字だけを言うのが習慣ですよ。それに比べて、英語では下の名前だけで自己紹介をする場合が多いです。

よって、自然的に呼び方が決まります。日本語の場合、知り合ったばかりなので、相手の気持ちを伺いながら失礼をしないように苗字に「さん」をつけて会話をします。もし、今後仲が良くなってきたらもっと親しい呼び方を二人で決めることがあるかもしれないです。日本人の慎重な一面を表しているでしょう。

一方、英語の場合、下の名前だけ知った聞き手は当たり前前にそれを使い、一気に二人の距離が縮まった感じがします。これは英語の率直な話し方の一部だと思います。

Shioriさんの場合は、先輩のお姉さんの英語の呼称はすでに他人との会話で決まっていたので、それに従って彼女を下の名前で呼ぶのが最も違和感がなかったのでしょうか。

[【No.16の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.15 作文 2017-04-23 出身: [オーストラリア](#) 20代 女性 ログイン名: [andrewss](#)
居住: [オーストラリア](#) タイトル: [ありがとうございますが必要じゃない](#)

人々がお互いに交流する際、オーストラリアと同様に、日本でも、必要とされる丁寧の程度がそれぞれの状況によって異なるが、私は感謝の表現に混乱してしまう。例えば、オーストラリアでは、コンビニで会計をして商品を渡すときに「はい、どうも」や「はい、ありがとう」というのが非常に自然である。逆に、言わないと少し失礼になる。しかし、日本に住んでいる時、習慣で従業員に感謝すると、日本人の友達が笑い、その従業員は、恥ずかしそうにしていた。

吃驚したことには、日本はお辞儀したり、いつも何回も「すみません」や「失礼します」と言ったりする文化だが、サービス業者を全く無視するのがあまり変ではない。友達によると、日本ではお金を払っているのは客で、店員は払ってもらっている側、だから、客のほうは立場が上とも言えるし、そう考えると「ありがとう」と言った言葉をかける必要もなく、客はむしろふんぞり返ってもいいそうである。

確かにこの日本の文化をある程度理解するが、私は、他人が手伝ってくれたら、「ありがとう」と言わないと、違和感を覚える。しかも、バスを降りる際や、喫茶店でコーヒーを買ったりするなどの場面でサービス業者に何も言わないというのは、私には理解できない。なので、これはいまでも私にとって言葉使いの悩みである。

[【コメントを書く】](#)

No.78 [No.15へのコメント](#) 2017-05-01 出身：中国 ログイン名：メロンパン
居住：日本 20代 男性 タイトル：人それぞれだと思う

andrewssさんが言ったように、コンビニで買い物をして、会計した後に従業員に「どうも」とか「ありがとう」とか、そういった感謝のような言葉を従業員に言ったら、恥ずかしくなる人あるいは恥ずかしい思う人はいる。しかし、そうでない人、恥ずかしいと思わず、逆にお客さんから感謝の言葉を言ってくれた方が普通だと思っている人もいます。自分の場合だと、買い物後に従業員に「ありがとう」や「どうも」とかは普通に言うのだ。そして僕もコンビニで働いたことがあって、感謝の言葉を言ってくれない人はもちろんいるが、どっちかという、言ってくれる人よりは少ないです。だから「なんか変です」とかを思わずに、普通に言ってで良いと思う。

そして、コンビニや喫茶店だけでなく、本屋さんやレストランのようなサービス系の処であれば、僕も「どうもありがとう」や「ごちそうさまです」とかを言うことは変だと思っていなく、逆に必ず言うのだ。

日本でバスに乗ったことがないため、バスはどういった事情なのか分からないです。

[【No.15の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.146 [No.15へのコメント](#) 2017-05-08 出身：中国 ログイン名：墨文
居住：日本 20代 男性 タイトル：感謝の言葉はどの国でも通じる。

私はコンビニでアルバイトしたことがあるのだから、やはり、ありがとうと言ってくれた人が多いと思う。自分もコンビニで何を買った時もありありがとうと言うほうだ。恥ずかしいとかはさておき、やはり、感謝を言うと、相手も喜ぶだろう。そのようなうれしい気持ちを持ち、仕事するのも楽になるのではないかと思う。自分が感謝の気持ちが伝わったら、相手も感謝の気持ちで丁寧に対応してくれる。

どの国でも、礼儀知らずの人がいると思う。しかし、それはほんの一部だと私は思う。そういう人のことばかりに見ずに、もっといい人に見習うべきではないか。日本でも、礼儀を重視している国である。お客だからと言って、ふんぞり返るのはどうかしていると思われる。Andrewssさんは別に悩む必要はないと思う。助けてくれる人に感謝の言葉を使うのはどの国でも常識だと思う。それは正しいともはっきり言うことができる。自分は自分らしく、礼儀正しくやり続けるべきと私は思う。

[【No.15の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.330 [No.15の筆者から](#) 2017-05-21 出身：オーストラリア ログイン名：andrewss
居住：オーストラリア 20代 女性 タイトル：「ありがとう」が日本でも大切

墨文さんとメロンパンさんの返答に感謝したい。面白い答えであった。両方の筆者の意見に賛成で、私の悩んでいたことがなくなった。特に、墨文さんの言ったポイント、助けてくれる人に感謝を言うのは礼儀で、どの国でも大事だということに賛成する。やはりそれが常識だと思う。しかし、両方の回答者によると、コンビニで大半の日本人が「ありがとう」のような感謝の言葉を言っていて、私の経験は例外だったようである。なぜなら、少し研究して、次の結論を見つけた。

一つ目は、「コンビニでありがとうを言うのは変だ」と言った友達は全然コンビニなどのサービス業で働いたことがなかった。その一方で、メロンパンさんと墨文さんはコンビニでアルバイトをしたと言った。日本人の友達と違って、その人達はカスタマーサービス経験者で、自分たちの実際の経験をもとに話して

いると思う。私の友達はそのようなアルバイトを全然したことがないので、店員の仕事がどのくらい大変なことなのかが分からないかもしれない。感謝をする必要をあまり分からなかった。

二つ目は、「ありがとう」という口調や表現の多さが問題であった。オーストラリアのコンビニで非常にカジュアルな感謝の表現を使うが、日本で似ている表現「ありがとう」がオーストラリアの方より少し丁寧だと思う。だからニュアンスが少し違う。多分それは文化の違いである。それに、どうやって「ありがとう」を言うかで、丁寧さも少し違う。私の経験で、初めて日本のコンビニに行ったとき、少し興奮しすぎて「ありがとう」と言ったので少し大げさに聞こえたのかもしれない。だから、自然に店員が少し恥づかしくなった。

結論として、私の経験は誤解であった。日本の文化を教科書でしか習わず、日本に旅行するのは難しかった。メロンパンさんと墨文さんは私の悩みについて説明してくれて、本当に助かった。日本に帰ったら、気軽に「どうも」や「ありがとう」を言おうと思う。

[【No.15の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.14 作文

2017-04-23

出身：中国
居住：オーストラリア

20代 男性

ログイン名：ナイト
タイトル：友人に優しい言葉を遣いたい

私には悪い癖がある、私がイライラすると、親しい友人と会話をしている時、あまり優しくない言葉を言ってしまう。

いつも私と一緒にゲームをするの男性の友人がいる、彼は私の高校のクラスメイト。その友人とゲームをする時、ゲームに集中すぎると、うまくいかない時、私の話し方も変わる。例えばチームプレーのゲームをすると、勝負を決めるとき、私は“君はそうすれば絶対勝てると思わない？”と友に言ったら、もし友が“え、何で”と質問に質問で返したら、余り説明の時間がないので、私は“てめはおとなしく来ればいいんだ”と言ってしまう。でも本当に友を責めたいのわけではない、言ったすぐ後は後悔した、友に不快な想いをさせたくないのに、後で謝ったなお、結局少しでも友情を傷ついてしまった。

友も私のその悪い癖を知っているのよう、私に“君はわざとじゃあない事が分かっている、でもちょっと傷つくな”と言った事もあった。それ以来友人とゲームをする時、私は十分言葉に気をつけているんですが、時々優しくない言葉を言ってしまいそうな時、私は我慢して何も言わない。自分はまだ大人らしくないと思った時もある。この悪い癖、私は本気で直したい。

[【コメントを書く】](#)

No.75 [No.14へのコメント](#)

2017-05-01

出身：静岡
居住：東京

20代 男性

ログイン名：冷やし中華始めませんか
タイトル：No.14へのコメント

私にも同じような経験がある。ゲームやスポーツなど、友人と協力して何かと競う場面では、ついつい熱くなってしまう、それに伴って言葉遣いも激しくなってしまうがちだ。当然、直せることなら直したいと思うが、エキサイトしている場面においてそれは仕方のないことなのかもしれないし、とっさの言葉遣いは、直そうとしてもそう簡単に直るものではない。

私は、強い言葉を吐いてしまった後にすぐに謝ることのできるあなたは、素晴らしい人間だと思う。そして、その言葉を飲み込めるのも立派だ。きっと、あなたの「わざとではない」という思いは友人に伝わっていると思う。

あえて改善策を考えるなら、普段からより丁寧な言葉を使ってみるのはどうだろうか。熱くなった時にとっさに強い言葉が出てしまうのを直すには、もう普段の意識から変えるしかないのではないかと思う。それはなかなか難しいことだが、自分もこれを機に、普段のちょっとしたところに出てしまう汚い言葉を改善できるように取り組んでみたい。

[【No.14の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.510 [No.14](#)へのコメント 2017-05-31 出身: **スペイン** 20代 女性 ログイン名: **ベッカ・セイヤー**
居住: 日本 タイトル: 関連付けることができます

作文を読んだ後何かを気づいてきた。前に、この問題はNGワードをよく使う言語だけのことだと思った。やっぱり、これはロマンス諸語のことではない。

実は、私があなたの事態には共感できる。私もゲームたくさんしていたが、たいていシングルプレイヤーのみした。一人だから、イライラした時、コンピュータが怒られないので何でも言うことができた。数年前、マルチプレイヤーゲームを始めました。最初は友人と無礼な言い方をしてしまったけれども、私が認識して、それを修正した。今からゲームをするとき、言葉遣いをなやんでいる。

[【No.14の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.542 [No.14](#)の筆者から 2017-06-07 出身: **中国** 20代 男性 ログイン名: **ナイト**
居住: オーストラリア タイトル: コメントNo.75へのコメント

冷やし中華始めませんかさん、コメントありがとうございました。

貴方は一人のプレイヤーとして、私の悩みを理解してくれて、私は嬉しかったです、ありがとう！貴方も私と同じ経験があった、その身につまされるお話で、私は少し安心しました。貴方が言っていたの改善策、誠にありがとうございました、私はもう貴方がいていた通り、普段から丁寧語を遣っております、自分がくれぐれも汚い言葉をしゃべらないように気づいております。以前は普段自分の言葉についてあまりわざと変えたいの経験も考えもなかったから、いまは少し疲れる事も感じました。でもまだ大丈夫、貴方のおっしゃる通り、これを機に、私は自分を変えたい。実はゲームのせいで、私はもう友人の一人をなくした。

これ以上の友達をなくしたくないから、私は頑張って、自分の言葉を綺麗にする。冷やし中華始めませんかさんもどうですか、一緒に頑張ろうじゃあないか！それはきっと、とても素晴らしことだと思います。

[【No.14の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.13 作文 2017-04-22 出身: **オーストラリア** 20代 女性 ログイン名: **NGOE**
居住: オーストラリア タイトル: 第一印象の力

人前で、正しい言葉遣いを使うのは常に悩むことは周知の事実だ。なぜなら、言葉遣いの使い方によって、相手は性格や考え方などについて判断する立場にある。したがって、失言が起こると、相手は消極的な先入観を持った態度を示す。その上、一つだけの間違っ言葉遣いを使っても、相手は消極的な先入観という第一印象が忘れられない。

例えば、アメリカ人の以外からすると、トランプ米大統領について、言葉遣いを基づいた意見を立てる。世界中のマスコミの前で、ムスリムと女性と北朝鮮の考えを言った後で、多くのメディアは「トランプはセクシストで、排外的な人」と述べた。大衆はその先入観と本気で信じている。その結果は、大統領に関わらず、大衆はこのような人を尊敬したがる。言ったことを笑いものにする冗談をインターネットで、投稿する。

トランプにとって、初めに、言葉遣いに悩まないから、大衆の先入観が変えられない。それは、第一印象の力だ。最初の失言に影響された第一印象の後で、相手の先入観を上達することができない。

[【コメントを書く】](#)

No.104 [No.13](#)へのコメント 2017-05-01 出身: **鹿児島** 10代 女性 ログイン名: **おんぷ**
居住: 神奈川県 タイトル: 第一印象

「言葉遣いの使い方によって、相手は性格や考え方などについて判断し、失言が起これば、相手は消極的な先入観を持った態度を示す。」この一文を読み確かにそうだと共感した。

初対面の人と会話をする際、容姿や雰囲気なども見るが、言葉遣いでも印象が決まっていると気づかされた。

NGOEさんは国政という大きい視野で考えていたので、私は身近な出来事で考えてみた。私は先月大学に入学したが、言葉遣いがきれいな人には優しく、仲良くできそう。というプラスの感情をもった。しかし、言葉遣いが汚い友人にはあまり良い印象を持てなかった。それは一か月たった今でも続いていて、怖くて話しかけられていない。身近ですぐに会話ができる友人ですら私が感じた第一印象を向上することは困難なのに、トランプさんのように国民と会話できる機会が少ない上に沢山の人が感じた印象を向上させるのはとても大変だと感じた。

他人の話し方と第一印象の関係について考えてみると、自分は他人から見てどうなのか気になった。無意識に話してしまう言葉遣いはきれいなのか汚いのか、客観的に判断したいと思った。また言葉遣いには気を付けたいと改めて思った。

[【No.13の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.383 [No.13の筆者から](#) 2017-05-29 出身：オーストラリア 20代 女性 ログイン名：NGOE
居住：オーストラリア タイトル：コメントのコメント

まず、おんぷさん、コメントしてくれてありがとうね！

おんぷさんの身近な出来事から考えるのはいい思想だと思う。ぜんぜん考えることがない。初めに自分に関して、悪印象があっても、向上することができるような意見に賛成している。向上機会があるが、特定の状況だけで、向上できる。

例えば、悪印象を与える後で、向上のために相手と交流を続かなければならない。しかし、第一印象は悪すぎると、もっと、交流する可能性が低い。その結果は向上することができないのは当然だ。向上できるというトランプ米大統領のような状態は少ない。アメリカ人はトランプ米大統領のことに耳を傾けるべきだ。一方で、一般人にとって、相手は悪印象をもらったら、もはや交流する理由がない。ゆえに、向上はほとんど不可能だと思う。

時々向上できる機会を認めるにつれて、米大統領のような状況だけで機会がある。向上できない機会はずっと普通だ。なぜなら失言すると、相手はもう第一印象から判断した。印象の向上にとって、チャンスは二度とない。

[【No.13の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.12 作文 2017-04-22 出身：中国 20代 女性 ログイン名：レベル1の勇者
居住：オーストラリア タイトル：友達関係と言葉遣い

私の悩むことは日本人の人間関係と言葉遣いのタイミングだ。始めて会った人には敬語を使うのは礼儀だよ。でも、十日の付き合いと、一年の付き合いの友達に対して、言葉遣いの差が本当にあるのだろうか。

ツイッターで出会ったネット友がたくさんある。リプライする時、私はいつも敬語を使って返事する。前日、ある友人のツイートを返信するとき、相手が突然「もうタメ口で大丈夫だよ」、「〇〇さんの呼称じゃなくて、〇〇ちゃん（相手は女子大学生）にしよう」のことを提案させた。実はちょっと驚いた。その友と話す回数は多分3回もたっていないのに、なぜ突然そういうことを言えるのだろうか。私が見ればまだ知り合

いの程度で、自分の認識中、ちゃん付けの呼称はもっと親密な友人。いつも尊敬語を使っていると、同い年に親切ではないの感覚を伝える。それでも、リア友とネット友と比べると、言葉遣い（ネット用語以外）の差がおおきいだろうか。現実になったら、ちゃん付けやタメ口の話し方、同い年の人に親切の印象を与えるのかな。

日本人には、どのような関係が親しいのがわからない。どのくらいの付き合いが タメ口を使ってもおかしいじゃないだろうか。

[【コメントを書く】](#)

No.123 [No.12へのコメント](#) 2017-05-02 **出身：埼玉県** **ログイン名：みかん**
居住：埼玉県 10代 女性 タイトル：敬語にするかタメ口にするか迷うときあります。

私も敬語で話すべきかタメ口で話すべきなのか迷うときはたくさんあります。例えば、新学期に会う人のほとんどが初対面でした。その時に敬語で話しかけるべきなのか、それとも同級生なのだからタメ口で話すべきなのかすごく迷いました。敬語で話しかけると、相手との心の距離が遠くなってしまい、相手と親しくなりずらくなってしまわないかと思いました。しかし、初対面の人にいきなりタメ口で話すと、相手は馴れ馴れしく感じてしまい、私のことを嫌いになってしまうのではないかという不安もあります。だから私は、最初の一言だけを敬語で話し、あとの言葉はタメ口で話すようにしました。本当に親しくなりたい相手に対してずっと敬語でいると、他人行儀でいつの間にか親しくなれずに学校を卒業してしまうことになるかもしれないと思いました。しかし、いくら親しくなりたくても、目上の人に対しては必ず敬語を使わなくてははいけません。そういう時は敬語でも積極的に話しかけるべきだと思いました。

[【No.12の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.137 [No.12へのコメント](#) 2017-05-07 **出身：日本** **ログイン名：ハイドン**
居住：神奈川県 20代 男性 タイトル：SNSが生んだ新たな日本人の傾向では？

私はSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）があらわにした、近年の日本人の特徴ではないかと考えます。日本語での「内弁慶」のような、「ネット弁慶」と言う言葉を聞いたことがあります。実際には会っていないけれども、家（ネット）では雄弁であると言うことを指します。日本では、SNSがこの傾向を増加させたのではないのでしょうか。

日本語は日本人の私でさえ複雑に思います。さらに現代の文化を加えるとさらに複雑になるなと改めて思いました。

[【No.12の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.277 [No.12へのコメント](#) 2017-05-15 **出身：神奈川県** **ログイン名：ヘッジホッグス**
居住：神奈川県 10代 男性 タイトル：言葉のタイミング

私もたまに人と話す時、言葉のタイミングがつかめないでいて苦労したことがありました。

先輩から紹介された人で自分より年が一つ上で最初は敬語で挨拶をしたりメールでやり取りをしていましたが、まだそんなに仲良くすることが出来ませんでした。ですがある日一緒に食事に行きました。その女性と話してるうちに段々と会話が弾んで仲良くなっていき今ではとても大切な友達になりました。実際に会ってみたらメール等といったものよりいいのかもしれない。

レベル1の勇者さんは、ネット友が沢山いるのだったら、「もうタメ口で大丈夫だよ」と言われているのだったら自分のペースであだ名で呼んだりしていけばいいと思います。タイミングのことを考え過ぎずにいればあだ名で呼べる関係になっていくと思います。日本人はとて優しい方が沢山いるので気軽にやり取りができる。タメ口で話すのは、レベル1の勇者さん次第です。

レベル1勇者さんなら上手くできるのでこれからも頑張ってください。

[【No.12の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.325 [No.12の筆者から](#) 2017-05-20 出身：中国 20代 女性 ログイン名：レベル1の勇者
居住：オーストラリア タイトル：コメントありがとうございました！

みかんさん、コメントありがとうございます。

敬語とタメ口の遣いについて私も同感です。もちろん、みかんさんのやり方はすごく参考になります。私が思うのは、様々の人に対して、こころの感情がたぶん異なるかも知れない。例えば、私は相手との付き合いによって、もう友達になってきたかなと思うが、相手はそうでもない。逆の状況もありますね。そういう距離感はなかなかコントロールできない。やはり敬語からタメ口への自然な言い方はむずかしいだ。急に態度や立場を変えたら、今までの関係を破れるしまうかもしれない。

目上の人に対して敬語を使うのは当然なんだが、タメ口へ転換する気持ちもちよいちよいある。例えば、仲良くなりたい先輩に対して、いつでも尊敬語を使うと たまにはちょっと残念だなと思うわ。年上の友達が欲しい同時に、失礼な言葉を使つてはいけない。とにかく、私が気づきましたのは、日本人はいつでも相手のことを考えして行動しますね。もっと日本語や日本文化を勉強したいの気持ちになった。

[【No.12の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.326 [No.12の筆者から](#) 2017-05-20 出身：中国 20代 女性 ログイン名：レベル1の勇者
居住：オーストラリア タイトル：コメントありがとうございました！

ハイドンさん、コメントありがとうございました！

それと、新しい語彙を教えられてありがとうございます。私は初めて「内弁慶」の言い方を聞いた。ネットで調べましたが、私もちょっと内弁慶っぽい人だなと自覚した。言葉の意味ではなく、態度のことなんです。もちろん日本語には、言葉の遣い方から人の態度も言語の中で聞かれる。

ハイドンさんの言うとおりに、とくに若者たちはネット弁慶の特徴があるね。ネット上の人格と実際の人格が異なる状況はたくさんあると思う。リア友に対して言えないことはネットに簡単に言うこともある。リア友との関係がうまく処理できない場合はネットで友達を探すこともよく耳にする。私個人の感覚ですが、今現実生活で交流苦手の若者が多くなってきた。ネットやSNSでなんでも言うのだが、直接向き合って時上手く話すをできませんになった。そういう差があったから、私は日常生活との言葉遣いとネット語の遣いを混じってしまったかもしれないね。

[【No.12の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.337 [No.12へのコメント](#) 2017-05-23 出身：中国 20代 女性 ログイン名：レベル1の勇者
居住：オーストラリア タイトル：コメントありがとうございました！

ヘッジホッグスさん、コメントとアドバイス、本当にありがとうございました！

私はヘッジホッグスさんに賛成します。敬語とタメ口のタイミングが実際の友人関係と関わるのでなかなか困る。ヘッジホッグスさんと同じく、私も実際に会って もっと仲良くなった友達がある。けれど、ソーシャルメディアでペラペラ会話したり、直接向き合って時話ができなくなる人出と会い経験もある。そういう時はちょっと困るね。ネット上でタメ口を使っても大丈夫なのに、現実になってきたから相手に対して軽はずみな言葉や行動をしたくない。そうすると距離感が遠いになった。

ヘッジホッグスさんのアドバイスが本当に役に立つ。最初、ネット上の相手だから年齢や仕事を知らない。いっさい全部尊敬語を使おうと思うが、まさか相手に距離感をとってしまったの印象を伝わせた。そうだね、あだ名を呼んだりしていけばいいだね。これからできるだけ失礼なことを言いませんながら、自分のペースで相手と交流する。

励ましてくれてありがとうございます。今後お互い、言語の勉強に頑張りましょう。

[【No.12の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.11 作文

22/4/17

出身：オーストラリア
居住：オーストラリア

20代

女性

ログイン名：桜花

タイトル：中学校で日本のホームステイ体験

日常生活で、誰と対話するかによって言葉遣いが変わっている。でも時々言葉遣いはとても難しい。だから正しい言葉遣いより他の大事要素があるだと思う。例えば言い表せなければ行動を通じて自分を表すことができる。

中学校三年生の時日本に旅行した。一週間ホームステイをした。日本語を話すことの能力は駆け出しレベルだから「毎日ホストファミリーと一緒にコミュニケーションはどうすればいい」と思った。ホームステイの間に話すために手真似と簡単な英語の言葉も使った。例えば英語で「これはシャワー」とか「トイレ」とか「水」と言った。簡単な英語を使った。私も簡単な日本語だけ話せた。好きな食べ物を食べていると「ああ、おいしい」、「わーすごい!」、「好き」だけ話せた。

体験から複雑な言葉を使わなくてもいいと見つけた。たくさん日本語が分からなかったから、英語を使うことは大丈夫だった。理解されるために手真似と好印象があつて、親切心を述べていることも大切だと思う。正しい言葉が使っていることは必ずしも重要じゃないと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.93

[No.11](#)へのコメント

2017-05-01

出身：日本
居住：日本

10代

女性

ログイン名：chocomoo

タイトル：コミュニケーションの方法

確かに、コミュニケーションをとる方法というのは必ずしも正しい言葉を使わなければならないということではありませんよね。身振り手振りを交えて話したり、より伝わりやすい言葉で話したりするのはとても良いことだと思います。正しい言葉ではなくても、相手が伝えようと努力してくれていることがわかると相手も嬉しいですよ。私は日本人ですが、留学生の人と話す機会があるので、これからは話したいことがうまく伝わるように工夫してみたいと思います。お互いが理解しあえるように考え、行動で示すことが大切だということをもっとたくさんの人にも知ってほしいですね。それを知ったうえで、勉強の一環として正しい言葉遣いを教えあえる関係になればいいなと思います。

今回この作文を読んで、「正しい言葉を必ず使わなければいけない」と思っていた自分の考えが変わりました。周りとは違った視点で書かれていてとても面白かったです。ありがとうございます。

[【No.11の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.534

[No.11](#)へのコメント

2017-06-05

出身：オーストラリア
居住：オーストラリア

20代

女性

ログイン名：桜花

タイトル：コメントありがとうございます！

chocomooさん、作文を読んでくれてありがとうございます。コメントありがとうございます。

初めに日本人と話す時、ネイティブの日本人のような日本語をうまく話せないから緊張に感じました。自

分の困ったことは日本人は「ああ、彼女は日本語がちょっと下手ですね」と思いかもしれません。だから、恥ずかしくなって自信が全然ありません。自分の日本語の話す能力に対して悩みを抱えました。

しかし、今大学生として言語を学んで話してみる時、身振り手振り簡単な言葉を使って大丈夫と思知り知ります。各自の人は自分の学習スタイルがあります。言語の勉強が大変になる時、試みて続けることは良いです。日本語を勉強することは楽しい体験になるべきだと思います。緊張しても、日本語の勉強に努めなければなりません。だんだん、流暢に日本語を話すことができ、もっと自信が得ます。日本語が上達したいから日本人と一緒にたくさん話したいです。

[【No.11の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.535 [No.11の筆者から](#) 2017-06-05 出身: **オーストラリア** ログイン名: **桜花**
居住: オーストラリア 20代 女性 タイトル: コメントありがとうございます!

chocomooさん、作文を読んでくれてありがとうございます。コメントありがとうございます。

初めに日本人と話す時、ネイティブの日本人のような日本語をうまく話せないから緊張に感じました。自分の困ったことは日本人は「ああ、彼女は日本語がちょっと下手ですね」と思いかもしれません。だから、恥ずかしくなって自信が全然ありません。自分の日本語の話す能力に対して悩みを抱えました。

しかし、今大学生として言語を学んで話してみる時、身振り手振り簡単な言葉を使って大丈夫と思知り知ります。各自の人は自分の学習スタイルがあります。言語の勉強が大変になる時、試みて続けることは良いです。日本語を勉強することは楽しい体験になるべきだと思います。緊張しても、日本語の勉強に努めなければなりません。だんだん、流暢に日本語を話すことができ、もっと自信が得ます。日本語が上達したいから日本人と一緒にたくさん話したいです。

[【No.11の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.10 作文 22/04/2017 出身: **オーストラリア** ログイン名: **Jayz940**
居住: オーストラリア 20代 女性 タイトル: 外国語学習のコツは母国語の言語本能を無視すること?

どのような言語でも、相手の立場、人間関係、場面などの要素を考慮しながら、適当な言葉遣いをする必要がある。外国語を勉強する時は、正しい言葉遣いを学ぶために、成長の過程で身に着けた母国語の言語規則を考えないようにするのが大切だ。しかし、それはやはり簡単なことではないので、外国語の学習者は、第二言語を母国語と同じように扱う間違いが多いと思う。

私が日本語の学習者としての悩みは、英語の言語習慣を日本語でも実践してしまうことだ。日本に滞在していた時、日本はオーストラリアと逆で、知らない隣人や郵便屋には挨拶するが、店で支払いをする時には意外に店員に挨拶する習慣がないことを知った。その時、英語と日本語の挨拶習慣を同様に考えたため、通りかかって来た隣人の挨拶に、うっかりして応えないまま歩き去ってしまった。そうすると、相手の戸惑った表情を見かけ、恥ずかしかったが、挨拶を言い返すタイミングがもう逃したので、結局仕方なく軽い会釈だけで応じた。

確かに、外国語の学習者は普段、学んでいる言語の母語話者に言葉遣いの間違いを直してもらえない環境にいないので、自分の母国語の言語本能を誤用する傾向がある。その問題を乗り越えるためには、母国語を考えずに、色々な場面で学んでいる言語の言語習慣に少しずつ慣れていくしかないと思うが、英語を勉強している日本の学生たちはどう思っているのか。そして、自分あるいは外国人の言語習慣や言葉遣いの間違いにはどう対処するのだろうか。

[【コメントを書く】](#)

No.81 [No.10](#)へのコメント 2017-05-01 出身：千葉 ログイン名：まり
居住：千葉 10代 女性 タイトル：母国語と第二言語に対する難しさへの感想

第二言語を学ぶとき、母国後との文化の違いや習慣の違いに苦労することがある。
第二言語を学ぶときは、今まで自分が暮らしてきた国柄、習慣、文化、概念を捨てて、全く別のものとして扱わなければならない。

日本では、電車の中で喋ったり、見知らぬ人に話しかけたり習慣はほとんどないが、外国ではそれが当たり前前こととして行われているため、そのような習慣にも柔軟に対応しなければならないむずかしさがある。

また、第二言語学習者に対して、文化や習慣の違いを指摘する環境がない現実があるため苦労することがあるのではないかと思う。もっと、積極的に第二言語学習者に優しい環境への配慮が必要なのではないかと思う。

第二言語学習者との関わり、異文化を知り合うこと、第二言語学習者の文化の違いを指摘できる環境づくり等、さまざまな方法で言語や文化の違いに悩む人々の不安解消に繋げる事が出来ると思う。そういう社会づくりで世界の交流が深まれば、どの国も発展していける

[【No.10の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.509 [No.10](#)の筆者から 2017-05-30 出身：オーストラリア ログイン名：Jayz940
居住：オーストラリア 20代 女性 タイトル：異文化理解のある社会へ

私も外国語学習のために異文化理解のある社会を作ることが必要だと思う。そうするには、まりさんが言った通り、第二言語学習者は積極的に勉強している言語の国の文化や習慣に柔軟に対応し、それと同時に、その国の母語話者も第二言語学習者の立場に配慮すれば良いと考える。

各国の政府は、第二言語学習者のために自分の国の文化的な特徴や言語の習慣を教えるマニュアルのようなものを作り、異文化教育を正式に提供すべきだと思う。そうすると、第二言語学習者は視野を広め、その国の文化により簡単に馴染むことができるだろう。また、母語話者の場合には、第二言語学習者に接する時、相手の言語能力と文化の違いを意識しながら、ゆっくりとはっきりした口調で話し、言語や文化の面で助けてあげる方がいいと思う。

従って、外国語を習得するには、第二言語学習者は自分の母語の言語習慣がどの国でも正しい物だと考えず、勉強している言語の国の文化を別の物として身に着けることが大切だ。しかし、これを達成するために、政府や社会がまず第二言語学習者に異文化教育や言語的な支持を提供することも必要だと思う。

[【No.10の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.9 作文 2017-04-21 出身：中国 ログイン名：おでん
居住：オーストラリア 20代 女性 タイトル：接客時の言葉遣い

オーストラリアのサービス業で店員としてバイトしている私は、最近接客における言葉遣いに悩んでいる。お客さんと主に英語、あるいは中国語で話している。日本語の敬語ほど複雑ではないが、やはり英語と中国語にも敬語がある。したがって、敬語の使い方と丁寧さの度合を考えている。

もし丁寧すぎると、お客さんは気づまりに感じるかもしれない。私は日本でお客さんとして買い物に行った時、もし店員さんから「すみません」や、「お願いいたします」というような謝る言葉と謙譲語を絶えず使われたら、逆に私が「重い」や「うるさい」というような気持ちになってしまった。

一方、豪州のサービス業ならカジュアルなイメージを思い浮かべる。私がお客さんとくだけた話し方を使ってきたこともある。しかし、遠慮せず親しむようになるながら、お客さんが時々自分のマナーにも遠慮しなくなってしまった。店への尊重する態度も失った。

上記のような両極端から適切な度合を探している。そのため、お客さんの反応をきちんと観察しなければならないと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.72 [No.9へのコメント](#) 2017-05-01 出身：日本 10代 男性 ログイン名：はなこ
居住：東京 タイトル：おでんさんの作文を読んで

この作文を読んで、文化の違いを改めて認識しました。日本ではお客さんに対しては基本的に敬語が当たり前なので豪州のサービス業でフランクな言葉が使われているのは、少しうらやましいと思いました。なぜなら例えば服屋さんなど、敬語で店員さんに接客されるよりは、敬語なしのほうが本音で言ってくれていて、友達のような感覚が生まれて、接しやすいとおもったからです。たしかにおでんさんが言うようにお客さんのマナーが悪くなることは問題だとおもいますが、世の中にはたくさんの性格、個性を持った人間がいるから、一筋縄では通用しないのが当たり前ですね。。。その人によって言葉を使い分けるという行為自体が人を見極めて、差別しているような気もしますが、うまく世の中を生きていくためには必要な術かもしれないとおもいました。

[【No.9の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.526 [No.9の筆者から](#) 2017-06-06 出身：中国 20代 女性 ログイン名：おでん
居住：オーストラリア タイトル：コメントへの返事

はなこさん、ご返事ありがとうございました！

確かに、はなこさんが言った通り、人によって言葉を使い分けるのは世の中を生きていくための必要な術ですね。特に、店員として、自分の店のものをもっと売るために、その術は重要だと思います。確かに日常生活に、そのような行為を見ると、人を見極めて、差別しているような気がしますね。しかし、仕事の場合には、その術を使うのは道徳的な問題ではなく、仕事への真剣な態度だと考えられますね。

確かに敬語なしのほうが接しやすくなるでしょう。私もそう思います。しかし、その親しさの度合いを考えなければなりませんね。もし店員さんからくだけた話し方で絶えず話をかけたら、逆に私ははやくその店から逃げるしか考えていません。例えば、先週はある服屋さん、ローカルオーストラリア人の店員さんからいっぱいオーストラリアの俗語を使って、私はよくわからなかったのもので、その話はごちなくしてしまいました。その店の服をよく見ないで、逃げてしまいました。一般のオーストラリア人に俗語をよく使ったらたぶん効果的ですが、非母語話者なら、やはり標準語を使ったらいいでしょう。もしその時の店員さんは、人によって言葉を使い分けたら、たぶん結果も違いますね。

はなこさんのコメント、本当にありがとうございました。チャンスがあれば、ぜひオーストラリアに来てくださいね！

[【No.9の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

私の出身地のマレーシアだけでなく、昔から儒教という思考が深く浸透して今でもアジア圏国の中に残っている。その中に先生を敬う考えは強い影響を持って、先生に対して礼儀正しい言葉遣いをしなければならない。それで、初めてオーストラリアの大学に来て先生を下の名前で呼ぶのに凄くカルチャーショックを覚えた。皆は当たり前のように先生を下の名前で呼んでカジュアルで話していたが、最初の私は全然慣れなかった。例えば、大学一年の教授は白髪で60代の男性だったので、私はいつも自然にDr.やMr.というタイトルをつけて話しかけたが何回も先生に「堅苦しいから下の名前で呼んでって言ったじゃない」と言われた。

一方、日本語の授業は別問題だ。メルボルンにいても、日本語の授業で先生をきちんと「先生」を呼ばないのは失礼だ。しかし、日本人の先生なら当然「先生」をつけて呼ぶことだと思って、そうでもない場合もあった。去年、ある言語学のセミナーに、私のかつての日本語の先生、中根育子先生は外部講師として講演なさったことがあった。あの言語学の授業は英語で教えていたので、オーストラリア人の習慣に応じて中根先生も自分の下の名前、「イクコと呼んでください」で自己紹介をなさった。授業中、先生に質問をしたかったが「イクコ」か「ナカネ先生」を使うのか分からなくて呼びかけなしで質問をしようと思ったが、他の先生もいたので聞きたい先生を指名しないと混乱を起すかもしれないわけで結局質問を諦めた。「ナカネ先生」と呼んだら他の人と違うから目立つだろうかと思ったが、急に呼び捨てにして先生を下の名前で呼ぶことにも違和感を感じてどうしてもできなかった。

呼び方を通じて人の印象に大きく関わるからこのテーマにあたって新しく考えさせられた。確かに、最初先生を下の名前で呼ぶのは失礼ではないかと悩んだりしたが、それはオーストラリア人なりにフレンドリーな気持ちと敬意を両方含めている呼びかけだと分かった。今後、異文化の交流が増えても場合に応じて人を不快をさせない言葉遣いを考えておきたいと思う。

[【コメントを書く】](#)

私は今まで海外には行ったことがありません。しかし、私も儒教の影響を受けている国で生まれ育ったので、投稿者の気持ちに非常に共感でき、もし自分もオーストラリアに行ったら同じように困惑するだろうなと思いました。

海外に行ったことのない私がこの文化の違いについて考えるのはおこがましいですが、やはり郷に入っては郷に従えというように、その国の人たちと同じ文化で生活するのがいいのかなと思いました。

[【No.8の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

ごごごりらさん、ご返事ありがとうございます！

確かに、ごごごりらさんのおっしゃった通りに、「郷に入っては郷に従え」という考えは重要だと思っ

ております。私も賛成します。違う文化を体験したいこそ海外へ行く理由の一つです。最初は凄く違和感を感じましたが、何年間オーストリアに住んでいて今はだいたい慣れてきました。教授との会話はともかく、今「Hey Peter」というように教授にメールを送ってもあまりおかしくないことだと思えるようになりました。全体的に、オーストラリア人は気さくで必要以上堅苦しいことはしないという気がします。

先日、メルボルン大学でビジターセッションが行われて、日本人の方は30-40人も参加してくださいました。あの日、メルボルン大学の学生や日本人のビジターでも自分の名前が書いたシールを付けていました。人によって下の名前や名字やフルネームを書いた方がありました。私のグループとお話しした人達は全部下の名前で自己紹介をなさいましたが、それはオーストラリアの習慣に応じる行動なのではないかと少し思いました。もしそれは日本で行われた交流会だとしたら、皆はどのように名前を書いて自己紹介をなさるのでしょうか。おそらく名字あるいはフルネームを使うだろう。

ごごごりさんのコメント、本当にありがとうございます。私は全く同感です。これからも日本語の勉強を努力します。

[【No.8の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.7 作文 2017-04-20 出身：オーストラリア 20代 男性 ログイン名：アルコー
居住：オーストラリア タイトル：丁寧語で友達ができるか

私は日本に留学したことがあり、三ヶ月半くらい過ごした。その間には、日本語の能力がまだよくないので、多くの言葉遣いの間違いがあった。

例えば、その間に、タメ語、丁寧語、敬語の使い方も間違っただけかもしれない。丁寧語を高校で勉強したが、どのような時には丁寧語、タメ口を使うのが正しいかわからなかった。ホーストファミリーと仲良くなりたかったので、だいたい辞書形やタメ口で話した。私の西洋の考えから、丁寧語を使うのはあまり「友達」と感じていなかったからだ。今、それは間違っただけ失礼だったかもしれないとわかるが、その時は失礼ではなく見えたから、続けた。その結果、ホーストファミリーのお姉さんを怒らせたそう。分かっていたら本当に仲良くできただろう。

気さくなように話しながら言葉遣いに気をつけるために、どうすればいいだろうか。日本語の言葉遣いは、英語より大変だと思う。

[【コメントを書く】](#)

No.116 [No.7へのコメント](#) 2017-05-01 出身：中国 20代 男性 ログイン名：墨文
居住：日本 タイトル：心が大事

私もそういう人間関係の取り方について、よく迷ってしまう。アルコーさんのいう通り、丁寧語のままでは、本当に友達ができるのか。しかし、日本では、そういう人間関係を大事にしているからこそ、丁寧語、敬語、普通体を使い分けているのではないかと思う。最初は見知らぬ人に敬意を払い、それと同じく相手の認めをもらうことが日本では大事だと思う。少し慣れてから、普通体で会話を交わし、友達になり、親友になる。その過程は長いかもしれないけど、友達の重さも身に染みるのではないかと思う。

すぐにできた友達は別れも早いという考えもあるからであると思う。でも逆に考えれば、敬語ではなくても、自分が尊敬する意思が伝わったら、同じ効果があるのではないかと私は思う。ホーストファミリーのお姉さんを怒らせたのは、相手が自分の敬意を感じなかったのだと思う。欧米の文化と違っていても、心のほうは同じではないかと思う。

[【No.7の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.527

[No.7](#)の筆者から

2017-06-06

出身： オーストラリア
居住： オーストラリア20代 男性 ログイン名： アルコー
タイトル： ありがとう

墨文さん、コメントしてくれてありがとうございます。

そのような使い分けは、今や大事だと思います。私は前より、丁寧語や敬語の複雑性がもっと理解すると思います。そして、墨文さんの意見を読んで、自分の敬語の使い方や友達と話すことについて少し反省しました。その考えで、丁寧語で友達を作りたいというような感じを確認できました。日本人の風習を尊敬しながら、丁寧語で話すようにしたら、日本人に謙遜できると思います。

今、「すぐにできた友達は別れも早い」というような考え方がよく分かります。しかし、その留学する時に分からなかったと思います。皆と仲良くなりたかったので、丁寧に相手の気持ちについて考えることの大切を忘れてしまいました。その結果、ホーストファミリーのお姉さんを怒らせることのように、皆を少しイライラさせたかもしれません。

「心のほうは同じ」というように、私も思います。将来に、もし私は相手の感情を考えながら敬語で話したら、前より友達を作るのができるかもしれません。

[【No.7の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.6

作文

2017-04-20

出身： 日本
居住： オーストラリア20代 女性 ログイン名： そば
タイトル： 世渡り上手＝言葉遣いの選択上手？

私（女性）がメルボルン大学新入生の頃、京都大学からの交換留学生の先輩（男性）と、初対面で話す機会があった。敬語のルールに則って、三年上の先輩に対し、私は「おっしゃる」、「いらっしゃる」というような、尊敬語を使った。自分は礼儀正しくしているつもりだったが、相手には、距離を取られたと思われたらしく、気を使いすぎだと、苦笑されてしまった。

憧れの京大生と話せる貴重なチャンスだった。今思うと、丁寧にしようとした気が回りすぎて、逆に皮肉に聞こえてしまったのかもしれない。「京大だからって、自惚れるな」という含意に捉えられていたとしたら、第一印象は最悪だっただろう。この時考えたのが、人間関係が確定されていない相手との会話の際、丁寧さの程度をどうやって選ぶのか、という問題だ。すなわち、対教授、対上司なら敬語、対同い年ならタメ口、という明瞭なルールに当てはまらない場合についての疑問である。

言葉遣いを選択するにおいて、様々な要素が絡んでくる。例えば、相手の社会的立場、年齢、親密度である。先ほどの例では年齢、親密度からして、タメ口では馴れ馴れしすぎるため、敬語を使うという選択は間違っただけではなかったと思う。しかし、双方の社会的立場の認識が食い違っていた。私からしたら先輩は憧れの京大生、しかも自分の不得意とする分野を専攻している、いわゆる卓越した存在と言えた。相手からしたら、大学一年の私との立場の差はそんなに大きくなかったのだろう。その双方の認識の不一致が、期待されていた丁寧さとの隔たりを生み、最終的に誤解を生んでしまったのだ。

ではどうしたらよかったのか。若者同士の会話だったため、若者言葉をですます調で話せば、カジュアルでありながら、ある程度丁寧な会話ができただろうか。二年たった後も、まだふと思い出す悩みである。

[【コメントを書く】](#)

No.84

[No.6](#)へのコメント

2017-05-01

出身： 日本
居住： 神奈川県20代 男性 ログイン名： ハイドン
タイトル： 相手に対する言葉遣いってそこまで自分で考える？

私は年齢や自分の憧れを踏まえ、敬意を持って丁寧語を使っていたそばさんの当時の言動は良いと考えま

す。

言葉遣いを選択は、相手によって千差万別です。初対面のひとであればなおさらだと思います。個々が持つバックグラウンドは違うので、認識の不一致はあって当然です。毎回、相手の認識に合わせた言葉遣いを前もって考えていたら、私なら誰とも話せなくなってしまいます。

「気を使いすぎ」というその先輩の方が指摘して下さったように、この「言葉遣い」というのは、相手に言われてみてわかることも多いです。例えば、大学へ入学後に浪人生に対しての言葉遣いで悩んでいる現役生をよく耳にします。私自身、浪人生なのですが「同じ1年生」という意識があるので、「若者言葉で構わない、同級生とってくれ」と言うように心がけています。その一言だけで「人間関係」というのはほぐれます。

以上から言葉遣いのルールというのは日本人にとって、「世渡り上手」の指針と言い切るのには簡単に言えないのではないかと私は思います。

[【No.6の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.213 [No.6へのコメント](#)

2017-05-09

出身： 神奈川県
居住： 日本

10代 女性 ログイン名： トマト
タイトル： 敬語の程度

とてもよい文章ですね

例えば初対面の同い年でも私は敬語を使います。

その時「おっしゃる」などの尊敬語は使わず、カジュアルに「ですます」など、軽めの敬語を敬語を使い話すように心がけている。

軽めの敬語でなくては、最初の印象が良くないし

重くて人見知り感を出し、相手も距離を取られてるのでは？と勘違いされてしまいますね。

日本語の敬語は本当に難しいです。

[【No.6の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.316 [No.6の筆者から](#)

2017-05-17

出身： 日本
居住： オーストラリア

20代 女性 ログイン名： そぼ
タイトル： コメントありがとうございました

ハイドンさん、鋭いコメントを頂き、ありがとうございました。

確かに、会話は動的なものです。相手の認識まで細かく予想して自分の言葉遣いを選択していたら、それこそ円滑なコミュニケーションとは程遠いものになるでしょう。ハイドンさんがおっしゃる通り、先輩に言葉遣いの指摘を受けてから、もっと柔らかい話し方に変えればよかったですね。その時の私は、指摘をダメ出しと捉え、諦めてしまいました。とても勿体無いことをしたと反省しています。

相手からどう思われるか、それを考えるあまりに、自分から歩み寄ろうとしていなかったと思います。社会的立場の差を乗り越えて人間関係を築く際、目上の人が一言声をかけること、そしてその提案に耳を傾けることが、重要になって来るのですね。

しかし、言葉遣いの選択はやはり、「世渡り上手」になるかどうかの指針になり得ると思います。言葉遣いとは、丁寧さと語彙の選択、声のトーンやボディランゲージを含む包括的なものです。言葉遣いを分析することにより、人の性格や年齢、性別、話し相手との相対的な社会的立場まで、ほぼ予想できます。従って言葉遣いとは、単なる意思疎通のツールではなくて、話し手がどんな人間なのかまで判断できてしまうような、たくさんの情報を与えるものなのです。これを踏まえると、言葉遣いの選択は人間関係において、とても重要な要素だと思えてきませんか。

もちろん、ご指摘の通り考えすぎは逆効果です。実際のところ、刹那的に適切な言葉遣いを選択することは大変困難で、だんまりしてしまうこともしばしばあります。これからはハイドンさんのアドバイスを参考にして、もっとしなやかに会話を楽しめたらいいと思っております。

[【No.6の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.317 [No.6の筆者から](#) 2017-05-17 出身：日本 20代 女性 ログイン名：そば
居住： オーストラリア タイトル：コメントありがとうございます（2）
トマトさん、コメントありがとうございます。

本当に、日本語の敬語は難しいですね。同い年でも、初めからタメ口では馴れ馴れしすぎますし、トマトさんのおっしゃる通りに、「軽めの敬語」を使わないと人見知りだと思われてしまいます。とても加減が難しいです。

その加減を調整する具体的な案として、尊敬語を使わなければ、軽い印象の敬語になるというのは、とても為になるアドバイスだと思いました。例えば、「行きましたか？」と、そのまま尊敬語を用いらずに言えば、とても丁寧さを保ちつつフレンドリーに聞こえます。それだと丁寧さに欠ける場合は、「行かれましたか？」と、受け身形の尊敬語を使えば、「いらっしゃいましたか？」よりカジュアルに話すことができます。丁寧さの度合でいうと中間を取れる、ということですね。

会話の中でこの丁寧さの差を使い分けるのは難しいですが、敬語を軽くする方法が見出せた気がします。アドバイスをありがとうございました。

[【No.6の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.5 作文 2017-04-16 出身：オーストラリア人 20代 女性 ログイン名：ニンジン様
居住： オーストラリア タイトル：敬語の使う時に悩んでいる

たくさんの人と同じように、私も敬語の使い方に悩むときがある。私が悩んでいることは特に、いつ丁寧語を使うか、いつ敬語を使うかだ。

日本に行ったとき、夕飯を食べるため、友達の祖父母の家に行った。「どうやって祖父母と話せばいいのか」と思い、緊張していたから、あまり話さなかった。です・ます体で少し話したが、日本語についての本によると、あまり知らない年寄りの方に対して、敬語で話した方がいいそうだ。

しかし、御、尊敬動詞、謙譲動詞などは全部敬語の一部だから、どれを使うか選ぶのは簡単ではない。母国語として日本語を話している人も、外国語として勉強している人にも敬語を習うのは大変難しいそうだ。

目上の方とお年寄りの方と話す時、少なくとも丁寧語で話し、敬語を使った方がいいそうだ。簡単に言うと、自分より地位や知識が高い人に対して話しているとき、適当な話し方は敬語だし、同じ地位がある人に対して、丁寧語で話せばいい。部下や子供だったら、敬語も丁寧語を使うのは普通ではないし、違和感があると思う。

[【コメントを書く】](#)

No.96 [No.5へのコメント](#) 2017-05-01 出身：日本 10代 男性 ログイン名：ponta
居住： タイトル：感想

自分も敬語と丁寧語の区別がはっきりわかりません。

なので、深くは考えずに公な場では敬語を使い、プライベートな場では丁寧語を使うものだと思っています。しかし、敬語だと思っていた言葉が敬語でなかったりします。

時には相手に失礼な言葉使いになることもあります。しかし、周りの人がしっかりと正しいことと、間違っていることを教えてくれるのでその度に直しています。

だから、とりあえず積極的に話し、周りの人に話し方があっているかだめだったかを聞いてみてはどうでしょうか？

敬語に対する違和感がある日本人も多いと思います。

自分の場合は「本当に正しい言葉使いなのか？」とよく悩みますが、そういった悩みを周りの人々に相談して悩みを解決しています。

[【No.5の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.318 [No.5の筆者から](#)

2017-05-17

出身： **オーストラリア**
居住： オーストラリア

20代 女性 ログイン名： **ニンジン様**
タイトル： 感想のコメント

pontaさん、お返事してくれてありがとうございました。いい勉強になりました。

確かに周りの人の話し方に基づくに、言葉遣いを選びますが、相手との関係が他の人と違うかもしれません。例えば、前の例と同じですが、周りの人は相手の家族ですが、私は知らない外国人でした。私の方が親しくなくて、もっと丁寧で話すべきでした。日本人に聞いた時、外国人ですので、間違ったら、あまり問題として思われていないです。日本語で話してくれてだけで嬉しくなると言いました。しかし、私は正しい敬語を使えるようになりたいです。

英語で違う丁寧さの程度がありますが、敬語のようなことはありません。ですから、日本語や韓国語など（韓国語にも敬語のような言葉遣いがある）を勉強している人にとって、一番難しいことだと思います。さらに、難しすぎとってしまう人がたぶん多いだから、諦めてしまいます。

これからも敬語の正しい使い方や使う時に頑張ります。

[【No.5の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#)

No.4 作文

2017-04-13

出身： **日本**
居住： オーストラリア

40代 男性 ログイン名： **渡邊**
タイトル： メルボルン大学 投稿開始します

メルボルン大学からの投稿を開始します。よろしくお願ひします。

[【コメントを書く】](#)

No.27 [No.4へのコメント](#)

2017-04-24

出身： **日本**
居住： 日本

回答しない ログイン名： **吉田美登利**
女性 タイトル： 学習院大学開始

学習院大学、今日から投稿を開始いたします。来週コメントを投稿いたします。

[【No.4の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)

No.150 [No.4へのコメント](#)

2017-05-09

出身： **神奈川県**
居住： 神奈川県

回答しない ログイン名： **吉田美登利**
女性 タイトル： 関東学院大学 開始

今日から関東学院火曜日の2, 3限クラス「文章を書くG, H」が投稿を開始します！よろしくお願ひいたします。

[【No.4の作文を読む】](#) [【コメントを書く】](#) [【作文筆者がコメントのコメントを書く】](#)